



X925

ユーザーガイド

2012 年 12 月

www.lexmark.com

型番 :

7541

モデル :

0032, 0036, 0096

目次

1—安全に関する情報.....	22
2—本機について	24
プリンタの情報とその入手先	24
プリンタの設置場所を選ぶ.....	25
プリンタの構成.....	26
基本構成のモデル.....	26
カスタマイズ構成のモデル	27
スキャナの基本機能	28
自動原稿フィーダ(ADF) と原稿台ガラス	29
ADF を使用する.....	29
原稿台ガラスを使用する.....	29
プリンタ操作パネルについて	30
3—ホーム画面について	32
ホーム画面について	32
タッチスクリーンのボタンを使用する	34
タッチスクリーンのサンプル.....	35
タッチスクリーンのその他のボタン.....	36
機能	36
4—ホーム画面のアプリケーションをセットアップして使用する	38
プリンタの IP アドレスを確認する	38
内蔵 WEB サーバ(EWS)にアクセスする	38
ホーム画面のアイコンの表示/非表示を切り替える.....	39
内蔵 WEB サーバ(EWS)を使用して構成をエクスポート/インポートする	39
ホーム画面のアプリケーションを有効にする.....	40
[用紙とお気に入り (Forms and Favorites)] をセットアップする.....	40
[ネットワークへのスキャン (Scan to Network)] をセットアップする.....	41
[マイ MFP (My MFP)] をセットアップする.....	41
WS-Scan について.....	42

[遠隔操作パネル (Remote Operator Panel)] をセットアップする	42
5—プリンタの追加セットアップ	43
内蔵オプションを取り付ける	43
使用可能な内蔵オプション	43
システムボードにアクセスする	43
メモリカードを取り付ける	45
フラッシュメモリカードまたはファームウェアカードを取り付ける	47
内蔵ソリューションポートを取り付ける	48
プリンタハードディスクを取り付ける	51
プリンタハードディスクを取り外す	52
オプショントレイを取り付ける	54
取り付けの順序	54
プリンタスタンドとオプショントレイを取り付ける	54
550 枚トレイを取り付ける	61
ケーブルを接続する	67
プリンタのセットアップを確認する	68
メニュー設定ページを印刷する	69
ネットワークセットアップページを印刷する	69
プリンタソフトウェアをセットアップする	69
プリンタソフトウェアをインストールする	69
プリンタドライバの使用可能なオプションを更新する	70
ワイヤレス印刷をセットアップする	71
ワイヤレスネットワークへのプリンタのセットアップを準備する	71
ワイヤレスネットワークにプリンタを接続する (Windows)	72
ワイヤレスネットワークにプリンタを接続する (Macintosh)	74
イーサネットで ネットワークにプリンタを接続する	78
新しいネットワーク内蔵ソリューションポートを取り付けた後でポート設定を変更する	81
シリアル印刷をセットアップする	83
6—プリンタによる環境への影響を最小限に抑える	87
用紙とトナーを節約する	87

再生紙を使用する	87
消耗品を節約する	87
消費電力を節約する	88
エコモードを使用する	88
プリンタの動作音を抑える	89
スリープモードを調整する	90
休止モードを使用する	91
ディスプレイの明るさを調整する	91
標準排紙トレイのライトを設定する	92
リサイクル	93
Lexmark 製品をリサイクルする	93
Lexmark 製品の梱包材をリサイクルする	93
再利用やリサイクルを目的として Lexmark カートリッジを返却する	94
7—用紙および特殊用紙をセットする	95
用紙のサイズとタイプを設定する	95
ユニバーサル用紙設定を構成する	95
標準トレイまたはオプションの 550 枚トレイに用紙をセットする	95
多目的フィーダに用紙をセットする	99
トレイをリンクする/リンク解除する	102
トレイをリンクする	102
トレイをリンク解除する	102
用紙タイプのカスタム名を設定する	103
カスタム用紙タイプ名を割り当てる	103
カスタム名を構成する	103
8—用紙および特殊用紙のガイドライン	105
用紙のガイドライン	105
用紙特性	105
使用できない用紙	106
用紙を選択する	106
プレプリントフォームとレターヘッド紙を選択する	107

再生紙やその他の事務用紙を使用する	107
用紙を保管する	108
サポートされている用紙サイズ、タイプ、重さ	108
サポートされている用紙サイズ	108
サポートされている用紙のタイプと重さ	110
9—印刷	112
ドキュメントを印刷する	112
ドキュメントを印刷する	112
モノクロで印刷する	113
トナーの濃さを調整する	113
モバイルデバイスから印刷する	113
フラッシュドライブから印刷する	113
フラッシュドライブから印刷する	113
サポートされているフラッシュドライブとファイルタイプ	115
特殊用紙に印刷する	115
レターヘッド紙を使用する場合のヒント	115
OHP フィルムを使用する場合のヒント	116
封筒を使用する場合のヒント	116
ラベルを使用する場合のヒント	117
厚紙を使用する場合のヒント	118
コンフィデンシャルジョブおよびその他の保留ジョブを印刷する	118
プリンタに印刷ジョブを保持する	118
コンフィデンシャルジョブおよびその他の保留ジョブを印刷する	119
情報ページを印刷する	120
フォントのサンプルリストを印刷する	120
ディレクトリリストを印刷する	120
[速度優先 (Max Speed)] と [枚数優先 (Max Yield)] を使用する	120
印刷ジョブをキャンセルする	121
プリンタ操作パネルから印刷ジョブをキャンセルする	121
コンピュータから印刷ジョブをキャンセルする	122

10—コピー	123
コピーする	123
クイックコピーする	123
ADF を使用してコピーする	123
原稿台ガラスを使用してコピーする	124
写真をコピーする	124
特殊用紙にコピーする	124
OHP フィルムにコピーする	124
レターヘッド紙にコピーする	125
コピー設定をカスタマイズする	125
サイズを変えてコピーする	125
選択したトレイの用紙でコピーする	126
サイズの異なる用紙をコピーする	126
用紙の両面にコピーする（両面コピー）	127
コピーを縮小または拡大する	127
コピー品質を調整する	128
丁合印刷する	129
コピーの区切りとして区切り紙を挿入する	129
1 枚の用紙に複数ページをコピーする	130
カスタムコピージョブを作成する	130
コピーに情報を印刷する	131
各ページの上部に日付と時刻を印刷する	131
各ページにオーバーレイメッセージを印刷する	132
コピージョブをキャンセルする	132
ADF で原稿が処理されている途中でコピージョブをキャンセルする	132
原稿台ガラスで原稿をコピーしている途中でコピージョブをキャンセルする	132
印刷の途中でコピージョブをキャンセルする	132
コピー画面と各オプションについて	133
[コピー元 (Copy from)]	133
[コピー先 (Copy to)]	133

[コピー (Copy)]	133
[拡大縮小 (Scale)]	133
[濃さ (Darkness)]	134
[印刷面 (両面印刷) (Sides (Duplex))]	134
[丁合印刷 (Collate)]	134
[内容 (Content)]	134
[カラー (Color)]	135
[詳細オプション (Advanced Options)]	135
[ショートカットとして保存 (Save As Shortcut)]	136
11—E メール送信	137
E メール送信を準備する	137
E メール機能をセットアップする	137
E メール設定を構成する	138
E メールショートカットを作成する	138
内蔵 WEB サーバ(EWS)を使用して E メールショートカットを作成する	138
タッチスクリーンを使用して E メールショートカットを作成する	138
ドキュメントを E メールで送信する	139
タッチスクリーンを使用して E メールショートカットを作成する	139
ショートカット番号を使用して E メールを送信する	139
アドレス帳を使用して E メールを送信する	140
E メール設定をカスタマイズする	140
E メールの件名と本文を追加する	140
出力ファイルタイプを変更する	141
E メールアドレスをキャンセルする	141
E メールオプションについて	142
[受信者 (Recipients)]	142
[件名 (Subject)]	142
[本文 (Message)]	142
[ファイル名 (File Name)]	142
[原稿サイズ (Original Size)]	142

[解像度 (Resolution)]	142
[カラー (Color)]	142
[内容 (Content)]	142
[濃さ (Darkness)]	143
[送信形式 (Send As)]	143
[ページ設定 (Page Setup)]	144
[スキャンプレビュー (Scan Preview)]	144
[詳細オプション (Advanced Options)]	144
12—FAX 送信.....	145
プリンタで FAX の準備	145
FAX の初期設定.....	146
FAX 接続の選択.....	147
アナログ電話回線への接続	147
DSL サービスへの接続.....	148
PBX または ISDN システムへの接続	148
着信識別サービスへの接続	149
お住まいの国や地域のアダプタへの接続.....	149
送信 FAX または送信元・送信元番号の設定	150
日付および時刻の設定.....	150
プリンタでのサマータイム対応の設定	151
ショートカットの作成.....	151
内蔵 WEB サーバ(EWS)による FAX 宛先ショートカットの作成.....	151
タッチスクリーンによる FAX 宛先ショートカットの作成.....	152
FAX の送信	152
タッチスクリーンを使用しての FAX 送信	152
コンピュータを使用して FAX 送信.....	153
ショートカットを使用しての FAX 送信.....	153
アドレスブックを使用しての FAX 送信.....	154
FAX 設定のカスタマイズ.....	154
FAX の解像度変更	154

FAX の濃さ調整	155
FAX を予定時刻に送信	155
FAX ログの閲覧	155
迷惑 FAX のブロック	156
送信 FAX のキャンセル	156
オリジナル原稿がまだスキャン中に FAX をキャンセルする	156
オリジナル原稿がメモリへスキャンされた後に FAX をキャンセルする	156
FAX オプションの説明	157
内容	157
解像度	157
FAX 濃さ	158
カラー	158
ページ設定	158
スキャンプレビュー	158
遅延送信	158
拡張オプション	158
FAX の保留、転送	159
FAX 保留	159
FAX の転送	160
13— FTP アドレスへのスキャン	161
ショートカットの作成	161
内蔵 WEB サーバ(EWS)による FTP ショートカットの作成	161
タッチスクリーンによる FTP ショートカットの作成	162
FTP アドレスへのスキャン	162
タッチスクリーンによる FTP アドレスへのスキャン	162
ショートカット番号による FTP アドレスへのスキャン	162
アドレスブックによる FTP アドレスへのスキャン	163
FTP オプションの説明	163
FTP	163
ファイル名	163

オリジナルサイズ.....	163
送信形式	163
カラー	164
解像度	164
濃さ	164
ページ設定.....	164
内容	164
スキャンプレビュー	165
拡張オプション	165
14—コンピュータまたはフラッシュドライバへのスキャン	166
コンピュータへのスキャン.....	166
フラッシュドライバへのスキャン	167
Scan Center 機能の説明	167
ScanBack ユーティリティの利用.....	168
スキャンプロファイルオプションの説明	168
オリジナルサイズ.....	168
解像度	169
カラー	169
内容	169
濃さ	169
ページ設定.....	170
スキャンプレビュー	170
拡張オプション	170
15—プリンタメニュー	171
メニュー一覧	171
消耗品（Supplies）メニュー.....	173
用紙（Paper）メニュー	176
標準設定給紙源（Default Source）メニュー.....	176
用紙サイズ/タイプ（Paper Size/Type）メニュー	177
多目的フィード設定（Configure MP）メニュー	181

代替サイズ (Substitute Size) メニュー	182
用紙の重さ (Paper Weight menu) メニュー	183
用紙セット方法 (Paper Loading) メニュー	186
カスタムタイプ (Custom Types) メニュー	188
カスタム名 (Custom Names) メニュー	188
カスタムスキャンサイズ (Custom Scan Sizes) メニュー	189
ユニバーサル設定 (Universal Setup menu) メニュー	190
レポート (Reports) メニュー	191
レポート (Reports) メニュー	191
ネットワーク/ポート (Network/Ports) メニュー	192
アクティブ NIC (Active NIC) メニュー	192
標準ネットワークまたはネットワーク [x] (Standard Network or Network [x]) メニュー ..	192
ネットワークレポート (Network Reports) メニュー	195
ネットワークカード (Network Card) メニュー	195
TCP/IP メニュー	196
IPv6 メニュー	198
ワイヤレス (Wireless) メニュー	199
AppleTalk メニュー	201
標準 USB (Standard USB) メニュー	202
パラレル [x] (Parallel [x]) メニュー	205
シリアル [x] (Serial [x]) メニュー	208
SMTP 設定 (SMTP Setup) メニュー	211
セキュリティ (Security) メニュー	213
セキュリティ設定の編集 (Editing Security Setups) メニュー	213
その他のセキュリティ設定 (Miscellaneous Security Settings) メニュー	214
コンフィデンシャル印刷 (Confidential Print) メニュー	216
ディスク消去 (Disk Wiping) メニュー	217
セキュリティ監査ログ (Security Audit Log) メニュー	220
日付と時間を設定 (Set Date and Time) メニュー	222
設定 (Settings) メニュー	224

一般設定 (General Settings) メニュー	224
コピー設定 (Copy Settings) メニュー	236
FAX 設定 (FAX Settings) メニュー	243
E メール設定 (E-mail Settings) メニュー	263
FTP 設定 (FTP Settings) メニュー	271
フラッシュドライブ (Flash Drive) メニュー	278
印刷設定 (Print Settings)	287
ヘルプ (Help) メニュー	309
16—プリンタを移動する前にメモリのセキュリティを確保する	311
蓄積された情報管理に関する仕様:.....	311
揮発性メモリを消去する	312
不揮発性メモリを消去する	312
プリンタのハードディスクメモリを消去する	312
プリンタハードディスクの暗号化を設定する	313
17—プリンタのメンテナンス	315
プリンタの外側を清掃する	315
原稿台ガラスを清掃する	315
ADF 部品を清掃する	316
プリントヘッドレンズを清掃する	317
消耗品の保管	320
消耗品の状況の確認	320
プリンタの操作パネルから消耗品の状況を確認する	320
ネットワークコンピュータから消耗品の状況を確認する	320
消耗品の注文	321
トナーカートリッジを注文する	321
イメージングユニットを注文する	321
フューザーおよび転写モジュールを注文する	322
廃トナーボトルを注文する	322
消耗品の交換	323
イメージングユニットを交換する	323

トナーカートリッジを交換する	325
廃トナーボトルを交換する	327
プリンタの移動	328
プリンタを移動する前に	328
プリンタを別の場所に移動する	329
プリンタの輸送	329
18—管理サポート	330
ネットワーク構築および管理に関する詳細情報の入手	330
内蔵 WEB サーバ(EWS)を使用する	330
仮想ディスプレイを確認する	330
プリンタの状況を確認する	331
E メール警告を設定する	331
レポートの表示	332
出荷時標準設定を復元する	332
19—紙づまりの除去	333
紙づまりの防止	333
紙づまりの番号と位置を理解する	334
200 紙づまり	335
201 紙づまり	335
203 紙づまり	337
230 紙づまり	337
231–239 紙づまり	338
24x 紙づまり	339
トレイ 1 の紙づまり	339
オプショントレイの紙づまり	340
250 紙づまり	341
280–289 紙づまり	342
290–292 紙づまり	342
290 紙づまり	342
291 紙づまり	342

292 紙づまり	343
451 紙づまり	343
20—困ったときには	344
プリンタの基本的な問題に対処する	344
プリンタのメッセージを理解する	344
カラー調整	344
USB ドライブでエラーが発生しました。ドライブを取り外して挿し込み直してください。 ..	344
[給紙源 (paper source)]を[カスタムタイプ名 (custom type name)]に変更	344
[給紙源 (paper source)] に [カスタムタイプ名 (custom type name)][用紙の向き (orientation)]をセット	345
[給紙源 (paper source)] を [カスタムの文字列 (custom string)]に変更	345
[給紙源 (paper source)] に [カスタムの文字列 (custom string)][用紙の向き(orientation)]をセ	
ット	345
[給紙源 (paper source)]を[用紙サイズ (paper size)][用紙タイプ(paper type)]に変更	346
[給紙源 (paper source)] に [用紙サイズ (paper size)][用紙タイプ(paper type)][用紙の向き (orientation)]をセット	346
[トレイ(tray)] ドアを閉じる	346
前面または側面ドアを閉じる	346
ディスクが破損しています	346
ディスクがほとんど満杯。 安全にディスク領域をクリア中	346
ディスクの問題	347
USB ドライブの読み取りエラーです。USB を取り外してください。	347
トレイ[x]を挿入	347
トレイ[x]を取り付け	347
[給紙源(src)]に[カスタムタイプ名 (custom type name)]をセット	347
[給紙源(src)]に[カスタムの文字列 (custom string)]をセット	348
[給紙源(src)]に[サイズ (size)]をセット	348
[給紙源(src)]に[タイプ (type)][サイズ (size)]をセット	348
手差しフィーダに[カスタムタイプ名 (custom type name)]をセット	348
手差しフィーダに下記をセット[カスタムの文字列 (custom string)]	349
手差しフィーダに下記をセット[用紙サイズ (paper size)]	349
手差しフィーダに下記をセット[用紙タイプ(paper type)][用紙サイズ (paper size)]	349

用紙変更が必要	350
標準排紙トレイから用紙を取り除いてください	350
セパレータ パッドを交換	350
保存されたジョブを復元しますか？	350
いくつかの保留ジョブは復元することができませんでした	350
ジョブを終了するには消耗品が必要	350
トレイ[x]の用紙サイズはサポートしていません	350
サポートされていないディスク	350
1565 エミュレーションエラー、オプションを読み込む	350
30.xx [color]カートリッジ/[color]イメージングユニットなし。	351
31.xx [color]カートリッジ無し もしくは不良	351
32.xx デバイスによってサポートされない[color]カートリッジ部品番号	351
34 誤った用紙サイズ、開く：[給紙源(src)]	351
35 リソース保存機能を使うにはメモリ不足です	352
36 プリンタ修理が必要	352
37：丁合印刷にはメモリ不足です	352
37 フラッシュメモリのデフラグにはメモリ不足です	352
37 メモリ不足。保留ジョブがいくつか削除されました	352
37 メモリ不足、いくつかの保存ジョブの復元不可	352
38 メモリフル	353
39 ページが複雑。一部のデータが印刷されない可能性があります。	353
51 フラッシュメモリ不良	353
52 リソース用のフラッシュメモリの空き容量が足りません	353
53 未フォーマットフラッシュメモリ検出	353
54 シリアルオプション[x]エラー	353
54 標準ネットワーク ソフトウェアエラー	354
54 ネットワーク[x]ソフトウェアエラー	354
55 スロット[x]にサポートされていないオプション	354
56 パラレルポート[x]が無効です	354
56 シリアルポート[x]が無効です	355

56 標準パラレルポートが無効	355
56 標準 USB ポートが無効です	355
56 USB ポート[x]が無効です	355
57 構成設定変更。保留ジョブがいくつか復元されません	355
58 給紙構成設定エラー	356
58 取付けられたディスクが多過ぎます	356
58 フラッシュオブションが多過ぎます	356
58 取付けられたトレイが多過ぎます	356
61 故障したハードディスクを取り外してください	357
62 ディスクがいっぱいです	357
80.xx フューザー寿命警告	357
80.xx フューザー寿命警告	357
80.xx フューザーを交換	357
80.xx フューザーがありません	357
82.xx 廃トナーボトルを交換	357
82.xx 廃トナーボトルほぼ満杯	358
83.xx 転写ユニット寿命警告	358
83.xx 転写モジュール未装着	358
83.xx 転写モジュールを交換	358
84 [color]イメージングユニット不良	358
84.xx [color]イメージングユニットほぼ残り僅か	358
84.xx [color]イメージングユニット残り僅か	358
84.xx [color]感光体および[color]カートリッジを交換する	359
84 サポートされていない[color]イメージングユニット	359
88.xx [color]カートリッジほぼ残り僅か	359
88.xx [color]カートリッジ残り僅か	359
88.2x [color]カートリッジ交換	359
印刷時の問題に対処する	360
複数言語の PDF ファイルを印刷できない	360
プリンタの操作パネルのディスプレイに何も表示されない、または Lexmark のロゴのみが表示される	360

USB ドライブの読み込みに関するエラーメッセージが表示される	360
印刷ジョブが印刷されない	360
コンフィデンシャルまたはその他の保持ジョブが印刷されない	361
印刷ジョブにかかる時間が予定より長い	362
ジョブが誤ったトレイまたは用紙で印刷される	362
誤った文字が印刷される	362
トレイのリンクが機能していない	363
大きなジョブが丁合印刷されない	363
突然ページの破損が発生する	363
コピーの問題に対処する	364
コピー機が反応しない	364
スキャナユニットが閉まらない	364
コピー品質が悪い	364
文書または写真の一部しかコピーされない	366
スキャナの問題に対処する	367
反応しないスキャナをチェックする	367
うまくスキャンできない	367
スキャンに時間がかかり過ぎる、またはコンピュータがフリーズする	367
スキャンされたイメージの質が悪い	368
文書または写真の一部しかスキャンされない	368
コンピュータからスキャンできない	369
FAX の問題に対処する	369
FAX および E メール機能がセットアップされていない	369
発信者 ID が表示されない	369
FAX を送受信できない	370
FAX を送信できるが受信できない	371
FAX を受信できるが送信できない	372
受信した FAX の印刷品質が悪い	373
ホーム画面のアプリケーションの問題に対処する	374
アプリケーションエラーが発生した場合	374

オプションの問題に対処する	375
オプションが正しく動作しない、またはインストール後に中断する	375
用紙トレイの問題	375
フラッシュメモリカードを検知できない	376
プリンタのハードディスクを検知できない	376
内蔵ソリューションポートが正しく動作しない	376
内部プリントサーバが正しく動作しない	376
メモリカード	377
USB／パラレルインターフェイスカードが正しく動作しない	377
給紙の問題に対処する	377
用紙が頻繁につまる	377
紙づまりを取り除いても紙づまりのメッセージが消えない	378
紙づまりしたページが再印刷されない	378
印刷品質の問題に対処する	378
文字がぎざぎざになっている、または縁が不ぞろいである	378
イメージが途切れている	378
カラーページに細い横線が出る	379
背景が灰色になる	379
マージンが正しくない	380
印刷に明るい色、白、または不適切な色の線が出る	380
用紙が丸まる	381
印刷のむら	381
印刷が濃過ぎる	382
印刷が薄過ぎる	383
何も印刷されないページがある	385
ページで異常を繰り返す	385
印刷に影が入る	386
印刷が曲がっている	387
ページがべた一色になる	387
印刷に縞状の横線が出る	388

印刷に縞状の縦線が出る	388
ページにトナーかぶりまたは背景のむらが出る	389
トナーが薄い	390
トナーのしみ	390
OHP フィルムの印刷品質が悪い	390
印刷にむらがある	391
カラー品質の問題に対処する	391
カラー印刷についてのよくある質問	391
内蔵 WEB サーバ(EWS)が開かない場合	395
ネットワーク接続をチェックする	395
ウェブブラウザに入力されたアドレスをチェックしてください。	395
一時的にウェブプロキシサーバをオフにする	395
カスタマーサポートへの問い合わせ	395
21—通知事項	397
製品情報	397
改訂通知	397
米国政府のエンドユーザー	397
商標	398
アメリカ連邦通信委員会（FCC）規則に関する準拠情報宣言	398
モジュラーコンポーネントに関する通知	399
ライセンスに関する通知	399
騒音発生レベル	399
廃棄電気・電気機器（WEEE）指令	399
製品の廃棄	400
静電気の発生について	400
ENERGY STAR（国際エネルギースター）	400
温度に関する情報	400
レーザーについて	400
電力消費	401
製品の消費電力	401

スリープモード	401
オフモード	402
総消費電力量	402
カナダ産業省の規格に関する準拠宣言	402
Avis de conformité aux normes de l'industrie du Canada	402
欧州共同体（EC）指令に関する準拠宣言	402
電源に関する警告	402
電波障害自主規制について	403
米国で電話回線をお使いのお客様へ: FCC 要件	403
カナダで電話回線をお使いのお客様へ	404
Avis réservé aux utilisateurs du réseau téléphonique du Canada	404
ニュージーランドで電話回線をお使いのお客様へ	405
スイス国内での本製品の使用について	405
Utilisation de ce produit en Suisse	405
Verwendung dieses Produkts in der Schweiz	406
Uso del prodotto in Svizzera	406
欧州連合（EU）のユーザーへの通知	406
ワイヤレス製品の規制に関する通知	406
高周波エネルギーの放射に対する被爆	406
カナダ産業省（カナダ）	407
カナダ産業省（カナダ）	407
欧州連合(EU)のユーザーに対する通知	407
限定保証の説明	410
Lexmark International, Inc.、ケンタッキー州レキシントン	410
限定保証	410
限定保証サービス	410
限定保証の範囲	411
責任制限	411
追加的な権利	412
LEXMARK ソフトウェア限定保証およびライセンス契約	412
LEXMARK ソフトウェアライセンス契約	412

MICROSOFT CORPORATION の通知	415
ADOBE SYSTEMS INCORPORATED の通知	416
特許の承認	416
複写・印刷内容に関するご注意	416

1—安全に関する情報

電源コードは、本製品の近くにあって抜き差しがしやすい、適切にアースされたコンセントに接続してください。

本製品を水に濡れる恐れのある場所に置いたり、そのような場所で使用しないでください。

本製品では、印刷処理で印刷用紙を加熱するため、この熱が原因で用紙から有害大気汚染物質が発生する可能性があります。操作説明書に記載されている、用紙選択時のガイドラインのセクションをよく読んで、有害大気汚染物質が放出されないようにしてください。



注意—ケガの恐れあり：本製品に搭載されているリチウム電池は、交換できません。本製品に搭載されているリチウム電池を不適切に交換した場合、破裂する危険があります。リチウム電池の充電、分解、焼却はしないでください。使用済みのリチウム電池を廃棄する際は、製造元の指示とお使いの地域の法律に従ってください。



注意—表面は高温です：プリンタの内部は高温になっている場合があります。高温になったコンポーネントで火傷などを負わないように、表面が冷えてから触れてください。



注意—ケガの恐れあり：プリンタの重量は 18 kg（40 ポンド）以上あるため、安全に持ち上げるには訓練を受けた人が 2 名以上必要です。



注意—ケガの恐れあり：プリンタを移動する前に、ケガやプリンタの破損を避けるため、以下のガイドラインに従ってください。

- プリンタの電源スイッチをオフにしてから、電源コードをコンセントから抜きます。
- プリンタを移動する前に、コードやケーブルをすべてプリンタから取り外します。
- プリンタを持ち上げてオプションカセットから取り外し、横に置きます。カセットとプリンタは同時に持ち上げないでください。

メモ：プリンタの両側および背面にある取っ手に手をかけて持ち上げ、オプションカセットから取り外します。

本製品に付属する電源コードか、製造元が代替品として認可した電源コードを必ず使用してください。



注意—ケガの恐れあり：発火の危険を減らすために、本製品を電話回線に接続するときは、26 AWG またはそれ以上の UL 認定品のコードを必ず使用してください。



注意—感電の恐れあり：プリンタの設置後に、システムボードにアクセスする場合や、オプションのハードウェアやメモリデバイスを取り付ける場合は、作業の前にプリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。プリンタにその他のデバイスを接続している場合は、そのデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜いてください。



注意—感電の恐れあり：イーサネットや電話線の接続など、外部接続がすべて表示どおりのポートに正しく接続されていることを確認してください。

本製品は、特定の製造元のコンポーネントとともに使用した場合に、世界各国の厳しい安全基準を満たすよう設計、テスト、承認されています。一部の部品の安全機能は、詳細が開示されていない場合があります。製造元は、指定外の交換部品の使用については責任を負わないものとします。

 **注意—ケガの恐れあり：**電源コードを切断したり、結んだり、束ねたり、傷を付けたりしないでください。また、電源コードの上に重いものを置いたりしないでください。電源コードがこすれたり、引っ張られたりする状態で使用しないでください。電源コードを家具や壁などの間に挟まないでください。以上のことを守らないと、火災や感電の原因になる恐れがあります。電源コードに以上のような問題がないか、定期的に確認してください。確認の前には、電源コードをコンセントから抜いてください。

取扱説明書に記載されていないサービスまたは修理については、専門のサービス担当者にお問い合わせください。

 **注意—感電の恐れあり：**プリンタの外部を清掃する際には、感電のリスクを避けるため、コンセントから電源コードを抜き、プリンタに接続されているすべてのケーブルを外してから作業を行ってください。

 **注意—感電の恐れあり：**雷雨時には、FAX 機能を使用しないでください。雷雨時には、本製品のセットアップや、FAX、電源コード、電話など、電気的な接続を行わないでください。

 **注意—転倒の恐れあり：**本製品を床面に設置する場合は、安定させるために追加の備品が必要です。大容量給紙トレイ、両面印刷ユニット、および 1 つ以上の給紙オプションを使用している場合は、プリンタのスタンドまたはベースを使用する必要があります。スキャン、コピー、および FAX 機能を持つプリンタ複合機（MFP）を購入した場合は、追加の備品が必要になることがあります。詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。

 **注意—ケガの恐れあり：**本機が不安定にならないように、用紙カセットや用紙トレイは個別にセットしてください。その他のカセットやトレイは必要がない限り、すべて閉じたままの状態にしてください。

この手引きを大切に保管してください。

2—本機について

プリンタの情報とその入手先

必要な情報	入手先
初期セットアップの手順: - プリンタの接続 - プリンタソフトウェアのインストール	セットアップマニュアル—セットアップマニュアルはプリンタに付属しています。また、弊社の Web サイト (http://support.lexmark.com) から入手できます。
追加のセットアップとプリンタの使用手順: - 用紙および特殊用紙の選択と保管 - 用紙のセット - プリンタ設定の構成 - ドキュメントや写真の表示と印刷 - プリンタソフトウェアのセットアップと使用 - ネットワークに接続されたプリンタの構成 - プリンタのお手入れとメンテナンス - 問題のトラブルシューティングと解決	『ユーザーズガイド』と『クイックリファレンスガイド』—各ガイドは『ソフトウェアおよびマニュアル CD』に収録されています。 詳細については、弊社の Web サイト (http://support.lexmark.com) で確認してください。
手順: - イーサネットでのネットワークへのプリンタの接続 - プリンタの接続に関する問題のトラブルシューティング	『ネットワークガイド』—『ソフトウェアおよびマニュアル CD』を開いて、[Pubs (文書)] フォルダの [Printer and Software Documentation (プリンタおよびソフトウェアマニュアル)] を確認します。文書のリストから、[Networking Guide (ネットワークガイド)] リンクをクリックします。
プリンタソフトウェアのヘルプ	Windows または Mac のヘルプ—プリンタソフトウェアのプログラムまたはアプリケーションを開いて、[Help (ヘルプ)] をクリックします。 状況に応じた情報を表示するには、 をクリックします。 メモ: - ヘルプは、プリンタソフトウェアとともに自動的にインストールされます。 - プリンタソフトウェアのインストール先は、お使いのオペレーティングシステムによって、プリンタのプログラムフォルダまたはデスクトップのどちらかになります。

必要な情報	入手先
最新の補足情報、更新、および技術サポート： • マニュアル • ドライバのダウンロード • ライブチャットによるサポート • E メールによるサポート • 電話によるサポート	Lexmark サポート用 Web サイト— http://support.lexmark.com メモ： 該当する地域と製品を選択すると、適切なサポートサイトが表示されます。 お住まいの地域または国にあるサポート窓口の電話番号と受付時間は、サポート用 Web サイトかプリンタに付属の保証書に記載されています。 迅速に対処できるようにするため、サポート窓口にお問い合わせの際は、あらかじめ以下の情報を用意してください。各情報は、販売店の領収書やプリンタの背面に記載されています。 • 機種番号 • シリアル番号 • ご購入日 • 購入店
保証に関する情報	保証に関する情報は国または地域によって、次のように異なります。 • 米国—このプリンタに付属の限定保証規定（または、http://support.lexmark.com で公開されている限定保証規定）を参照してください。 • 米国以外—このプリンタに付属の保証書を参照してください。

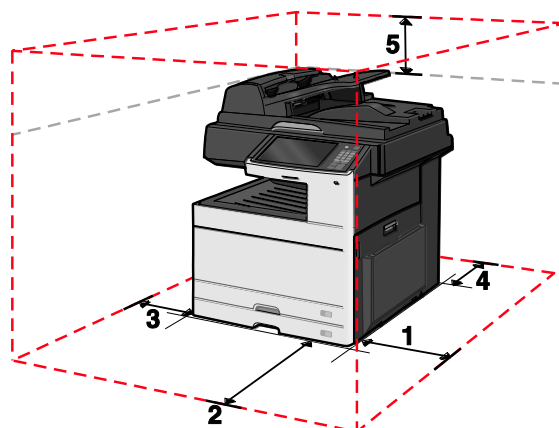
プリンタの設置場所を選ぶ

 **注意—ケガの恐れあり：** プリンタの重量は 18 kg（40 ポンド）以上あるため、安全に持ち上げるには訓練を受けた人が 2 名以上必要です。

プリンタの設置場所を選ぶときは、トレイ、カバー、ドアを開くための十分なスペースがあることを確認します。オプションを取り付ける予定がある場合は、そのスペースも考慮します。以下の点が重要です。

- 室内の空気の流れが最新版の ASHRAE 62 基準または CEN Technical Committee 156 基準を満たしていることを確認します。
- 設置面が平らかつ丈夫で、安定していることを確認します。
- プリンタを以下の状態に保ちます。
 - エアコン、ヒーター、換気装置の風が直接当たらないようにする。
 - 直射日光、極度の湿気、激しい気温の変動を避ける。

- 清潔で乾燥した、ほこりのない状態にする。
- 適切な通気を保つために、プリンタの周囲に以下のスペースを確保することをお勧めします。



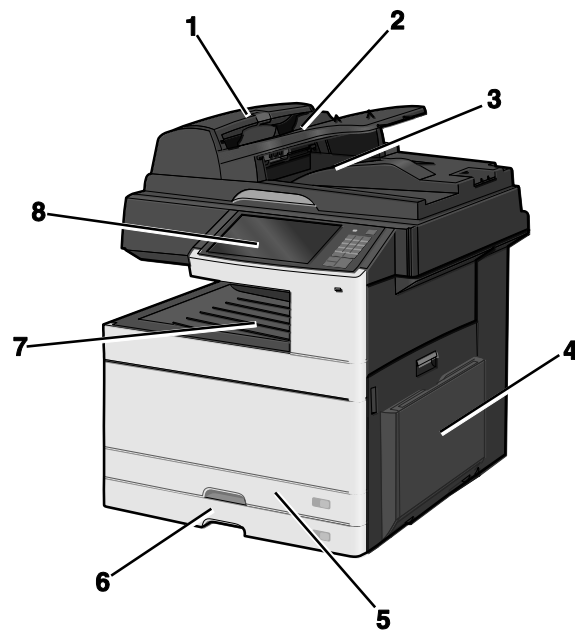
1	348 mm (13.7 インチ)
2	609.6 mm (24 インチ)
3	100 mm (3.94 インチ)
4	100 mm (3.94 インチ)
5	285 mm (11.22 インチ)

プリンタの構成

基本構成のモデル

メモ:

- プリンタスタンドは、キャスターベースに転用できるキャビネットです。
- プリンタスタンドを使用する場合は、プリンタで利用できるオプションの 550 枚トレイは 1 つだけです。
- キャスターベースを使用する場合は、プリンタでオプションの 550 枚トレイを最大 3 つ使用できます。



1	自動原稿フィーダ（ADF）
2	ADF 給紙トレイ
3	ADF 排紙トレイ
4	多目的フィーダ
5	標準の 150 枚トレイ（トレイ 1）
6	標準の 250 枚トレイ（トレイ 2）
7	標準の排紙トレイ
8	プリンタ操作パネル

カスタマイズ構成のモデル



注意—転倒の恐れあり：本製品を床に設置する場合は、安定させるために追加のファニチャが必要です。大容量給紙トレイ、両面印刷ユニット、および 1 つ以上の給紙オプションを使用している場合は、プリンタのスタンドまたはベースを使用する必要があります。スキャン、コピー、および FAX 機能を持つプリンタ複合機（MFP）を購入した場合は、追加の備品が必要になることがあります。詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。



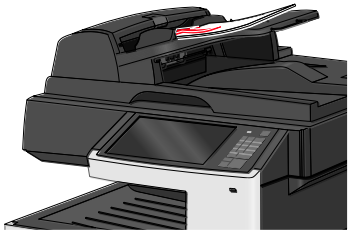
9	オプションの 550 枚トレイ
10	キャスターベース（プリンタスタンドから転用）
11	プリンタスタンド

スキャナの基本機能

本機のスキャナは、大規模ワークグループ向けのコピー、FAX、およびネットワークスキャン機能を備えています。次のような処理が可能です。

- そのままコピー（クイックコピー）する、またはプリンタ操作パネルで設定を変更して、特定のコピー処理を実行する。
- プリンタ操作パネルを使用して、FAX を送信する。
- 同時に複数の FAX 送信先に FAX を送信する。
- 原稿をスキャンして、お使いのコンピュータ、E メールアドレス、フラッシュドライブ、FTP サーバなどに送信する。
- 原稿をスキャンして、別のプリンタに送信する（PDF 形式で FTP 経由）。

自動原稿フィーダ(ADF) と原稿台ガラス

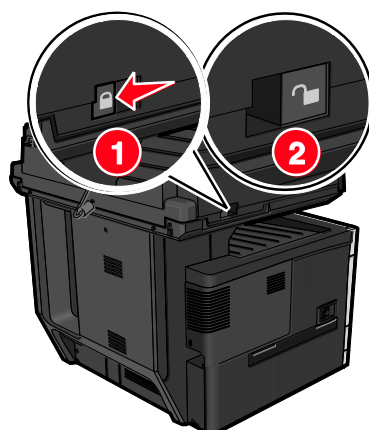
自動原稿フィーダ (ADF)	原稿台ガラス
 両面印刷ページも含む、複数ページの原稿は、ADF にセットします。	 1 枚の原稿や書籍のページ、はがきや写真などのサイズの小さなもの、OHP フィルム、フォト用紙、雑誌の切り抜きなどの薄いものは、原稿台ガラスにセットします。

ADF を使用する

- ADF の用紙アイコンが示すように、スキャンする面を上にして原稿を ADF にセットします。
- ADF 給紙トレイには、最大 100 枚の普通紙をセットできます。
- スキャンサイズは、76.2 x 139.7 mm (3.0 x 5.5 インチ) から 296.9 x 431.8 mm (11.69 x 17 インチ) です。
- 用紙サイズ (A4 と B4) が混在している原稿もスキャンできます。
- 重さ 64~120 g/m² (16~32 ポンド) の用紙をスキャンできます。
- はがき、写真、サイズの小さなもの、OHP フィルム、フォト用紙、雑誌の切り抜きなどの薄いものは、ADF にセットしないでください。このような原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

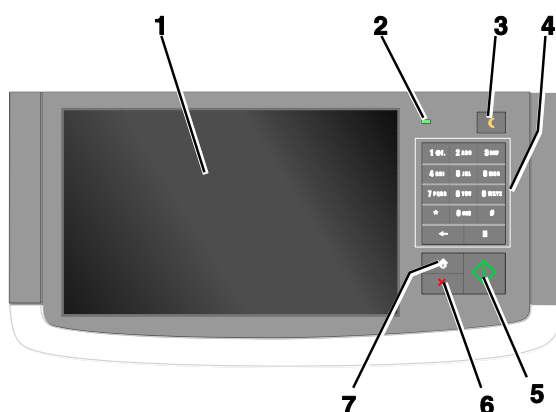
原稿台ガラスを使用する

- ロックボタンを左にスライドさせて、原稿台ガラスのロックを解除します。



- スキャンする面を下にして原稿を原稿台ガラスの左上隅にセットします。
- スキャンまたはコピーできる原稿のサイズは、296.9 x 431.8 mm（11.69 x 17 インチ）までです。
- コピーできる書籍の厚さは、25.4 mm（1 インチ）までです。

プリンタ 操作パネルについて



操作パネルの項目		説明
1	画面	プリンタの状態が表示され、プリンタのセットアップや操作を実行できます。
2	インジケータライト	• 消灯—プリンタの電源がオフの状態。 • 緑色に点滅—プリンタが準備中、データ処理中、または印刷中の状態。 • 緑色に点灯—プリンタの電源はオンになっているが、待機中の状態。 • 赤色に点滅—プリンタがユーザーの操作を必要としている状態。

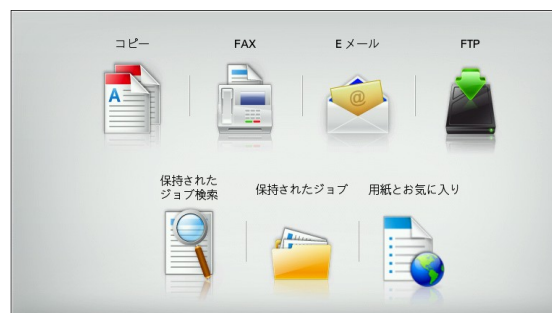
操作パネルの項目		説明
3	スリープ	スリープモードまたは休止モードを有効にします。 以下に、インジケータライトとスリープボタンの状態について説明します。 - スリープモードに移行またはスリープモードから復帰—インジケータライトは緑色に点灯し、スリープボタンは消灯している状態。 - スリープモードで動作中—インジケータライトは緑色に点灯し、スリープボタンは黄色に点灯している状態。 - 休止モードに移行または休止モードから復帰—インジケータライトは緑色に点灯し、スリープボタンは黄色に点滅している状態。 - 休止モードで動作中—インジケータライトは消灯し、スリープボタンは 0.1 秒間、黄色に点滅してから、1.9 秒間、消灯するというパターンを繰り返す状態。 以下の操作を実行すると、プリンタはスリープモードから復帰します。 - 画面をタッチするか、いずれかのハードウェアボタンを押したとき。 - 給紙トレイ、カバー、またはドアを開いたとき。 - コンピュータから印刷ジョブを送信したとき。 - 主電源スイッチでパワーオンリセット（POR）を実行したとき。
4	キーパッド	数字、文字、記号などを入力できます。
5	送信	プリンタ設定の変更内容を送信します。
6	ストップ/キャンセル	プリンタの動作をすべて停止します。 メモ: ディスプレイに ［停止中 (Stopped)］ が表示されてから、オプションのリストが表示されます。
7	ホーム	ホーム画面に戻ります。

3—ホーム画面について

ホーム画面について

プリンタの電源をオンにすると、ディスプレイに「ホーム画面」と呼ばれる基本画面が表示されます。ホーム画面に用意されているボタンやアイコンをタッチすることで、コピーや FAX、スキャンといった機能を開始したり、メニュー画面を開いたり、メッセージに応答したりします。

メモ：実際のホーム画面に表示されるアイコンやボタンは、ユーザーによるホーム画面のカスタマイズ設定、管理者によるセットアップ、有効な内蔵ソリューションなどに応じて異なる可能性があります。



タッチ	目的
[コピー (Copy)]	[コピー (Copy)] メニューにアクセスして、コピー機能を使用します。
[E メール (E-mail)]	[E メール (E-mail)] メニューにアクセスして、E メールを送信します。
[FAX (FAX)]	[FAX (FAX)] メニューにアクセスして、FAX を送信します。
	プリンタのメニューにアクセスします。 メモ： 各メニューを使用できるのは、プリンタが レディ (Ready) 状態である場合に限定されます。
[FTP]	[FTP (ファイル転送プロトコル)] メニューにアクセスして、スキャンしたドキュメントを直接、FTP サーバに送信します。
[状況 (Status)] メッセージバー	- プリンタの現在の状況 (レディ (Ready) または ビジー (Busy)) が表示されます。 - プリンタの状況 (トナーの残量が少ない (Toner Low) (または トナーカートリッジの残量が少ない (Cartridge Low)) が表示されます。 - プリンタで処理を続行するのに必要な操作についてのメッセージが表示されます。

タッチ	目的
[状況/消耗品 (Status/Supplies)]	- プリンタで処理を続行するのに操作が必要な場合に、警告またはエラーメッセージが表示されます。 - メッセージの詳細と、そのメッセージを消去する方法を確認するには、メッセージ画面にアクセスします。
[USB] または [USB サムドライブ (USB Thumbdrive)]	フラッシュドライブ上の写真やドキュメントの表示、選択、印刷、スキャン、Eメール送信といった操作を行います。 メモ: このボタンが表示されるのは、メモ리카ードやフラッシュドライブがプリンタに接続されている状態で、ホーム画面に戻った場合に限定されます。
[ブックマーク (Bookmarks)]	ツリー表示のフォルダやファイルリンクとして、一連のブックマーク (URL) の作成、整理、および保存を行います。 メモ: ツリー表示でサポートしているのは、他のアプリケーションではなく、この機能で作成したブックマークに限定されます。
[保持されたジョブ (Held Jobs)]	現在保持されているジョブがすべて表示されます。

このほかにも、設定によっては、ホーム画面には次のようなボタンも表示されます。

タッチ	目的
[保持されたジョブ検索 (Search held jobs)]	以下のいずれかの項目を検索します。 - 保留ジョブまたはコンフィデンシャル印刷ジョブのユーザー名 - コンフィデンシャル印刷ジョブを除く、保留ジョブのジョブ名 - プロファイル名 - ブックマークフォルダまたは印刷ジョブ名 - サポートされているファイルタイプの USB フォルダまたは印刷ジョブ名
[保留 FAX のリリース (Release Held FAX)]	保留 FAX のリストにアクセスします。 メモ: このボタンが表示されるのは、スケジュール保留時間が事前に設定された保留 FAX がある場合に限定されます。
[デバイスのロック (Lock Device)]	パスワード入力画面を開きます。プリンタ操作パネルをロックする適切なパスワードを入力します。 メモ: このボタンが表示されるのは、プリンタのロックが解除されている状態で、パスワードが設定されている場合に限定されます。

タッチ	目的
[デバイスのロック解除 (Unlock Device)]	パスワード入力画面を開きます。プリンタ操作パネルをロック解除する適切なパスワードを入力します。 メモ: このボタンが表示されるのは、プリンタがロックされている場合に限定されます。このボタンが表示されている間は、プリンタ操作パネルのボタンやショートカットは使用できません。
[ジョブをキャンセル (Cancel Jobs)]	[ジョブをキャンセル (Cancel Jobs)] 画面を開きます。 [ジョブをキャンセル (Cancel Jobs)] 画面には、 [印刷する (Print)] 、 [FAX (FAX)] 、 および [ネットワーク (Network)] という 3 つのセクションが表示されます。 [印刷する (Print)] 、 [FAX (FAX)] 、 および [ネットワーク (Network)] の各セクションには、以下のオプションが用意されています。 • [印刷ジョブ (Print job)] • [コピージョブ (Copy job)] • [FAX プロファイル (FAX profile)] • [FTP] • [E メール送信 (E-mail send)] 各セクションには、ジョブのリストが列として表示されます。画面に表示されるジョブの数は 3 つだけです。列のジョブの数が 3 つよりも多い場合は、矢印が表示されます。この矢印でスクロールして、ジョブを表示できます。
[言語を変更 (Change Language)]	[言語を変更 (Change Language)] ポップアップウィンドウが開きます。このウィンドウでは、プリンタの言語設定を変更できます。

タッチスクリーンのボタンを使用する

メモ: 実際のホーム画面に表示されるアイコンやボタンは、ユーザーによるホーム画面のカスタマイズ設定や管理者によるセットアップなどに応じて異なる可能性があります。

タッチスクリーンのサンプル



タッチ	目的
[送信 (Submit)]	プリンタ設定の変更内容を送信します。
[サンプルコピー (Sample Copy)]	サンプルコピーを印刷します。
[右矢印 (Right arrow)] 	右方向にスクロールします。
[左矢印 (Left arrow)] 	左方向にスクロールします。
[ホーム (Home)] 	ホーム画面に戻ります。
[右加算 (Right increase)] 	さらに大きい値を選択します。
[左減算 (Left decrease)] 	さらに小さい値を選択します。
[終了 (Exit)] 	現在の画面を終了します。
[ヒント (Tips)] 	タッチスクリーンで、状況に応じたヘルプのダイアログを開きます。

タッチスクリーンのその他のボタン

タッチ	目的
[承諾 (Accept)] 	設定を保存します。
[キャンセル (Cancel)] 	- 操作や選択をキャンセルします。 - 画面を終了して、変更内容を保存せずに、元の画面に戻ります。
[リセット (Reset)] 	画面の値をリセットします。
[ラジオボタン (Radio)] 	項目を選択または選択解除します。

機能

機能	説明
メニュー トレイルライン: [メニュー (Menus)] > [設定 (Settings)] > [コピー設定 (Copy Settings)] > [コピー部数 (Number of Copies)]	メニュー トレイルラインは、各メニュー画面の上部に配置されています。この機能は、現在のメニューに至るまでに選択したメニューのパスを表示します。 下線付きのいずれかの単語をタッチすると、そのメニューに移動します。 [コピー部数 (Number of Copies)] は現在の画面であるので、下線付きで表示されていません。[コピー部数 (Number of Copies)] の設定を保存する前に、[コピー部数 (Number of Copies)] 画面で下線付きの単語をタッチした場合、選択内容は保存されず、標準設定にはなりません。
注意メッセージ通知 (Attendance message alert) 	機能と関連がある注意メッセージの場合、このアイコンが表示され、赤色のインジケータライトが点滅します。
警告 (Warning) 	エラー状況が発生した場合、このアイコンが表示されます。

4—ホーム画面のアプリケーションをセットアップして使用する

メモ:

- 実際のホーム画面に表示されるアイコンやボタンは、ユーザーによるホーム画面のカスタマイズ設定、管理者によるセットアップ、有効な内蔵アプリケーションなどに応じて異なる可能性があります。一部のアプリケーションは、特定のプリンタモデルでのみサポートされています。
- ご購入時には、利用可能なソリューションやアプリケーションが追加されている場合があります。

プリンタの IP アドレスを確認する

メモ: お使いのプリンタがネットワークまたはプリントサーバに接続していることを確認します。

プリンタの IP アドレスは、以下の部分で確認できます。

- プリンタのホーム画面の左上隅
- [ネットワーク/ポート (Network/Ports)] メニューの [TCP/IP] セクション
- 印刷したネットワークセットアップページまたはメニュー設定ページの [TCP/IP] セクション

メモ: IP アドレスは、123. 123. 123. 123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

内蔵 WEB サーバ(EWS)にアクセスする

内蔵 WEB サーバ(EWS)は、プリンタの Web ページとして提供されています。この Web ページを使用すると、ユーザーの環境がプリンタの設置場所から離れている場合でも、プリンタの設定を確認して構成できます。

1. プリンタの IP アドレスを以下の部分で確認します。

- プリンタ操作パネルのホーム画面。
- [ネットワーク/ポート (Network/Ports)] メニューの [TCP/IP] セクション
- 印刷したネットワークセットアップページまたはメニュー設定ページの [TCP/IP] セクション

メモ: IP アドレスは、123. 123. 123. 123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

2. Web ブラウザを開いて、プリンタの IP アドレスをアドレスフィールドに入力します。

3. **Enter** キーを押します。

メモ: プロキシサーバを使用している場合は、Web ページを適切にロードするため、そのプロキシサーバの使用を一時的に無効にしてください。

ホーム画面のアイコンの表示/非表示を切り替える

1. 内蔵 WEB サーバ(EWS)から、[設定 (Settings)] > [一般設定 (General Settings)] > [ホーム画面のカスタマイズ (Home screen customization)] をクリックします。

プリンタの基本機能のリストが表示されます。

2. 各機能のチェックボックスをオンにして、プリンタのホーム画面に表示するアイコンを指定します。

チェックボックスをオフにした機能のアイコンは非表示になります。

3. [送信 (Submit)] をクリックします。

内蔵 WEB サーバ(EWS)を使用して構成をエクスポート/インポートする

構成設定をテキストファイルにエクスポートして、そのテキストファイルをインポートすることで、設定を別のプリンタに適用できます。

構成をエクスポートする

1. 内蔵 WEB サーバ(EWS)から、[設定 (Settings)] または [構成設定メニュー (Configuration)] をクリックします。
2. [デバイスソリューション (Device Solutions)] > [ソリューション (eSF) (Solutions (eSF))] をクリックするか、[内蔵ソリューション (Embedded Solutions)] をクリックします。
3. [インストール済みソリューション (Installed Solutions)] から、構成するアプリケーションの名前をクリックします。
4. [構成設定メニュー (Configure)] > [エクスポート (Export)] をクリックします。
5. コンピュータ画面の指示に従って、構成ファイルを保存します。その際、一意のファイル名を入力するか、既定の名前を使用します。

メモ: JVM メモリ不足 (JVM Out of Memory) エラーが発生した場合は、構成ファイルが保存されるまで、エクスポートの手順を繰り返します。

構成をインポートする

1. 内蔵 WEB サーバ(EWS)から、[設定 (Settings)] または [構成設定メニュー (Configuration)] をクリックします。
2. [デバイスソリューション (Device Solutions)] > [ソリューション (eSF) (Solutions (eSF))] をクリックするか、[内蔵ソリューション (Embedded Solutions)] をクリックします。
3. [インストール済みソリューション (Installed Solutions)] から、構成するアプリケーションの名前をクリックします。
4. [構成設定メニュー (Configure)] > [インポート (Import)] をクリックします。
5. 保存済みの構成ファイルを参照して、その構成ファイルをロードまたはプレビューします。

メモ: タイムアウトになり、空白の画面が表示された場合は、ブラウザを更新して、**〔適用 (Apply) 〕** をクリックします。

ホーム画面のアプリケーションを有効にする

お使いのプリンタには、ホーム画面のアプリケーションがプレインストールされています。このアプリケーションを使用するには、内蔵 WEB サーバ(EWS)でアプリケーションを有効にしてセットアップします。内蔵 WEB サーバ(EWS)にアクセスする方法の詳細については、「[内蔵 WEB サーバ\(EWS\)にアクセスする](#)」を参照してください。

ホーム画面のアプリケーションを構成して使用方法の詳細については、Lexmark の Web サイト (<http://support.lexmark.com>) で確認してください。

〔用紙とお気に入り (Forms and Favorites) 〕 をセットアップする

アイコン	説明
	このアプリケーションを使用すると、作業プロセスを整理できます。具体的には、直接ホーム画面から、頻繁に使用するオンラインフォームを素早く開いて印刷できます。 メモ: ブックマークの保存先であるネットワークフォルダ、FTP サイト、および Web サイトへのアクセス権をプリンタに付与しておく必要があります。ブックマークを保存したコンピュータから共有、セキュリティ、およびファイアウォールの設定を使用して、少なくとも読み取りアクセス権をプリンタに付与します。詳細については、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。

1. Web ブラウザを開いて、プリンタの IP アドレスをアドレスフィールドに入力します。

メモ: プリンタの IP アドレスは、プリンタ操作パネルのホーム画面で確認します。IP アドレスは、123. 123. 123. 123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

2. **〔設定 (Settings) 〕 > 〔デバイスソリューション (Device Solutions) 〕 > 〔ソリューション (eSF) (Solutions (eSF)) 〕 > 〔用紙とお気に入り (Forms and Favorites) 〕** をクリックします。
3. ブックマークを定義して、設定をカスタマイズします。
4. **〔適用 (Apply) 〕** をクリックします。

アプリケーションを使用するには、プリンタのホーム画面で **〔用紙とお気に入り (Forms and Favorites) 〕** をタッチして、フォームカテゴリ内でフォームを選択するか、フォームの番号、名前、説明といった条件でフォームを検索します。

〔ネットワークへのスキャン（Scan to Network）〕 をセットアップする

アイコン	説明
	このアプリケーションを使用すると、ハードコピーの原稿をデジタル画像に取り込んで、共有のネットワークフォルダに転送できます。最大 30 個の一意のフォルダを転送先として定義できます。 メモ： - 転送先への書き込みアクセス権をプリンタに付与しておく必要があります。転送先を指定したコンピュータから共有、セキュリティ、およびファイアウォールの設定を使用して、少なくとも書き込みアクセス権をプリンタに付与します。詳細については、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。 〔ネットワークへのスキャン（Scan to Network）〕 アイコンが表示されるのは、1 つ以上の転送先が定義されている場合に限定されます。

1. Web ブラウザを開いて、プリンタの IP アドレスをアドレスフィールドに入力します。

メモ： プリンタの IP アドレスは、プリンタ操作パネルのホーム画面で確認します。IP アドレスは、123. 123. 123. 123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

2. 〔設定（Settings）〕 > 〔デバイスソリューション（Device Solutions）〕 > 〔ソリューション（eSF）（Solutions（eSF））〕 > 〔ネットワークへのスキャン（Scan to Network）〕 をクリックします。
3. 転送先を指定して、設定をカスタマイズします。
4. 〔適用（Apply）〕 をクリックします。

アプリケーションを使用するには、プリンタのホーム画面で 〔ネットワークへのスキャン（Scan to Network）〕 をタッチして、プリンタのディスプレイに表示される指示に従ってください。

〔マイ MFP（My MFP）〕 をセットアップする

アイコン	説明
	このアプリケーションを使用すると、タッチスクリーンの設定をカスタマイズして、その設定をフラッシュドライブに保存できます。コピー、FAX、スキャンといった機能を使用するときに、フラッシュドライブをプリンタの USB ポートに挿入します。ジョブの設定、ホーム画面の設定、アドレス帳など、ユーザーの個人設定がすべて自動的にアップロードされます。 メモ： このアイコンが表示されるのは、〔マイ MFP（My MFP）〕 設定が保存されているフラッシュドライブをプリンタの USB ポートに挿入した場合に限定されます。

〔マイ MFP（My MFP）〕 をセットアップするには、フラッシュドライブをプリンタの USB ポートに挿入して、プリンタのディスプレイに表示される指示に従って、セットアップウィザードを実行します。

〔マイ MFP (My MFP) 〕を使用するには、コピー、FAX、スキャンといった機能を使用するとき、フラッシュドライブをプリンタの USB ポートに挿入します。

WS-Scan について

〔Web サービススキャン (WS-Scan) 〕アイコンとその説明

アイコン	説明
	Web サービススキャンアプリケーションを使用すると、ネットワークプリンタで原稿をスキャンして、スキャンした画像をコンピュータに送信できます。WS-Scan は、Microsoft 社が提供するアプリケーションです。ネットワークスキャンと同等の機能に加えて、スキャンした画像を Windows ベースのアプリケーションに送信する機能を備えています。WS-Scan の詳細については、Microsoft 社のマニュアルを参照してください。 メモ: このアイコンがプリンタのホーム画面に表示されるのは、コンピュータがネットワークプリンタに登録されている場合に限定されます。Windows 8、Windows 7、または Windows Vista オペレーティングシステムがコンピュータにインストールされている必要があります。

〔遠隔操作パネル (Remote Operator Panel) 〕をセットアップする

このアプリケーションを使用すると、コンピュータ画面にプリンタ操作パネルが表示され、ユーザーの環境がプリンタの設置場所から離れている場合でも、プリンタ操作パネルを操作できます。コンピュータ画面から、プリンタの状況確認、保留中の印刷ジョブの解放、ブックマークの作成に加えて、通常はネットワークプリンタを操作して実行するその他の印刷関連のタスクを実行できます。

1. Web ブラウザを開いて、プリンタの IP アドレスをアドレスフィールドに入力します。

メモ: プリンタの IP アドレスは、プリンタ操作パネルのホーム画面で確認します。IP アドレスは、123. 123. 123. 123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

2. 〔設定 (Settings) 〕 > 〔デバイスソリューション (Device Solutions) 〕 > 〔ソリューション (eSF) (Solutions (eSF)) 〕 > 〔遠隔操作パネル (Remote Operator Panel) 〕をクリックします。
3. 〔有効化 (Enabled) 〕チェックボックスをオンにして、設定をカスタマイズします。
4. 〔適用 (Apply) 〕をクリックします。

アプリケーションを使用するには、内蔵 WEB サーバ(EWS)から、〔アプリケーション (Applications) 〕 > 〔遠隔操作パネル (Remote Operator Panel) 〕 > 〔VNC アプレットの起動 (Launch VNC Applet) 〕をクリックします。

5—プリンタの追加セットアップ

内蔵オプションを取り付ける



注意—感電の恐れあり：プリンタの設置後に、システムボードにアクセスする場合や、オプションのハードウェアやメモリデバイスを取り付ける場合は、作業の前にプリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。プリンタにその他のデバイスを接続している場合は、そのデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜いてください。

オプションのカードを追加することで、プリンタの接続方法やメモリ容量をカスタマイズできます。

使用可能な内蔵オプション

- メモリカード
 - プリンタメモリ
 - フラッシュメモリ
 - フォント
- ファームウェアカード
 - バーコード
 - PrintCrypton™
- プリンタハードディスク

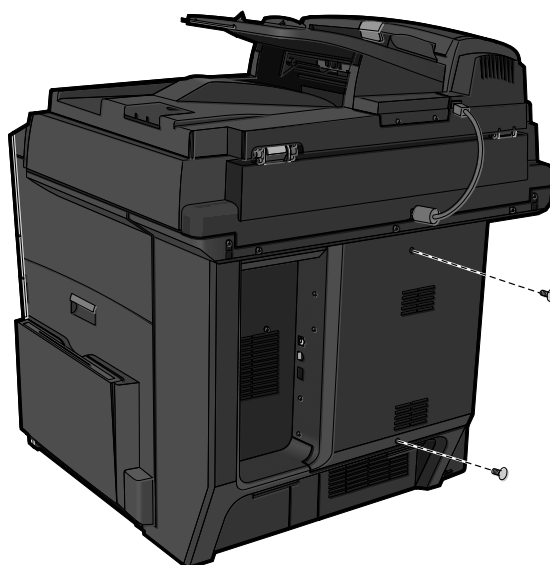
システムボードにアクセスする



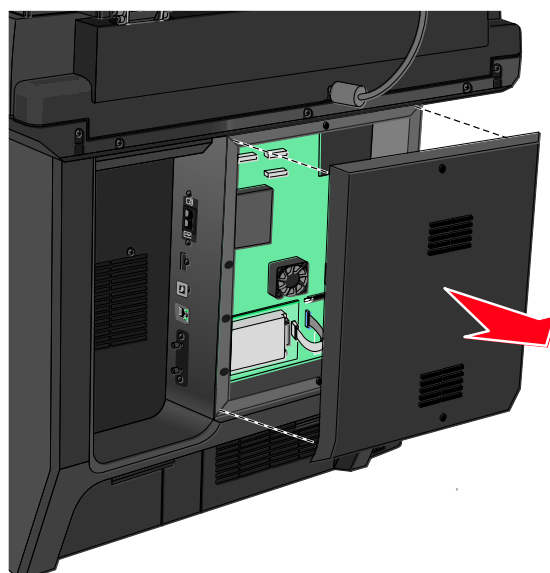
注意—感電の恐れあり：プリンタの設置後に、システムボードにアクセスする場合や、オプションのハードウェアやメモリデバイスを取り付ける場合は、作業の前にプリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。プリンタにその他のデバイスを接続している場合は、そのデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜いてください。

メモ：この作業には、マイナスドライバが必要です。

1. ネジを時計回りに回して緩めます。

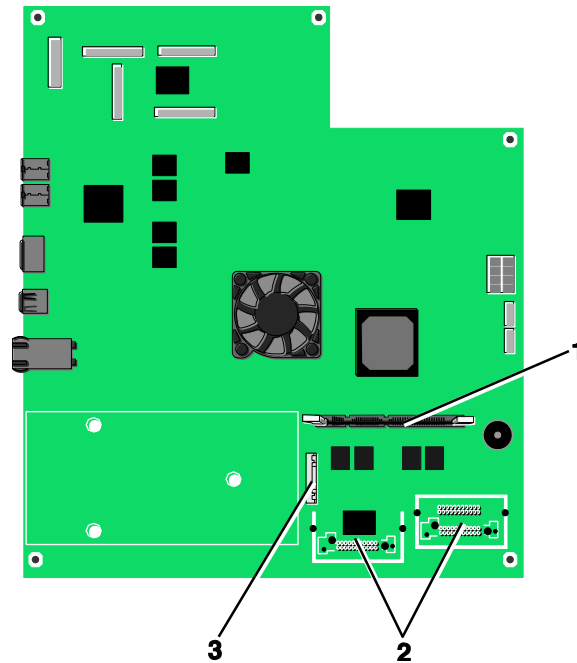


2. カバーを手前に引いて取り外します。



3. 以下の図を参照し、コネクタの正しい位置を確認します。

警告—破損の恐れあり：システムボードの電子部品は静電気によって損傷する恐れがあります。
システムボードの電子部品またはコネクタに触れる前に、プリンタの金属部分に触れてください。



1	メモ리카ードコネクタ
2	ファームウェアおよびフラッシュメモ리카ードコネクタ
3	ISP コネクタ

4. カバーを再度取り付けます。

メモ리카ードを取り付ける

⚠ 注意—感電の恐れあり： プリンタの設置後に、システムボードにアクセスする場合や、オプションのハードウェアやメモリデバイスを取り付ける場合は、作業の前にプリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。プリンタにその他のデバイスを接続している場合は、そのデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜いてください。

警告—破損の恐れあり： システムボードの電子部品は静電気によって損傷する恐れがあります。システムボードの電子部品またはコネクタに触れる前に、プリンタの金属部分に触れてください。

オプションのメモ리카ードを別途購入して、システムボードに取り付けることができます。

1. システムボードにアクセスします。

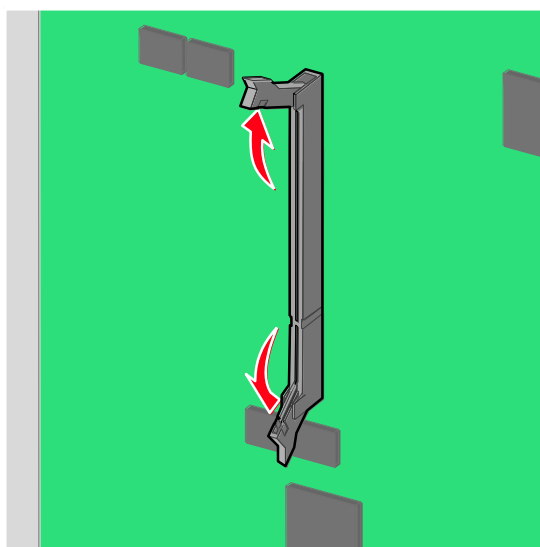
詳細については、「[システムボードにアクセスする](#)」を参照してください。

メモ： この作業には、マイナスドライバが必要です。

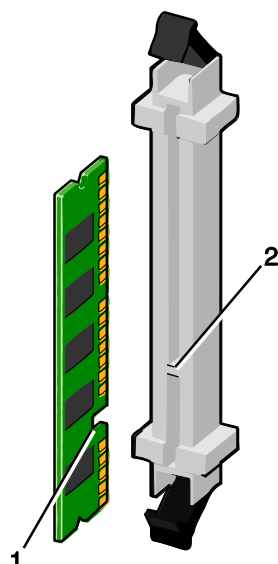
2. メモ리카ードを梱包から取り出します。

メモ： カードの端にある接点には触れないでください。

3. システムボードで、メモリカードコネクタのラッチを開きます。

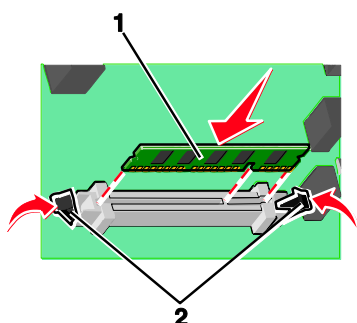


4. メモリカードの切り欠き部分をコネクタの突起に合わせます。



1	切り欠き
2	突起

- メモリカードが所定の位置に**はめ込まれる**まで、コネクタに真っすぐ押し入れます。



- システムボードのカバーを再度取り付けます。

フラッシュメモリカードまたはファームウェアカードを取り付ける

システムボードには、オプションのフラッシュメモリカードまたはファームウェアカード用のコネクタが 2 つあります。どちらか一方のカードをコネクタに取り付けてください。ただし、コネクタ自体には互換性があり、どちらのカードも取り付けることができます。



注意—感電の恐れあり：プリンタの設置後に、システムボードにアクセスする場合や、オプションのハードウェアやメモリデバイスを取り付ける場合は、作業の前にプリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。プリンタにその他のデバイスを接続している場合は、そのデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜いてください。

警告—破損の恐れあり：システムボードの電子部品は静電気によって損傷する恐れがあります。システムボードの電子部品またはコネクタに触れる前に、プリンタの金属部分に触れてください。

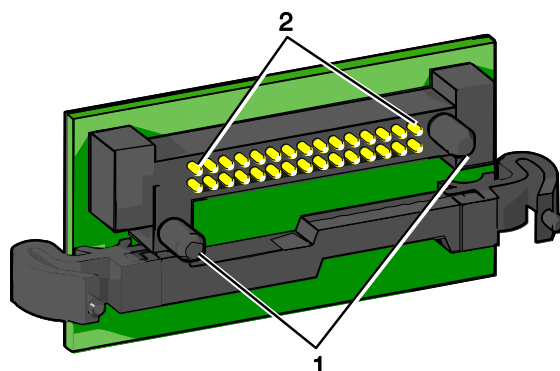
- システムボードにアクセスします。

メモ：この作業には、マイナスドライバが必要です。

- カードを梱包から取り出します。

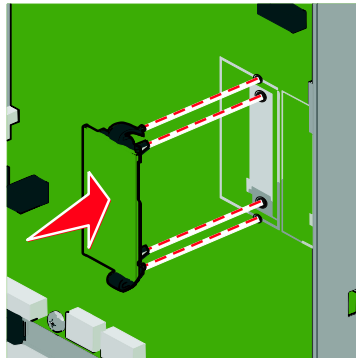
メモ：カードの端にある接点には触れないでください。

- カードの側面を持ち、カードのプラスチックピンをシステムボードの穴に合わせます。



1	プラスチックピン
2	金属ピン

4. カードを所定の位置にしっかりと押し入れます。



メモ:

- カードのコネクタ全体がシステムボードに触れ、水平になっている必要があります。
- コネクタを損傷しないように注意してください。

5. システムボードのカバーを再度取り付けます。

内蔵ソリューションポートを取り付ける

システムボードは、オプションの Lexmark™ 内蔵ソリューションポート (ISP) を 1 つサポートしています。

メモ: この作業には、マイナスドライバが必要です。



注意—感電の恐れあり: プリンタの設置後に、システムボードにアクセスする場合や、オプションのハードウェアやメモリデバイスを取り付ける場合は、作業の前にプリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。プリンタにその他のデバイスを接続している場合は、そのデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜いてください。

警告—破損の恐れあり: システムボードの電子部品は静電気によって損傷する恐れがあります。システムボードの電子部品またはコネクタに触れる前に、プリンタの金属部分に触れてください。

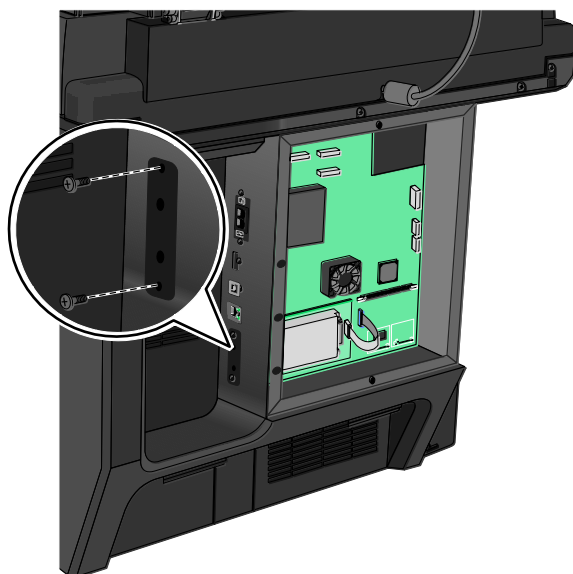
1. システムボードにアクセスします。

詳細については、「[システムボードにアクセスする](#)」を参照してください。

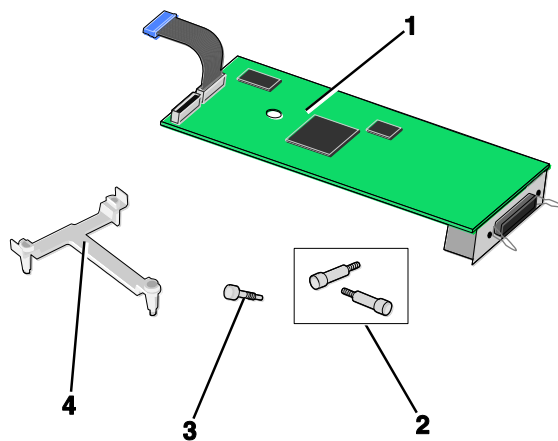
2. プリンタハードディスクを取り外します。

詳細については、「[プリンタハードディスクを取り外す](#)」を参照してください。

3. ネジ 2 本を取り外します。

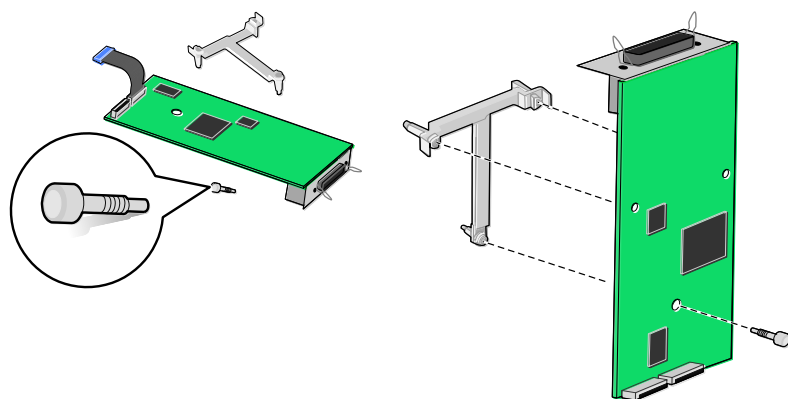


4. ISP キットを梱包から取り出します。

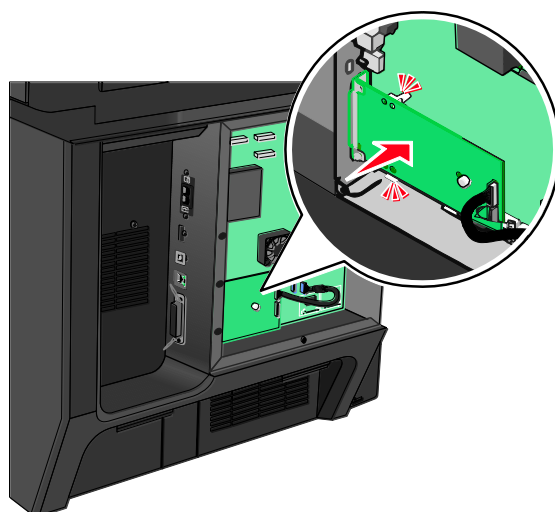


1	ISP ソリューション
2	ISP ソリューション用のネジ
3	プラスチックブラケット用のネジ
4	プラスチックブラケット

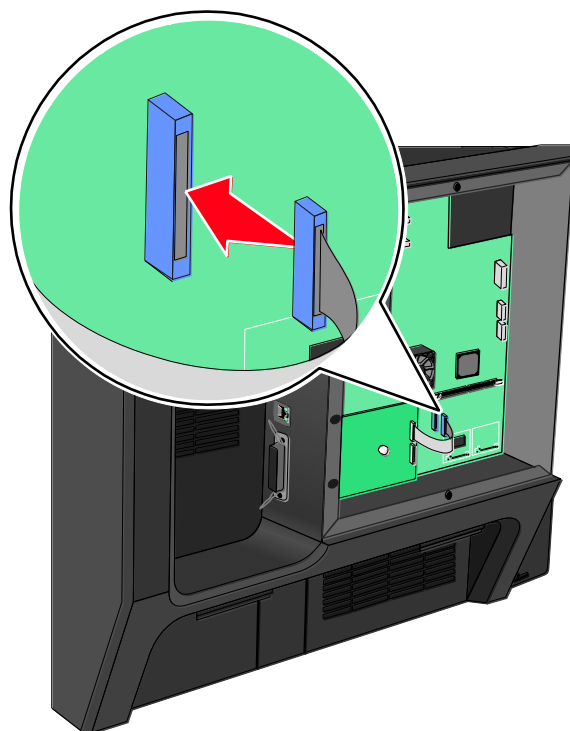
5. 付属のネジを使用して、プラスチックブラケットを ISP ソリューションに取り付けます。



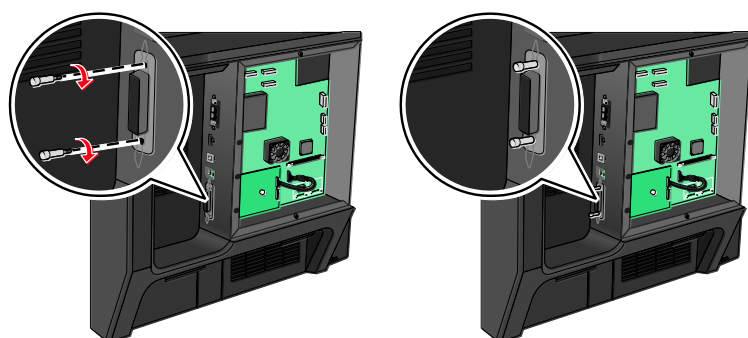
6. 付属のネジを使用して、ISP ソリューションをシステムボードケースに取り付けます。



7. ISP ソリューションのインターフェイスクーブルをシステムボードのソケットに差し込みます。



8. ネジ 2 本を使用して、ISP ソリューションをシステムボードケースに固定します。



プリンタハードディスクを取り付ける



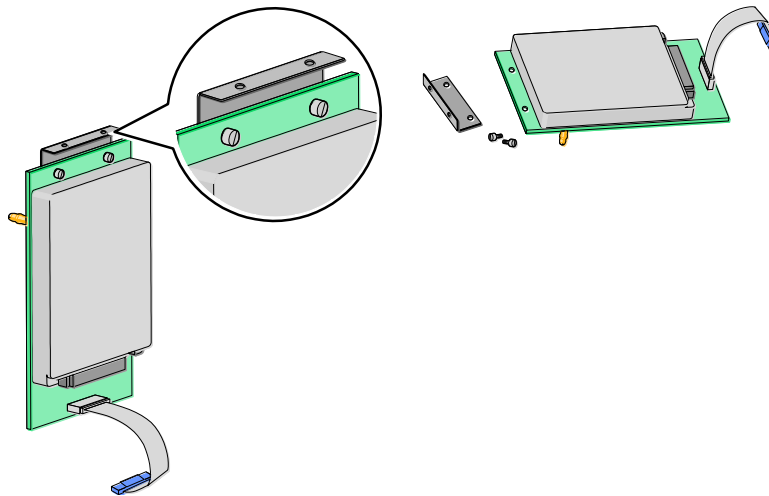
注意—感電の恐れあり： プリンタの設置後に、システムボードにアクセスする場合や、オプションのハードウェアやメモリデバイスを取り付ける場合は、作業の前にプリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。プリンタにその他のデバイスを接続している場合は、そのデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜いてください。

警告—破損の恐れあり： システムボードの電子部品は静電気によって損傷する恐れがあります。システムボードの電子部品またはコネクタに触れる前に、プリンタの金属部分に触れてください。

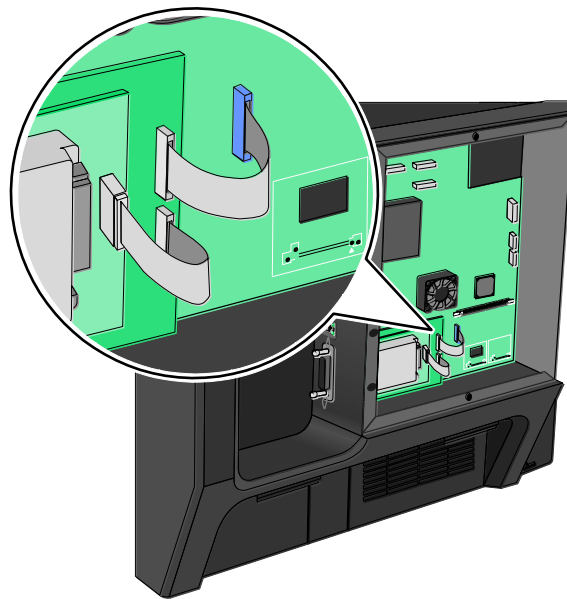
1. システムボードにアクセスします。

詳細については、「[システムボードにアクセスする](#)」を参照してください。

2. マイナスドライバを使用して、金属ブラケットをプリンタハードディスクから取り外します。



3. プリンタハードディスクのインターフェイスケーブルを ISP ボードのソケットに差し込みます。



4. システムボードのカバーを再度取り付けます。

プリンタハードディスクを取り外す

プリンタハードディスクは、本機にあらかじめ取り付けられています。

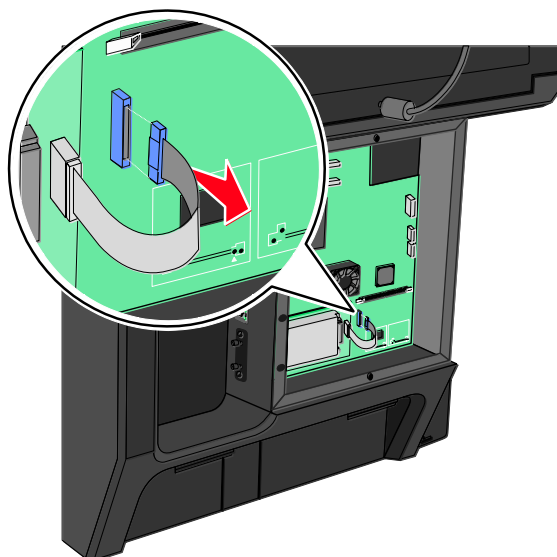
メモ： この作業には、マイナスドライバが必要です。

警告—破損の恐れあり： システムボードの電子部品は静電気によって損傷する恐れがあります。システムボードの電子部品またはコネクタに触れる前に、プリンタの金属部分に触れてください。

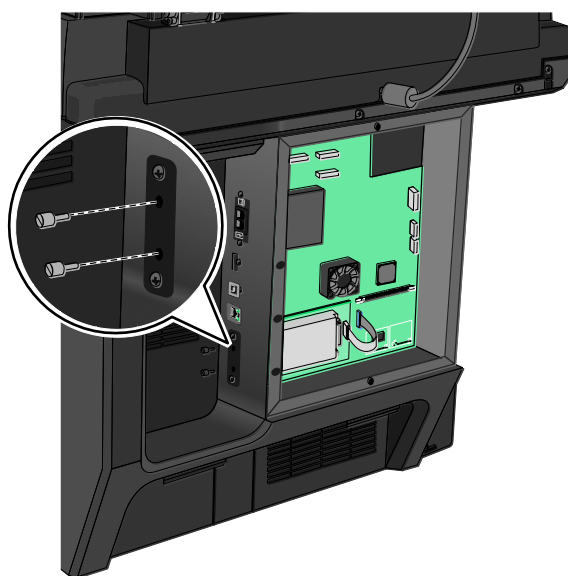
1. システムボードにアクセスします。

詳細については、「[システムボードにアクセスする](#)」を参照してください。

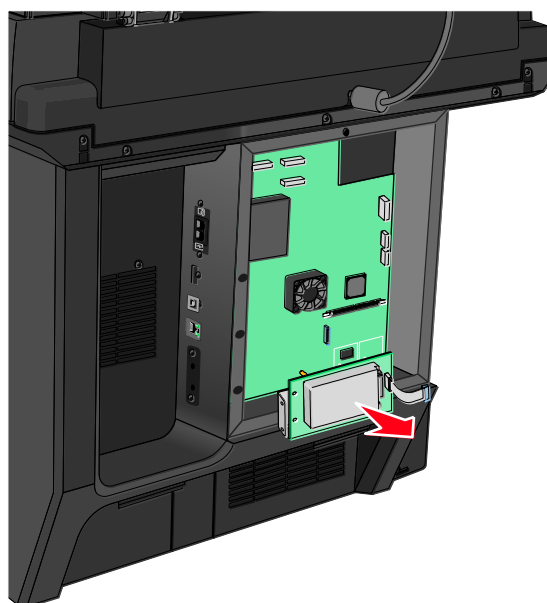
2. プリンタハードディスクのインターフェースケーブルをシステムボードから取り外します。プリンタハードディスクには取り付けただままにしておきます。ケーブルを取り外すには、インターフェースケーブルのプラグのパドルをつまみ、ラッチを外してからケーブルを引き抜きます。



3. プリンタハードディスクを所定の位置に保持しているネジを取り外します。



4. プリンタハードディスクを取り外します。



5. システムボードのカバーを再度取り付けます。

オプショントレイを取り付ける

取り付けの順序

⚠ 注意—転倒の恐れあり：本製品を床に設置する場合は、安定させるために追加のファニチャが必要です。大容量給紙トレイ、両面印刷ユニット、および 1 つ以上の給紙オプションを使用している場合は、プリンタのスタンドまたはベースを使用する必要があります。スキャン、コピー、および FAX 機能を持つプリンタ複合機（MFP）を購入した場合は、追加の備品が必要になることがあります。詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。

以下の順番で、プリンタと購入したオプションを設置します。

- プリンタスタンド
- オプションの 550 枚トレイ
- プリンタ

プリンタスタンドをキャスターベースに転用する方法や、プリンタスタンド、キャスターベース、およびオプションの 550 枚トレイを取り付ける方法の詳細については、プリンタオプションに付属のマニュアルを参照してください。

プリンタスタンドとオプショントレイを取り付ける

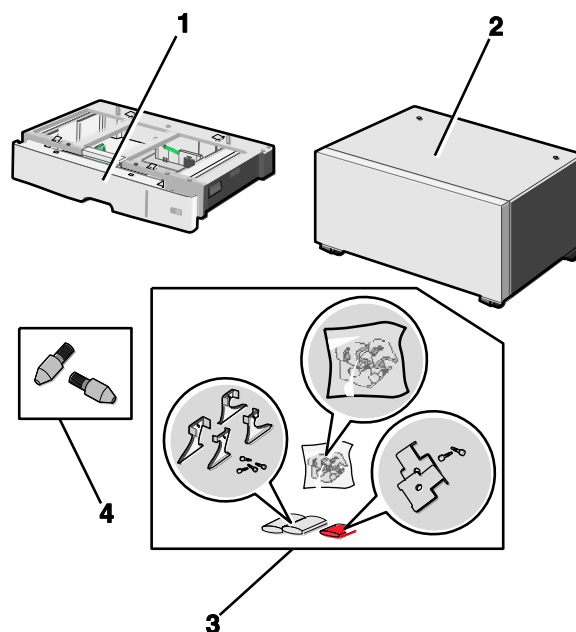
メモ：プリンタスタンドを使用する場合は、プリンタで利用できるオプションの 550 枚トレイは 1 つだけです。

⚠ 注意—ケガの恐れあり：プリンタの重量は 18 kg（40 ポンド）以上あるため、安全に持ち上げるには訓練を受けた人が 2 名以上必要です。

 **注意—感電の恐れあり：**プリンタの設置後に、システムボードにアクセスする場合や、オプションのハードウェアやメモリデバイスを取り付ける場合は、作業の前にプリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。プリンタにその他のデバイスを接続している場合は、そのデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜いてください。

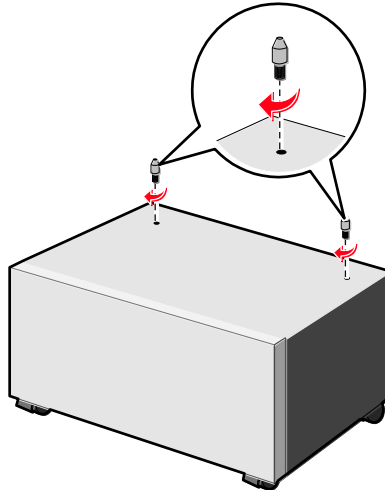
メモ： この作業にはドライバが必要です。

1. オプショントレイとプリンタスタンドを梱包から取り出し、梱包材をすべて取り除きます。

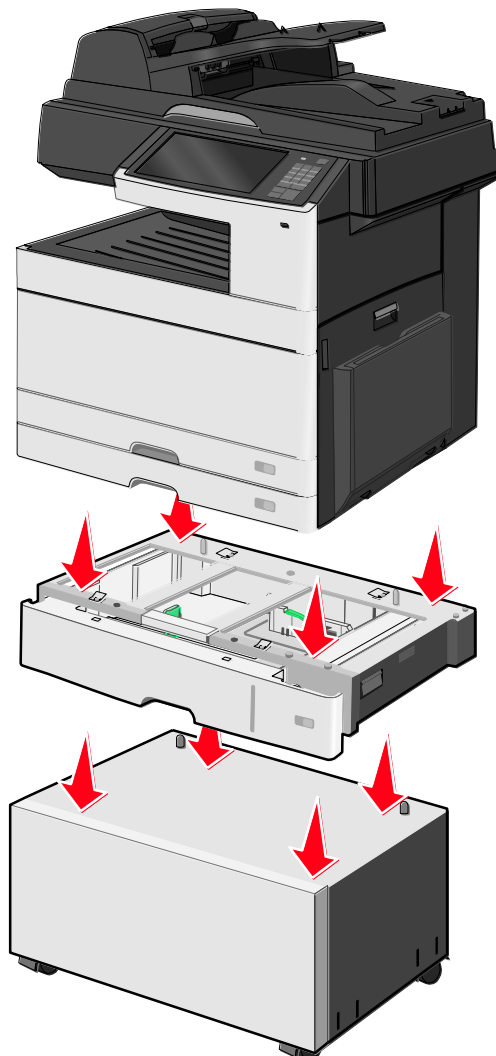


1	オプションの 550 枚トレイ
2	プリンタスタンド
3	ブラケットとネジ
4	つまみネジ

2. 作業の前にプリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。プリンタにその他のデバイスを接続している場合は、そのデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜いてください。
3. つまみネジをプリンタスタンドの上部に取り付けます。

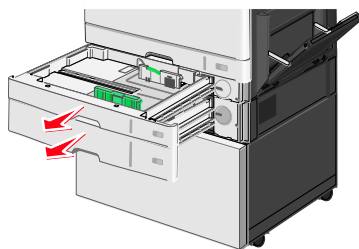


4. オプショントレイをプリンタスタンドに合わせてから、プリンタをトレイまで下ろします。

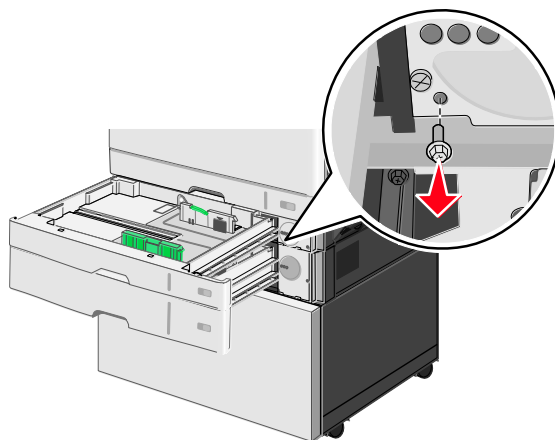


5. オプショントレイに付属のブラケットを使用して、標準トレイとオプショントレイを一緒にロックします。

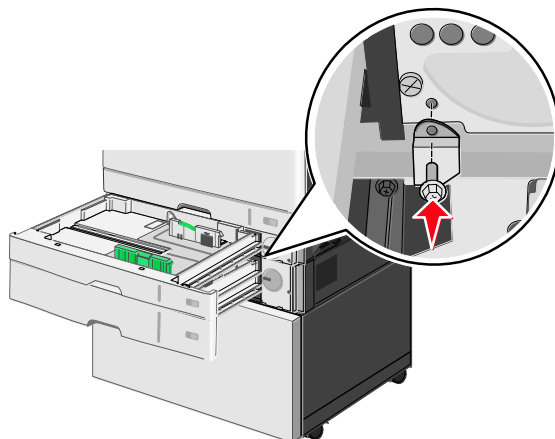
a. 標準の 250 枚トレイとオプションの 550 枚トレイを開きます。



b. ネジを 250 枚トレイから取り外します。



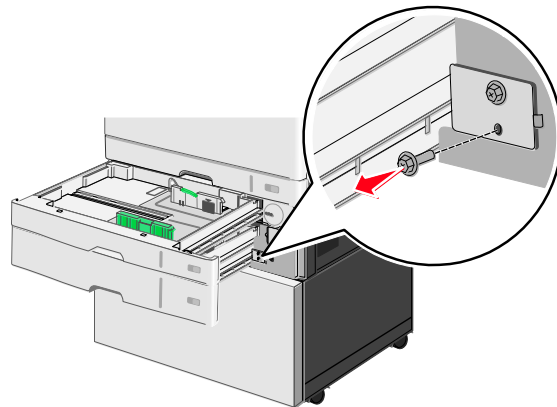
c. ブラケットをネジ穴の上に配置して、ネジで固定します。



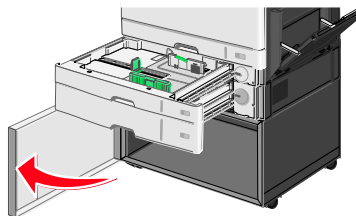
d. トレイを閉じます。

6. オプションの 550 枚トレイをプリンタスタンドにロックします。

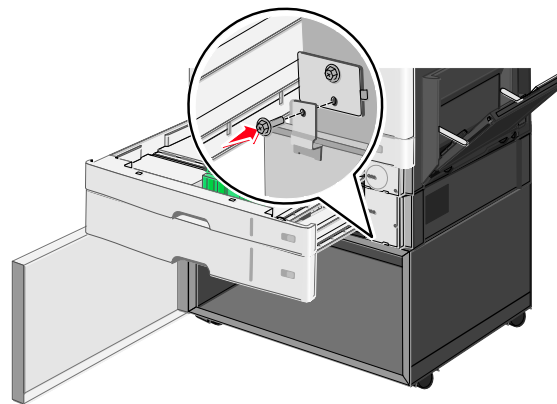
a. オプションの 550 枚トレイを開いて、ネジを取り外します。



b. プリンタスタンドを開きます。

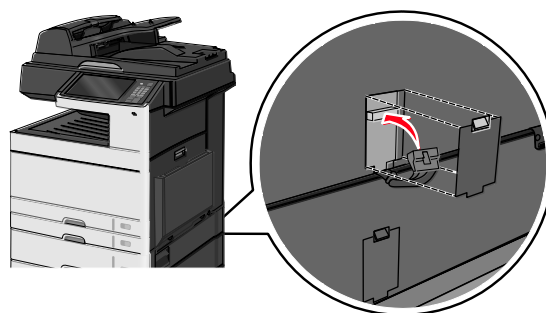


c. ブラケットをネジ穴の上に配置して、ネジで固定します。

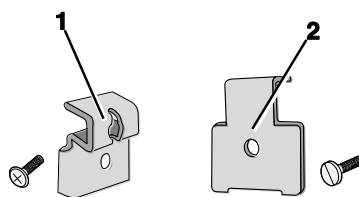


d. オプショントレイとプリンタスタンドを閉めます。

7. トレイ間の電気系の配線を接続します。

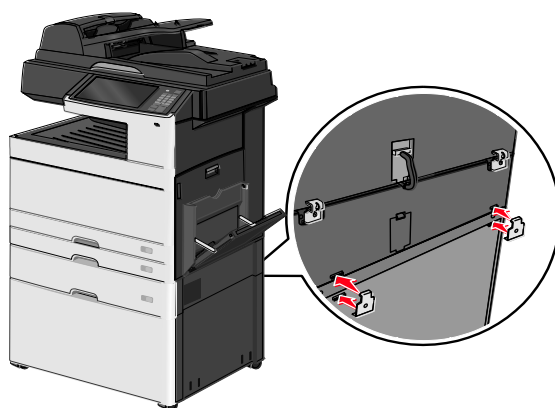


8. ブラケットを元のようにプリンタ、オプショントレイ、およびプリンタスタンドに取り付けます。

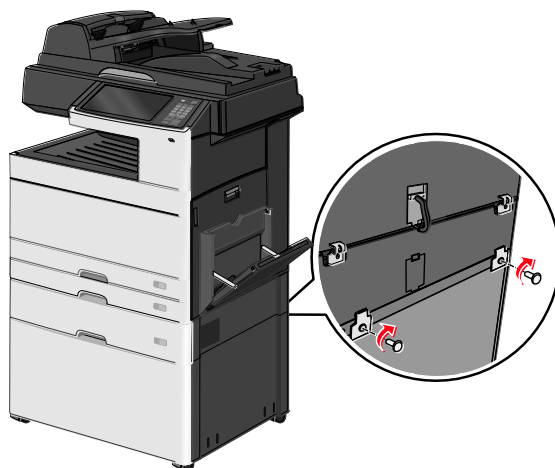


1	オプショントレイをプリンタにロックするブラケット
2	オプショントレイをプリンタスタンドにロックするブラケット

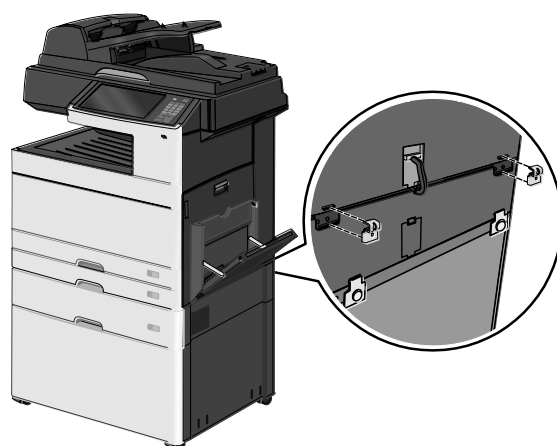
a. ブラケットをオプショントレイとプリンタスタンドの背面にあるスロットに取り付けます。



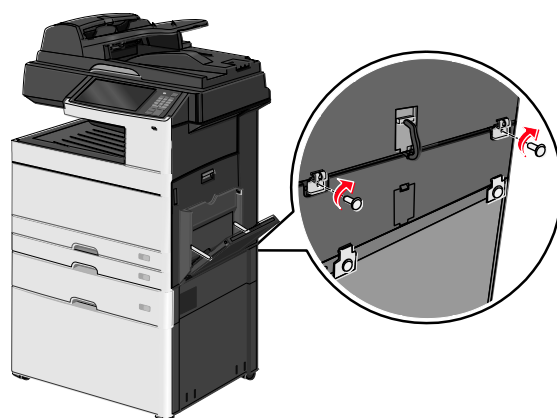
b. ブラケットをネジで固定します。



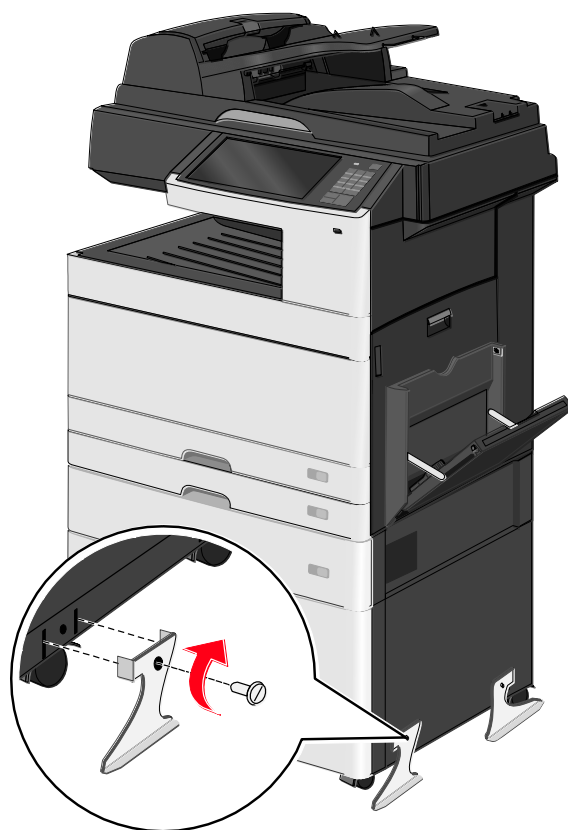
- c. ブラケットをプリンタとオプショントレイの背面にあるスロットに取り付けます。



- d. ブラケットをネジで固定します。



9. ベースをプリンタスタンドの側面にあるスロットに取り付けて、ネジで固定します。



10. プリンタの向きを元に戻します。
11. プリンタソフトウェアを設定して、オプションの入カトレイを認識させます。

詳細については、「[プリンタドライバの使用可能なオプションを更新する](#)」を参照してください。

550 枚トレイを取り付ける

メモ:

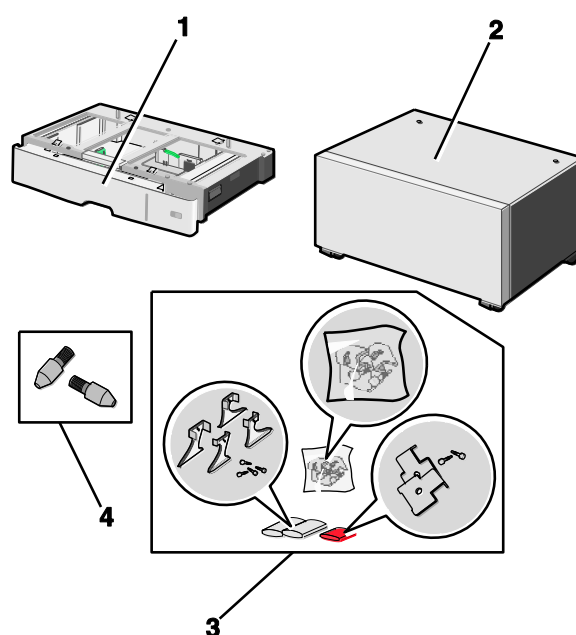
- プリンタでは、オプションの 550 枚トレイを最大 3 つ使用できます。
- オプションの 550 枚トレイを 3 つ取り付ける場合、プリンタスタンドをキャスターベースに転用して使用します。

 **注意—ケガの恐れあり:** プリンタの重量は 18 kg (40 ポンド) 以上あるため、安全に持ち上げるには訓練を受けた人が 2 名以上必要です。

 **注意—感電の恐れあり:** プリンタの設置後に、システムボードにアクセスする場合や、オプションのハードウェアやメモリデバイスを取り付ける場合は、作業の前にプリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。プリンタにその他のデバイスを接続している場合は、そのデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜いてください。

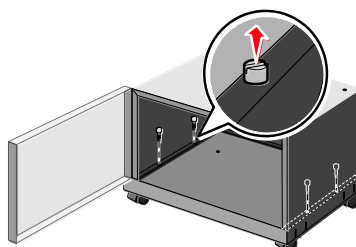
メモ: この作業にはドライバが必要です。

1. オプショントレイとプリンタスタンドを梱包から取り出し、梱包材をすべて取り除きます。

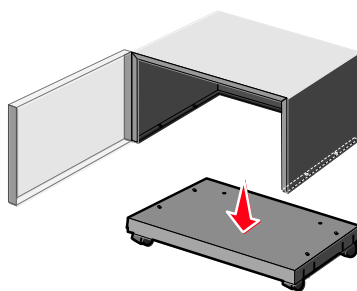


1	オプションの 550 枚トレイ
2	プリンタスタンド
3	ブラケットとネジ
4	つまみネジ

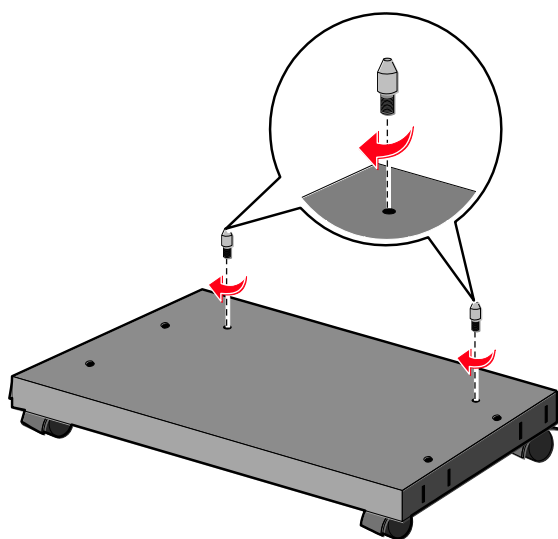
2. 作業の前にプリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。プリンタにその他のデバイスを接続している場合は、そのデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜いてください。
3. プリンタスタンドをキャスターベースに転用します。
 - a. プリンタスタンド内部のネジ 4 本を取り外します。



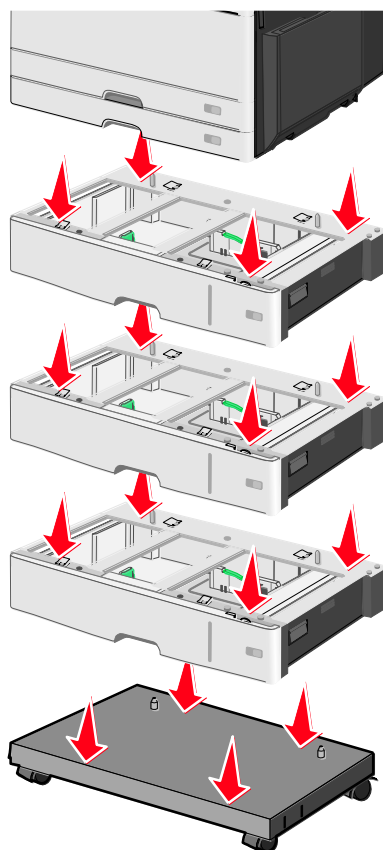
- b. ベースを残した状態で、プリンタスタンドの上部を持ち上げます。



4. つまみネジをキャスターベースに取り付けます。

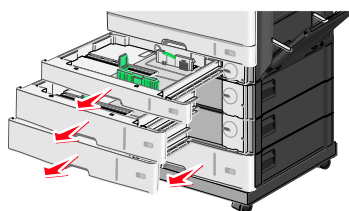


5. トレイをキャスターベースに合わせてから、プリンタをトレイまで下ろします。

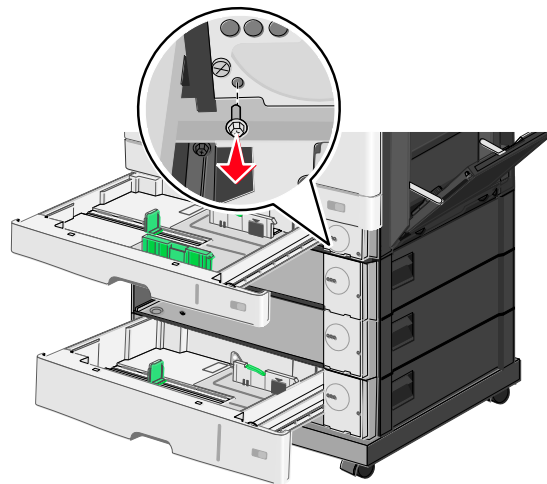


6. オプショントレイに付属のブラケットを使用して、標準トレイとオプショントレイを一緒にロックします。

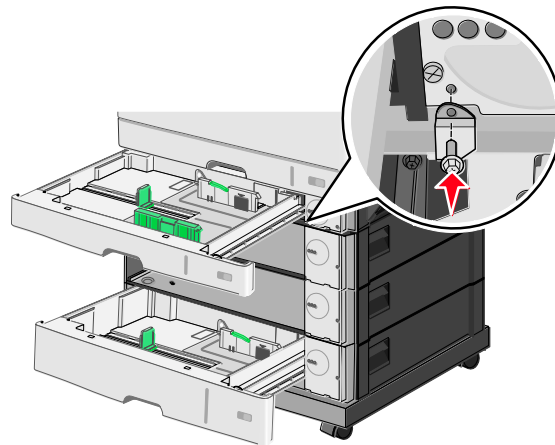
- a. 標準の 250 枚トレイとオプションの 550 枚トレイを開きます。



- b. ネジを 250 枚トレイから取り外します。



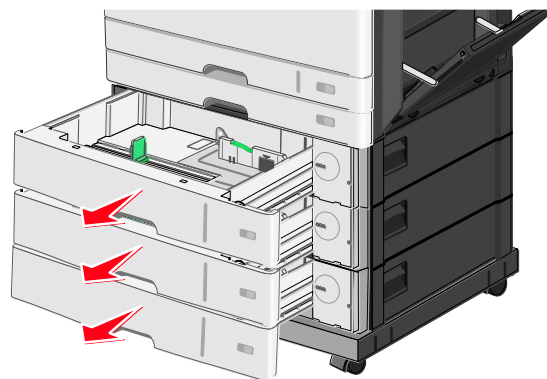
- c. ブラケットをネジ穴の上に配置して、ネジで固定します。



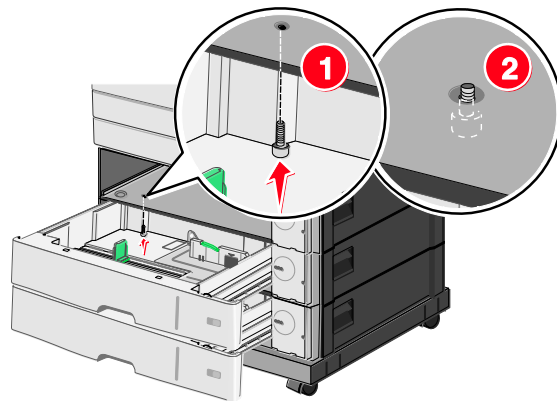
- d. トレイを閉じます。

7. トレイに付属のネジを使用して、オプションの 550 枚トレイと一緒にロックします。

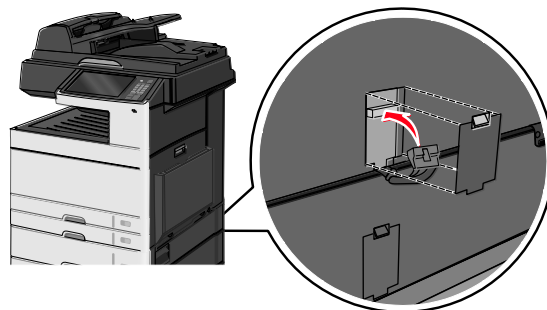
- a. オプションの 550 枚トレイ上側のカセットを取り外します。下側のオプショントレイは開いたままにします。



- b. 下側のオプショントレイからネジを差し込んで、上側のオプショントレイの方に押し込みます。

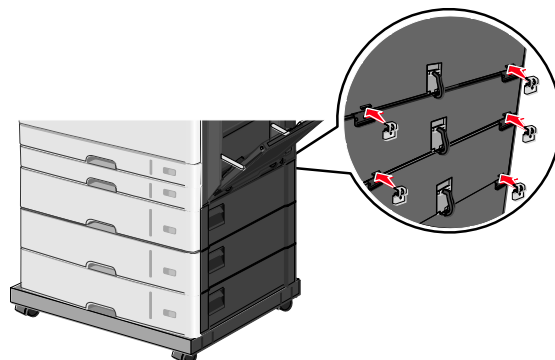


8. トレイ間の電気系の配線を接続します。

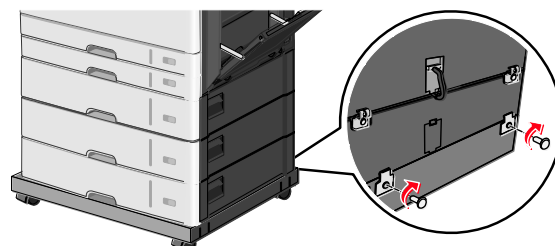


9. ブラケットを元のようにプリンタとオプショントレイに取り付けます。

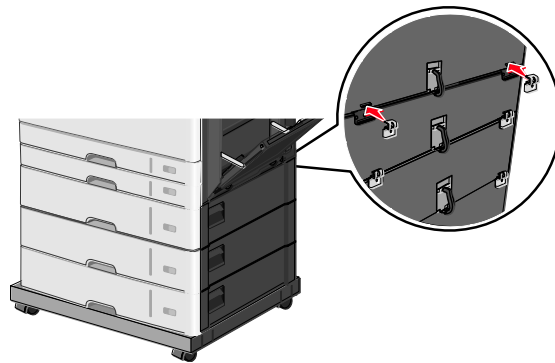
- a. ブラケットをオプショントレイの背面にあるスロットに取り付けます。



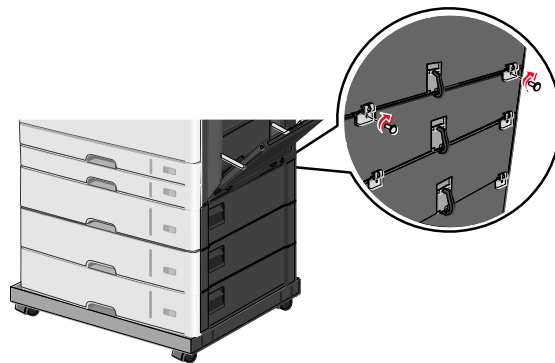
- b. ブラケットをネジで固定します。



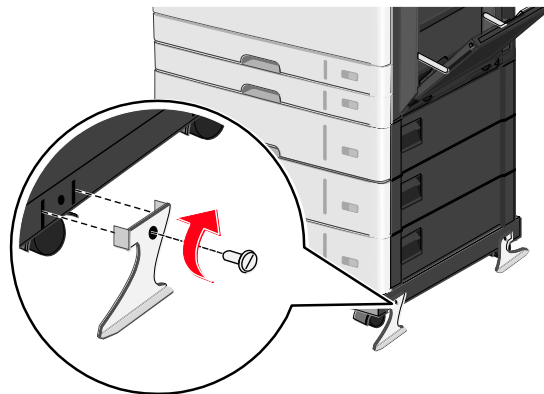
- c. ブラケットをプリンタとオプショントレイの背面にあるスロットに取り付けます。



- d. ブラケットをネジで固定します。



10. ベースをキャスターベースの側面にあるスロットに取り付けて、ネジで固定します。



11. プリンタの向きを元に戻します。
12. プリンタソフトウェアを設定して、オプションの入カトレイを認識させます。

詳細については、「[プリンタドライバの使用可能なオプションを更新する](#)」を参照してください。

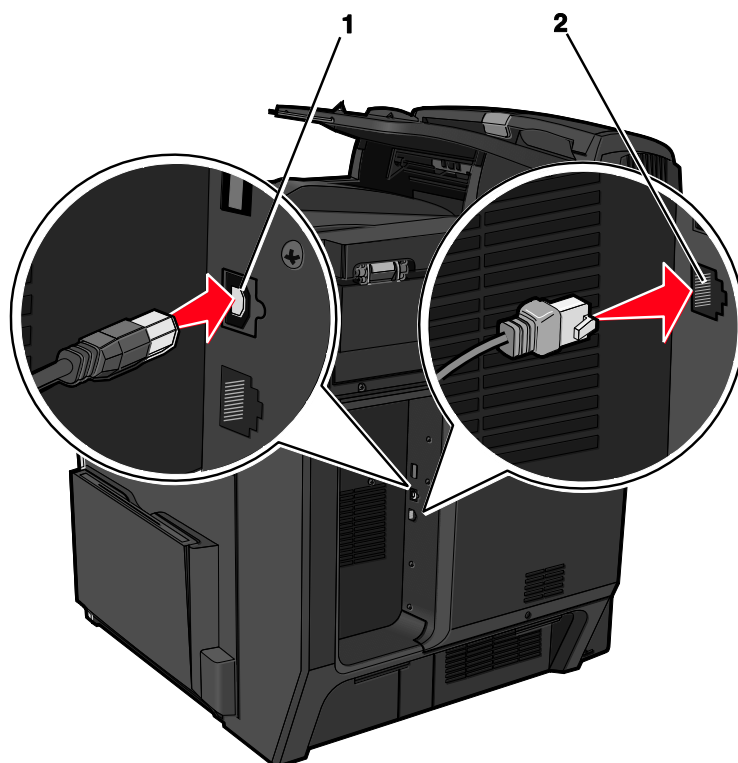
ケーブルを接続する

⚠ 注意—ケガの恐れあり：雷雨時には、FAX 機能を使用しないでください。雷雨時には、本製品のセットアップや、FAX、電源コード、電話など、電氣的な接続を行わないでください。

USB ケーブルまたは イーサネット ケーブルを使用してプリンタをコンピュータに接続します。

以下のものが一致していることを確認します。

- ケーブルの USB マークとプリンタの USB マーク
- 適切な イーサネット ケーブルと イーサネット ポート



1	USB ポート 警告—破損の恐れあり： 印刷中は、図示している USB ケーブル、ネットワークアダプタ、およびプリンタ本体に触れないでください。データの損失や誤動作が発生する可能性があります。
2	イーサネット ポート

プリンタのセットアップを確認する

ハードウェアオプションの取り付けとソフトウェアオプションのインストールがすべて終わったら、プリンタの電源を入れ、以下のページを印刷して、プリンタのセットアップに問題がないことを確認します。

- **メニュー設定ページ**—このページを参照して、各プリンタオプションの取り付け/インストールに問題がないことを確認します。取り付け/インストールされたオプションのリストがページの下部に表示されます。取り付け/インストールしたオプションがリストに含まれていない場合は、取り付け/インストールに問題があります。オプションを取り外し/アンインストールしてから、再度取り付け/インストールしてください。
- **ネットワークセットアップページ**—お使いのプリンタがネットワーク対応のモデルであり、ネットワークに接続されている場合、ネットワークセットアップページを参照して、ネットワーク接続の状況を確認できます。このページには、ネットワーク印刷の構成に役立つ重要な情報も表示されます。

メニュー設定ページを印刷する

ホーム画面から、次のメニューを選択します。

 > [レポート (Reports)] > [メニュー設定ページ (Menu Settings Page)]

ネットワークセットアップページを印刷する

プリンタがネットワークに接続されている場合、ネットワークセットアップページを印刷して、ネットワーク接続を確認します。このページには、ネットワーク印刷の構成に役立つ重要な情報も表示されます。

1. ホーム画面から、次のメニューを選択します。

 > [レポート (Reports)] > [ネットワーク設定ページ (Network Setup Page)]

2. ネットワークセットアップページの最初のセクションをチェックして、状態が**接続済み (Connected)**であることを確認します。

状態が**未接続 (Not Connected)**である場合は、LAN の接続点が有効になっていないか、ネットワークケーブルの不良である可能性があります。解決方法をシステムサポート担当者に問い合わせた上で、ネットワーク設定ページを再度印刷してください。

プリンタソフトウェアをセットアップする

プリンタソフトウェアをインストールする

メモ:

- 以前にプリンタソフトウェアをコンピュータにインストールしていて、再インストールする必要がある場合は、まず現在インストール済みのプリンタソフトウェアをアンインストールする必要があります。
- プリンタソフトウェアをインストールする前に、動作中のソフトウェアプログラムをすべて終了します。

1. ソフトウェアのインストーラパッケージを入手します。

- プリンタに付属の『ソフトウェアおよびマニュアル CD』から入手します。
- 弊社の Web サイトから入手します。

<http://support.lexmark.com> にアクセスして、次のメニューを選択します。

[サポートとダウンロード (SUPPORT & DOWNLOAD)] > お使いのプリンタ機種を選択
> お使いのオペレーティングシステムを選択

2. ソフトウェアのインストーラパッケージをダブルクリックします。

インストールのダイアログが表示されるまで待ちます。

『ソフトウェアおよびマニュアル CD』を使用していて、インストールのダイアログが表示されない場合は、以下の操作を実行します。

Windows 8 の場合

検索チャームから、**run** と入力して、次のメニューを選択します。

[アプリ (Apps)] リスト > [実行 (Run)] > **D:¥setup.exe** と入力 > [OK]

Windows 7 以前の場合

- a.  をクリックするか、[スタート (Start)] をクリックして、[ファイル名を指定して実行 (Run)] をクリックします。
- b. [検索の開始 (Start Search)] または [ファイル名を指定して実行 (Run)] ダイアログで、**D:¥setup.exe** と入力します。
- c. **Enter** キーを押すか、[OK] をクリックします。

Macintosh の場合

デスクトップで CD のアイコンをクリックします。

メモ: **D** は、お使いの CD または DVD ドライブのドライブ文字です。

3. [インストール (Install)] をクリックし、コンピュータ画面の指示に従ってください。

プリンタドライバの使用可能なオプションを更新する

ハードウェアオプションを取り付けたときに、そのオプションを使用できるように、プリンタドライバのオプションを手動で追加する必要がある場合があります。

Windows の場合

1. プリンタフォルダを開きます。

Windows 8 の場合

検索チャームから、**run** と入力して、次のメニューを選択します。

[アプリ (Apps)] リスト > [実行 (Run)] > **control printers** と入力 > [OK]

Windows 7 以前の場合

- a.  をクリックするか、[スタート (Start)] をクリックして、[ファイル名を指定して実行 (Run)] をクリックします。
 - b. [検索の開始 (Start Search)] または [ファイル名を指定して実行 (Run)] ダイアログで、**control printers** と入力します。
 - c. **Enter** キーを押すか、[OK] をクリックします。
2. お使いのデバイスによっては、次のいずれかの手順を実行します。
 - 更新するプリンタを長押しします。
 - 更新するプリンタを右クリックします。

3. 表示されたメニューから、次のいずれかの手順を実行します。
 - Windows 7 以降の場合は、[**プリンタのプロパティ (Printer properties)**] を選択します。
 - Windows 7 よりも以前のバージョンの場合は、[**プロパティ (Properties)**] を選択します。
4. [**構成設定メニュー (Configuration)**] タブをクリックします。
5. 次のいずれかの手順を実行します。
 - [**今すぐ更新 - プリンタの確認 (Update Now - Ask Printer)**] をクリックします。
 - [**構成オプション (Configuration Options)**] で、取り付けたハードウェアオプションを手動で追加します。
6. [**適用 (Apply)**] をクリックします。

Macintosh の場合

1. アップルメニューから、次のいずれかのメニューを選択します。
 - [**システム基本設定 (System Preferences)**] > [**プリントとスキャン (Print & Scan)**] > お使いのプリンタ機種を選択 > [**オプションとサプライ (Options & Supplies)**] > [**ドライバ (Driver)**]
 - [**システム基本設定 (System Preferences)**] > [**プリントとFAX (Print & Scan)**] > お使いのプリンタ機種を選択 > [**オプションとサプライ (Options & Supplies)**] > [**ドライバ (Driver)**]
2. 取り付けたハードウェアオプションを追加したら、[**OK**] をクリックします。

ワイヤレス印刷をセットアップする

メモ: SSID (Service Set Identifier) は、ワイヤレスネットワークに割り当てられた名前です。WEP (Wireless Encryption Protocol) と WPA (Wi-Fi Protected Access) は、ネットワーク上で使用されるセキュリティの種類です。

ワイヤレスネットワークへのプリンタのセットアップを準備する

メモ:

- アクセスポイント (ワイヤレスルーター) の電源が入っており、正常に動作していることを確認します。
- インストール用ケーブルやネットワークケーブルは、セットアップソフトウェアから指示があるまで接続しないでください。

ワイヤレスネットワークにプリンタをセットアップする前に、以下の情報を確認して用意してください。

- **SSID**—SSID は、ネットワーク名とも呼ばれます。
- **ワイヤレスモード (ネットワークモード)**—インフラモードまたはアドホックモードのどちらかです。

- **チャンネル（アドホックネットワークの場合）**—インフラネットワークの標準設定では、チャンネルは自動（automatic）に設定されます。

一部のアドホックネットワークでも、自動（automatic）に設定する必要があります。どちらのチャンネルを選択すればよいのか分からない場合は、システムサポート担当者に問い合わせてください。

- **セキュリティ方式**—セキュリティ方式として、以下の 4 つの基本オプションが用意されています。

- WEP キー

ネットワークで複数の WEP キーを使用している場合、用意されているスペースに 4 つまで入力できます。既定の WEP 送信キーを選択して、現在ネットワークで使用しているキーを選択します。

- WPA または WPA2 事前共有キーまたはパスフレーズ

WPA では、暗号化によるセキュリティの層が追加されています。暗号化の種類としては、AES または TKIP を選択できます。ルーターとプリンタで、同じ種類の暗号化を設定する必要があります。暗号化の種類が異なる場合、プリンタはネットワークと通信できなくなります。

- 802.1X-RADIUS

802.1X ネットワークにプリンタを接続する場合、以下の情報が必要になることがあります。

- 認証の種類
- 内部認証の種類
- 802.1X ユーザー名とパスワード
- 証明書

- セキュリティなし

ワイヤレスネットワークでセキュリティを全く使用していない場合、セキュリティ情報も存在しません。

メモ: セキュリティ保護のないワイヤレスネットワークを使用することは推奨しません。

メモ:

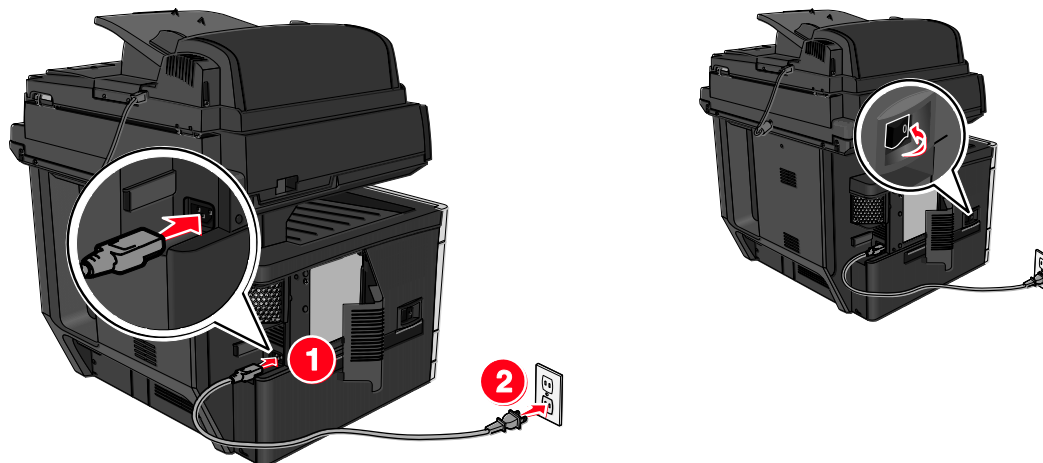
- コンピュータの接続先であるネットワークの SSID が不明な場合は、コンピュータネットワークアダプタのワイヤレスユーティリティを起動して、ネットワーク名を確認します。ネットワークの SSID やセキュリティ情報を確認できない場合は、アクセスポイントに付属のマニュアルを参照するか、システムサポート担当者に問い合わせてください。
- ワイヤレスネットワークの WPA/WPA2 事前共有キーまたはパスフレーズを確認するには、アクセスポイントに付属のマニュアルを参照するか、アクセスポイントと関連付けられている内蔵 WEB サーバ(EWS)を参照するか、システムサポート担当者に問い合わせてください。

ワイヤレスネットワークにプリンタを接続する（Windows）

ワイヤレスネットワークにプリンタを接続する前に、以下の点を確認します。

- ワイヤレスネットワークがセットアップ済みであり、正常に動作している。

- セットアップするプリンタと同じワイヤレスネットワークに、お使いのコンピュータが接続されている。
1. 電源コードの両端をそれぞれプリンタと、適切にアースされたコンセントに接続して、プリンタの電源を入れます。



メモ： プリンタとコンピュータの電源が完全に入っていて、使用可能な状態であることを確認します。

警告—破損の恐れあり： コンピュータ画面の指示があるまで、USB ケーブルを接続しないでください。



2. ソフトウェアのインストーラパッケージを入手します。

- プリンタに付属の『ソフトウェアおよびマニュアル CD』から入手します。
- 弊社の Web サイトから入手します。

<http://support.lexmark.com> にアクセスして、次のメニューを選択します。

〔サポートとダウンロードx (SUPPORT & DOWNLOADS)〕 > お使いのプリンタ機種を選択 > お使いのオペレーティングシステムを選択

3. ソフトウェアのインストーラパッケージをダブルクリックします。

インストールのダイアログが表示されるまで待ちます。

『ソフトウェアおよびマニュアル CD』を使用していて、インストールのダイアログが表示されない場合は、以下の操作を実行します。

Windows 8 の場合

検索チャームから、**run** と入力して、次のメニューを選択します。

〔アプリ (Apps)〕 リスト > 〔実行 (Run)〕 > **D:\¥setup.exe** と入力 > 〔OK〕

Windows 7 以前の場合

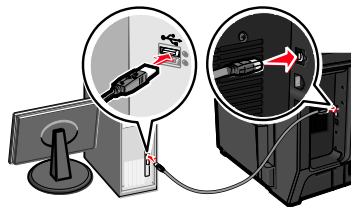
- a.  をクリックするか、[スタート (Start)] をクリックして、[ファイル名を指定して実行 (Run)] をクリックします。
- b. [検索の開始 (Start Search)] または [ファイル名を指定して実行 (Run)] ダイアログで、**D:\¥setup.exe** と入力します。
- c. **Enter** キーを押すか、[OK] をクリックします。

メモ: D は、お使いの CD または DVD ドライブのドライブ文字です。

4. [インストール (Install)] をクリックし、コンピュータ画面の指示に従ってください。
5. 接続の種類を選択するよう促すメッセージが表示されたら、[ワイヤレス接続 (Wireless connection)] を選択します。
6. [ワイヤレス構成 (Wireless Configuration)] ダイアログから、[セットアップガイド (推奨) (Guided Setup (Recommended))] を選択します。

メモ: [高度なセットアップ (Advanced Setup)] を選択するのは、インストールをカスタマイズする場合に限定されます。

7. 一時的に、ワイヤレスネットワーク上のコンピュータとプリンタを USB ケーブルで接続します。



メモ: プリンタの構成後に、ワイヤレスで印刷できるよう、一時的に接続した USB ケーブルを取り外して、ソフトウェアから指示されます。

8. コンピュータ画面の指示に従ってください。

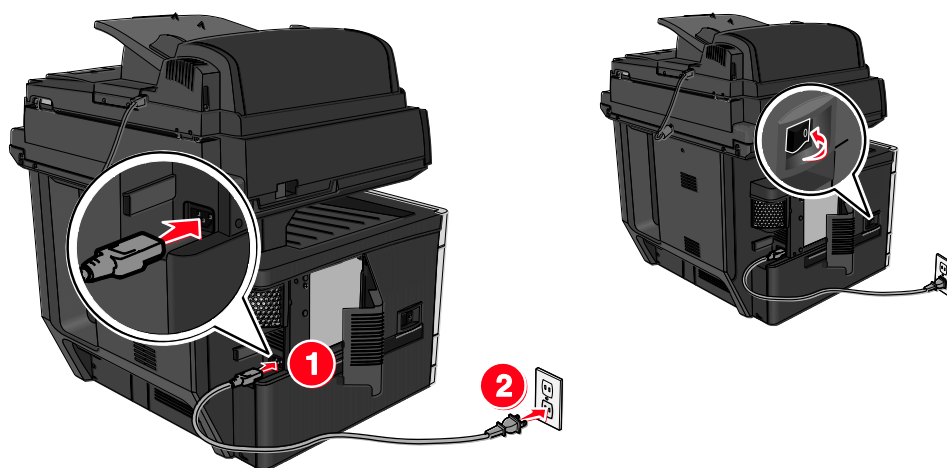
メモ: ネットワーク上の他のコンピュータでワイヤレスプリンタを使用できるようにする方法の詳細については、『ネットワークガイド』を参照してください。

ワイヤレスネットワークにプリンタを接続する (Macintosh)

メモ: ワイヤレスネットワークにプリンタを接続する場合は、イーサネット ケーブルを取り外してください。

プリンタの構成を準備する

1. 電源コードの両端をそれぞれプリンタと、適切にアースされたコンセントに接続して、プリンタの電源を入れます。



2. プリンタの MAC アドレスを確認します。

a. プリンタ操作パネルから、次のメニューを選択します。

⌘ > [レポート (Reports)] > ⌵ > [ネットワーク設定ページ (Network Setup Page)] > ⌵

または

☰ > [レポート (Reports)] > [ネットワーク設定ページ (Network Setup Page)]

b. [標準ネットワークカード (Standard Network Card)] セクションで、**UAA (MAC)** を確認します。

メモ: この情報は後で必要になります。

プリンタ情報を入力する

1. AirPort (AirMac) オプションにアクセスします。

Mac OS X バージョン 10.5 以降の場合

アップルメニューから、次のいずれかのメニューを選択します。

- [システム基本設定 (System Preferences)] > [ネットワーク (Network)] > [Wi-Fi]
- [システム基本設定 (System Preferences)] > [ネットワーク (Network)] > [AirPort (AirMac)]

Mac OS X バージョン 10.4 の場合

Finder から、次のメニューを選択します。

[アプリケーション (Applications)] > [インターネット接続 (Internet Connect)] > [AirPort (AirMac)]

2. [ネットワーク名 (Network Name)] ポップアップメニューから、プリントサーバ [yyyyyy] (**print server** [yyyyyy]) を選択します。y は、MAC アドレスシートに記載されていた MAC アドレスの末尾 6 桁です。
3. Web ブラウザを開きます。
4. [ブックマーク (Bookmarks)] メニューから、[表示 (Show)] または [すべてのブックマークを表示 (Show All Bookmarks)] を選択します。
5. [コレクション (COLLECTIONS)] で、[Bonjour] または [Rendezvous] を選択して、プリンタ名をダブルクリックします。

メモ: Mac OS X バージョン 10.2 の *Rendezvous* アプリケーションは、Apple Inc. によって *Bonjour* に名称変更されました。

6. 内蔵 WEB サーバ(EWS)から、ワイヤレス設定情報ページに移動します。

ワイヤレス接続用にプリンタを構成する

1. 該当するフィールドにネットワーク名 (SSID) を入力します。
2. アクセスポイント (ワイヤレスルーター) を使用している場合、[ネットワークモード (Network Mode)] で [インフラ (Infrastructure)] を選択します。
3. ワイヤレスネットワークの保護に使用するセキュリティの種類を選択します。
4. ワイヤレスネットワークにプリンタを接続する際に必要なセキュリティ情報を入力します。
5. [送信 (Submit)] をクリックします。
6. コンピュータで AirPort (AirMac) アプリケーションを開きます。

Mac OS X バージョン 10.5 以降の場合

アップルメニューから、次のいずれかのメニューを選択します。

- [システム基本設定 (System Preferences)] > [ネットワーク (Network)] > [Wi-Fi]
- [システム基本設定 (System Preferences)] > [ネットワーク (Network)] > [AirPort (AirMac)]

Mac OS X バージョン 10.4 の場合

Finder から、次のメニューを選択します。

[アプリケーション (Applications)] > [インターネット接続 (Internet Connect)] > [AirPort (AirMac)]

7. [ネットワーク (Network)] ポップアップメニューから、ワイヤレスネットワークの名前を選択します。

プリンタをワイヤレスで使用できるようにコンピュータを構成する

Macintosh ユーザーがネットワークプリンタで印刷するには、カスタムプリンタドライバファイルをインストールして、プリンタ設定ユーティリティ (Printer Setup Utility) またはプリントセンター (Print Center) でプリンタを作成する必要があります。

1. コンピュータにプリンタドライバファイルをインストールします。
 - a. ソフトウェアのインストーラパッケージを入手します。
 - プリンタに付属の『ソフトウェアおよびマニュアル CD』から入手します。
 - 弊社の Web サイトから入手します。

<http://support.lexmark.com> にアクセスして、次のメニューを選択します。

〔サポートとダウンロード (SUPPORT & DOWNLOAD)〕 > お使いのプリンタ機種を選択 > お使いのオペレーティングシステムを選択
 - b. プリンタのインストーラパッケージをダブルクリックします。
 - c. コンピュータ画面の指示に従ってください。
 - d. インストール先を選択して、〔継続 (Continue)〕をクリックします。
 - e. 〔簡易インストール (Easy Install)〕画面から、〔インストール (Install)〕をクリックします。
 - f. ユーザーパスワードを入力して、〔OK〕をクリックします。

必要なアプリケーションがすべてコンピュータにインストールされます。

 - g. インストールが完了したら、〔閉じる (Close)〕をクリックします。

2. 以下の手順でプリンタを追加します。

- a. IP 印刷を使用する場合

Mac OS X バージョン 10.5 以降の場合

1. アップルメニューから、次のいずれかのメニューを選択します。
 - 〔システム基本設定 (System Preferences)〕 > 〔プリントとスキャン (Print & Scan)〕
 - 〔システム基本設定 (System Preferences)〕 > 〔プリントと FAX (Print & Scan)〕
2. 〔+〕をクリックします。
3. 必要に応じて、〔プリンタまたはスキャナを追加 (Add Printer or Scanner)〕または〔他のプリンタまたはスキャナを追加 (Add Other Printer or Scanner)〕をクリックします。
4. 〔IP〕タブをクリックします。
5. プリンタの IP アドレスをアドレスフィールドに入力して、〔追加 (Add)〕をクリックします。

Mac OS X バージョン 10.4 の場合

1. Finder から、次のメニューを選択します。

〔アプリケーション (Applications)〕 > 〔ユーティリティ (Utilities)〕
2. 〔プリンタ設定ユーティリティ (Printer Setup Utility)〕または〔プリントセンター (Print Center)〕をダブルクリックします。

3. [Printer List (プリンタリスト)] から、[追加 (Add)] を選択して、[IP プリンタ (IP Printer)] をクリックします。
4. プリンタの IP アドレスをアドレスフィールドに入力して、[追加 (Add)] をクリックします。

b. AppleTalk 印刷を使用する場合

メモ:

- お使いのプリンタで AppleTalk が有効になっていることを確認します。
- この機能がサポートされているのは、Mac OS X バージョン 10.5 以前に限定されます。

Mac OS X バージョン 10.5 の場合

1. アップルメニューから、次のメニューを選択します。

[システム基本設定 (System Preferences)] > [プリントと FAXx (プリントと FAX)]

2. [+] をクリックして、次のメニューを選択します。

[AppleTalk] > リストからプリンタを選択 > [追加 (Add)]

Mac OS X バージョン 10.4 の場合

1. Finder から、次のメニューを選択します。

[アプリケーション (Applications)] > [ユーティリティ (Utilities)]

2. [プリンタ設定ユーティリティ (Printer Setup Utility)] または [プリントセンター (Print Center)] をダブルクリックします。

3. [プリンタリスト (Printer List)] から、[追加 (Add)] をクリックします。

4. [デフォルトブラウザ (Default Browser)] タブ > [ほかのプリンタ (More Printers)] をクリックします。

5. 最初のポップアップメニューから、[AppleTalk] を選択します。

6. 2 番目のポップアップメニューから、[ローカル AppleTalk ゾーン (Local AppleTalk Zone)] を選択します。

7. リストからプリンタを選択して、[追加 (Add)] をクリックします。

イーサネット で ネットワークにプリンタを接続する

メモ: プリンタの初期セットアップが完了していることを確認してください。

Windows の場合

1. ソフトウェアのインストーラパッケージを入手します。

- プリンタに付属の『ソフトウェアおよびマニュアル CD』から入手します。

- 弊社の Web サイトから入手します。

<http://support.lexmark.com> にアクセスして、次のメニューを選択します。

[サポートとダウンロード (SUPPORT & DOWNLOAD)] > お使いのプリンタ機種を選択
> お使いのオペレーティングシステムを選択

2. ソフトウェアのインストーラパッケージをダブルクリックします。

インストールのダイアログが表示されるまで待ちます。

『ソフトウェアおよびマニュアル CD』を使用していて、インストールのダイアログが表示されない場合は、以下の操作を実行します。

Windows 8 の場合

検索チャームから、run と入力して、次のメニューを選択します。

[アプリ (Apps)] リスト > [実行 (Run)] > D:¥setup.exe と入力 > [OK]

Windows 7 以前の場合

- a.  をクリックするか、[スタート (Start)] をクリックして、[ファイル名を指定して実行 (Run)] をクリックします。
- b. [検索の開始 (Start Search)] または [ファイル名を指定して実行 (Run)] ダイアログで、D:¥setup.exe と入力します。
- c. Enter キーを押すか、[OK] をクリックします。

メモ: D は、お使いの CD または DVD ドライブのドライブ文字です。

3. [インストール (Install)] をクリックし、コンピュータ画面の指示に従ってください。

メモ: 静的 IP アドレス、IPv6、またはスクリプトを使用してプリンタを構成するには、[詳細オプション (Advanced Options)] > [管理ツール (Administrator Tools)] を選択します。

4. [イーサネット接続 (Ethernet connection)] を選択して、[継続 (Continue)] をクリックします。
5. 指示に従って、イーサネット ケーブルを接続します。
6. リストからプリンタを選択して、[継続 (Continue)] をクリックします。

メモ: 構成済みのプリンタがリストに表示されない場合は、[検索条件の変更 (Modify Search)] をクリックします。

7. コンピュータ画面の指示に従ってください。

Macintosh の場合

1. ネットワーク DHCP からプリンタに IP アドレスを割り当てられるようにします。
2. プリンタの IP アドレスを以下の部分で確認します。
 - プリンタ操作パネル
 - [ネットワーク/ポート (Network/Ports)] メニューの [TCP/IP] セクション
 - 印刷したネットワークセットアップページまたはメニュー設定ページの [TCP/IP] セクション

メモ: プリンタと異なるサブネット上のコンピュータのアクセスを構成する場合、IP アドレスが必要になります。

3. コンピュータにプリンタドライバをインストールします。
 - a. プリンタのインストーラパッケージをダブルクリックします。
 - b. コンピュータ画面の指示に従ってください。
 - c. インストール先を選択して、**「継続 (Continue)」** をクリックします。
 - d. **「簡易インストール (Easy Install)」** 画面から、**「インストール (Install)」** をクリックします。
 - e. ユーザーパスワードを入力して、**「OK」** をクリックします。

必要なアプリケーションがすべてコンピュータにインストールされます。

- f. インストールが完了したら、**「閉じる (Close)」** をクリックします。
4. 以下の手順でプリンタを追加します。
 - IP 印刷を使用する場合

Mac OS X バージョン 10.5 以降の場合

 1. アップルメニューから、次のいずれかのメニューを選択します。
 - **「システム基本設定 (System Preferences)」** > **「プリントとスキャン (Print & Scan)」**
 - **「システム基本設定 (System Preferences)」** > **「プリントとFAX (Print & Scan)」**
 2. **「+」** をクリックします。
 3. 必要に応じて、**「プリンタまたはスキャナを追加 (Add Printer or Scanner)」** または **「他のプリンタまたはスキャナを追加 (Add Other Printer or Scanner)」** をクリックします。
 4. **「IP」** タブをクリックします。
 5. プリンタの IP アドレスをアドレスフィールドに入力して、**「追加 (Add)」** をクリックします。

Mac OS X バージョン 10.4 以前の場合

1. Finder から、次のメニューを選択します。

「アプリケーション (Applications)」 > **「ユーティリティ (Utilities)」**
2. **「プリンタ設定ユーティリティ (Printer Setup Utility)」** または **「プリントセンター (Print Center)」** をダブルクリックします。
3. プリンタリストから、**「追加 (Add)」** を選択して、**「IP プリンタ (IP Printer)」** をクリックします。
4. スキャナの IP アドレスをアドレスフィールドに入力して、**「追加 (Add)」** をクリックします。

- AppleTalk 印刷を使用する場合

メモ:

- お使いのプリンタで AppleTalk が有効になっていることを確認します。
- この機能がサポートされているのは、Mac OS X バージョン 10.5 以前に限定されます。

Mac OS X バージョン 10.5 の場合

1. アップルメニューから、次のメニューを選択します。

[システム基本設定 x (システム基本設定)] > [プリントと FAX (Print & Scan)]

2. [+] をクリックして、次のメニューを選択します。

[AppleTalk] > お使いのプリンタ機種を選択 > [追加 (Add)]

Mac OS X バージョン 10.4 以前の場合

1. Finder から、次のメニューを選択します。

[アプリケーション (Applications)] > [ユーティリティ (Utilities)]

2. [プリンタ設定ユーティリティ (Printer Setup Utility)] または [プリントセンター (Print Center)] をダブルクリックします。

3. プリンタリストから、[追加 (Add)] をクリックします。

4. [デフォルトブラウザ (Default Browser)] タブ > [ほかのプリンタ (More Printers)] をクリックします。

5. 最初のポップアップメニューから、[AppleTalk] を選択します。

6. 2 番目のポップアップメニューから、[ローカル AppleTalk ゾーン (Local AppleTalk Zone)] を選択します。

7. リストからデバイスを選択して、[追加 (Add)] をクリックします。

メモ: スキャナがリストに表示されない場合、IP アドレスを使用して追加する必要があります。
詳細については、システムサポート担当者に問い合わせてください。

新しいネットワーク内蔵ソリューションポートを取り付けた後でポート設定を変更する

新しい Lexmark 内蔵ソリューションポート (ISP) をプリンタに取り付けると、プリンタに新しい IP アドレスが割り当てられるので、プリンタにアクセスするコンピュータでプリンタの構成を更新する必要があります。プリンタにアクセスするコンピュータはすべて、この新しい IP アドレスで更新する必要があります。

メモ:

- プリンタに静的 IP アドレスが割り当てられている場合は、コンピュータの構成に変更を加える必要はありません。
- IP アドレスではなく、ネットワーク名を使用するようコンピュータが構成されている場合は、コンピュータの構成に変更を加える必要はありません。

- 以前に イーサネット 接続を構成したプリンタにワイヤレス ISP を追加する場合は、ワイヤレスで動作するようプリンタを構成するときに、プリンタが イーサネット ネットワークに接続していないことを確認してください。プリンタが イーサネット ネットワークに接続している場合は、ワイヤレス構成が完了しても、ワイヤレス ISP は無効な状態です。ワイヤレス ISP を有効にするには、プリンタを イーサネット ネットワークから切断して、プリンタの電源を一旦切ってから入れ直してください。
- 一度に使用できるネットワーク接続は 1 つだけです。イーサネット 接続とワイヤレス接続を切り替えるには、プリンタの電源を切って、ケーブルを接続するか（イーサネット 接続に切り替える場合）、ケーブルを取り外してから（ワイヤレス接続に切り替える場合）、プリンタの電源を入れ直します。

Windows の場合

1. Web ブラウザを開いて、プリンタの IP アドレスをアドレスフィールドに入力します。

メモ:

- プリンタの IP アドレスは、プリンタ操作パネルで確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバを使用している場合は、Web ページを適切にロードするため、そのプロキシサーバの使用を一時的に無効にしてください。

2. プリンタフォルダを開きます。

Windows 8 の場合

検索チャームから、**Run** と入力して、次のメニューを選択します。

[アプリ (Apps)] リスト > [実行 (Run)] > **control printers** と入力 > [OK]

Windows 7 以前の場合

- a.  をクリックするか、[スタート (Start)] をクリックして、[ファイル名を指定して実行 (Run)] をクリックします。
 - b. [検索の開始 (Start Search)] または [ファイル名を指定して実行 (Run)] ダイアログで、**control printers** と入力します。
 - c. **Enter** キーを押すか、[OK] をクリックします。
3. 変更されたプリンタを選択するには、次のいずれかの手順を実行します。
 - 更新するプリンタを長押しして、[プリンタのプロパティ (Printer properties)] を選択します。
 - プリンタを右クリックし、[プリンタのプロパティ (Printer properties)] (Windows 7 以降) または [プロパティ (Properties)] (Windows 7 よりも前のバージョン) を選択します。

メモ: プリンタが複数存在する場合は、そのすべてを新しい IP アドレスで更新します。

4. [ポート (Ports)] タブをクリックします。
5. リストからポートを選択して、[ポートの構成 (Configure Port)] をクリックします。

6. 新しい IP アドレスを [プリンタ名または IP アドレス (Printer Name or IP Address)] フィールドに入力します。
7. [OK] > [閉じる (Close)] をクリックします。

Macintosh の場合

1. Web ブラウザを開いて、プリンタの IP アドレスをアドレスフィールドに入力します。

メモ:

- プリンタの IP アドレスは、プリンタ操作パネルで確認します。IP アドレスは、123. 123. 123. 123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバを使用している場合は、Web ページを適切にロードするため、そのプロキシサーバの使用を一時的に無効にしてください。

2. 以下の手順でプリンタを追加します。

- IP 印刷を使用する場合

1. アップルメニューから、次のいずれかのメニューを選択します。

- [システム基本設定 (System Preferences)] > [プリントとスキャン (Print & Scan)]
- [システム基本設定 (System Preferences)] > [プリントとスキャン (Print & Scan)]

2. [+] をクリックします。

3. [IP] タブをクリックします。

4. プリンタの IP アドレスをアドレスフィールドに入力して、[追加 (Add)] をクリックします。

- AppleTalk 印刷を使用する場合

メモ:

- お使いのプリンタで AppleTalk が有効になっていることを確認します。
- この機能がサポートされているのは、Mac OS X バージョン 10.5 に限定されます。

1. アップルメニューから、次のメニューを選択します。

- [システム基本設定 (System Preferences)] > [プリントと FAXx (プリントと FAX)]

2. [+] をクリックして、次のメニューを選択します。

- [AppleTalk] > プリンタ機種を選択 > [追加 (Add)]

シリアル印刷をセットアップする

コンピュータがプリンタから離れている場合や、低速のインターフェイスで印刷する場合には、シリアル印刷を使用して印刷します。

シリアルまたは通信（COM）ポートを取り付けたら、プリンタとコンピュータを構成します。お使いのプリンタの COM ポートにシリアルケーブルが接続されていることを確認してください。

1. プリンタでパラメータを設定します。

- a. プリンタ操作パネルから、ポート設定のメニューを選択します。
- b. シリアルポート設定のメニューを選択し、必要に応じて、設定を調整します。
- c. 変更した設定を保存して、メニュー設定ページを印刷します。

2. プリンタドライバをインストールします。

- a. ソフトウェアのインストーラパッケージを入手します。
 - プリンタに付属の『ソフトウェアおよびマニュアル CD』から入手します。
 - 弊社の Web サイトから入手します。

<http://support.lexmark.com> にアクセスして、次のメニューを選択します。

〔サポートとダウンロード（SUPPORT & DOWNLOAD）〕 > お使いのプリンタ機種を選択 > お使いのオペレーティングシステムを選択

- b. ソフトウェアのインストーラパッケージをダブルクリックします。

インストールのダイアログが表示されるまで待ちます。

『ソフトウェアおよびマニュアル CD』を使用していて、インストールのダイアログが表示されない場合は、以下の操作を実行します。

Windows 8 の場合

検索チャームから、**run** と入力して、次のメニューを選択します。

〔アプリ（Apps）〕 リスト > 〔**実行（Run）**〕 > **D:¥setup.exe** と入力 > 〔**OK**〕

Windows 7 以前の場合

1.  をクリックするか、〔**スタート（Start）**〕 をクリックして、〔**ファイル名を指定して実行（Run）**〕 をクリックします。
2. 〔検索の開始（Start Search）〕 または 〔ファイル名を指定して実行（Run）〕 ダイアログで、**D:¥setup.exe** と入力します。
3. **Enter** キーを押すか、〔**OK**〕 をクリックします。

メモ: **D** は、お使いの CD または DVD ドライブのドライブ文字です。

- c. [インストール (Install)] をクリックします。
- d. コンピュータ画面の指示に従ってください。
- e. [詳細 (Advanced)] を選択して、[継続 (Continue)] をクリックします。
- f. [プリンタ接続の構成 (Configure Printer Connection)] ダイアログから、ポートを選択します。
- g. ポートがリストに含まれていない場合、[更新 (Refresh)] をクリックするか、次のメニューを選択します。

[ポートの追加 (Add port)] > ポートの種類を選択 > 必要な情報を入力 > [OK]

- h. [継続 (Continue)] > [終了 (Finish)] をクリックします。

3. COM ポートのパラメータを設定します。

プリンタドライバをインストールしたら、プリンタドライバに割り当てた COM ポートのシリアルパラメータを設定します。

メモ: COM ポートのシリアルパラメータと、プリンタに設定したシリアルパラメータが一致していることを確認してください。

- a. Device Manager (デバイスマネージャー) を開きます。

Windows 8 の場合

検索チャームから、**run** と入力して、次のメニューを選択します。

[アプリ (Apps)] リスト > [実行 (Run)] > **devmgmt.msc** と入力 > [OK]

Windows 7 以前の場合

- 1.  をクリックするか、[スタート (Start)] をクリックして、[ファイル名を指定して実行 (Run)] をクリックします。
- 2. [検索の開始 (Start Search)] または [ファイル名を指定して実行 (Run)] ダイアログで、**devmgmt.msc** と入力します。
- 3. **Enter** キーを押すか、[OK] をクリックします。
- b. [Ports (COM & LPT) (ポート (COM & LPT))] をダブルクリックして、使用可能なポートのリストを開きます。
- c. 次のいずれかの手順を実行します。
 - お使いのコンピュータにシリアルケーブルを接続したときに使用した COM ポート (例: COM1) を長押しします。
 - お使いのコンピュータにシリアルケーブルを接続したときに使用した COM ポート (例: COM1) を右クリックします。
- d. 表示されたメニューから、[プロパティ (Properties)] を選択します。
- e. [ポート設定 (Port Settings)] タブで、プリンタで設定したシリアルパラメータと同じ値になるよう、シリアルパラメータを設定します。

メニュー設定ページのシリアル欄でプリンタ設定をチェックします。

- f. [OK] をクリックし、ダイアログをすべて閉じます。
- g. テストページを印刷して、プリンタのインストールに問題がないことを確認します。

6—プリンタによる環境への影響を最小限に抑える

Lexmark は環境の維持に取り組んでおり、弊社の製品であるプリンタを継続的に改良することで、環境に対する影響を削減する努力をしています。弊社は環境に配慮した設計を採用し、簡素な梱包に努めるとともに、製品の回収/リサイクルプログラムを実施しています。詳細については、以下を参照してください。

- 通知事項の章
- 環境維持に関する Lexmark の Web サイト (www.lexmark.com/environment)
- Lexmark のリサイクルプログラム (www.lexmark.com/recycle)

特定のプリンタ設定やタスクを選択することで、プリンタによる環境への影響をさらに低減できます。この章では、環境面でさらに好ましい影響をもたらすような設定とタスクの概要について説明します。

用紙とトナーを節約する

複数の調査・研究報告が示すように、プリンタの二酸化炭素排出量の 80% は、印刷で使用する用紙に由来しています。再生紙を使用するとともに、以下で推奨している用紙の両面に印刷する方法や 1 枚の用紙に複数ページを印刷する方法を利用することで、二酸化炭素排出量を大幅に削減できます。

プリンタ設定で簡単に用紙や消費電力を節約する方法の詳細については、「[エコモードを使用する](#)」を参照してください。

再生紙を使用する

環境問題意識を持つ企業として、Lexmark はレーザー/LED プリンタ向けに特別に生産された事務用再生紙の使用を推奨しています。お使いのプリンタで利用できる再生紙の詳細については、「[再生紙やその他の事務用紙を使用する](#)」を参照してください。

消耗品を節約する

用紙の両面に印刷する

お使いのプリンタ機種が両面印刷に対応している場合、[印刷する (Print)] ダイアログボックスまたは Lexmark ツールバーから[両面印刷 (2-sided printing)]を選択することで、用紙の両面に印刷にすることができます。

1 枚の用紙に複数ページを印刷する

[印刷する (Print)] ダイアログボックスの[複数ページ印刷 (N アップ (Multipage printing (N-Up)))] セクションから設定を選択することで、1 枚の用紙の片面に、複数ページのドキュメントから連続するページを最大で 16 ページ印刷できます。

下書きの段階で誤りがないかチェックする

ドキュメントを複数部印刷またはコピーする前に、以下の手順を実行します。

- [印刷する (Print)] ダイアログボックスまたは Lexmark ツールバーから選択できるプレビュー機能を使用して、印刷前にドキュメントがどのように印刷されるか確認します。
- ドキュメントを 1 部だけ印刷し、内容や形式に誤りがないかどうかを確認します。

紙づまりを防ぐ

紙づまりを防ぐため、用紙の選択とセットは正しく行います。詳細については、「[紙づまりを防ぐ](#)」を参照してください。

モノクロで印刷する

ブラックトナーカートリッジだけを使用して、テキストやグラフィックを含む、ドキュメント全体をモノクロで印刷するには、プリンタを [Black Only (白黒のみ)] に設定します。詳細については、「[モノクロで印刷する](#)」を参照してください。

[速度優先 (Max Speed)] と [枚数優先 (Max Yield)] の設定を使用する

[速度優先 (Max Speed)] と [枚数優先 (Max Yield)] の設定を使用すると、印刷速度とトナー収率のどちらを優先するか選択できます。出荷時の設定は、[速度優先 (Max Speed)] です。詳細については、「[\[Max Speed \(速度優先\)\] と \[Max Yield \(枚数優先\)\] を使用する](#)」を参照してください。

消費電力を節約する

エコモードを使用する

1. プリンタの IP アドレスを Web ブラウザのアドレスフィールドに入力します。

プリンタの IP アドレスが分からない場合は、以下の手順で確認できます。

- [ネットワーク/ポート (Network/Ports)] メニューの [TCP/IP] セクションで、プリンタ操作パネルの IP アドレスを確認します。
- ネットワークセットアップページまたはメニュー設定ページを印刷して、[TCP/IP] セクションの IP アドレスを確認します。

2. [設定 (Settings)] > [一般設定 (General Settings)] > [エコモード (Eco-Mode)] > 設定を選択 > [送信 (Submit)] をクリックします。

項目	目的
[オフ (Off)]	エコモード関連の設定をすべて出荷時の設定にリセットします。この設定では、プリンタの仕様に沿ったパフォーマンスが得られます。

項目	目的
[電力 (Energy)]	消費電力を減らします。特にプリンタがアイドル状態のときに効果的です。 - プリンタエンジンのモーターは、印刷準備が完了するまで動作しません。1 ページ目が印刷されるまで、少し時間がかかることがあります。 - 動作しない状態が 1 分続くと、プリンタはスリープモードに移行します。 - プリンタがスリープモードに移行すると、プリンタ操作パネルの表示と標準排紙トレイのライトが消灯します。 - スキャン機能がサポートされている場合、スキャンジョブが開始された時点に限定して、スキャナランプが点灯します。
[電力/用紙 (Energy/Paper)]	電力 (Energy) モードと用紙 (Paper) モードに関連する設定をすべて使用します。
[用紙 (Paper)]	- 自動両面印刷機能を有効にします。 - ログ印刷機能をオフにします。

プリンタの動作音を抑える

内蔵 WEB サーバ(EWS)を使用して [静音モード (Quiet Mode)] 設定を選択するには、以下の手順を実行します。

1. プリンタの IP アドレスを Web ブラウザのアドレスフィールドに入力します。

プリンタの IP アドレスが分からない場合は、以下の手順で確認できます。

- [ネットワーク/ポート (Network/Ports)] メニューの [TCP/IP] セクションで、プリンタ操作パネルの IP アドレスを確認します。
- ネットワークセットアップページまたはメニュー設定ページを印刷して、[TCP/IP] セクションの IP アドレスを確認します。

2. [設定 (Settings)] > [一般設定 (General Settings)] > [静音モード (Quiet Mode)] > 設定を選択 > [送信 (Submit)] をクリックします。

項目	目的
[オフ (Off)] メモ: ドライバから [写真 (Photo)] を選択すると、[静音モード (Quiet Mode)] が無効になり、印刷品質を優先して、最大速度で印刷します。	出荷時の設定を使用します。この設定では、プリンタの仕様に沿ったパフォーマンスが得られます。

項目	目的
[オン (On)]	プリンタの動作音を抑えます。 - 印刷ジョブの処理速度は低下します。 - プリンタエンジンのモーターは、ドキュメントの印刷準備が完了するまで動作しません。1 ページ目が印刷されるまで、少し時間がかかることがあります。 - お使いのプリンタに FAX 機能がある場合、FAX のスピーカーや呼び出しなどの音声のボリュームが小さくなるか無効になります。FAX は待機モードに移行します。 - アラーム制御およびカートリッジのアラーム音はオフになります。 - プリンタでは、[予約起動 (Advance Start)] コマンドは無視されます。

スリープモードを調整する

消費電力を節約するには、プリンタをスリープモードに移行するまでの待機時間を短縮します。

設定可能な範囲は 1～240 分です。出荷時の設定は 5 分です。

内蔵 WEB サーバ(EWS)を使用する

1. プリンタの IP アドレスを Web ブラウザのアドレスフィールドに入力します。

プリンタの IP アドレスが分からない場合は、以下の手順で確認できます。

- [ネットワーク/ポート (Network/Ports)] メニューの [TCP/IP] セクションで、プリンタ操作パネルの IP アドレスを確認します。
- ネットワークセットアップページまたはメニュー設定ページを印刷して、[TCP/IP] セクションの IP アドレスを確認します。

2. [設定 (Settings)] > [一般設定 (General Settings)] > [時間切れ (Timeouts)] をクリックします。
3. [スリープモード (Sleep Mode)] フィールドで、プリンタをスリープモードに移行するまでの待機時間 (分) を入力します。
4. [送信 (Submit)] をクリックします。

プリンタ操作パネルを使用する

1. ホーム画面から、次のメニューを選択します。

 > [設定 (Settings)] > [一般設定 (General Settings)] > [時間切れ (Timeouts)] > [スリープモード (Sleep Mode)] をクリックします。

2. [スリープモード (Sleep Mode)] フィールドで、プリンタをスリープモードに移行するまでの待機時間 (分) を選択します。
3.  をタッチします。

休止モードを使用する

休止モードは、消費電力が著しく低い動作モードです。休止モードで動作中は、基本的にプリンタの電源は切れており、他のシステムやデバイスの電源を安全に切れる状態です。

メモ: 休止モードやスリープモードへの移行は、スケジュール予約が可能です。

内蔵 WEB サーバ(EWS)を使用する

1. プリンタの IP アドレスを Web ブラウザのアドレスフィールドに入力します。
プリンタの IP アドレスが分からない場合は、以下の手順で確認できます。
 - [ネットワーク/ポート (Network/Ports)] メニューの [TCP/IP] セクションで、プリンタ操作パネルの IP アドレスを確認します。
 - ネットワークセットアップページまたはメニュー設定ページを印刷して、[TCP/IP] セクションの IP アドレスを確認します。
2. [設定 (Settings)] > [一般設定 (General Settings)] > [スリープボタン設定 (Sleep Button Settings)] をクリックします。
3. [スリープボタンを押す (Press Sleep Button)] または [[スリープボタン]を押し続ける (Press and Hold Sleep Button)] ドロップダウンから、[ハイバネート (Hibernate)] を選択します。
4. [送信 (Submit)] をクリックします。

プリンタ操作パネルを使用する

1. ホーム画面から、次のメニューを選択します。
 > [設定 (Settings)] > [一般設定 (General Settings)] > [スリープボタンを押す (Press Sleep Button)] または [[スリープボタン]を押し続ける (Press and Hold Sleep Button)] > [ハイバネート (Hibernate)]
2. [送信 (Submit)] をタッチします。

ディスプレイの明るさを調整する

消費電力を節約したい場合や、ディスプレイの表示が見にくい場合には、ディスプレイの明るさを調整します。

設定可能な範囲は 20～100 です。出荷時の設定は 100 です。

内蔵 WEB サーバ(EWS)を使用する

1. プリンタの IP アドレスを Web ブラウザのアドレスフィールドに入力します。

プリンタの IP アドレスが分からない場合は、以下の手順で確認できます。

- [ネットワーク/ポート (Network/Ports)] メニューの [TCP/IP] セクションで、プリンタ操作パネルの IP アドレスを確認します。
- ネットワークセットアップページまたはメニュー設定ページを印刷して、[TCP/IP] セクションの IP アドレスを確認します。

2. [設定 (Settings)] > [一般設定 (General Settings)] をクリックします。
3. [画面の明るさ (Screen Brightness)] フィールドで、ディスプレイの明るさのパーセント値を入力します。
4. [送信 (Submit)] をクリックします。

プリンタ操作パネルを使用する

1. ホーム画面から、次のメニューを選択します。

 > [設定 (Settings)] > [一般設定 (General Settings)]

2. [画面明るさ (Screen Brightness)] が表示されるまで矢印をタッチし、設定を選択します。
3. [送信 (Submit)] をタッチします。

標準排紙トレイのライトを設定する

消費電力を節約したい場合には、標準排紙トレイの排紙部の照明を暗くするか消灯に切り替えます。

使用可能な設定は、[オフ (Off)]、[中間 (Dim)]、[明るい (Bright)] です。

通常/待機モードの出荷時の設定は [明るい (Bright)] です。

[エコモード (Eco-Mode)] を [電力 (Energy)] または [電力/用紙 (Energy/Paper)] に設定すると、ライトの設定は [中間 (Dim)] になります。

スリープモード時は、ライトは消灯します。

内蔵 WEB サーバ(EWS)を使用する

1. プリンタの IP アドレスを Web ブラウザのアドレスフィールドに入力します。

プリンタの IP アドレスが分からない場合は、以下の手順で確認できます。

- [ネットワーク/ポート (Network/Ports)] メニューの [TCP/IP] セクションで、プリンタ操作パネルの IP アドレスを確認します。
- ネットワークセットアップページまたはメニュー設定ページを印刷して、[TCP/IP] セクションの IP アドレスを確認します。

2. [設定 (Settings)] > [一般設定 (General Settings)] > [排紙部の照明 (Output Lighting)] をクリックします。
3. [標準/待機モード (Normal/Standby Mode)] リストから、[レディまたは待機 (Ready or Standby)] モード時に適用する標準排紙トレイのライトの設定を選択します。

4. [送信 (Submit)] をクリックします。

プリンタ操作パネルを使用する

1. ホーム画面から、次のメニューを選択します。

 > [設定 (Settings)] > [一般設定 (General Settings)] > [排紙部の照明 (Output Lighting)]

2. [標準/待機モード (Normal/Standby Mode)] の横にある矢印ボタンをタッチして、[Normal/Standby Mode (Ready or Standby x)] モード時に適用する標準排紙トレイのライトの設定を選択します。
3. [送信 (Submit)] をタッチします。

リサイクル

Lexmark は、リサイクルを目的とする回収プログラムや環境関連の先進的な取り組みを進めています。詳細については、以下を参照してください。

- 通知事項の章
- 環境維持に関する Lexmark の Web サイト (www.lexmark.com/environment)
- Lexmark のリサイクルプログラム (www.lexmark.com/recycle)

Lexmark 製品をリサイクルする

リサイクルを目的として Lexmark 製品を返却するには、以下の手順に従ってください。

1. www.lexmark.com/recycle にアクセスします。
2. リサイクル製品の種類を見つけて、お住まいの国または地域をリストから選択します。
3. コンピュータ画面の指示に従ってください。

メモ: Lexmark の回収プログラムの対象に含まれていないプリンタの消耗品やハードウェアは、お客様の最寄りのリサイクルセンターでリサイクルできる場合があります。最寄りのリサイクルセンターに問い合わせて、受け入れ可能な品目を確認してください。

Lexmark 製品の梱包材をリサイクルする

Lexmark は常に、梱包材の量を最小限に抑える取り組みを進めています。梱包材の量を削減することで、Lexmark プリンタは最も無駄の少ない、環境に配慮した方法で輸送され、梱包材の廃棄量の削減に貢献しています。このような取り組みの成果として、温室効果ガスの排出量の削減、省エネルギー、天然資源の節約を実現しています。

Lexmark のダンボール箱は、ダンボール用のリサイクル施設がある地域では、100% のリサイクルが可能です。ただし、お住まいの地域には、このような施設は存在しない可能性があります。

Lexmark の梱包材に使用されている発泡スチロールは、発泡スチロール用のリサイクル施設がある地域ではリサイクルが可能です。ただし、お住まいの地域には、このような施設が存在しない可能性があります。

Lexmark にカートリッジを返却する際には、配送時の梱包のダンボール箱を再利用できます。返却時に再利用されたダンボール箱は、Lexmark がリサイクルします。

再利用やリサイクルを目的として Lexmark カートリッジを返却する

Lexmark カートリッジ回収プログラムでは、再利用やリサイクルを目的として、お客様が Lexmark に使用済みカートリッジを返却するプロセスを簡素化して無料化することで、年間に数百万個ものカートリッジが廃棄されることなく転用されています。Lexmark に返却された使用済みカートリッジは必ずリサイクル用に再利用されるか、別の製品に転用されます。カートリッジの返却に使用されたダンボール箱もリサイクルされます。

再利用またはリサイクルを目的として Lexmark カートリッジを返却するには、プリンタまたはカートリッジに同梱されている説明書に従い、料金元払いの発送用ラベルを使用してください。また、以下の方法もあります。

1. www.lexmark.com/recycle にアクセスします。
2. [トナーカートリッジ (Toner Cartridges)] セクションから、お住まいの国または地域を選択します。
3. コンピュータ画面の指示に従ってください。

7—用紙および特殊用紙をセットする

用紙のサイズとタイプを設定する

〔用紙サイズ (Paper Size)〕の設定は、多目的フィーダを除く、各トレイの用紙ガイドの位置に従って自動的に検出されます。多目的フィーダの〔用紙サイズ (Paper Size)〕の設定は、〔用紙サイズ (Paper Size)〕メニューから手動で設定する必要があります。普通紙以外の用紙を使用するトレイの場合、〔用紙サイズ (Paper Size)〕の設定は手動で設定する必要があります。

ホーム画面から、次のメニューを選択します。

 > **〔用紙メニュー (Paper Menu)〕** > **〔用紙サイズ/タイプ (Paper Size/Type)〕** > **トレイ**
を選択 > 用紙のサイズまたはタイプを選択 > **〔送信 (Submit)〕**

ユニバーサル用紙設定を構成する

〔ユニバーサル用紙のサイズ (Universal Paper Size)〕は、ユーザー定義の設定です。この設定を使用すると、プリンタのメニューに事前設定されていない用紙サイズで印刷できます。〔用紙サイズ (Paper Size)〕メニューから必要なサイズを選択できない場合、指定されたトレイの〔用紙サイズ (Paper Size)〕を〔ユニバーサル (Universal)〕に設定します。次に、用紙の〔ユニバーサルサイズ (Universal size)〕設定で以下の項目をすべて指定します。

- 〔測定単位 (Units of Measure)〕
- 〔縦長の横の長さ (Portrait Width)〕
- 〔縦長の縦の長さ (Portrait Height)〕

メモ：〔縦長の横の長さ (Portrait Width)〕と〔縦長の縦の長さ (Portrait Height)〕の設定範囲は、3～48 インチです。

1. ホーム画面から、次のメニューを選択します。

 > **〔用紙メニュー (Paper Menu)〕** > **〔ユニバーサル設定 (Universal Setup)〕** > **〔測定単位 (Units of Measure)〕** > 単位を選択

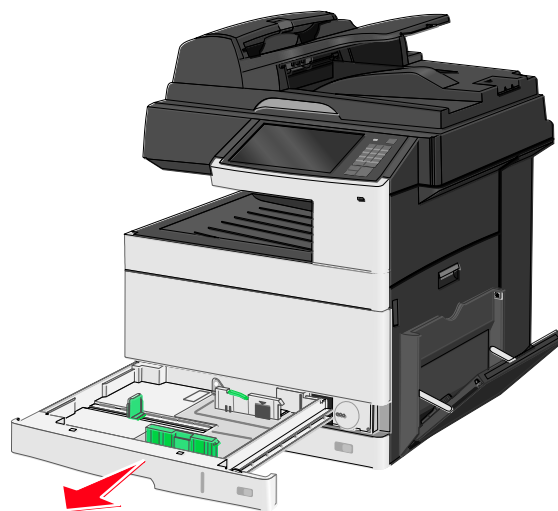
2. **〔縦長の横の長さ (Portrait Width)〕** または **〔縦長の縦の長さ (Portrait Height)〕** > 幅または高さを選択 > **〔送信 (Submit)〕** をタッチします。

標準トレイまたはオプションの 550 枚トレイに用紙をセットする

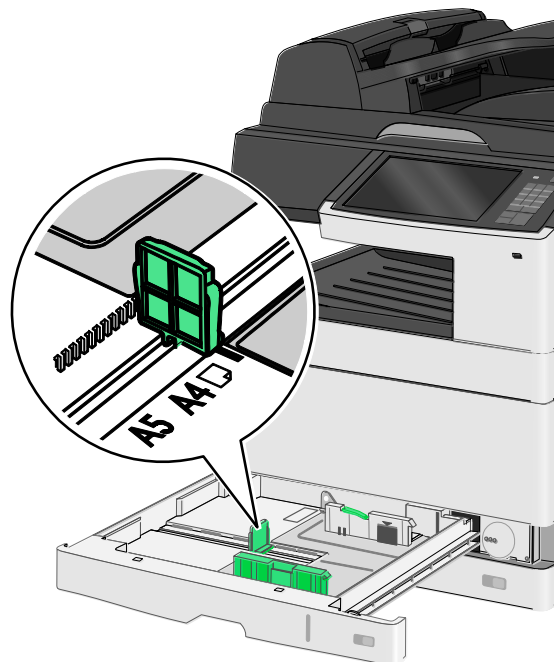
プリンタには標準の 150 枚トレイ (トレイ 1) と 250 枚トレイ (トレイ 2) が用意されており、オプションの 550 枚トレイも 1 つセットできます。550 枚トレイはすべて、同じ用紙のサイズとタイプをサポートしています。

 **注意—ケガの恐れあり：**本機が不安定にならないように、用紙カセットや用紙トレイは個別にセットしてください。その他のカセットやトレイは必要がない限り、すべて閉じたままの状態にしてください。

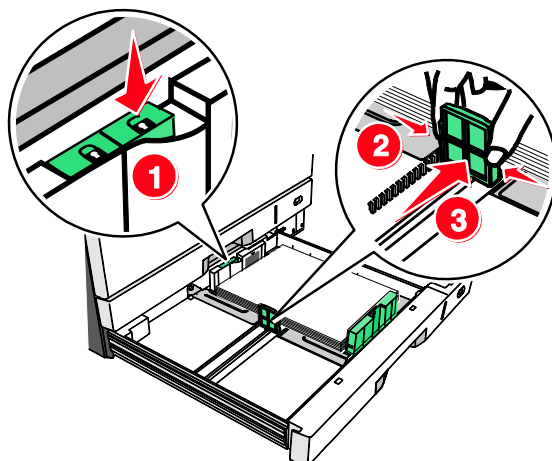
1. トレイを引き出します。



トレイの底部にあるサイズインジケータを確認してください。このインジケータを参考にして、ガイドの位置を合わせます。

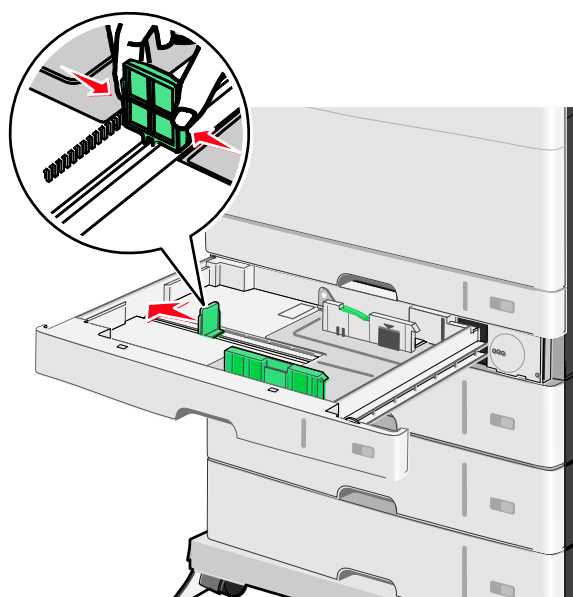


2. トレイの後部にある幅ガイドロックを必ず解除してください。幅ガイドをつまんで、セットする用紙サイズに合わせて適切な位置にスライドさせます。

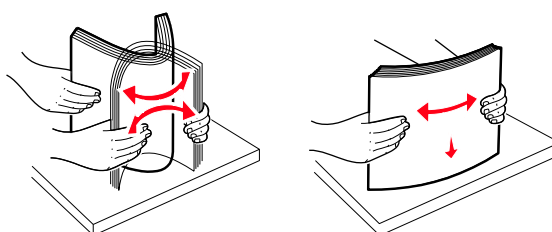


メモ：調整後に端の部分がずれないように、トレイの後部にある幅ガイドロックを必ず使用してください。

3. 長さガイドをつまんで、セットする用紙サイズに合わせて適切な位置にスライドさせます。



4. 用紙を前後に曲げてほぐします。用紙を折ったり畳んだりしないでください。平らな面で端をそろえます。

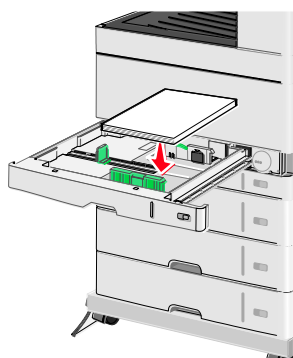


5. 推奨される印刷面を上にして、用紙の束をセットします。

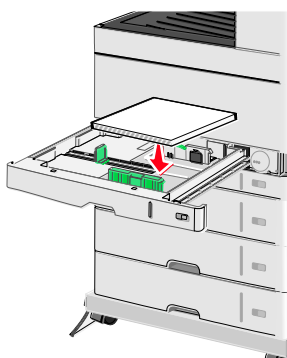
メモ:

- 用紙が A4 よりも縦に長い場合は、横長の向きにセットします。
- 用紙が A4 よりも縦に短い場合は、縦長の向きにセットします。
- セットした用紙が用紙トレイの端にある内側の線を越えていないことを確認してください。トレイにセットした用紙の量が多すぎると、紙づまりが生じたり、プリンタが損傷したりする原因になります。

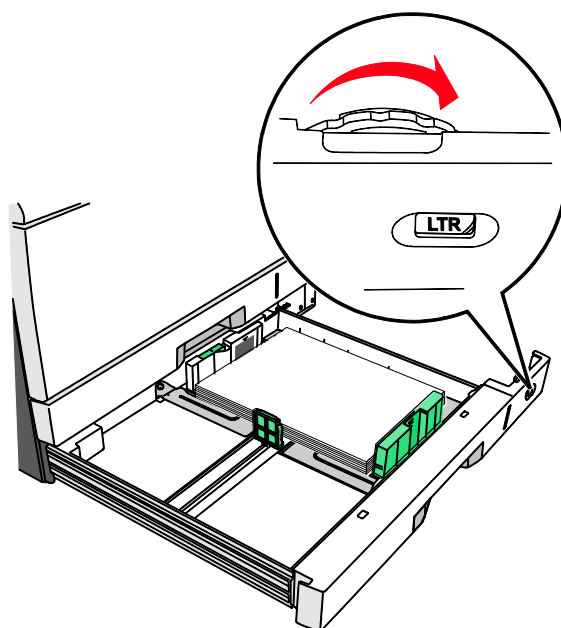
縦長の向き



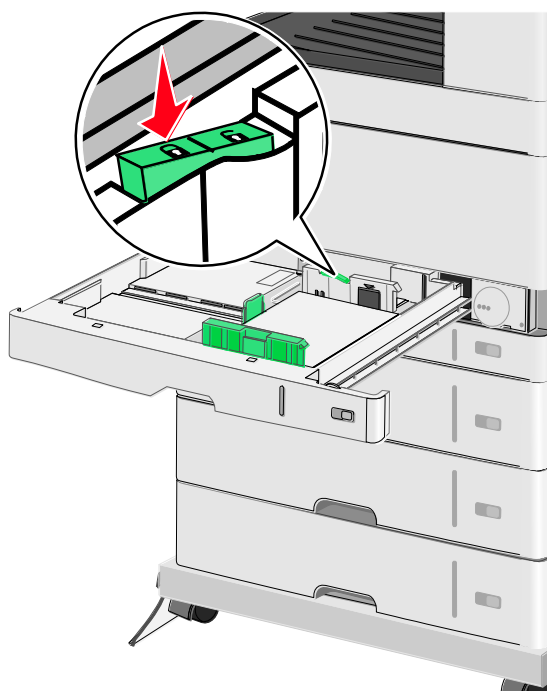
横長の向き



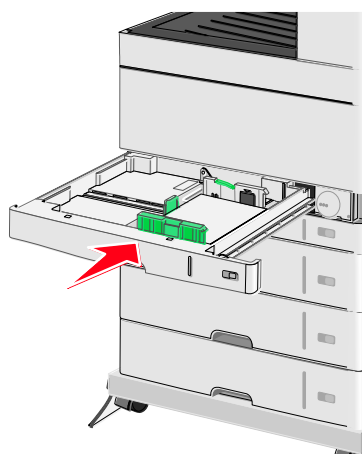
6. 幅ガイドと長さガイドの両方を調整して、用紙の束の端がガイドに軽く触れる状態にします。用紙がトレイに収まっていて、紙面が平らな状態で、曲がったり、しわが寄ったりしていないことを確認してください。
7. ホイールを時計回りに回して、用紙サイズを設定します。



8. 幅ガイドをロックします。



9. トレイを挿入します。



10. プリンタ操作パネルから、セットした用紙に基づいて、トレイの [用紙サイズ (Paper Size)] と [用紙タイプ (Paper Type)] に問題がないことを確認します。

多目的フィーダに用紙をセットする

多目的フィーダには、OHP フィルム、ラベル、カード用紙、封筒など、さまざまなサイズやタイプの用紙をセットできます。多目的フィーダは単一ページの印刷や手動印刷用にも使用することも、追加トレイとして使用することも可能です。

以下の条件を満たしていれば、ほとんどの場合、多目的フィーダにセットできます。

- 重さ 75-g/m^2 (20 ポンド) の用紙 50 枚
- 封筒 10 枚

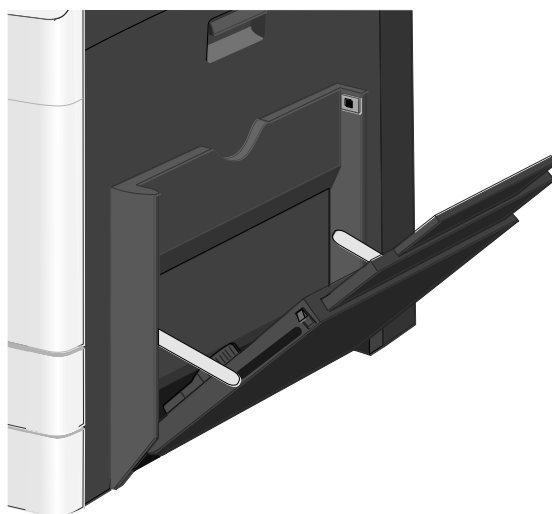
- OHP フィルム 20 枚

メモ: プリンタが多目的フィーダから印刷しているときや、プリンタ操作パネルのインジケータライトが点滅しているときには、用紙および特殊用紙を追加したり取り除いたりしないでください。このような操作を行うと、紙詰まりの原因になることがあります。

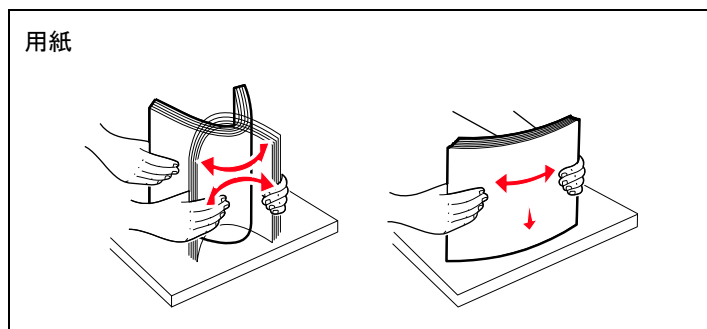
1. 多目的フィーダを下に引きます。

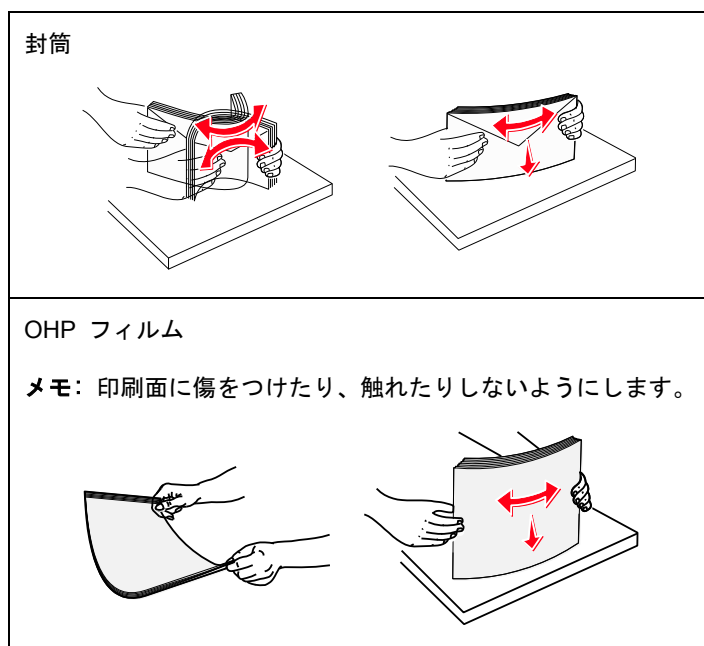


2. 拡張ガイド全体を最後までゆっくりと引き出します。



3. 用紙または特殊用紙を前後に曲げてほぐします。用紙（特殊用紙）を折ったり畳んだりしないでください。平らな面で端をそろえます。



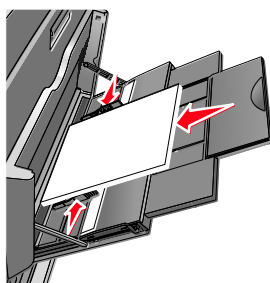


4. 用紙または特殊用紙をセットします。多目的フィーダの奥に当たるまで、用紙の束をゆっくりとスライドさせます。

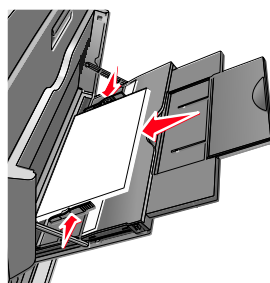
メモ：

- A3、A6、11x17、JIS B4、ステートメント、およびリーガルの各サイズの下紙は、横長の向きにセットします。
- A4、A5、エグゼクティブ、JIS B5、およびレターの下紙は、縦長の向きにセットします。
- 封筒はフラップ面を上にして、横長の向きにセットします。
- 多目的フィーダにセットできる下紙の最大量を超えないようにしてください。
- 一度にセットする下紙は、サイズおよびタイプを同じものに限定してください。

縦長の向き

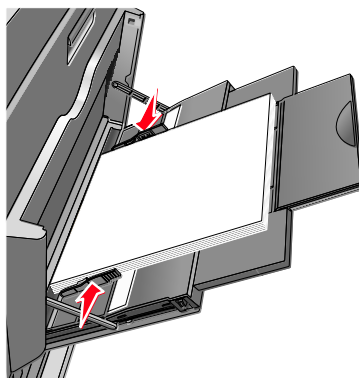


横長の向き



警告—破損の恐れあり：切手、留め金、スナップ、窓、つや出し加工された内張り、封かん用口糊の付いた封筒は絶対に使用しないでください。このような封筒を使用すると、プリンタに深刻な損傷が生じる可能性があります。

5. 幅ガイドを調整して、用紙の束の端がガイドに軽く触れる状態にします。用紙または特殊用紙が多目的フィーダに収まっていて、紙面が平らな状態で、曲がったり、しわが寄ったりしていないことを確認してください。



6. プリンタ操作パネルから、セットした用紙または特殊用紙に基づいて、多目的フィーダ（〔多目的フィーダサイズ（MP Feeder Size）〕と〔多目的フィーダタイプ（MP Feeder Type）〕）の〔用紙サイズ（Paper Size）〕と〔用紙タイプ（Paper Type）〕を設定します。

トレイをリンクする/リンク解除する

トレイをリンクする

トレイのリンクは、印刷ジョブのサイズが大きい場合や印刷する部数が多い場合に便利です。リンクされている 1 つのトレイが空になると、リンクされている次のトレイから給紙されます。任意の複数のトレイで 〔用紙サイズ（Paper Size）〕と〔用紙タイプ（Paper Type）〕の設定が同じ場合、そのトレイ同士は自動的にリンクされます。〔用紙サイズ（Paper Size）〕の設定は、トレイ 1 と多目的フィーダを除く、各トレイの用紙ガイドの位置に従って自動的に検出されます。多目的フィーダの〔用紙サイズ（Paper Size）〕の設定は、〔用紙サイズ（Paper Size）〕メニューから手動で設定する必要があります。各トレイの〔用紙サイズ（Paper Size）〕の設定は、〔Paper Type（用紙タイプ）〕メニューから設定する必要があります。〔用紙タイプ（Paper Type）〕メニューと〔用紙サイズ（Paper Size）〕メニューはともに、〔用紙サイズ/タイプ（Paper Size/Type）〕メニューから使用できます。

トレイをリンク解除する

メモ: トレイの設定が他のトレイと異なる場合、そのトレイ同士はリンクされません。

以下のいずれかのトレイ設定を変更します。

- 〔用紙タイプ（Paper Type）〕

〔用紙タイプ（Paper Type）〕名は、用紙の特性を表します。用紙を表すのに最適な名前が、リンクされた複数のトレイで使用されている場合、カスタムタイプ [x] のような別の〔用紙タイプ（Paper Type）〕名を割り当てるか、特定のユーザー専用のカスタム名を定義します。

- 〔用紙サイズ（Paper Size）〕

別の用紙サイズをセットすると、トレイの〔用紙サイズ（Paper Size）〕設定が自動的に変更されます。多目的フィーダの〔用紙サイズ（Paper Size）〕の設定は、自動的に変更されません。〔用紙サイズ（Paper Size）〕メニューから手動で設定する必要があります。

警告—破損の恐れあり：トレイにセットされた用紙のタイプを正しく表していない〔用紙タイプ (Paper Type)〕名を割り当てないでください。フューザーの温度は、指定された〔用紙タイプ (Paper Type)〕に従って変化します。誤った〔用紙タイプ (Paper Type)〕を選択した場合、印刷が正しく処理されないことがあります。

用紙タイプのカスタム名を設定する

プリンタがネットワークに接続されている場合、内蔵 WEB サーバ(EWS)を使用して、プリンタにセットされているカスタム用紙タイプごとに カスタムタイプ [x] 以外の名前を定義できます。

1. プリンタの IP アドレスを Web ブラウザのアドレスフィールドに入力します。

メモ：プリンタの IP アドレスが分からない場合は、以下の手順で確認できます。

- 〔ネットワーク/ポート (Network/Ports)〕メニューの〔TCP/IP〕セクションで、プリンタ操作パネルの IP アドレスを確認します。
- ネットワークセットアップページまたはメニュー設定ページを印刷して、〔TCP/IP〕セクションの IP アドレスを確認します。

2. 〔設定 (Settings)〕 > 〔用紙メニュー (Paper Menu)〕 > 〔カスタム名 (Custom Name)〕 > 名前を入力 > 〔送信 (Submit)〕 をクリックします。

メモ：このカスタム名で、〔カスタムタイプ (Custom Types)〕メニューと〔用紙サイズ (Paper Size)〕および〔用紙タイプ (Paper Type)〕メニューのカスタムタイプ [x] 名は置き換えられます。

3. 〔カスタムタイプ (Custom Type)〕 > 用紙タイプを選択 > 〔送信 (Submit)〕 をクリックします。

カスタム用紙タイプ名を割り当てる

トレイをリンクする/リンク解除するときに、カスタム用紙タイプ名をトレイに割り当てます。

ホーム画面から、次のメニューを選択します。

 > 〔用紙メニュー (Paper Menu)〕 > 〔用紙サイズ/タイプ (Paper Size/Type)〕 > カスタム用紙タイプ名を選択 > トレイを選択 > 〔送信 (Submit)〕

カスタム名を構成する

プリンタがネットワークに接続されている場合、内蔵 WEB サーバ(EWS)を使用して、プリンタにセットされているカスタム用紙タイプごとに カスタムタイプ [x] 以外の名前を定義できます。

1. プリンタの IP アドレスを Web ブラウザのアドレスフィールドに入力します。

メモ：プリンタの IP アドレスが分からない場合は、以下の手順で確認できます。

- 〔Network/Ports (ネットワーク/ポート)〕メニューの〔TCP/IP〕セクションで、プリンタ操作パネルの IP アドレスを確認します。
- ネットワークセットアップページまたはメニュー設定ページを印刷して、〔TCP/IP〕セクションの IP アドレスを確認します。

2. **〔設定 (Settings)〕** > **〔用紙メニュー (Paper Menu)〕** > **〔カスタムタイプ (Custom Type)〕** > 構成するカスタム名を選択 > 用紙または特殊用紙のタイプを選択 > **〔送信 (Submit)〕** をクリックします

8—用紙および特殊用紙のガイドライン

用紙のガイドライン

用紙特性

以下の用紙特性は、印刷の品質と信頼性に影響します。用紙に印刷する際は、この特性を考慮してください。

重さ

プリンタトレイおよび多目的フィーダは、重さが $60\sim 176\text{ g/m}^2$ (16～47 ポンド) の縦目の用紙を自動給紙できます。2100 枚トレイは、重さが $60\sim 135\text{ g/m}^2$ (16～36 ポンド) の縦目の用紙を自動給紙できます。重さが 60 g/m^2 (16 ポンド) よりも軽い用紙は硬さが足りないため適切に給紙されず、紙づまりの原因になることがあります。

メモ：両面印刷は、 $60\sim 176\text{ g/m}^2$ (16～47 ポンド) の用紙をサポートしています。

カール

カールは、用紙の先端が丸まろうとする性質を指します。カールの度合いが大きすぎると、給紙時に問題が生じることがあります。高温になっているプリンタ内部を用紙が通過した後に、カールが発生することがあります。用紙を包装から取り出して高温、多湿、低温、または乾燥した状態で保管していると、それがトレイ内であっても、印刷前に用紙がカールして、給紙時に問題が生じることがあります。

平滑度

用紙の平滑度は、印刷品質に直接影響します。用紙のきめが粗すぎる場合は、トナーが適切に定着しません。用紙が滑らかすぎる場合は、給紙時や印刷品質に問題が生じることがあります。必ず 100～300 シェffieldポイントの用紙を使用してください。150～250 シェffieldポイントの用紙を使用すると、最高の印刷品質が得られます。

含水率

用紙に含まれる水分の量は、印刷品質とプリンタの給紙機能の両方に影響します。用紙は、使用するときまで、元の包装のまま保管してください。そうすることで、用紙が湿度の変化を受けて劣化する可能性を最小限に抑えることができます。

印刷に使用する 24～48 時間前から、用紙を元の包装のままプリンタと同じ環境に保管して、用紙の状態を調整してください。ただし、用紙を保管または輸送したときの環境がプリンタの設置環境と大きく異なる場合は、この調整の時間を数日伸ばしてください。用紙に厚みがある場合も同様に、調整に時間がかかることがあります。

紙目

紙目は、用紙に含まれる繊維の方向を指します。紙目には、用紙の縦方向に伸びる *縦目* と、用紙の横方向に伸びる *横目* があります。

60～176 g/m²（16～47 ポンド）の用紙の場合は、縦目の用紙をお勧めします。

繊維含有率

最高品質のゼログラフィ用紙は、100% の化学処理済みパルプ木材から作られています。この含有率により、用紙の安定度が高まるとともに、給紙時の問題が減少し、印刷品質が向上します。コットンなどの繊維を含む用紙は、用紙の処理に悪影響を及ぼすことがあります。

使用できない用紙

次のタイプの用紙は、プリンタで使用しないでください。

- ノーカーボン紙、感圧複写紙（CCP）、カーボン不要（NCR）紙とも呼ばれる、カーボン紙なしでコピーの作成に使用される化学処理済みの用紙
- プリンタを汚染する可能性のある化学薬品を使用したプレプリント用紙
- プリンタフューズの温度の影響を受ける可能性のあるプレプリント用紙
- 光学式文字認識（OCR）フォームなど、±2.3 mm（±0.9 インチ）よりも高い精度でページの印刷位置を正確に位置合わせする必要があるプレプリント用紙

場合によっては、ソフトウェアアプリケーションで位置合わせを調整することで、このようなフォームにも正常に印刷できます。

- コーティングされた用紙（消去可能ボンド）、合成紙、感熱紙
- 縁がぎざぎざな用紙、表面のきめが粗い用紙、ざらつきのある用紙、カールした用紙
- EN12281:2002（欧州）に準拠していない再生紙
- 重量が 60 g/m²（16 ポンド）未満の用紙
- マルチパートフォームまたはマルチパートドキュメント

用紙を選択する

適切な用紙を使用すると、紙づまりを防ぎ、問題なく印刷できるようになります。

紙づまりと印刷品質の低下を防ぐには、以下の指示に従ってください。

- 必ず、傷のない新品の用紙を使用する。
- 用紙をセットする前に、用紙の推奨される印刷面を確認する。目印は通常、用紙のパッケージに記載されています。
- 手で切った用紙は使用しない。
- 大きさ、タイプ、重さが異なる用紙を 1 つのトレイにセットしない。異なる用紙が混在していると、紙づまりが発生します。
- 電子写真印刷用に特別に設計されているものを除いて、コーティングされた用紙を使用しない。

プレプリントフォームとレターヘッド紙を選択する

- 重さが 60～90 g/m²（16～24 ポンド）の縦目用紙を使用する。
- オフセットリトグラフ印刷または写真版印刷処理を使用して印刷されたフォームおよびレターヘッド紙に限定して使用する。
- 表面のきめが粗い用紙やざらつきが大きい用紙は避ける。
- トナーの樹脂に影響されないインクを使用する。酸性インクや油性インクは通常、この要件を満たしています。ラテックスインクは、この要件を満たしていない可能性があります。
- 使用する予定のプレプリントフォームやレターヘッド紙を大量に購入する前に、その用紙にサンプルを印刷する。この結果に基づいて、プレプリントフォームやレターヘッド紙でインクが印刷品質に影響を及ぼすかどうかを判別します。
- 疑わしい場合は、用紙の供給元に問い合わせてください。

再生紙やその他の事務用紙を使用する

環境問題意識を持つ企業として、Lexmark はレーザー/LED（電子写真）プリンタ向けに特別に精算された事務用再生紙の使用を推奨しています。1998 年に Lexmark は、米国の大手工場生産された再生紙が普通紙と同様に給紙されることを示す調査報告を米国政府に提出しました。ただし、どのような再生用紙でもスムーズに給紙されるとは断言できません。

Lexmark は、再生紙（消費財廃棄物の含有率 20～100%）および世界中から集めた各種のテスト紙を使用して、さまざまな温度や湿度の条件下でのチャンバー試験など、継続的にプリンタをテストしています。Lexmark は現在流通している事務用再生紙を使用しても問題はないという見解ですが、再生紙には一般的に次の特性ガイドラインが適用されます。

- 低い含水率（4～5%）
- 適切な平滑度（100～200 シェフィールド単位、または 140～350 ベントセン単位、欧州）

メモ：著しく滑らかな用紙（プレミアム 24 lb レーザー/LED 用紙、50～90 シェフィールド単位など）や著しく粗い用紙（プレミアムコットン紙、200～300 シェフィールド単位）の中には、表面にざらつきがあってもレーザー/LED プリンタで高品位に印刷できるように設計されているものもあります。このようなタイプの用紙を使用する際は、用紙の供給元に問い合わせてください。

- 紙間の適切な摩擦係数（0.4～0.6）
- 給紙方向への十分な剛軟度

再生紙、軽量の用紙（60 g/m² [16 lb ボンド] 未満）や薄い用紙（3.8 mils [0.1 mm] 未満）、縦方向（または短辺）に給紙されるプリンタで横目に裁断された用紙は、確実な給紙に必要な剛軟度が不足していることがあります。このようなタイプの用紙をレーザー/LED（電子写真）印刷に使用する際は、用紙の供給元に問い合わせてください。ここで説明した内容は一般的なガイドラインに過ぎず、このガイドラインを満たす用紙でもレーザー/LED プリンタで給紙の問題が生じることがあります（例えば、通常の印刷条件で用紙が過度にカールしている場合など）。

用紙を保管する

紙づまりを防いで印刷品質を安定させるため、用紙の保管に関する以下のガイドラインに従ってください。

- 最良の印刷結果を得るため、温度 21°C (70° F)、相対湿度 40% の場所に用紙を保管してください。ほとんどのラベルメーカーは、温度が 18~24°C (65~75° F)、相対湿度が 40~60% で印刷することを推奨しています。
- 用紙はダンボール箱に入れ、床面以外の台か棚に載せて保管してください。
- 梱包された用紙はそれぞれ平らな場所に保管してください。
- 梱包された用紙の上には何も置かないでください。
- プリンタに用紙をセットする準備が整ったら、用紙をダンボール箱や包装から取り出します。ダンボール箱や包装に用紙を保管すると、紙面が汚れずに乾燥した平らな状態を維持できます。

サポートされている用紙サイズ、タイプ、重さ

以下の表に、標準およびオプションの給紙源と、サポートされる用紙のタイプを示します。

メモ: 表に記載されていないサイズの用紙を使用するには、[ユニバーサル用紙のサイズ (Universal Paper Size)] を構成します。

サポートされている用紙サイズ

A4 210 x 297 mm (8.27 x 11.7 インチ)	✓	✓ ¹	✓ ¹	✓ ³	✓ ³	✓	✓	✓	✓
A5 148 x 210 mm (5.83 x 8.27 インチ)	X	✓ ¹	✓ ¹	✓ ³	✓ ³	X	✓	✓ ¹	✓ ¹
A6 105 x 148 mm (4.13 x 5.83 インチ)	X	X	X	✓ ³	✓ ³	X	X	X	✓ ¹
JIS B5 182 x 257 mm (7.17 x 10.1 インチ)	X	✓	✓	✓ ³	✓ ³	X	✓	✓ ¹	✓ ¹
レター 216 x 279 mm (8.5 x 11 インチ)	✓	✓ ²	✓ ²	✓ ³	✓ ³	X	✓	✓	✓
リーガル 216 x 356 mm	✓	✓	✓	✓ ³	✓ ³	X	✓	✓ ²	✓ ²

(8.5 x 14 インチ)

エグゼクティブ X X X $\sqrt{3}$ $\sqrt{3}$ X $\sqrt{}$ $\sqrt{2}$ $\sqrt{2}$

184 x 267 mm
(7.25 x 10.5 インチ)

JIS B4 $\sqrt{}$ $\sqrt{}$ $\sqrt{}$ $\sqrt{3}$ $\sqrt{3}$ X $\sqrt{}$ $\sqrt{}$ $\sqrt{1}$

257 x 364 mm
(10.12 x 14.33 インチ)

A3 $\sqrt{}$ $\sqrt{}$ $\sqrt{}$ $\sqrt{3}$ $\sqrt{3}$ X $\sqrt{}$ $\sqrt{}$ $\sqrt{}$

297 x 420 mm
(11.69 x 16.54 インチ)

11x17 $\sqrt{}$ $\sqrt{2}$ $\sqrt{2}$ $\sqrt{3}$ $\sqrt{3}$ X $\sqrt{}$ $\sqrt{}$ $\sqrt{}$

279 x 432 mm
(11 x 17 インチ)

Oficio (メキシコ) X X X $\sqrt{3}$ $\sqrt{3}$ X $\sqrt{}$ $\sqrt{4}$ $\sqrt{4}$

216 x 340 mm
(8.5 x 13.4 インチ)

フォリオ X X X $\sqrt{3}$ $\sqrt{3}$ X $\sqrt{}$ $\sqrt{1}$ $\sqrt{1}$

216 x 330 mm
(8.5 x 13 インチ)

ステートメント X X X $\sqrt{3}$ $\sqrt{3}$ X $\sqrt{}$ $\sqrt{2}$ $\sqrt{2}$

140 x 216 mm
(5.5 x 8.5 インチ)

ユニバーサル X X X $\sqrt{3}$ $\sqrt{3}$ X $\sqrt{}$ $\sqrt{4}$ $\sqrt{4}$

64~297 mm x 148~
432 mm (2.52~
11.69 x 5.83~17.01 イ
ンチ)

7 3/4 封筒 (Monarch) X X X $\sqrt{3}$ X $\sqrt{}$ X X X

98 x 191 mm
(3.875 x 7.5 インチ)

9 封筒 X X X $\sqrt{3}$ X $\sqrt{}$ X X X

98 x 226 mm
(3.875 x 8.9 インチ)

Com 10 封筒 X X X $\sqrt{3}$ X $\sqrt{}$ X X X

105 x 241 mm
(4.12 x 9.5 インチ)

DL 封筒 X X X $\sqrt{3}$ X $\sqrt{}$ X X X

110 x 220 mm

(4.33 x 8.66 インチ)

C5 封筒	X	X	X	√ ³	X	√	X	X	X
--------------	---	---	---	----------------	---	---	---	---	---

162 x 229 mm
(6.38 x 9.01 インチ)

B5 封筒	X	X	X	√ ³	X	√	X	X	X
--------------	---	---	---	----------------	---	---	---	---	---

176 x 250 mm
(6.93 x 9.84 in.)

その他の封筒	X	X	X	√ ³	X	√	X	X	X
---------------	---	---	---	----------------	---	---	---	---	---

86 x 165 mm ~
216 x 356 mm
(3.375 x 6.50 インチ ~
8.5 x 14 インチ)

¹ メトリック (metric) に設定した場合にサポートされる用紙サイズ

² US (米国) に設定した場合にサポートされる用紙サイズ

³ サイズ検出 (size sensing) を使用しない場合に給紙源でサポートされるサイズ

⁴ サイズ検出 (size sensing) を使用する場合に給紙源でサポートされるサイズ

サポートされている用紙のタイプと重さ

プリンタエンジンは、重さが 60~120 g/m² (16~74 ポンド) の用紙に対応しています。両面印刷ユニットは、重さが 64~128 g/m² (17~34 ポンド) の用紙に対応しています。

メモ: ラベル、OHP フィルム、封筒、および厚紙の印刷速度は常に遅くなります。

用紙	√	√	√	√	√	X	√	√	√
-----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- 普通紙
- ボンド紙
- 光沢紙
- 重い光沢紙
- 色付き紙
- カスタムタイプ [x]
- レターヘッド紙
- 軽い
- 重い

- プレプリント紙
- ラフ/コットン紙
- 再生紙

厚紙	✓	✓	✓	✓	✓	X	X	X	✓
OHP フィルム	✓	✓	✓	✓	✓	X	X	X	✓
ラベル	✓	✓	✓	✓	✓	X	X	X	✓
• 用紙									
• ビニール									
封筒	X	X	X	✓	X	✓	X	X	✓

9—印刷

ドキュメントを印刷する

ドキュメントを印刷する

1. プリンタ操作パネルから、セットしている用紙に応じて、用紙のタイプとサイズを設定します。
2. 以下の手順で印刷ジョブを送信します。

Windows の場合

- a. ドキュメントを開いている状態で、**〔ファイル (File)〕** > **〔印刷 (Print)〕** をクリックします。
- b. **〔プロパティ (Properties)〕**、**〔基本設定 (Preferences)〕**、**〔オプション (Options)〕** または **〔セットアップ (Setup)〕** をクリックします。
- c. 必要に応じて、設定を調整します。
- d. **〔OK〕** > **〔印刷する (Print)〕** をクリックします。

Macintosh の場合

- a. 以下の手順で **〔ページ設定 (Page Setup)〕** ダイアログで設定をカスタマイズします。
 1. ドキュメントを開いている状態で、**〔ファイル (File)〕** > **〔ページ設定 (Page Setup)〕** を選択します。
 2. セットしている用紙に応じて、用紙サイズを選択するか、カスタムサイズを設定します。
 3. **〔OK〕** をクリックします。
- b. 以下の手順で **〔印刷 (Print)〕** ダイアログで設定をカスタマイズします。
 1. ドキュメントを開いている状態で、**〔ファイル (File)〕** > **〔印刷 (Print)〕** を選択します。

必要に応じて、開閉用ボタンをクリックし、他のオプションを表示します。
 2. 必要に応じて、印刷オプションのポップアップメニューから設定を調整します。

メモ： 特定の用紙タイプを選択して印刷するには、セットしている用紙に応じて用紙タイプの設定を調整するか、適切なトレイまたはフィーダを選択します。
 3. **〔印刷 (Print)〕** をクリックします。

モノクロで印刷する

ホーム画面から、次のメニューを選択します。

 > [設定 (Settings)] > [印刷設定 (Print Settings)] > [印刷品質メニュー (Quality Menu)] > [印刷モード (Print Mode)] > [白黒のみ (Black Only)] > [送信 (Submit)] をクリックします。

トナーの濃さを調整する

1. プリンタの IP アドレスを Web ブラウザのアドレスフィールドに入力します。

プリンタの IP アドレスが分からない場合は、以下の手順で確認できます。

- [ネットワーク/ポート (Network/Ports)] メニューの [TCP/IP] セクションで、プリンタ操作パネルの IP アドレスを確認します。
- ネットワークセットアップページまたはメニュー設定ページを印刷して、[TCP/IP] セクションの IP アドレスを確認します。

2. [設定 (Settings)] > [印刷設定 (Print Settings)] > [印刷品質メニュー (Quality Menu)] > [トナーの濃さ (Toner Darkness)] をクリックします。
3. トナーの濃さの設定を調整します。
4. [送信 (Submit)] をクリックします。

モバイルデバイスから印刷する

サポートされているモバイルデバイスのリストと、モバイルデバイスに対応したモバイル印刷アプリケーションをダウンロードするには、<http://lexmark.com/mobile> にアクセスしてください。

メモ: モバイル印刷アプリケーションは、お使いのモバイルデバイスの製造元からも入手できます。

フラッシュドライブから印刷する

フラッシュドライブから印刷する

メモ:

- 暗号化 PDF ファイルを印刷する際には、プリンタ操作パネルからファイルのパスワードを入力します。
 - ユーザーが印刷権限を持っていないファイルは、印刷できません。
1. フラッシュドライブを USB ポートに挿入します。

USB ドライブのホーム画面が表示されます。



メモ:

- 紙づまりなどが発生して、プリンタがユーザーの操作を必要としている場合には、フラッシュドライブを挿入しても、フラッシュドライブは認識されません。
- フラッシュドライブを挿入したときに、プリンタで他の印刷ジョブが処理されていた場合には、**ビジー (Busy)** が表示されます。他の印刷ジョブの処理が終了したら、保留ジョブのリストを確認した上で、フラッシュドライブからドキュメントを印刷します。



警告—破損の恐れあり: メモリデバイスから印刷、読み取り、書き込みなどの処理が行われている間は、図示している部分に接続されている USB ケーブル、ネットワークアダプタ、コネクタ、メモリデバイス、およびプリンタ本体に触れないでください。データの損失が発生する可能性があります。

2. プリンタ操作パネルから、**〔USB から印刷 (Print from USB) 〕** にタッチして、印刷するドキュメントを選択します。

3. 印刷する部数を増やすには、矢印をタッチして、[印刷する (Print)] をタッチします。

メモ:

- ドキュメントの印刷が完了するまで、USB ポートからフラッシュドライブを取り外さないでください。
- USB 初期メニュー画面を終了した後もフラッシュドライブをプリンタに挿入したままにしておくと、保留ジョブとして、フラッシュドライブからファイルを印刷できます。

サポートされているフラッシュドライブとファイルタイプ

フラッシュドライブ	ファイルタイプ
• Lexar JumpDrive 2.0 Pro (容量 256MB、512MB、または 1GB) • SanDisk Cruzer Mini (容量 256MB、512MB、または 1GB) メモ: • Hi-Speed USB フラッシュドライブの場合は、Full Speed 規格をサポートしている必要があります。USB Low Speed モードに限定されるデバイスはサポートされていません。 • USB フラッシュドライブで、FAT (<i>File Allocation Table</i>) システムをサポートしている必要があります。NTFS (<i>New Technology File System</i>) やその他のファイルシステムでフォーマットされているデバイスはサポートされていません。	ドキュメント: • .pdf • .xps 画像: • .dcx • .gif • .JPEG • .jpg • .bmp • .pcx • .TIFF • .tif • .png

特殊用紙に印刷する

レターヘッド紙を使用する場合のヒント

- レーザー/LED プリンタ用に特別に設計されたレターヘッド紙を使用する。
- 使用する予定のレターヘッド紙を大量に購入する前に、そのレターヘッド紙にサンプルを印刷する。
- レターヘッド紙をセットする前に、用紙の束をほぐして、くっつかないようにする

- レターヘッド紙に印刷する場合、ページの向きが重要な意味を持ちます。

給紙源	印刷面	ページの向き
標準およびオプショントレイ (片面印刷)	プレプリントレターヘッド紙のデザイン面を上に向けます。	横長の向きに給紙する場合は、ロゴが付いた用紙の上端をトレイの右側に向けてセットします。 縦長の向きに給紙する場合は、レターヘッド紙をプリンタの後部にセットします。
標準およびオプショントレイ (両面印刷)	プレプリントレターヘッド紙のデザイン面を下に向けます。	ロゴが付いた用紙の上端をトレイの右側に向けてセットします。
多目的フィーダ (片面印刷)	プレプリントレターヘッド紙のデザイン面を下に向けます。	ロゴが付いた用紙の上端を先にして多目的フィーダに入れます。
多目的フィーダ (両面印刷)	プレプリントレターヘッド紙のデザイン面を上に向けます。	ロゴが付いた用紙の上端を後にして多目的フィーダに入れます。
メモ: 製造元または販売店に問い合わせて、選択したプレプリントレターヘッド紙をレーザー/LED プリンタで利用できるかどうか確認してください。		

OHP フィルムを使用する場合のヒント

- 使用する予定の OHP フィルムを大量に購入する前に、その OHP フィルムにサンプルを印刷する。
- 標準トレイまたは多目的フィーダから OHP フィルムを給紙する。
- [用紙 (Paper)] メニューから、[用紙タイプ (Paper Type)] を [OHP フィルム (Transparency)] に設定する。
- レーザー/LED プリンタ用に特別に設計された OHP フィルムを使用する。OHP フィルムが溶解、退色、ずれ、および有害大気汚染物質の放出を伴わずに、230° C (446° F) の温度に耐えられること。
- 印刷品質の問題を防ぐために、OHP フィルムに指紋が付かないようにする。
- OHP フィルムをセットする前に、フィルムの束をほぐして、くっつかないようにする
- Lexmark 製の OHP フィルムの使用を推奨する。詳細については、Lexmark の Web サイト (www.lexmark.com) を参照してください。

封筒を使用する場合のヒント

- 使用する予定の封筒を大量に購入する前に、その封筒にサンプルを印刷する。
- レーザー/LED プリンタ用に特別に設計された封筒を使用する。製造元または販売店に問い合わせて、封筒が圧着、しわ、過度のカール、および有害大気汚染物質の放出を伴わずに、220° C (446° F) の温度に耐えられることを確認してください。

- 最適なパフォーマンスを得るには、90-g/m² (24-lb ボンド) の用紙製またはコットン含有率が 25% の封筒を使用する。コットン封筒は、重さが 70-g/m² (20-lb ボンド) を超えないこと。
- 包装が破損していない新品の封筒に限定して使用する。
- 最適なパフォーマンスを発揮し、紙づまりを最小限に抑えるため、以下のような封筒は使用しない。
 - カールやねじれが大きい封筒。
 - 封筒同士が貼り付いているものや、何らかの傷がある封筒。
 - 窓、穴、ミシン目、切り抜き、エンボスなどがある封筒。
 - 金属製の留め具、ひも、折れ筋などがある封筒
 - かみ合わせのデザインがある封筒。
 - 切手が貼付されている封筒。
 - 垂れ蓋に封をしたときや、閉じたときに、接着剤がはみ出る封筒。
 - 角が折れ曲がった封筒。
 - きめの粗い封筒、しわのある封筒、または簀の目仕上げの封筒。
- 幅ガイドを調整して、封筒の幅に合わせる。

メモ: 環境の湿度が高く (60% 超)、印刷温度が高温になると、封筒にしわが寄ったり、圧着したりすることがあります。

ラベルを使用する場合のヒント

メモ: ラベル用紙は、頻繁に使用しないでください。ビニールラベル、薬瓶ラベル、および両面ラベルはサポートされていません。

ラベルの印刷、特性、および設計の詳細については、Lexmark の Web サイト (<http://support.lexmark.com>) で公開されている『Card Stock & Label Guide』を確認してください。

ラベルに印刷する場合は、以下の指示に従ってください。

- レーザー/LED プリンタ用に特別に設計されたラベルを使用する。製造元または販売店に問い合わせ、以下の点について確認してください。
 - ラベルが圧着、過度のカール、しわ、および有害大気汚染物質の放出を伴わずに、210° C (410° F) までの温度に耐えられること。
- メモ:** [ラベルの重さ (Label Weight)] を [重い (Heavy)] に設定した場合、熔融温度を 220° C (428° F) にまで上げて、ラベルを印刷できます。内蔵 WEB サーバ(EWS)を使用するか、プリンタ操作パネルの [用紙 (Paper)] メニューから、この設定を選択します。
- ラベルの接着剤、前面シート (印刷用ストック)、および表面コーティングがはく離、端のにじみ、および有害大気汚染物質の放出を伴わずに 25 psi (172 kPa) の圧力に耐えられること。
 - 裏面がつやのある素材でできているラベルは使用しない。

- ラベル用紙全体を使用する。用紙の一部だけを使用すると、印刷時にラベルがはがれ、紙づまりが発生することがあります。また、接着剤でプリンタやカートリッジが汚れて、プリンタやカートリッジの保証対象外となることがあります。
- 接着剤が露出しているラベルは使用しない。
- ラベルの端やミシン目から 1 mm (0.04 インチ) 以内の範囲、またはラベルのダイカットの間には印刷しない。
- 粘着性の背面が用紙の端からはみ出ないようにする。接着剤のゾーンコーティングが、端から少なくとも 1 mm (0.04 インチ) 離れているラベルの使用をお勧めします。接着剤でプリンタが汚れて、保証対象外となることがあります。
- 接着剤のゾーンコーティングが不可能な場合は、リーディングエッジとドライバエッジで 1.6 mm (0.06 インチ) の細片を取り除き、にじみ出てこない接着剤を使用する。
- バーコードを印刷する場合は、必ず縦方向に印刷する。

厚紙を使用する場合のヒント

厚紙は、重みのある 1 層の特殊用紙です。含水率、厚さ、テクスチャなど、さまざまな特性は、印刷品質に大きな影響を与えることがあります。使用する予定の厚紙を大量に購入する前に、その厚紙にサンプルを印刷してください。

- [用紙 (Paper)] メニューから、[用紙タイプ (Paper Type)] を [厚紙 (Card Stock)] に設定する。
- 適切な [用紙の粗さ (Paper Texture)] 設定を選択する。
- プレプリント、ミシン目、折り目は、印刷品質に大きな影響を与えることがあり、紙づまりやその他用紙の取り扱いに伴う問題を引き起こす可能性があることに注意する。
- 製造元または販売店に問い合わせ、厚紙が有害大気汚染物質の放出を伴わずに、220° C (446° F) の温度に耐えられることを確認する。
- プリンタを汚染する可能性のある化学薬品を使用したプレプリント厚紙は使用しない。プレプリントによって、半液体または揮発性の成分がプリンタ内に侵入します。
- 可能な場合、横目の厚紙を使用する。

コンフィデンシャルジョブおよびその他の保留ジョブを印刷する

プリンタに印刷ジョブを保持する

操作パネルから印刷ジョブを開始するまでの間、ジョブをプリンタのメモリに保持するように設定できます。

ユーザーがプリンタで開始できる印刷ジョブのことを「保留ジョブ」と呼びます。

メモ: 保留ジョブを新たに処理するために追加のメモリが必要な場合、印刷ジョブ（コンフィデンシャル、確認、予約、および繰り返し）が削除されることがあります。

印刷ジョブの種類	説明
コンフィデンシャル	コンフィデンシャル印刷ジョブでは、操作パネルから暗証番号（PIN）が入力されるまで、コンピュータに印刷ジョブを保持できます。 メモ： PIN は、コンピュータから設定します。0～9 の数字 4 桁で指定する必要があります。
確認	確認印刷ジョブでは、1 部だけが印刷され、残りの部数はプリンタのメモリに保持されます。最初に 1 部だけ印刷して、誤りがないかどうかを確認してから残りの部数を印刷できます。全部数が印刷されると、この印刷ジョブは自動的にプリンタのメモリから削除されます。
予約	予約印刷ジョブでは、ユーザーが後で印刷できるよう、印刷ジョブをプリンタのメモリに保存できます。[保持されたジョブ（Held Jobs）] メニューから削除されるまで、この印刷ジョブは保持されます。
繰り返し	繰り返し印刷ジョブでは、印刷後、再印刷用に印刷ジョブがプリンタのメモリに保存されます。

コンフィデンシャルジョブおよびその他の保留ジョブを印刷する

メモ： コンフィデンシャル印刷ジョブおよび確認印刷ジョブは、印刷後にメモリから自動的に削除されます。繰り返し印刷ジョブおよび予約印刷ジョブは、削除するまでプリンタのメモリに保持され続けます。

Windows の場合

- ドキュメントを開いている状態で、[ファイル（File）] > [印刷（Print）] をクリックします。
- [プロパティ（Properties）]、[基本設定（Preferences）]、[オプション（Options）] または [セットアップ（Setup）] をクリックします。
- [印刷後保持（Print and Hold）] をクリックします。
- 印刷ジョブのタイプ（コンフィデンシャル（Confidential）、繰り返し（Repeat）、予約（Reserve）、または確認（Verify））を選択して、ユーザー名を割り当てます。コンフィデンシャル印刷ジョブの場合は、4 桁の PIN も入力します。
- [OK] または [印刷（Print）] をクリックします。
- プリンタのホーム画面から、印刷ジョブを解放します。
 - コンフィデンシャル印刷ジョブの場合は、次のメニューを選択します。

[保持されたジョブ（Held jobs）] > ユーザー名を選択 > [コンフィデンシャルジョブ（Confidential Jobs）] > PIN を入力 > [印刷する（Print）]
 - 他の印刷ジョブの場合は、次のメニューを選択します。

[保持されたジョブ（Held jobs）] > ユーザー名を選択 > 印刷ジョブを選択 > 部数を指定 > [印刷する（Print）]

Macintosh の場合

1. ドキュメントを開いている状態で、**〔ファイル (File) 〕** > **〔印刷 (Print) 〕** を選択します。
必要に応じて、開閉用ボタンをクリックし、他のオプションを表示します。
2. 印刷オプションまたは**〔印刷部数と印刷ページ (Copies & Pages) 〕** ポップアップメニューから、**〔ジョブ振分け (Job Routing) 〕** を選択します。
3. 印刷ジョブのタイプ (コンフィデンシャル (Confidential) 、繰り返し (Repeat) 、予約 (Reserve) 、または確認 (Verify)) を選択して、ユーザー名を割り当てます。コンフィデンシャル印刷ジョブの場合は、4 桁の PIN も入力します。
4. **〔OK〕** または **〔印刷 (Print) 〕** をクリックします。
5. プリンタのホーム画面から、印刷ジョブを解放します。
 - コンフィデンシャル印刷ジョブの場合は、次のメニューを選択します。
〔保持されたジョブ (Held jobs) 〕 > ユーザー名を選択 > **〔コンフィデンシャルジョブ (Confidential Jobs) 〕** > PIN を入力 > **〔印刷する (Print) 〕**
 - 他の印刷ジョブの場合は、次のメニューを選択します。
〔保持されたジョブ (Held jobs) 〕 > ユーザー名を選択 > 印刷ジョブを選択 > 部数を指定 > **〔印刷する (Print) 〕**

情報ページを印刷する

フォントのサンプルリストを印刷する

1. ホーム画面から、次のメニューを選択します。
 > **〔レポート (Reports) 〕** > **〔フォント一覧を印刷 (Print Fonts) 〕**
2. **〔PCL フォント (PCLFonts) 〕** または **〔PostScript フォント (PostScript Fonts) 〕** をタッチします。

ディレクトリリストを印刷する

ディレクトリリストには、フラッシュメモリやプリンタハードディスクに保存されているリソースが表示されます。

ホーム画面から、次のメニューを選択します。

 > **〔レポート (Reports) 〕** > **〔ファイルディレクトリを印刷 (Print Directory) 〕**

〔速度優先 (Max Speed) 〕 と **〔枚数優先 (Max Yield) 〕** を使用する

〔速度優先 (Max Speed) 〕 と **〔枚数優先 (Max Yield) 〕** の設定を使用すると、印刷速度とトナー収率のどちらを優先するか選択できます。出荷時の設定は、**〔枚数優先 (Max Yield) 〕** です。

- **〔速度優先 (Max Speed)〕** — ドライバで **〔白黒のみ (Black Only)〕** が選択されていない場合は、カラーで印刷します。モノクロで印刷されるのは、ドライバで **〔白黒のみ (Black Only)〕** が選択されている場合に限定されます。
- **〔枚数優先 (Max Yield)〕** — 各ページで検出された色内容に基づいて、モノクロからカラーに切り替えます。ページにモノクロとカラーの内容が混在している場合、カラーモードが頻繁に切り替わって、印刷速度が低下することがあります。

内蔵 WEB サーバ(EWS)を使用する

1. プリンタの IP アドレスを Web ブラウザのアドレスフィールドに入力します。

プリンタの IP アドレスが分からない場合は、以下の手順で確認できます。

- **〔ネットワーク/ポート (Network/Ports)〕** メニューの **〔TCP/IP〕** セクションで、プリンタ操作パネルの IP アドレスを確認します。
 - ネットワークセットアップページまたはメニュー設定ページを印刷して、**〔TCP/IP〕** セクションの IP アドレスを確認します。
2. **〔構成設定メニュー (Configuration)〕** > **〔印刷設定 (Print Settings)〕** > **〔セットアップメニュー (Setup Menu)〕** をクリックします。
 3. **〔プリンタ使用方法 (Printer Usage)〕** リストから、**〔速度優先 (Max Speed)〕** または **〔枚数優先 (Max Yield)〕** を選択します。
 4. **〔送信 (Submit)〕** をクリックします。

プリンタ操作パネルを使用する

1. 次のメニューを選択します。



> **〔設定 (Settings)〕** > **〔印刷設定 (Print Settings)〕** > **〔セットアップメニュー (Setup Menu)〕**

2. **〔プリンタ使用方法 (Printer Usage)〕** リストから、**〔速度優先 (Max Speed)〕** または **〔枚数優先 (Max Yield)〕** を選択します。
3. **〔送信 (Submit)〕** をタッチします。

印刷ジョブをキャンセルする

プリンタ操作パネルから印刷ジョブをキャンセルする

1. プリンタ操作パネルから、**〔ジョブをキャンセル (Cancel Job)〕** をタッチするか、キーパッドの  を押します。
2. キャンセルする印刷ジョブをタッチして、**〔選択したジョブを削除 (Delete Selected Jobs)〕** をタッチします。

メモ: キーパッドの  を押した場合は、**〔再開 (Resume)〕** をタッチして、ホーム画面に戻ります。

コンピュータから印刷ジョブをキャンセルする

Windows の場合

1. プリンタフォルダを開きます。

Windows 8 の場合

検索チャームから、**run** と入力して、次のメニューを選択します。

[アプリ (Apps)] リスト > [実行 (Run)] > **control printers** と入力 > [OK]

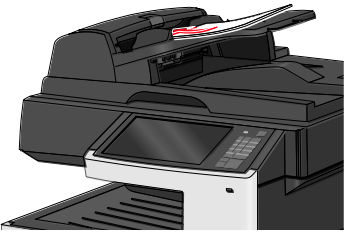
Windows 7 以前の場合

- a.  をクリックするか、[スタート (Start)] をクリックして、[ファイル名を指定して実行 (Run)] をクリックします。
 - b. [検索の開始 (Start Search)] または [ファイル名を指定して実行 (Run)] ダイアログで、**control printers** と入力します。
 - c. **Enter** キーを押すか、[OK] をクリックします。
2. プリンタのアイコンをダブルクリックします。
 3. キャンセルする印刷ジョブを選択します。
 4. [削除 (Delete)] をクリックします。

Macintosh の場合

1. アップルメニューから、次のいずれかのメニューを選択します。
 - [システム基本設定 (System Preferences)] > [プリントとスキャン (Print & Scan)] > お使いのプリンタ機種を選択 > [プリントキューを開く (Open Print Queue)]
 - [システム基本設定 (System Preferences)] > [プリントとスキャン (Print & Scan)] > お使いのプリンタ機種を選択 > [プリントキューを開く (Open Print Queue)]
2. プリンタのウィンドウから、キャンセルする印刷ジョブを選択して削除します。

10—コピー

自動原稿フィーダ(ADF)	原稿台ガラス
	
複数ページの原稿は、ADF にセットします。	1 枚の原稿、はがきや写真などのサイズの小さなもの、OHP フィルム、フォト用紙、雑誌の切り抜きなどの薄いものは、原稿台ガラスにセットします。

コピーする

クイックコピーする

1. スキャンする面を上にして原稿を短辺方向から ADF にセットするか、スキャンする面を下にして原稿台ガラスにセットします。

メモ: はがき、写真、サイズの小さなもの、OHP フィルム、フォト用紙、雑誌の切り抜きなどの薄いものは、ADF にセットしないでください。このような原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

2. ADF に原稿をセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

メモ: 原稿のサイズとコピー用紙のサイズが同じであることを確認してください。サイズを適切に設定していないと、画像がページ内に収まらないことがあります。

3. プリンタ操作パネルから、 を押して、コピーを開始します。

ADF を使用してコピーする

1. スキャンする面を上にして原稿を短辺方向から ADF にセットします。

メモ: はがき、写真、サイズの小さなもの、OHP フィルム、フォト用紙、雑誌の切り抜きなどの薄いものは、ADF にセットしないでください。このような原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

2. 用紙ガイドを調整します。

3. ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー (Copy)] > コピー設定を変更 > [コピー (Copy It)]

原稿台ガラスを使用してコピーする

1. スキャンする面を下にして原稿を原稿台ガラスの左上隅にセットします。
2. ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー (Copy)] > コピー設定を変更 > [コピー (Copy It)]

3. さらにスキャンするページがある場合は、次の原稿を原稿台ガラスにセットして、[次のページをスキャン (Scan the Next Page)] をタッチします。
4. [ジョブを終了 (Finish the Job)] をタッチして、ホーム画面に戻ります。

写真をコピーする

1. スキャンする面を下にして写真を原稿台ガラスの左上隅にセットします。
2. ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー (Copy)] > [内容 (Content)] > [写真 (Photo)] >  > [写真/フィルム (Photo/Film)] >  > [コピー (Copy It)] > [次のページをスキャン (Scan the Next Page)] または [ジョブを終了 (Finish the Job)]

特殊用紙にコピーする

OHP フィルムにコピーする

1. スキャンする面を上にして原稿を短辺方向から ADF にセットするか、スキャンする面を下にして原稿台ガラスにセットします。

メモ: はがき、写真、サイズの小さなもの、OHP フィルム、フォト用紙、雑誌の切り抜きなどの薄いものは、ADF にセットしないでください。このような原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

2. ADF に原稿をセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
3. ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー (Copy)] > [コピー (Copy It)] > 原稿のサイズ > 

4. [コピー先 (Copy to)] をタッチして、OHP フィルムをセットしたトレイを選択するか、[多目的フィーダサイズ (Manual Feeder Size)] をタッチします。
5. 多目的フィーダに OHP フィルムをセットします。
6. ホーム画面から、次のメニューを選択します。

 > OHP フィルムのサイズを選択 > [多目的フィーダタイプ (Manual Feeder Type)] >  > [コピー (Copy It)]

レターヘッド紙にコピーする

1. スキャンする面を上にして原稿を短辺方向から ADF にセットするか、スキャンする面を下にして原稿台ガラスにセットします。

メモ: はがき、写真、サイズの小さなもの、OHP フィルム、フォト用紙、雑誌の切り抜きなどの薄いものは、ADF にセットしないでください。このような原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

2. ADF に原稿をセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
3. ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー (Copy It)] > [コピー元 (Copy from)] > 原稿のサイズ > [コピー先 (Copy to)] > [多目的フィーダ (Manual Feeder)]

4. スキャンする面を上にしてレターヘッド紙を上端から多目的フィーダにセットします。
5. レターヘッド紙のサイズを選択します。
6. 次のメニューを選択します。

[継続 (Continue)] > [レターヘッド紙 (Letterhead)] > [継続 (Continue)] > [コピー (Copy It)]

コピー設定をカスタマイズする

サイズを変えてコピーする

1. スキャンする面を上にして原稿を短辺方向から ADF にセットするか、スキャンする面を下にして原稿台ガラスにセットします。

メモ: はがき、写真、サイズの小さなもの、OHP フィルム、フォト用紙、雑誌の切り抜きなどの薄いものは、ADF にセットしないでください。このような原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

2. ADF に原稿をセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
3. ホーム画面で、[コピー (Copy)] をタッチします。
4. [コピー元 (Copy from)] > 原稿のサイズを選択 >  をタッチします。
5. [コピー先 (Copy to)] > コピーのサイズを選択 >  をタッチします。

メモ: サイズの差は、プリンタで自動的に調整されます。

6. [コピー (Copy It)] をタッチします。

選択したトレイの用紙でコピーする

1. スキャンする面を上にして原稿を短辺方向から ADF にセットするか、スキャンする面を下にして原稿台ガラスにセットします。

メモ: はがき、写真、サイズの小さなもの、OHP フィルム、フォト用紙、雑誌の切り抜きなどの薄いものは、ADF にセットしないでください。このような原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

2. ADF に原稿をセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
3. ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー (Copy)] > [コピー元 (Copy from)] > 原稿のサイズ > [コピー先 (Copy to)]

4. [多目的フィーダー (Manual Feeder)] をタッチするか、使用するタイプの用紙をセットしたトレイを選択します。

メモ: [多目的フィーダー (Manual Feeder)] を選択した場合、用紙のサイズとタイプも選択する必要があります。

5. [コピー (Copy It)] をタッチします。

サイズの異なる用紙をコピーする

用紙サイズの異なる原稿をコピーするには、ADF を使用します。セットした用紙のサイズと [コピー先 (Copy to)] および [コピー元 (Copy from)] の設定に応じて、それぞれ異なる用紙サイズで印刷される (例 1) か、単一の用紙サイズに収まるように印刷されます (例 2)。

例 1: 異なる用紙サイズでコピーする

1. スキャンする面を上にして原稿を短辺方向から ADF にセットするか、スキャンする面を下にして原稿台ガラスにセットします。

メモ: はがき、写真、サイズの小さなもの、OHP フィルム、フォト用紙、雑誌の切り抜きなどの薄いものは、ADF にセットしないでください。このような原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

2. ADF に原稿をセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
3. ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー (Copy)] > [コピー元 (Copy from)] > [大きさ混在 (Mixed Sizes)] >  > [コピー先 (Copy to)] > [自動サイズ調整 (Auto Size Match)] >  > [コピー (Copy It)]

用紙サイズは、スキャン処理時にスキャナで識別されます。原稿の用紙サイズに応じて、それぞれ異なる用紙サイズで印刷されます。

例 2: 単一の用紙サイズに収まるようにコピーする

1. スキャンする面を上にして原稿を短辺方向から ADF にセットするか、スキャンする面を下にして原稿台ガラスにセットします。

メモ: はがき、写真、サイズの小さなもの、OHP フィルム、フォト用紙、雑誌の切り抜きなどの薄いものは、ADF にセットしないでください。このような原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

2. ADF に原稿をセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
3. ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー (Copy It)] > [コピー元 (Copy from)] > [大きさ混在 (Mixed Sizes)] >  > [コピー先 (Copy to)] > [レター (Letter)] >  > [コピー (Copy It)]

用紙サイズは、スキャン処理時にスキャナで識別され、選択した単一の用紙サイズに収まるように調整されます。

用紙の両面にコピーする (両面コピー)

1. スキャンする面を上にして原稿を短辺方向から ADF にセットするか、スキャンする面を下にして原稿台ガラスにセットします。

メモ: はがき、写真、サイズの小さなもの、OHP フィルム、フォト用紙、雑誌の切り抜きなどの薄いものは、ADF にセットしないでください。このような原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

2. ADF に原稿をセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
3. ホーム画面で、[コピー (Copy)] をタッチします。
4. [印刷面 (両面印刷) (Sides (Duplex))] 領域から、目的の両面コピーの方法に対応するボタンをタッチします。

最初の数字は原稿の印刷面、2 番目の数字はコピー先の印刷面を表しています。例えば、片面の原稿を両面コピーする場合は、[片面を両面に (1-sided to 2-sided)] を選択します。

5.  をタッチし、さらに [コピー (Copy It)] をタッチします。

コピーを縮小または拡大する

コピーは、原稿のサイズの 25% から 400% にまで縮小または拡大できます。[Scale (拡大縮小)] の出荷時の設定は [自動 (Auto)] です。[拡大縮小 (Scale)] の設定を [自動 (Auto)] のままにした場合、原稿の内容は、コピーする用紙のサイズに合わせて調整されます。

以下の手順でコピーを縮小または拡大します。

1. スキャンする面を上にして原稿を短辺方向から ADF にセットするか、スキャンする面を下にして原稿台ガラスにセットします。

メモ: はがき、写真、サイズの小さなもの、OHP フィルム、フォト用紙、雑誌の切り抜きなどの薄いものは、ADF にセットしないでください。このような原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

2. ADF に原稿をセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

3. ホーム画面で、**【コピー (Copy)】** をタッチします。
4. **【拡大縮小 (Scale)】** 領域から、矢印をタッチして、コピーを拡大縮小します。
[拡大縮小 (Scale)] を手動で設定してから、**【コピー先 (Copy to)】** または **【コピー元 (Copy from)】** をタッチすると、拡大縮小の値は **【自動 (Auto)】** に戻ります。
5. **【コピー (Copy It)】** をタッチします。

コピー品質を調整する

1. スキャンする面を上にして原稿を短辺方向から ADF にセットするか、スキャンする面を下にして原稿台ガラスにセットします。

メモ: はがき、写真、サイズの小さなもの、OHP フィルム、フォト用紙、雑誌の切り抜きなどの薄いものは、ADF にセットしないでください。このような原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

2. ADF に原稿をセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
3. ホーム画面から、次のメニューを選択します。

【コピー (Copy)】 > 【内容 (Content)】

4. コピーするドキュメントのコンテンツタイプに当てはまるボタンをタッチします。
 - **【文字 (Text)】** —原稿の大半をテキストまたは線画が占めている場合に使用します。
 - **【図表 (Graphic)】** —原稿の大半を、円グラフ、棒グラフ、アニメーションなど、ビジネスタイプの図表が占めている場合に使用します。
 - **【文字/写真 (Text/Photo)】** —原稿にテキスト、図表、および写真が混在している場合に使用します。
 - **【写真 (Photo)】** —原稿の大半を写真や画像が占めている場合に使用します。
5.  をタッチします。
6. 以下のボタンの中から、コピーするドキュメントのコンテンツソースに最も近いものをタッチします。
 - **【カラーレーザー (Color Laser)】** —原稿がカラーレーザープリンタで印刷されていた場合に使用します。
 - **【白黒 (Black/White)】** —原稿がモノクロレーザープリンタで印刷されていた場合に使用します。
 - **【インクジェット (Inkjet)】** —原稿がインクジェットプリンタで印刷されていた場合に使用します。
 - **【写真/フィルム (Photo/Film)】** —原稿がフィルム写真である場合に使用します。
 - **【雑誌 (Magazine)】** —原稿が雑誌である場合に使用します。
 - **【新聞 (Newspaper)】** —原稿が新聞である場合に使用します。
 - **【出版物 (Press)】** —原稿が印刷機で印刷されていた場合に使用します。

- **〔その他 (Other) 〕** —原稿が別のプリンタや詳細不明のプリンタで印刷されていた場合に使用します。

7.  > **〔コピー (Copy It) 〕** をタッチします。

丁合印刷する

ドキュメントを複数部印刷する場合は、それぞれセットとして印刷（丁合印刷）するか、ページごとにまとめて印刷（丁合せずに印刷）するかを選択できます。

丁合印刷した場合 丁合印刷しない場合



標準設定では、**〔丁合印刷 (Collate) 〕** は **〔オン (On) 〕** に設定されています。丁合印刷しない場合は、この設定を **〔オフ (Off) 〕** に変更します。

1. スキャンする面を上にして原稿を短辺方向から ADF にセットするか、スキャンする面を下にして原稿台ガラスにセットします。

メモ： はがき、写真、サイズの小さなもの、OHP フィルム、フォト用紙、雑誌の切り抜きなどの薄いものは、ADF にセットしないでください。このような原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

2. ADF に原稿をセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

3. ホーム画面から、次のメニューを選択します。

〔コピー (Copy) 〕 > 部数を入力 > **〔丁合印刷 (Collate) 〕** > **〔オフ (Off) 〕** >  > **〔コピー (Copy It) 〕**

コピーの区切りとして区切り紙を挿入する

1. スキャンする面を上にして原稿を短辺方向から ADF にセットするか、スキャンする面を下にして原稿台ガラスにセットします。

メモ： はがき、写真、サイズの小さなもの、OHP フィルム、フォト用紙、雑誌の切り抜きなどの薄いものは、ADF にセットしないでください。このような原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

2. ADF に原稿をセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

3. ホーム画面から、次のメニューを選択します。

〔コピー (Copy) 〕 > **〔詳細オプション (Advanced Options) 〕** > **〔区切り紙 (Separator Sheets) 〕**

メモ： コピーの区切りとして区切り紙を挿入するには、**〔丁合印刷 (Collate) 〕** を **〔オン (On) 〕** に設定する必要があります。**〔丁合印刷 (Collate) 〕** が **〔オン (On) 〕** に設定されている場合、区切り紙は印刷ジョブの最後に追加する必要があります。

4. 次のいずれかを選択します。

- [コピー間 (Between Copies)]
- [ジョブ間 (Between Jobs)]
- [ページ間 (Between Pages)]
- [オフ (Off)]

5.  をタッチし、さらに [コピー (Copy It)] をタッチします。

1 枚の用紙に複数ページをコピーする

用紙を節約する目的で、連続した 2 ページまたは 4 ページのドキュメントを 1 枚の用紙にコピーできます。

メモ:

- [用紙サイズ (Paper Size)] は、[レター (Letter)]、[リーガル (Legal)]、[A4]、または [JIS B5] に設定する必要があります。
 - [コピーサイズ (Copy Size)] は、100% に設定する必要があります。
1. スキャンする面を上にして原稿を短辺方向から ADF にセットするか、スキャンする面を下にして原稿台ガラスにセットします。

メモ: はがき、写真、サイズの小さなもの、OHP フィルム、フォト用紙、雑誌の切り抜きなどの薄いものは、ADF にセットしないでください。このような原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。
 2. ADF に原稿をセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
 3. ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー (Copy)] > [詳細オプション (Advanced Options)] > [用紙節約 (Paper Saver)] > 目的の出力を選択 >  > [コピー (Copy It)]

カスタムコピージョブを作成する

カスタムコピージョブは、1 つ以上の原稿のセットを単一のコピージョブに集約する場合に使用します。各セットは、それぞれ異なるジョブパラメータでスキャンできます。コピージョブを送信したときに、[Custom Job (カスタムジョブ)] が有効である場合、スキャナでは、指定されたパラメータで最初の原稿のセットがスキャンされ、さらに次のセットが同じパラメータまたは別のパラメータでスキャンされます。

セットの定義は、スキャンする原稿に応じて異なります。

- 原稿台ガラスを使用して 1 ページの原稿をスキャンした場合は、1 ページで 1 セットが構成されます。
- ADF を使用して複数ページの原稿をスキャンした場合は、ADF にセットされたページが空になるまでスキャンされた全ページで 1 セットが構成されます。
- ADF を使用して 1 ページの原稿をスキャンした場合は、1 ページで 1 セットが構成されます。

例:

1. スキャンする面を上にして原稿を短辺方向から ADF にセットするか、スキャンする面を下にして原稿台ガラスにセットします。

メモ: はがき、写真、サイズの小さなもの、OHP フィルム、フォト用紙、雑誌の切り抜きなどの薄いものは、ADF にセットしないでください。このような原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

2. ADF に原稿をセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
3. ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー (Copy)] > [詳細オプション(Advanced Options)] > [カスタムジョブ (Custom Job)] > [オン (On)] > [終了 (Done)] > [コピー (Copy It)]

セットの最後までスキャンが終了したら、スキャン画面が表示されます。

4. スキャンする面を上にして次の原稿を短辺方向から ADF にセットするか、スキャンする面を下にして原稿台ガラスにセットします。[ADF をスキャン (Scan the Automatic Document Feeder)] または [原稿台をスキャン (Scan the flatbed)] をタッチします。

メモ: 必要に応じて、ジョブの設定を変更します。

5. さらに別のドキュメントをスキャンする場合は、前の手順を繰り返します。終了する場合は、[ジョブを終了 (Finish the job)] をタッチします。

コピーに情報を印刷する

各ページの上部に日付と時刻を印刷する

1. スキャンする面を上にして原稿を短辺方向から ADF にセットするか、スキャンする面を下にして原稿台ガラスにセットします。

メモ: はがき、写真、サイズの小さなもの、OHP フィルム、フォト用紙、雑誌の切り抜きなどの薄いものは、ADF にセットしないでください。このような原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

2. ADF に原稿をセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
3. ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー (Copy)] > [詳細オプション (Advanced Options)] > [ヘッダー/フッター (Header/Footer)]

4. 日付と時刻を印刷するページの領域を選択します。
5. [はい (Yes)] または [いいえ (No)] >  > [コピー (Copy It)] をタッチします。

各ページにオーバーレイメッセージを印刷する

各ページにオーバーレイメッセージを印刷できます。メッセージの選択肢は、緊急（Urgent）、コンフィデンシャル（Confidential）、コピー（Copy）、カスタム（Custom）、ドラフト（Draft）です。以下の手順でコピーにメッセージを印刷します。

1. スキャンする面を上にして原稿を短辺方向から ADF にセットするか、スキャンする面を下にして原稿台ガラスにセットします。

メモ： はがき、写真、サイズの小さなもの、OHP フィルム、フォト用紙、雑誌の切り抜きなどの薄いものは、ADF にセットしないでください。このような原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

2. ADF に原稿をセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
3. ホーム画面から、次のメニューを選択します。

〔コピー（Copy）〕 > 〔詳細オプション（Advanced Options）〕 > 〔オーバーレイ（Overlay）〕 > オーバーレイメッセージを選択 > 

4. 〔コピー（Copy It）〕 をタッチします。

コピージョブをキャンセルする

ADF で原稿が処理されている途中でコピージョブをキャンセルする

ADF で原稿の処理が開始されると、スキャン画面が表示されます。コピージョブをキャンセルするには、タッチ画面で 〔ジョブをキャンセル（Cancel Job）〕 をタッチします。

スキャンジョブのキャンセルを通知する画面が表示されます。ADF にセットされたページがすべて排出されて、ジョブがキャンセルされます。

原稿台ガラスで原稿をコピーしている途中でコピージョブをキャンセルする

タッチ画面で 〔ジョブをキャンセル（Cancel Job）〕 をタッチします。

スキャンジョブのキャンセルを通知する画面が表示されます。ジョブがキャンセルされると、コピー画面が表示されます。

印刷の途中でコピージョブをキャンセルする

1. プリンタ操作パネルから、〔ジョブをキャンセル（Cancel Job）〕 をタッチするか、キーパッドの  を押します。
2. キャンセルするジョブをタッチして、〔選択したジョブを削除（Delete Selected Jobs）〕 をタッチします。

メモ： キーパッドの  を押した場合は、〔再開（Resume）〕 をタッチして、ホーム画面に戻ります。

コピー画面と各オプションについて

〔コピー元（Copy from）〕

このオプションを使用すると、原稿の用紙サイズを入力できる画面が開きます。

- 原稿と同じ用紙サイズをタッチします。
- 用紙サイズが異なる原稿を同じ幅でコピーするには、〔**大きさ混在（Mixed Sizes）**〕をタッチします。
- 原稿のサイズをスキャナで自動判別するには、〔**自動サイズ検知（Auto Size Sense）**〕をタッチします。

〔コピー先（Copy to）〕

このオプションを使用すると、コピーを印刷する用紙のサイズとタイプを入力できる画面が開きます。

- セットしている用紙と同じサイズとタイプをタッチします。
- 〔コピー元（Copy from）〕と〔コピー先（Copy to）〕の設定が異なる場合、〔**拡大縮小（Scale）**〕設定がプリンタで自動的に調整され、サイズの差は調整されます。
- コピーを印刷するサイズとタイプの用紙がどのトレイにもセットされていない場合、〔**多目的フィーダ（Manual Feeder）**〕をタッチして、多目的フィーダに用紙を手動でセットします。
- 〔コピー先（Copy to）〕を〔**自動サイズ調整（Auto Size Match）**〕に設定すると、コピーのページはそれぞれ原稿の用紙サイズで印刷されます。同じサイズの用紙がどのトレイにもセットされていない場合、用紙サイズが見つかりません（**Paper size not found**）というメッセージが表示され、トレイまたは多目的フィーダに用紙をセットするよう指示されます。

〔コピー（Copy）〕

このオプションを使用すると、印刷する部数を設定できます。

〔拡大縮小（Scale）〕

このオプションを使用すると、コピー画像が 25%～400% の任意の範囲で均等に拡大縮小されます。〔Scale（拡大縮小）〕は、自動設定も可能です。

- リーガル用紙からレター用紙のように、用紙サイズを変更してコピーするときに、〔コピー元（Copy from）〕と〔コピー先（Copy to）〕の用紙サイズを自動的に拡大縮小するよう設定することで、原稿の情報をすべてコピー先のページに収めることができます。
- 左矢印をタッチすると、1% 刻みで値が小さくなります。右矢印をタッチすると、1% 刻みで値が大きくなります。
- 矢印を押したままにすると、値が連続して増減します。
- 矢印を 2 秒間押したままにすると、増減のペースがさらに加速します。

〔濃さ（Darkness）〕

このオプションでは、原稿を基準にして、コピーの濃度を調整します。

〔印刷面（両面印刷）（Sides（Duplex））〕

このオプションを使用して、両面印刷の設定を選択します。コピーの印刷方法は、片面または両面、両面印刷の原稿から両面（両面印刷）、片面印刷の原稿から両面、両面印刷の原稿から片面（片面印刷）のいずれかを選択できます。

〔丁合印刷（Collate）〕

このオプションを使用すると、ドキュメントを複数部印刷するときに、印刷ジョブのページが順番にスタックされます。出荷時の設定では、〔丁合印刷（Collate）〕はオンになっています。この設定では、コピーしたページが（1、2、3）（1、2、3）（1、2、3）という順番で出力されます。各ページのコピーをまとめておく場合は、〔丁合印刷（Collate）〕をオフにします。この設定では、コピーしたページが（1、1、1）（2、2、2）（3、3、3）という順番で出力されます。

〔内容（Content）〕

このオプションを使用すると、原稿のタイプとソースを設定できます。

コンテンツタイプは、〔文字（Text）〕、〔文字/写真（Text/Photo）〕、〔写真（Photo）〕、または〔グラフィックス（Graphics）〕から選択します。

- 〔文字（Text）〕 — 原稿の大半をテキストまたは線画が占めている場合に使用します。
- 〔グラフィックス（Graphics）〕 — 原稿の大半を、円グラフ、棒グラフ、アニメーションなど、ビジネスタイプの図表が占めている場合に使用します。
- 〔文字/写真（Text/Photo）〕 — 原稿にテキスト、図表、および写真が混在している場合に使用します。
- 〔写真（Photo）〕 — 原稿の大半を写真や画像が占めている場合に使用します。

コンテンツソースは、〔カラーレーザー（Color Laser）〕、〔モノクロレーザー（Black/White Laser）〕、〔インクジェット（Inkjet）〕、〔写真/フィルム（Photo/Film）〕、〔雑誌（Magazine）〕、〔新聞（Newspaper）〕、〔出版物（Press）〕、または〔その他（Other）〕から選択します。

- 〔カラーレーザー（Color Laser）〕 — 原稿がカラーレーザープリンタで印刷されていた場合に使用します。
- 〔モノクロレーザー（Black/White Laser）〕 — 原稿がモノクロレーザープリンタで印刷されていた場合に使用します。
- 〔インクジェット（Inkjet）〕 — 原稿がインクジェットプリンタで印刷されていた場合に使用します。
- 〔写真/フィルム（Photo/Film）〕 — 原稿がフィルム写真である場合に使用します。
- 〔雑誌（Magazine）〕 — 原稿が雑誌である場合に使用します。
- 〔新聞（Newspaper）〕 — 原稿が新聞である場合に使用します。

- **〔出版物 (Press) 〕** —原稿が印刷機で印刷されていた場合に使用します。
- **〔その他 (Other) 〕** —原稿が別のプリンタや詳細不明のプリンタで印刷されていた場合に使用します。

〔カラー (Color) 〕

このオプションでは、スキャンした画像のカラーを有効または無効にします。

〔詳細オプション (Advanced Options) 〕

〔詳細オプション (Advanced Options) 〕 ボタンをタッチすると、以下の設定を変更できる画面が開きます。

- **〔ADF 傾き補正 (ADF Skew Fix) 〕** —スキャンした画像の僅かな傾きを補正する場合に使用します。
- **〔両面印刷詳細設定 (Advanced Duplex) 〕** —ドキュメントの向き、ドキュメントの印刷方法（片面印刷または両面印刷）、およびドキュメントの綴じ方を指定する場合に使用します。

メモ: 〔両面印刷詳細設定 (Advanced Duplex) 〕 オプションの種類によっては、使用できるのは一部のプリンタ機種に限定されます。

- **〔イメージ詳細設定 (Advanced Imaging) 〕** —原稿をコピーする前に、〔自動中央揃え (Auto Center) 〕、〔背景削除 (Background Removal) 〕、〔カラーバランス (Color Balance) 〕、〔カラードロップアウト (Color Dropout) 〕、〔コントラスト (Contrast) 〕、〔左右反転 (Mirror Image) 〕、〔ネガイメージ (Negative Image) 〕、〔端までスキャン (Scan Edge to Edge) 〕、〔シャドウ描写 (Shadow Detail) 〕、〔シャープネス (Sharpness) 〕、および〔色温度 (Temperature) 〕設定を変更または調整する場合に使用します。

- **〔小冊子を作成 (Create Booklet) 〕** —小冊子を作成する場合に使用します。ブックレットの印刷方法（片面印刷または両面印刷）を選択できます。

メモ: このオプションが表示されるのは、両面印刷ユニットとプリンタハードディスクが取り付けられている場合に限定されます。

- **〔送付状ページの設定 (Cover Page Setup) 〕** —コピーの送付状と小冊子の送付状を設定する場合に使用します。
- **〔カスタムジョブ (Custom Job) 〕** —複数のスキャンジョブを単一のジョブに集約する場合に使用します。
- **〔フチ消去 (Edge Erase) 〕** —原稿のフチの周り付近にある汚れや情報を消去する場合に使用します。原稿の四辺すべてで領域を均等に消去することも、特定のフチの領域を選択して消去することも可能です。〔フチ消去 (Edge Erase) 〕 では、選択した領域内のすべての情報が消去され、そのスキャン部分には何も残りません。
- **〔ヘッダー/フッター (Header/Footer) 〕** —日付/時刻、ページ番号、ページ番号、およびカスタムテキストをオンにして、指定したヘッダーまたはフッターの場所に印刷する場合に使用します。

- **〔余白移動 (Margin Shift) 〕** —スキャンした画像を移動することで、指定した距離分、余白のサイズを増やす場合に使用します。コピーを綴じる/コピーにパンチ穴を開けるときの余白をとる場合に便利です。増減の矢印を使用して、余白の量を設定します。追加した余白が大きすぎた場合、コピーはトリミングされます。

- **［オーバーレイ（Overlay）］** —コピー内容に透かし（メッセージ）を重ねて挿入する場合に使用します。所定のメッセージ（緊急（Urgent）、コンフィデンシャル（Confidential）、コピー（Copy）、およびドラフト（Draft））を選択することも、［カスタムテキストを入力（Enter custom text）］フィールドにカスタムメッセージを挿入することも可能です。選択したメッセージは、各ページに大きな活字で薄く印刷されます。

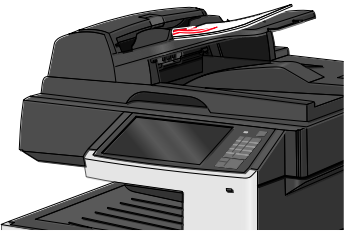
メモ：システムサポート担当者が作成オーバーレイを作成することも可能です。作成オーバーレイを作成した場合、そのオーバーレイのアイコンボタンが使用可能になります。

- **［用紙節約（Paper Saver）］** —原稿の 2 枚以上のページを同じページにまとめて印刷する場合に使用します。［用紙節約（Paper Saver）］は、N-up 印刷とも呼ばれます。N は、枚数（Number）を表します。例えば、2-up の場合は原稿の 2 ページが 1 ページにまとめて印刷され、4-up の場合は原稿の 4 ページが 1 ページにまとめて印刷されます。［ページ枠を印刷（Print Page Borders）］をタッチすると、出力ページ上の原稿のページを囲む輪郭線が追加/削除されます。
- **［区切り紙（Separator Sheets）］** —部、ページ、または印刷ジョブのまとまりごとに空のページを挿入する場合に使用します。コピーを印刷する用紙とは別のタイプや色の用紙をトレイにセットして、そのトレイから区切り紙として給紙できます。

［ショートカットとして保存（Save As Shortcut）］

このオプションを使用すると、現在の設定に番号を割り当てて、ショートカットとして保存できます。

11—E メール送信

自動原稿フィーダ(ADF)	原稿台ガラス
	
複数ページの原稿は、ADF にセットします。	1 枚の原稿、はがきや写真などのサイズの小さなもの、OHP フィルム、フォト用紙、雑誌の切り抜きなどの薄いものは、原稿台ガラスにセットします。

プリンタでスキャンしたドキュメントは、1 つまたは複数の宛先を指定して E メールで送信できます。プリンタから E メールを送信するには、E メールアドレスの入力、ショートカット番号の使用、アドレス帳の使用という 3 つの方法があります。

E メール送信を準備する

E メール機能をセットアップする

1. プリンタの IP アドレスを Web ブラウザのアドレスフィールドに入力します。

プリンタの IP アドレスが分からない場合は、以下の手順で確認できます。

- [ネットワーク/ポート (Network/Ports)] メニューの [TCP/IP] セクションで、プリンタ操作パネルの IP アドレスを確認します。
- ネットワークセットアップページまたはメニュー設定ページを印刷して、[TCP/IP] セクションの IP アドレスを確認します。

2. [設定 (Settings)] をクリックします。
3. [Default Settings (標準設定)] で、[E メール/FTP 設定 (E-mail/FTP Settings)] をクリックします。
4. [E メール設定 (E-mail Settings)] > [E メールサーバをセットアップ (Setup E-mail Server)] をクリックします。
5. 各フィールドに適切な情報を入力します。
6. [送信 (Submit)] をクリックします。

E メール設定を構成する

1. プリンタの IP アドレスを Web ブラウザのアドレスフィールドに入力します。
プリンタの IP アドレスが分からない場合は、以下の手順で確認できます。
 - [ネットワーク/ポート (Network/Ports)] メニューの [TCP/IP] セクションで、プリンタ操作パネルの IP アドレスを確認します。
 - ネットワークセットアップページまたはメニュー設定ページを印刷して、[TCP/IP] セクションの IP アドレスを確認します。
2. [設定 (Settings)] > [E メール/FTP 設定 (E-mail/FTP Settings)] > [E メール設定] をクリックします。
3. 各フィールドに適切な情報を入力します。
4. [送信 (Submit)] をクリックします。

E メールショートカットを作成する

内蔵 WEB サーバ(EWS)を使用して E メールショートカットを作成する

1. プリンタの IP アドレスを Web ブラウザのアドレスフィールドに入力します。
プリンタの IP アドレスが分からない場合は、以下の手順で確認できます。
 - [ネットワーク/ポート (Network/Ports)] メニューの [TCP/IP] セクションで、プリンタ操作パネルの IP アドレスを確認します。
 - ネットワークセットアップページまたはメニュー設定ページを印刷して、[TCP/IP] セクションの IP アドレスを確認します。
2. [設定 (Settings)] をクリックします。
3. [その他の設定 (Other Settings)] で、[ショートカット管理 (Manage Shortcuts)] > [E メールショートカットの設定 (E-mail Shortcut Setup)] をクリックします。
4. 宛先の一意の名前を入力して、E メールアドレスを入力します。
メモ: 複数のアドレスを入力する場合、各アドレスをコンマ (,) で区切ります。
5. スキャン設定 ([形式 (Format)]、[内容 (Content)]、[カラー (Color)]、および [解像度 (Resolution)]) を選択します。
6. ショートカット番号を入力して、[追加 (Add)] をクリックします。
既に使用中の番号を入力した場合、別の番号を選択するよう指示されます。

タッチスクリーンを使用して E メールショートカットを作成する

1. ホーム画面から、次のメニューを選択します。
[E メール (E-mail)] > [受信者 (Recipient)] > E メールアドレスを入力

宛先のグループを作成するには、[次のアドレス (Next address)] をクリックして、次の宛先の E メールアドレスを入力します。

2.  をタッチします。
3. ショートカットの一意の名前を入力して、[終了 (Done)] をタッチします。
4. ショートカットの名前と番号が正しいことを確認して、[OK] をタッチします。

名前または番号に誤りがある場合、[キャンセル (Cancel)] をタッチして、情報を再入力します。

ドキュメントを E メールで送信する

タッチスクリーンを使用して E メールショートカットを作成する

1. スキャンする面を上にして原稿を短辺方向から ADF にセットするか、スキャンする面を下にして原稿台ガラスにセットします。

メモ: はがき、写真、サイズの小さなもの、OHP フィルム、フォト用紙、雑誌の切り抜きなどの薄いものは、ADF にセットしないでください。このような原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

2. ADF に原稿をセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

メモ: 原稿のサイズとコピー用紙のサイズが同じであることを確認してください。サイズを適切に設定していないと、画像が途中で切れることがあります。

3. ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[E メール (E-mail)] > [受信者 (Recipient)]

4. E メールアドレスを入力するか、 を押して、ショートカット番号を入力します。

追加のアドレスを入力するには、[次のアドレス (Next address)] をタッチして、追加するアドレスまたはショートカット番号を入力します。

メモ: アドレス帳を使用して、E メールアドレスを入力することも可能です。

5. [終了 (Done)] > [送信 (Send It)] をタッチします。

ショートカット番号を使用して E メールを送信する

1. スキャンする面を上にして原稿を短辺方向から ADF にセットするか、スキャンする面を下にして原稿台ガラスにセットします。

メモ: はがき、写真、サイズの小さなもの、OHP フィルム、フォト用紙、雑誌の切り抜きなどの薄いものは、ADF にセットしないでください。このような原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

2. ADF に原稿をセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

3.  を押し、キーパッドでショートカット番号を入力して、 をタッチします。

追加の宛先を入力するには、[次のアドレス (Next address)] をタッチして、追加するアドレスまたはショートカット番号を入力します。

4. [送信 (Send It)] をタッチします。

アドレス帳を使用して E メールを送信する

1. スキャンする面を上にして原稿を短辺方向から ADF にセットするか、スキャンする面を下にして原稿台ガラスにセットします。

メモ: はがき、写真、サイズの小さなもの、OHP フィルム、フォト用紙、雑誌の切り抜きなどの薄いものは、ADF にセットしないでください。このような原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

2. ADF に原稿をセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
3. ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[E メール (E-mail)] > [受信者 (Recipient (s))] >  > 宛先の名前を入力 > [ショートカットを参照 (Browse shortcuts)]

4. 宛先の名前をタッチします。

追加の宛先を入力するには、[次のアドレス (Next address)] をタッチして、追加するアドレスまたはショートカット番号を入力するか、アドレス帳を検索します。

5. [終了 (Done)] をタッチします。

E メール設定をカスタマイズする

E メールの件名と本文を追加する

1. スキャンする面を上にして原稿を短辺方向から ADF にセットするか、スキャンする面を下にして原稿台ガラスにセットします。

メモ: はがき、写真、サイズの小さなもの、OHP フィルム、フォト用紙、雑誌の切り抜きなどの薄いものは、ADF にセットしないでください。このような原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

2. ADF に原稿をセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
3. ホーム画面から、[E メール (E-mail)] をタッチします。
4. E メールアドレスを入力します。
5. [オプション (Options)] > [件名 (Subject)] をタッチします。
6. E メールの件名を入力します。
7. [終了 (Done)] > [本文 (Message)] をタッチします。
8. E メールの本文を入力します。
9. [終了 (Done)] > [E メール (E-mail)] をタッチします。

出力ファイルタイプを変更する

1. スキャンする面を上にして原稿を短辺方向から ADF にセットするか、スキャンする面を下にして原稿台ガラスにセットします。

メモ: はがき、写真、サイズの小さなもの、OHP フィルム、フォト用紙、雑誌の切り抜きなどの薄いものは、ADF にセットしないでください。このような原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

2. ADF に原稿をセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
3. ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[E メール (E-mail)] > [受信者 (Recipient)] > E メールアドレスを入力 > [送信形式 (Send as)]

4. 送信するファイルタイプに当てはまるボタンをタッチします。
 - [PDF] —Adobe Reader で閲覧できる、複数ページを含む単一ファイルを作成する場合に使用します。Adobe Reader は、Adobe 社 (www.adobe.com) から無償で提供されています。
 - [セキュア PDF (Secure PDF)] —ファイルコンテンツを不正アクセスから保護する、暗号化 PDF ファイルを作成する場合に使用します。
 - [TIFF] —複数ファイルまたは単一ファイルを作成する場合に使用します。内蔵 WEB サーバ (EWS) の [設定 (Settings)] メニューで [複数ページ TIFF (Multi-page TIFF)] をオンにした場合、ファイルごとに 1 ページという形式で Tiff ファイルが保存されます。通常、ファイルサイズは同等の JPEG ファイルよりも大きくなります。
 - [JPEG] —原稿の 1 ページごとに個別のファイルを作成して添付する場合に使用します。JPEG ファイルは、ほとんどの Web ブラウザやグラフィックプログラムで閲覧できます。
 - [XPS] —複数ページを含む単一の XML Paper Specification (XPS) ファイルを作成する場合に使用します。XPS ファイルは、Internet Explorer でホストされるビューアや .NET Framework を使用するか、サードパーティ製のスタンドアロンビューアをダウンロードすることで閲覧できます。
5. [E メール送信 (Email It)] をタッチします。

メモ: [セキュア PDF (Secure PDF)] を選択した場合、パスワードを 2 回入力するよう指示されます。

E メールアドレスをキャンセルする

- ADF を使用している場合は、スキャン中 (Scanning) というメッセージが表示されているときに、[ジョブをキャンセル (Cancel Job)] をタッチします。
- 原稿台ガラスを使用している場合は、スキャン中 (Scanning) または次のページをスキャン/ジョブを終了 (Scan the Next Page / Finish the Job) というメッセージが表示されているときに、[ジョブをキャンセル (Cancel Job)] をタッチします。

E メールオプションについて

〔受信者（Recipients）〕

このオプションを使用すると、Eメールの宛先を入力できます。複数のEメールアドレスを入力できます。

〔件名（Subject）〕

このオプションを使用すると、Eメールの件名を入力できます。

〔本文（Message）〕

このオプションを使用すると、スキャンした添付ファイルとともに送信されるEメールの本文を入力できます。

〔ファイル名（File Name）〕

このオプションを使用すると、添付ファイルの名前をカスタマイズできます。

〔原稿サイズ（Original Size）〕

このオプションを使用すると、Eメールで送信する原稿の用紙サイズを入力できる画面が開きます。

- 用紙サイズのボタンをタッチして、〔原稿サイズ（Original Size）〕設定のサイズを選択します。Eメールの画面が開いて、新しい設定が表示されます。
- 〔原稿サイズ（Original Size）〕を〔大きさ混在（Mixed Sizes）〕に設定すると、用紙サイズが異なる原稿をスキャンできます。
- 〔原稿サイズ（Original Size）〕を〔自動サイズ検知（Auto Size Sense）〕に設定すると、原稿のサイズがスキャナで自動的に判別されます。

〔解像度（Resolution）〕

Eメールの出力品質を調整します。画像解像度を大きくすると、Eメールのファイルサイズが大きくなるとともに、原稿のスキャンに必要な時間が長くなります。画像解像度を小さくして、Eメールのファイルサイズを小さくすることも可能です。

〔カラー（Color）〕

このオプションでは、スキャンした画像の出力カラーを設定します。タッチすると、カラーの有効または無効が切り替わります。

〔内容（Content）〕

このオプションを使用すると、原稿のコンテンツタイプとコンテンツソースを設定できます。

コンテンツタイプは、[文字 (Text)]、[文字/写真 (Text/Photo)]、[写真 (Photo)]、または [グラフィックス (Graphics)] から選択します。

- [文字 (Text)] —原稿の大半をテキストまたは線画が占めている場合に使用します。
- [グラフィックス (Graphics)] —原稿の大半を、円グラフ、棒グラフ、アニメーションなど、ビジネスタイプの図表が占めている場合に使用します。
- [文字/写真 (Text/Photo)] —原稿にテキスト、図表、および写真が混在している場合に使用します。
- [写真 (Photo)] —原稿の大半を写真や画像が占めている場合に使用します。

コンテンツソースは、[カラーレーザー (Color Laser)]、[モノクロレーザー (Black/White Laser)]、[インクジェット (Inkjet)]、[写真/フィルム (Photo/Film)]、[雑誌 (Magazine)]、[新聞 (Newspaper)]、[出版物 (Press)]、または [その他 (Other)] から選択します。

- [カラーレーザー (Color Laser)] —原稿がカラーレーザープリンタで印刷されていた場合に使用します。
- [モノクロレーザー (Black/White Laser)] —原稿がモノクロレーザープリンタで印刷されていた場合に使用します。
- [インクジェット (Inkjet)] —原稿がインクジェットプリンタで印刷されていた場合に使用します。
- [写真/フィルム (Photo/Film)] —原稿がフィルム写真である場合に使用します。
- [雑誌 (Magazine)] —原稿が雑誌である場合に使用します。
- [新聞 (Newspaper)] —原稿が新聞である場合に使用します。
- [出版物 (Press)] —原稿が印刷機で印刷されていた場合に使用します。
- [その他 (Other)] —原稿が別のプリンタや詳細不明のプリンタで印刷されていた場合に使用します。

[濃さ (Darkness)]

このオプションでは、原稿を基準にして、スキャンしたドキュメントの濃度を調整します。

[送信形式 (Send As)]

このオプションでは、スキャンした画像の出力形式 (PDF、TIFF、JPEG、または XPS) を設定します。

- [PDF] —Adobe Reader で閲覧できる、複数ページを含む単一ファイルを作成します。Adobe Reader は、Adobe 社 (www.adobe.com) から無償で提供されています。
- [セキュア PDF (Secure PDF)] —ファイルコンテンツを不正アクセスから保護する、暗号化 PDF ファイルを作成します。
- [TIFF] —複数ファイルまたは単一ファイルを作成します。内蔵 WEB サーバ(EWS)の [設定 (Settings)] メニューで [複数ページ TIFF (Multi-page TIFF)] をオンにした場合、ファイ

ルごとに 1 ページという形式で Tiff ファイルが保存されます。通常、ファイルサイズは同等の JPEG ファイルよりも大きくなります。

- **[JPEG]** —原稿の 1 ページごとに個別のファイルを作成して添付します。JPEG ファイルは、ほとんどの Web ブラウザやグラフィックプログラムで閲覧できます。
- **[XPS]** —複数ページを含む単一の XML ファイルを作成します。XPS ファイルは、Internet Explorer でホストされるビューアや .NET Framework を使用するか、サードパーティ製のスタンドアロンビューアをダウンロードすることで閲覧できます。

[ページ設定 (Page Setup)]

このオプションを使用すると、**[印刷面 (両面印刷) (Sides (Duplex))]**、**[用紙の向き (Orientation)]**、および **[綴じ (Binding)]** を設定できます。

- **[印刷面 (両面印刷) (Sides (Duplex))]** —原稿が片面印刷 (ページの片面に印刷) または両面印刷 (ページの両面に印刷) のどちらであるかを指定します。E メールに含めるスキャンの対象も指定します。
- **[用紙の向き (Orientation)]** —原稿の向きを指定して、**[印刷面 (Sides)]** と **[綴じ (Binding)]** を用紙の向きに合わせて変更します。
- **[綴じ (Binding)]** —原稿の綴じ方 (長辺綴じまたは短辺綴じ) を指定します。

[スキャンプレビュー (Scan Preview)]

このオプションでは、E メールに添付する前に、画像の最初のページを表示します。最初のページがスキャンされると、スキャンが停止して、プレビュー画像が表示されます。

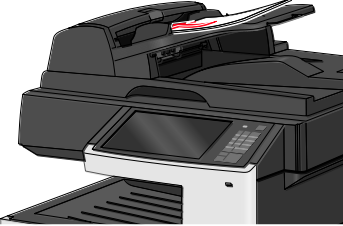
[詳細オプション (Advanced Options)]

このボタンをタッチすると、**[ADF 傾き補正 (ADF Skew Fix)]**、**[詳細イメージ詳細設定 (Advanced Imaging)]**、**[カスタムジョブ (Custom Job)]**、**[フチ消去 (Edge Erase)]**、および **[送信ログ (Transmission Log)]** 設定を変更できる画面が開きます。

- **[ADF 傾き補正 (ADF Skew Fix)]** —スキャンした画像の僅かな傾きを補正できます。
- **[イメージ詳細設定 (Advanced Imaging)]** —原稿を E メールで送信する前に、**[背景削除 (Background Removal)]**、**[カラーバランス (Color Balance)]**、**[カラードロップアウト (Color Dropout)]**、**[コントラスト (Contrast)]**、**[JPEG 品質 (JPEG Quality)]**、**[左右反転 (Mirror Image)]**、**[ネガイメージ (Negative Image)]**、**[端までスキャン (Scan Edge to Edge)]**、**[シャドウ描写 (Shadow Detail)]**、**[シャープネス (Sharpness)]**、および **[色温度 (Temperature)]** 設定を変更または調整できます。
- **[カスタムジョブ (Custom Job)]** —複数のスキャンジョブを 1 つのジョブに集約できます。
- **[フチ消去 (Edge Erase)]** —原稿のフチの周り付近にある汚れや情報を消去できます。原稿の四辺すべてで領域を均等に消去することも、特定のフチの領域を選択して消去することも可能です。**[フチ消去 (Edge Erase)]** では、選択した領域内のすべての情報が消去され、そのスキャン部分には何も残りません。
- **[送信ログ (Transmission Log)]** —送信ログまたは送信エラーログを印刷できます。

12—FAX 送信

注：プリンタ機種により FAX 機能が無いものもあります。

自動原稿フィーダ(ADF)	原稿台ガラス
	
複数ページの原稿には ADF を使用します。	1 ページのものや小さいもの（葉書や写真など）、透明なもの、感光紙、薄いもの（雑誌の切り抜きなど）には原稿台ガラスを使用します。

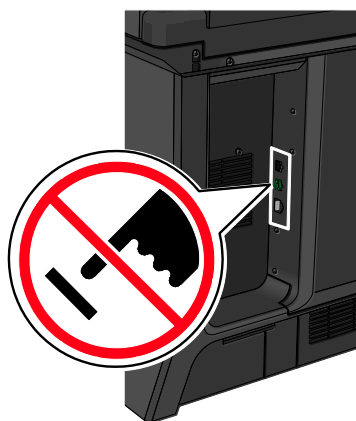
プリンタで FAX の準備

以下の接続方法は、国や地域により適用できない場合があります。

注：プリンタの初期設定中、FAX 機能やその他後に設定する予定の機能の選択を解除し、**続行**をタッチしてください。FAX 機能が有効になっていても設定が完了していない場合、インジケータランプが赤く点滅することがあります。

 **注意—感電の危険：**雷が鳴っている間は FAX 機能をご使用にならないでください。また雷が鳴っている間は、本製品の設定や、FAX 機能や電源ケーブル、電話など電氣的接続やケーブル接続を行なわないでください。

警告—損傷の可能性：実際に FAX を送受信している間、ケーブルや下記に示すプリンタの部分に触らないでください。



FAX の初期設定

多くの国や地域では、送信 FAX の各ページ上部あるいは下部の余白、または送信原稿の 1 枚目に、送信元（メッセージを送信する会社やその他団体、または個人名）および送信元番号（送信 FAX 機、会社、その他団体、または個人の電話番号）の情報の記載が求められます。

FAX の設定情報の入力には、プリンタのコントロールパネルを使用する、もしくはブラウザを使用して内蔵 WEB サーバ(EWS)にアクセスし、設定メニューを入力します。

注: TCP/IP 環境をお持ちでない場合、プリンタのコントロールパネルを使用して FAX の設定情報を入力する必要があります。

プリンタのコントロールパネルによる FAX 設定

プリンタの電源を初めて入れた場合、あるいは長期間電源オフが続いた場合、一連のスタートアップ画面が表示されます。プリンタに FAX 機能がある場合、次の画面が表示されます:

FAX 名称または送信元

FAX 番号または送信元番号

1. **[FAX 名 (Fax name)]** または **[ステーション名 (Station Name)]** が表示後、送信する全ての FAX に印字する送信元を入力します。
2. FAX 名称または送信元を入力後、**[送信 (Submit)]** をタッチします。
3. **[FAX 番号 (Fax Number)]** または **[ステーション番号 (Station Number)]** が表示後、プリンタの FAX 番号を入力します。
4. FAX 番号または送信元番号を入力後、**[送信 (Submit)]** をタッチします。

内蔵 WEB サーバ(EWS)による FAX 設定

1. プリンタの IP アドレスをウェブブラウザのアドレスフィールドに入力します。

プリンタの IP アドレスが分からない場合、以下を行ってください:

- ネットワーク/ポートメニュー下にあります TCP/IP セクションのプリンタコントロールパネルで IP アドレスを確認します。
- ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、TCP/IP セクションで IP アドレスを確認します。

2. **[設定 (Settings)]** > **[FAX 設定 (Fax Settings)]** > **[アナログ FAX 設定 (Analog Fax Settings)]** の順にクリックします。
3. FAX 名フィールドまたはステーション名フィールドに、送信する全ての FAX に印字する送信元を入力します。
4. FAX 番号フィールドまたはステーション番号フィールドに、プリンタの FAX 番号を入力します。
5. **[送信 (Submit)]** をクリックします。

FAX 接続の選択

注:

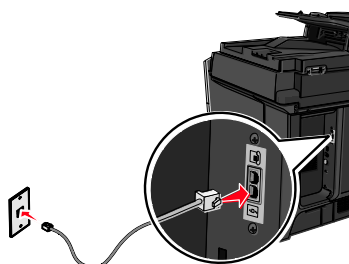
- プリンタは電話コンセントに直接接続した場合に最も良好に機能するアナログ装置です。設定手順で説明がありますように、他の装置（電話機や留守番電話機）を接続してプリンタへ介することができます。
- ISDN や DSL、ADSL などデジタル接続をご希望される場合は、サードパーティ製の装置（DSL フィルタなど）が必要です。DSL フィルタにつきましては、ご契約の DSL プロバイダにお問い合わせください。DSL フィルタをご使用頂くことにより、プリンタの正常な FAX 送受信を妨害する可能性のあるデジタル信号を電話回線から除去することができます。
- FAX を送受信する際には、プリンタをコンピュータへ接続する必要はありませんが、アナログ電話回線へ接続する必要があります。

機器およびサービスオプション	FAX 接続の設定
電話回線へ直接接続.	<u>アナログ電話回線への接続</u> を参照してください。
デジタル加入者回線（DSL または ADSL）サービスへ接続	<u>DSL サービスへの接続</u> を参照してください。
構内交換機（PBX）または統合サービスデジタルサービス通信網（ISDN）システムへ接続.	<u>PBX または ISDN システムへの接続</u> を参照してください。
着信識別サービスを利用.	<u>着信識別サービスへの接続</u> を参照してください。
お客様のご利用エリアで使用のアダプタを介して接続.	<u>お住まいの国や地域のアダプタへの接続</u> を参照してください。

アナログ電話回線への接続

ご使用の通信機器が US スタイル（RJ11）電話回線対応の場合、以下のステップに従って機器を接続してください:

1. プリンタ付属の電話ケーブルの一端をプリンタの LINE ポート  に接続します。
2. 電話ケーブルのもう一方の端を、現在ご使用のアナログ電話回線のコンセントに接続します。



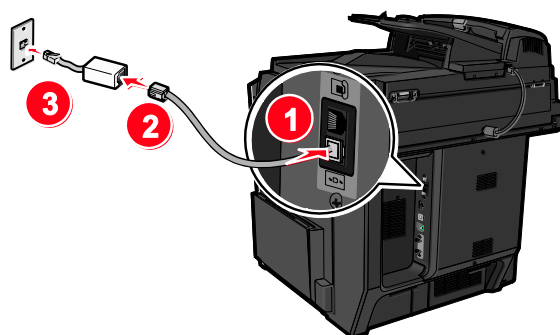
DSL サービスへの接続

DSL サービスへご加入されている場合、ご契約の DSL プロバイダにご連絡頂き DSL フィルタと電話ケーブルを入手後、以下のステップに従って機器を接続してください:

1. プリンタ付属の電話ケーブルの一端をプリンタの LINE ポート  に接続します。
2. 電話ケーブルのもう一方の端を DSL フィルタへ接続します。

注: お手元の DSL フィルタは図に示されているものと形状が異なることがあります。

3. DSL フィルタケーブルを現在ご使用の電話回線のコンセントに接続します。



PBX または ISDN システムへの接続

PBX、ISDN コンバータまたは端末アダプタをご使用の場合、以下のステップに従い機器を接続してください:

1. プリンタ付属の電話ケーブルの一端をプリンタの LINE ポート  に接続します。
2. 電話ケーブルのもう一方の端を、FAX と電話専用ポートへ接続します。

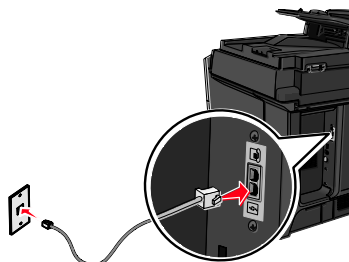
注:

- 端末アダプタが、お住まいの地域に適合したスイッチタイプに設定されているかご確認ください。
- ISDN ポート番号の割当によっては、特定のポートに接続する必要がある場合があります。
- PBX システムをご使用の際、通話中着信音は必ずオフにしてください。
- PBX システムをご使用の際、外線発信プレフィックスに続き FAX 番号をダイヤルしてください。
- PBX システムによる FAX の使用に関する詳細につきましては、PBX システムに付属の説明書をご参照ください。

着信識別サービスへの接続

着信識別サービスは、ご契約の電話サービス提供者を介してご利用頂ける場合があります。本サービスによって1つの電話回線で複数の電話番号を保有することができ、それぞれ異なる着信音をご使用頂けます。こちらはFAXと電話とを区別する際に役立つと思われます。着信識別サービスにご加入の場合は、以下のステップに従い機器を接続してください:

1. プリンタ付属の電話ケーブルの一端をプリンタのLINEポート⑨に接続します。
2. 電話ケーブルのもう一方の端を、現在ご使用のアナログ電話回線のコンセントに接続します。



3. 着信識別設定を変更し、ご希望されるプリンタ用の着信に設定します:

注: 工場出荷時の着信識別設定はオンとなっております。こちらによりプリンタは1つ、2つ、及び3つの着信パターンで応答します。

- a. ホーム画面より、以下の順に進みます:

[] > [設定(Settings)] > [FAX 設定(Fax Settings)] > [アナログ FAX 設定(Analog Fax Settings)] > [専用着信音(Distinctive Rings)]

- d. 変更したい着信パターン設定を選択し、[送信 (Submit)] をタッチします。

お住まいの国や地域のアダプタへの接続

以下の国や地域では、電話ケーブルを現在ご使用の電話回線のコンセントへ接続する際、特別なアダプタが必要となる場合がございます:

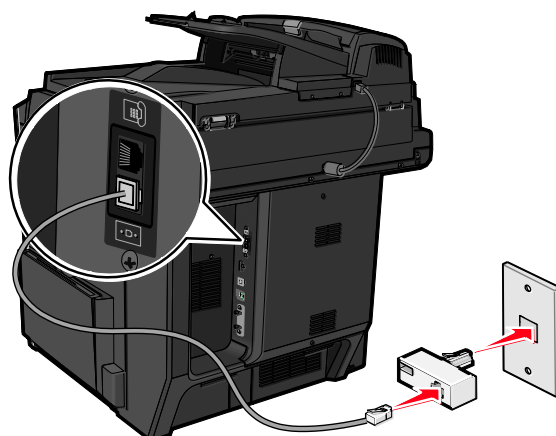
国／地域

- オーストリア
- キプロス
- デンマーク
- フィンランド
- フランス
- ドイツ
- アイルランド
- イタリア
- ニュージーランド
- オランダ
- ノルウェイ
- ポルトガル
- スウェーデン
- スイス
- イギリス

一部の国や地域では、電話回線アダプタは製品に同梱されています。こちらのアダプタをご使用頂き、留守番電話機、電話、またはその他の通信機器とプリンタを接続してください。

1. プリンタ付属の電話ケーブルの一端をプリンタの LINE ポート  に接続します。
2. 電話ケーブルのもう一方の端をアダプタに接続後、アダプタを現在ご使用の電話回線のコンセントに接続します。

注: お手元の電話アダプタは、図に示されているものと形状が異なることがあります。ご利用頂くエリアに適合するものとなります。



送信 FAX または送信元・送信元番号の設定

1. プリンタの IP アドレスをウェブブラウザのアドレスフィールドに入力します。

プリンタの IP アドレスが分からない場合、以下を行ってください:

- ネットワーク/ポートメニュー下にあります TCP/IP セクションのプリンタコントロールパネルで IP アドレスを確認します。
- ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、TCP/IP セクションで IP アドレスを確認します。

2. **[設定(Settings)]>[FAX 設定(Fax Settings)] > [アナログ FAX 設定(Analog Fax Settings)]**の順にクリックします。
3. FAX 名フィールドまたはステーションフィールドに、送信する全ての FAX に印字する送信元を入力します。
4. FAX 番号フィールドまたはステーション名フィールドに、プリンタの FAX 番号を入力します。
5. **[送信 (Submit)]** をクリックします。

日付および時刻の設定

送信する全ての FAX に日付および時刻を印字されるよう設定することができます。停電の際は、復旧後、日付と時刻を再度設定して頂く必要がある場合があります。

1. プリンタの IP アドレスをウェブブラウザのアドレスフィールドに入力します。

プリンタの IP アドレスが分からない場合、以下を行ってください:

- ネットワーク/ポートメニュー下にあります TCP/IP セクションのプリンタコントロールパネルで IP アドレスを確認します。
- ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、TCP/IP セクションで IP アドレスを確認します。

2. **[セキュリティ(Security)] > [日時の設定(Set Date and Time)]** の順にクリックします。

3. 日付と時間設定に、現在の日付と日時を入力します。

4. **[送信 (Submit)]** をクリックします。

注: ネットワークタイムのご使用をお勧めします。

プリンタでのサマータイム対応の設定

自動的にサマータイムに調整するようプリンタを設定できます:

1. プリンタの IP アドレスをウェブブラウザのアドレスフィールドに入力します。

プリンタの IP アドレスが分からない場合、以下を行ってください:

- ネットワーク/ポートメニュー下にあります TCP/IP セクションのプリンタコントロールパネルで IP アドレスを確認します。
- ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、TCP/IP セクションで IP アドレスを確認します。

2. **[セキュリティ(Security)] > [日付と時間の設定]** の順にクリックします。

3. **[DST を自動遵守]** チェックボックスを選択し、DST 開始日および DST 終了日をカスタム タイムゾーン設定 セクションに入力します。

4. **[送信 (Submit)]** をクリックします。

ショートカットの作成

内蔵 WEB サーバ(EWS)による FAX 宛先ショートカットの作成

FAX 送信毎に、プリンタのコントロールパネルに FAX 受信者の電話番号を全て入力する代わりに、FAX 固定宛先を作成し、ショートカット番号を割り当てることができます。ショートカットは単一の FAX 番号、または複数の FAX 番号からなるグループに対し作成できます。

1. プリンタの IP アドレスをウェブブラウザのアドレスフィールドに入力します。

プリンタの IP アドレスが分からない場合、以下を行ってください:

- ネットワーク/ポートメニュー下にあります TCP/IP セクションのプリンタコントロールパネルで IP アドレスを確認します。
- ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、TCP/IP セクションで IP アドレスを確認します。

2. **[設定(Settings)] > [ショートカットの管理(Manage Shortcuts)] > [FAX ショートカット設定 (Fax Shortcut Setup)]** の順にクリックします。

注：パスワードが求められることがあります。ID とパスワードをお持ちでない場合は、システムサポート担当者から入手してください。

3. ショートカットに固有の名称をつけて入力し、その後 FAX 番号を入力します。

複数番号のショートカットを作成する際は、そのグループの全ての FAX 番号を入力してください。

注：グループ内の FAX 番号同士はセミコロン (;) で区切ってください。

4. ショートカット番号を割り当てます。

既にご使用の番号を入力すると、他の番号を選択するよう指示が出ます。

5. **[追加(Add)]** をクリックします。

タッチスクリーンによる FAX 宛先ショートカットの作成

1. オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF に差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

注：葉書、写真、小さなもの、透明なもの、感光紙、または薄いもの（雑誌の切り抜きなど）を ADF に差し込まないでください。このようなものは原稿台ガラス上に置いてください。

2. 原稿を ADF に差し込む場合は、ペーパーガイドを調整してください。

3. ホーム画面より、以下の順に進みます：

[FAX] > [FAX 番号(Fax Number)]を入力します。

FAX 番号のグループを作成するには、次の番号 をタッチしてから次の FAX 番号を入力してください。

4. 以下の順に進みます：

 > (ショートカットの名前を入力) > **[完了(Done)]** > **[OK]** > **[FAX]**

FAX の送信

タッチスクリーンを使用しての FAX 送信

1. オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF に差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

注：葉書、写真、小さなもの、透明なもの、感光紙、または薄いもの（雑誌の切り抜きなど）を ADF に差し込まないでください。このようなものは原稿台ガラス上に置いてください。

2. 原稿を ADF に差し込む場合は、ペーパーガイドを調整してください。

3. ホーム画面より、**[FAX]** ボタンをタッチします。

4. タッチスクリーンまたはキーパッドを使って FAX 番号またはショートカットを入力します。

受信者を追加する際、**[次の番号(Next Number)]**をタッチしてから受信者の電話番号またはショートカットを入力する、またはアドレスブックを検索してください。

注: FAX 番号の中にダイヤルポーズを入れる場合、**Ⓜ**を押してください。ダイヤルポーズは、FAX to ボックス内ではコンマとして表示されます。最初に外線ダイヤルする必要がある場合、こちらの機能をご使用ください。

5. **[FAX]**をタッチします。

コンピュータを使用して FAX 送信

プリンタドライバ FAX オプションにより、「FAX へのプリント」ができます。この場合、プリンタは待機中に入れられたドキュメントをプリントするのではなく、FAX として送信します。FAX オプションは通常の FAX 機として機能しますが、プリンタのコントロールパネルではなくプリンタドライバにより制御されます。

1. ドキュメントを開いた状態で、**[ファイル] > [印刷]**の順にクリックします。
2. プリンタを選択し、以下の順に進みます：

[プロパティ(Properties)] > [FAX] タブ > [FAX の有効化(Enable fax)]

3. 受信 FAX 番号を FAX 番号フィールドに入力します。

FAX 番号は手入力、または電話帳機能を使用しての入力が可能です。

4. 必要に応じ、外線発信番号フィールドに発信番号を入力します。
5. 適切な紙のサイズおよび方向を選択します。
6. FAX にカバーページを付けたい場合、**[送信者情報を表示する]**を選択し、必要な情報を入力します。
7. **[OK]**をクリックします。

注:

- FAX オプションは、PostScript ドライバまたは Universal FAX ドライバと一緒にご使用頂く場合にのみご利用頂くことができます。上記ドライバのインストールに関しては、ソフトウェアおよびドキュメント CD をご参照ください。
- FAX オプションは構成タブの下で PostScript ドライバで設定頂き、有効となった上でご使用頂くことができます。
- **[FAX 送信前に必ず設定を表示する]**チェックボックスが選択されている場合、FAX 送信前に受信者情報の確認が求められます。こちらのチェックボックスが選択されていない場合、送信待機中のドキュメントは、FAX タブで**[OK]**をクリックすると、FAX として自動的に送信されます。

ショートカットを使用しての FAX 送信

FAX のショートカットは、電話や FAX 機の短縮ダイヤル番号のようなものです。一つのショートカット番号（1～99999）で、一人または複数の受信者を表すことができます。

1. オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF に差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

注: 葉書、写真、小さなもの、透明なもの、感光紙、または薄いもの（雑誌の切り抜きなど）を ADF に差し込まないでください。このようなものは原稿台ガラス上に置いてください。

2. 原稿を ADF に差し込む場合は、ペーパーガイドを調整します。
3. を押してから、キーパッドを使用してショートカット番号を入力します。
4. **[FAX]**をタッチします。

アドレスブックを使用しての FAX 送信

アドレスブックによりブックマークやネットワークディレクトリサーバを検索することができます。

注: アドレスブック機能が有効でない場合、システムサポート担当者にお問い合わせください。

1. オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF に差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

注: 葉書、写真、小さなもの、透明なもの、感光紙、または薄いもの（雑誌の切り抜きなど）を ADF に差し込まないでください。このようなものは原稿台ガラス上に置いてください。

2. 原稿を ADF に差し込む場合は、ペーパーガイドを調整します。
3. ホーム画面から、以下の順に進みます:

[FAX] >  > [ショートカット参照(Browse shortcuts)]

4. 仮想キーボードを使用し、FAX 番号を探したい名前または名前の一部を入力します。

注: 同時に複数の名前を探さないでください。

5. **完了 > FAX** の順にタッチします。

FAX 設定のカスタマイズ

FAX の解像度変更

設定は標準（最も速い）からウルトラファイン（最も遅い、最高の品質）まであります。

1. オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF に差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

注: 葉書、写真、小さなもの、透明なもの、感光紙、または薄いもの（雑誌の切り抜きなど）を ADF に差し込まないでください。このようなものは原稿台ガラス上に置いてください。

2. 原稿を ADF に差し込む場合は、ペーパーガイドを調整します。
3. ホーム画面より、以下の順に進みます:

[FAX] > (FAX 番号の入力) > [オプション(Options)]

4. 解像度エリアから、矢印にタッチしてご希望の解像度に変更します。
5. **[FAX]**をタッチします。

FAX の濃さ調整

1. オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF に差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

注: 葉書、写真、小さなもの、透明なもの、感光紙、または薄いもの（雑誌の切り抜きなど）を ADF に差し込まないでください。このようなものは原稿台ガラス上に置いてください。

2. 原稿を ADF に差し込む場合は、ペーパーガイドを調整します。
3. ホーム画面より、以下の順に進みます:

[FAX] > (FAX 番号を入力) > [オプション(Options)]

4. **[濃度(Darkness)]**エリアから、矢印をタッチして FAX の濃さを調整します。
5. **[FAX]**をタッチします。

FAX を予定時刻に送信

1. オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF に差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

注: 葉書、写真、小さなもの、透明なもの、感光紙、または薄いもの（雑誌の切り抜きなど）を ADF に差し込まないでください。このようなものは原稿台ガラス上に置いてください。

2. 原稿を ADF に差し込む場合は、ペーパーガイドを調整します。
3. ホーム画面より、以下の順に進みます:

[FAX] > (FAX 番号を入力) > [オプション(Options)] > [詳細オプション(Advanced Options)] > [後で送信(Delayed Send)]

注: FAX モードが FAX サーバに設定されている場合、後で送信ボタンは表示されません。送信待機中の FAX が FAX キューに一覧表示されます。

4. 矢印にタッチして、FAX の送信時刻を調整します。

時刻は 30 分刻みで設定することができます。現在時刻が表示されている場合、左矢印はご使用できません。

5. **[FAX]**をタッチします。

注: 原稿はスキャン後、指定の時刻に FAX 送信されます。

FAX ログの閲覧

1. プリンタの IP アドレスをウェブブラウザのアドレスフィールドに入力します。

プリンタの IP アドレスが分からない場合、以下を行ってください:

- ネットワーク/ポートメニュー下にあります TCP/IP セクションのプリンタコントロールパネルで IP アドレスを確認します。
- ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、TCP/IP セクションで IP アドレスを確認します。

2. **[設定(Settings)] > [レポート(Reports)] > [FAX ジョブログ(Fax Job Log)]** または **[FAX コールログ(Fax Call Log)]**の順にクリックします。

迷惑 FAX のブロック

3. プリンタの IP アドレスをウェブブラウザのアドレスフィールドに入力します。

プリンタの IP アドレスが分からない場合、以下を行ってください:

- ネットワーク/ポートメニュー下にあります TCP/IP セクションのプリンタコントロールパネルで IP アドレスを確認します。
- ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、TCP/IP セクションで IP アドレスを確認します。

4. **[設定(Settings)] > [FAX 設定(Fax Settings)] > [アナログ FAX 設定(Analog Fax Settings)] > [名前なし FAX をブロック(Block No Name Fax)]**の順にクリックします。

注:

- こちらのオプションにより、番号非通知の受信 FAX や FAX 送信元のない受信 FAX を全てブロックします。
- FAX 除外リストフィールドに、ブロックしたい特定の FAX 送信者の電話番号や送信元を入力してください。

送信 FAX のキャンセル

オリジナル原稿がまだスキャン中に FAX をキャンセルする

- ADF を使用の場合、**[スキャン中...(Scanning...)]**が表示されている間に**[ジョブをキャンセル(Cancel Job)]**をタッチします。
- 原稿台ガラスを使用の場合、**[スキャン中...(Scanning...)]**が表示されている間、または**[次のページをスキャン/ジョブを終了する]**が表示されている間に**[ジョブをキャンセル(Cancel Job)]**をタッチします。

オリジナル原稿がメモリへスキャンされた後に FAX をキャンセルする

1. ホーム画面で、**[ジョブをキャンセル(Cancel Job)]**をタッチします。

ジョブをキャンセル画面が表示されます。

2. キャンセルしたい 1 つないし複数のジョブをタッチします。

画面上にジョブは 3 つのみ表示されます。キャンセルしたいジョブが現れるまで下矢印をタッチし、その後、希望のジョブをタッチしてください。

3. **[選択したジョブを削除>Delete Selected Jobs]**をタッチします。

選択したジョブを削除画面が表示され、選択されたジョブが削除されます。その後、ホーム画面が表示されます。

FAX オプションの説明

内容

こちらのオプションにより、オリジナル原稿の種類や作成元を指定することができます。

原稿の種類を文字、文字/写真、写真、グラフィックの中から選択します。

- **文字**—オリジナル原稿の内容の大半が文字や線画の場合に選択します。
- **グラフィック**—オリジナル原稿の内容の大半が、円グラフや棒グラフ、アニメーションなどビジネス関連のグラフィックの場合に選択します。
- **文字/写真**—オリジナル原稿の内容に文字、グラフィック、写真が混在している場合に選択します。
- **写真**—オリジナル原稿の内容の大半が写真や画像である場合に選択します。

作成元をカラーレーザー、モノクロレーザー、インクジェット、写真/フィルム、雑誌、新聞、プレス、その他のいずれかを選択します。

- **カラーレーザー**—オリジナル原稿がカラーレーザープリンタで印刷されたものである場合に選択します。
- **モノクロレーザー**—オリジナル原稿がモノクロレーザープリンタで印刷されたものである場合に選択します。
- **インクジェット**—オリジナル原稿がインクジェットプリンタで印刷されたものである場合に選択します。
- **写真/フィルム**—オリジナル原稿がフィルムからの写真である場合に選択します。
- **雑誌**—オリジナル原稿が雑誌からのものである場合に選択します。
- **新聞**—オリジナル原稿が新聞からのものである場合に選択します。
- **プレス**—オリジナル原稿が印刷機で印刷されたものである場合に選択します。
- **その他**—オリジナル原稿がその他のプリンタ、または種類が不明のプリンタで印刷されたものである場合に選択します。

解像度

こちらのオプションにより、FAX したい原稿に対するスキャナの読み取り解像度を変更することができます。写真、細い線で書かれた図面、文字の非常に小さな原稿を FAX する場合は、解像度の設定を高くしてください。これにより、スキャンにかかる時間は長くなりますが、FAX 出力の品質が向上します。

- **標準**—大半の原稿に適しています。
- **ファイン 200 dpi**—印字の小さな原稿にお薦めです。
- **スーパーファイン 300 dpi**—細かな内容の多いオリジナル原稿にお薦めです。
- **ウルトラファイン 600 dpi**—絵や写真のある原稿にお薦めです。

注: カラー印刷が選択されると、**ファイン 200 dpi** および**スーパーファイン 300 dpi** が表示されます。

FAX 濃さ

こちらのオプションにより、FAX をオリジナル原稿より薄くするか、濃くするか調整することができます。

カラー

こちらのオプションにより FAX の際にカラーにするか否かを指定することができます。

ページ設定

こちらのオプションにより、印刷面（両面印刷、用紙の向き、綴じの各設定を変更できます。

- **印刷面（両面印刷）** オリジナル原稿がシンプレックス（片面印刷）かデュプレックス（両面印刷）かを指定するために使用します。また、これにより FAX するために必要なスキンの範囲を定めます。
- **用紙の向き**—オリジナル原稿の方向を指定し、それに合わせて印刷面と綴じを変更するために使用します。
- **綴じ**—オリジナル原稿を長辺で綴じるか、短辺で綴じるかを指定するために使用します。

スキンプレビュー

こちらのオプションにより、FAX にする前に 1 枚目のページを画像表示することができます。最初のページがスキャンされると、スキャンは一時停止し、プレビュー画像が表示されます。

遅延送信

こちらのオプションにより FAX を時刻、日付を遅らせて送信することができます。

1. FAX の準備をします。
2. ホーム画面より、以下の順に進みます:

[後で送信(Delayed Send)] > (FAX を送信したい日付と時刻の入力) > [完了(Done)]

注: FAX の遅延送信予定時にプリンタの電源がオフの場合、次に電源がオンとなった時に FAX が送信されます。

こちらの設定は、一定時間すぐに利用できない FAX 回線に情報を送信する場合や、料金の安い時間帯に送信する場合に、特に役立ちます。

拡張オプション

詳細オプションボタンをタッチすると、以下の設定が変更できる画面が表示されます:

- **ADF 傾き補正**—スキャン画像のわずかな歪みを修正するために使用します。

- **詳細イメージ**—原稿を FAX する前に、背景の削除、カラーバランス、色の脱落、コントラスト、JPEG 品質、左右反転、ネガ、端までスキャン、シャドウ描写、鮮明さ、色温度の各設定を調整するために使います。
- **カスタムジョブ**—複数のスキャンジョブを一つのジョブにまとめるために使用します。
- **フチ除去**—原稿の縁周辺の汚れや情報を取り除くために使用します。紙の四隅全てで等しい面積を取り除くか、特定の縁のみ対象とするか、選択することができます。フチ除去は選択した領域内にあるものは全て消去し、スキャンのその箇所には何も残りません。
- **送信ログ**—送信ログまたは送信エラーログを印刷するために使います。

FAX の保留、転送

FAX 保留

こちらのオプションにより、受信 FAX を出力するまで印刷保留することができます。保留した FAX は手動、または決められた日付もしくは時刻に出力することができます。

1. プリンタの IP アドレスをウェブブラウザのアドレスフィールドに入力します。

プリンタの IP アドレスが分からない場合、以下を行ってください:

- ネットワーク/ポートメニュー下にあります TCP/IP セクションのプリンタコントロールパネルで IP アドレスを確認します。
- ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、TCP/IP セクションで IP アドレスを確認します。

2. **[設定(Settings)] > [FAX 設定(Fax Settings)] > [アナログ FAX 設定(Analog Fax Settings)] > [FAX 保留(Holding Fax)]**の順にクリックします。.

3. FAX パスワードを印刷フィールドに、パスワードを入力します。

4. 保持 FAX モードメニューより、以下の中から何れか 1 つを選択します。:

- オフ
- 常にオン
- 手動
- スケジュール

5. スケジュールを選択した場合、さらに以下のステップに従って進みます:

- a. **[FAX 保留スケジュール]**をクリックします。
- e. アクションメニューより、**[FAX 保留(Holding Fax)]**を選択します。
- f. 時間メニューより、保留した FAX のリリース希望時刻を選択します。
- g. 日付メニューより、保留した FAX のリリース希望日を選択します。

6. **[追加(Add)]**をクリックします。

FAX の転送

こちらのオプションにより、受信した FAX を印刷し、ご指定の FAX 番号、電子メールアドレス、FTP サイト、または LDSS に転送することができます。

1. プリンタの IP アドレスをウェブブラウザのアドレスフィールドに入力します。

プリンタの IP アドレスが分からない場合、以下を行ってください:

- ネットワーク/ポートメニュー下にあります TCP/IP セクションのプリンタコントロールパネルで IP アドレスを確認します。
- ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、TCP/IP セクションで IP アドレスを確認します。

2. **[設定(Settings)] > [FAX 設定(Fax Settings)]**の順にクリックします。

3. FAX 転送メニューより、以下の中から何れか 1 つを選択します:

- 印刷
- 印刷して転送
- 転送

4. 転送先メニューより、以下の中から何れか 1 つを選択します。:

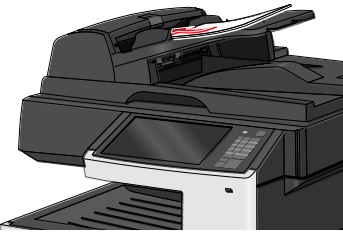
- FAX
- E メール
- FTP
- LDSS
- eSF

5. ショートカットに転送フィールドに、FAX 転送先のショートカット番号を入力します。

注: ショートカット番号は、転送先メニューで選択された設定で有効である必要があります。

6. **[送信 (Submit)]** をクリックします。

13—FTP アドレスへのスキャン

自動原稿フィーダ(ADF)	原稿台ガラス
	
複数ページの原稿には ADF を使用します。	1 ページのものや小さいもの（葉書や写真など）、透明なもの、感光紙、薄いもの（雑誌の切り抜きなど）には原稿台ガラスを使用します。

スキャナにより、原稿をファイル転送プロトコル（FTP）サーバへ直接スキャンできます。一度に1つの FTP アドレスしかサーバへ送信できません。

システムサポート担当者により既に FTP 宛先が構成されていれば、宛先の名称がショートカット番号として利用できます。またはジョブを保持アイコンの下にプロファイルとして一覧表示されます。FTP 宛先は他の PostScript プリンタである可能性もあります。例えば、カラー原稿をスキャンしてカラープリンタに送ることができます。原稿を FTP サーバに送ることは、FAX を送ることと似ています。違いは、電話回線ではなくネットワークを使って情報を送っている点です。

ショートカットの作成

原稿を FTP サーバに送るたびに、プリンタのコントロールパネルに FTP のサイトアドレス全体を入力する代わりに、常駐 FTP 宛先を作成し、ショートカット番号を割り当てることができます。ショートカット番号作成方法には、内蔵 WEB サーバ(EWS)を使った方法と、プリンタのタッチスクリーンを使った方法の2通りがあります。

内蔵 WEB サーバ(EWS)による FTP ショートカットの作成

1. プリンタの IP アドレスをウェブブラウザのアドレスフィールドに入力します。

プリンタの IP アドレスが分からない場合、次のようにします：

- ネットワーク/ポートメニュー下にある TCP/IP セクションのプリンタコントロールパネルで IP アドレスを確認できます。
- ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、TCP/IP セクションで IP アドレスを確認できます。

2. **【設定(Settings)】** をクリックします。

3. その他の設定の下にある[ショートカット管理(Manage Shortcuts)]をクリックします。

注: パスワードが求められることがあります。 ID とパスワードがない場合は、システムサポート担当者から入手してください。

4. [FTP ショートカット設定(FTP Shortcut Setup)]をクリックします。

5. 必要な情報を入力します。

6. ショートカット番号を入力します。

既に使っている番号を入力すると、別な番号を選ぶように指示されます。

7. [追加(Add)]をクリックします。

タッチスクリーンによる FTP ショートカットの作成

1. ホーム画面から、次のように進みます:

[FTP] > (FTP アドレスをタイプ) >  > (ショートカットの名前を入力) > [完了(Done)]

2. ショートカットの名称と番号が正しいことを確認したら、**OK** をタッチします。名称または番号が間違っていれば、[キャンセル(Cancel)]をタッチし、情報を入力しなおします。

既に使っている番号を入力すると、別な番号を選ぶように指示されます。

3. [送信 (Submit)] をタッチします。

FTP アドレスへのスキャン

タッチスクリーンによる FTP アドレスへのスキャン

1. オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF に差し込むか、表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

注: 葉書、写真、小さなもの、透明なもの、感光紙、または薄いもの（雑誌の切り抜きなど）を ADF に差し込まないこと。このようなものは原稿台ガラス上に置いてください。

2. 原稿を ADF に差し込む場合は、ペーパーガイドを調整します。

3. ホーム画面から、次のように進みます:

[FTP] > [FTP] > (FTP アドレスをタイプ) > [送信(Submit)]

ショートカット番号による FTP アドレスへのスキャン

1. オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF に差し込むか、表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

注: 葉書、写真、小さなもの、透明なもの、感光紙、または薄いもの（雑誌の切り抜きなど）を ADF に差し込まないこと。このようなものは原稿台ガラス上に置いてください。

2. 原稿を ADF に差し込む場合は、ペーパーガイドを調整します。

3. を押してから、ショートカット番号を入力します。

4. **【送信 (Submit)】** をタッチします。

アドレスブックによる FTP アドレスへのスキャン

1. オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF に差し込むか、表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

注: 葉書、写真、小さなもの、透明なもの、感光紙、または薄いもの（雑誌の切り抜きなど）を ADF に差し込まないこと。このようなものは原稿台ガラス上に置いてください。

2. 原稿を ADF に差し込む場合は、ペーパーガイドを調整します。

3. ホーム画面から、次のように進みます:

[FTP] > [FTP] >  > (受信者の名前を入力) > [ショートカット参照(Browse shortcuts)] > (受信者の名前) > [検索(Search)]

FTP オプションの説明

FTP

このオプションにより、FTP 宛先の IP アドレスを入力します。

注: アドレスはドット表示形式でなければなりません（例: **yyy.yyy.yyy.yyy**）。

ファイル名

このオプションにより、スキャンした原稿のファイル名を入力します。

オリジナルサイズ

このオプションにより、FTP 送信する原稿のサイズを選択できる画面を表示します。

- 任意のペーパーサイズボタンをタッチして、対応するサイズを元サイズ設定として選んでください。この新しい設定を表示した FTP 画面が現れます。
- 元サイズがサイズ混在に設定されている場合、ペーパーサイズの異なるオリジナル原稿をスキャンできます。
- 元サイズが自動サイズ認識に設定されている場合、スキャナはオリジナル原稿のサイズを自動的に判別します。

送信形式

このオプションにより、スキャンされた画像の出力方式（PDF, TIFF, JPEG または XPS）が設定されます。

- **PDF**—複数ページからなる 1 ファイルを、Adobe Reader で読める形で作成します。Adobe Reader は Adobe のサイト（www.adobe.com）より無料で提供されています。
- **セキュア PDF**—ファイルの内容を不正アクセスから保護する暗号化 PDF ファイルを作成します。

- **TIFF**—1 ないし複数のファイルを作成します。 内蔵 WEB サーバ(EWS)の設定メニューで複数ページ TIFF がオフになっている場合、TIFF により 1 ファイルに 1 ページが保存されます。 ファイルサイズは通常、同じものの JPEG より大きくなります。
- **JPEG**—オリジナル原稿のページごとに別々なファイルを作成し、結びつけ、大多数のウェブブラウザやグラフィックプログラムで閲覧できるようにします。
- **XPS**—複数のページからなる XPS ファイルを 1 つ作成し、インターネットエクスプローラホスト型のビューアーや .NET Framework を使って、またはサードパーティー製のスタンドアローンビューアーをダウンロードして、閲覧できるようにします。

カラー

このオプションにより、スキャンした画像をカラーにしたり、モノクロにしたりします。

解像度

このオプションによりファイルの出力品質を調整します。 画像の解像度を上げると、ファイルサイズが大きくなり、オリジナル原稿のスキャンに必要な時間が長くなります。 画像解像度を下げること、ファイルサイズを小さくできます。

濃さ

このオプションにより、ファイルをオリジナル原稿より薄くするか、濃くするかを調整します。

ページ設定

このオプションにより、印刷面（両面印刷）、用紙の向き、綴じの各設定を変更します。

- **印刷面（両面印刷）**— オリジナル原稿がシンプレックス（片面印刷）かデュプレックス（両面印刷）かを指定します。 ここでスキャンする必要のある範囲も指定します。
- **用紙の向き**— オリジナル原稿の方向を指定し、その後、その方向に合わせて印刷面(Sides)と綴じ(Binding)の設定を変更します。
- **綴じ**— オリジナル原稿を長辺で綴じるか、短辺で綴じるかを指定します。

内容

このオプションにより、オリジナル原稿の種類や作成元を指定します。

種類を文字、文字/写真、写真、グラフィックの中から選んでください。

- **文字**—オリジナル原稿の内容の大半が文字や線画であるときに、これを使います。
- **グラフィック**—オリジナル原稿の内容の大半が、円グラフや棒グラフ、アニメーションなどビジネス関連のグラフィックであるときに、これを使います。
- **文字/写真**—オリジナル原稿の内容が、文字とグラフィック、写真が混ざっているときに、これを使います。
- **写真**—オリジナル原稿の内容の大半が写真や画像であるときに、これを使います。

作成元をカラーレーザー、モノクロレーザー、インクジェット、写真/フィルム、雑誌、新聞、プレス、その他の中から選びます。

- **カラーレーザー**—オリジナル原稿がカラーレーザープリンタで印刷されたものであるときに使用します。
- **モノクロレーザー**—オリジナル原稿がモノクロレーザープリンタで印刷されたものであるときに使用します。
- **インクジェット**—オリジナル原稿がインクジェットプリンタで印刷されたものであるときに使用します。
- **写真/フィルム**—オリジナル原稿がフィルムからの写真であるときに使用します。
- **雑誌**—オリジナル原稿が雑誌からのものであるときに使用します。
- **新聞**—オリジナル原稿が新聞からのものであるときに使用します。
- **プレス**—オリジナル原稿が印刷機で印刷されたものであるときに使用します。。
- **その他**—オリジナル原稿がその他のプリンタ、または種類が不明のプリンタで印刷されたものであるときに使用します。

スキャンプレビュー

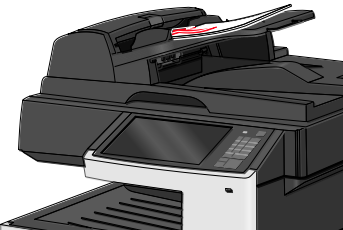
このオプションにより、スキャンが完了する前に、オリジナル原稿の最初のページを表示します。最初のページがスキャンされると、スキャンは一時停止し、プレビュー画像が表示されます。

拡張オプション

詳細オプションボタンをタッチすると、以下の設定が変更できる画面が表示されます：

- **ADF 傾き補正**—スキャン画像のわずかな歪みを修正するために使います。
- **詳細イメージング**—画像ファイルを送る前に、背景の削除、カラーバランス、色の脱落、コントラスト、JPEG 品質、左右反転、ネガ、端までスキャン、シャドウ描写、鮮明さ、色温度の各画像出力設定を調整するために使います。
- **フチ除去**—原稿の縁周辺の汚れや情報を取り除くために使います。紙の四辺全てで等しい面積を取り除くか、特定の縁のみ対象とするかを選択できます。フチ除去は選択した領域内にあるものは何でも消去し、スキャン原稿のその部分には何も残りません。
- **送信ログ**—送信ログまたは送信エラーログを印刷するために使います。
- **カスタムジョブ**—複数のスキャンジョブを一つのジョブにまとめるために使います。

14—コンピュータまたはフラッシュドライバへのスキャン

自動原稿フィーダ(ADF)	原稿台ガラス
	
複数ページの原稿には ADF を使用します。	1 ページのものや小さいもの（葉書や写真など）、透明なもの、感光紙、薄いもの（雑誌の切り抜きなど）には原稿台ガラスを使用します。

スキャナにより原稿を直接コンピュータやフラッシュドライバへスキャンできます。PC へのスキャン画像を受信するために、コンピュータをプリンタに直接接続する必要はありません。コンピュータ上でスキャンプロファイルを作成し、このプロファイルをプリンタへダウンロードすることで、ネットワークを介してスキャンした原稿をコンピュータに戻すことができます。

コンピュータへのスキャン

1. プリンタの IP アドレスをウェブブラウザのアドレスフィールドに入力します。

プリンタの IP アドレスが分からない場合、次のようにします:

- ネットワーク/ポートメニュー下にある TCP/IP セクションのプリンタコントロールパネルで IP アドレスを確認できます。
- ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、TCP/IP セクションで IP アドレスを確認できます。

2. **[プロファイルをスキャン(Scan Profile)]**> **[作成(Create)]**とクリックします。
3. スキャン設定を選んだ後、**[次へ(Next)]**をクリックします。
4. スキャンした出力ファイルを保存したいコンピュータ内の場所を選びます。
5. スキャン名を入力します。

スキャン名は、ディスプレイのプロファイルをスキャンリストに表示される名前です。

6. **[送信 (Submit)]** をクリックします。

7. プロファイルをスキャン画面で指示を確認します。

ショートカット番号は、**【送信 (Submit)】** をクリックすると自動的に割り当てられます。原稿をスキャンする準備ができると、このショートカット番号が使えます。

- a. オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF に差し込むか、表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

注: 葉書、写真、小さなもの、透明なもの、感光紙、または薄いもの（雑誌の切り抜きなど）を ADF に差し込まないこと。このようなものは原稿台ガラス上に置いてください。

- b. 原稿を ADF に差し込む場合は、ペーパーガイドを調整します。
- c.  を押してから、キーパッドを使ってショートカット番号を入力します。またはホーム画面の**保持ジョブ**をタッチしてから、**プロファイル**をタッチします。
- d. ショートカット番号を入力後、スキャナで原稿をスキャンし、指定したディレクトリまたはプログラムへ送ります。ホーム画面で**プロファイル**をタッチした場合は、リストで希望のショートカットを見つけます。

8. ファイルを確認するために、コンピュータに戻ります。

出力ファイルは指定した位置に保存、または指定したプログラムで起動されます。

フラッシュドライバへのスキャン

1. オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF に差し込むか、表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

注: 葉書、写真、小さなもの、透明なもの、感光紙、または薄いもの（雑誌の切り抜きなど）を ADF に差し込まないこと。このようなものは原稿台ガラス上に置いてください。

2. 原稿を ADF に差し込む場合は、ペーパーガイドを調整します。
3. フラッシュドライバをプリンタ前面の USB ポートへ挿入します。

USB ドライブ ホーム画面が表示されます。

4. 宛先フォルダを選んでから、**USB ドライブへスキャン**をタッチします。
5. スキャン設定を調整します。
6. **【スキャン(Scan It)】**をタッチします。

Scan Center 機能の説明

Scan Center ソフトウェアにより、スキャン設定の変更とスキャン出力の送信先の選択が可能となります。Scan Center ソフトウェアで変更されたスキャン設定は、保存して、他のスキャンジョブで利用することができます。

Scan Center には次のような機能があります：

- 画像をスキャンし、コンピュータへ送付
- スキャンした画像を文字に変換

- スキャンした画像をプレビューし、輝度とコントラストを調整
- 詳細を維持したままスキャンの拡大
- 両面印刷原稿のスキャン

ScanBack ユーティリティの利用

Lexmark 社の ScanBack™ ユーティリティを利用して、スキャン to PC プロファイルを作成できます。ScanBack ユーティリティは Lexmark のウェブサイト (<http://support.lexmark.com>) からダウンロードできます。

1. Scan to PC プロファイルを設定します:

- ScanBack ユーティリティを起動します。
- プリンタを選択します。

プリンタが一つも表示されていなければ、システムサポート担当者に連絡してください。または **Setup** をクリックして、IP アドレスまたはホスト名を手動で検索してください。

- コンピュータ画面上の指示に従って、スキャンする原稿の種類と作成したい出力の種類を定めます。
- 下記のいずれかを選びます:
 - **Show MFP Instructions**—指示を確認または印刷します。
 - **Create Shortcut**—再度使用するために、この設定グループを保存します。
- Finish** をクリックします。

スキャンプロファイル情報と受信画像の状態を表示したダイアログボックスが現れます。

2. オリジナル原稿をスキャンします:

- ADF または原稿台ガラスを使って全てのページを取り込みます。
- プリンタのコントロールパネルから、次のように進みます:

[スキャン/E メール(Scan/Email)] > [プロファイル(Profiles)] > (スキャンプロファイルを選択) > [送信 (Submit)]

注: 出力ファイルは指定したディレクトリに保存、または指定したアプリケーションで起動されます。

スキャンプロファイルオプションの説明

オリジナルサイズ

このオプションにより、スキャンする原稿のサイズを設定します。原稿サイズ (Original Size) がサイズ混在 (Mixed Sizes) に設定されている場合、ペーパーサイズの異なる (レターサイズとリーガルサイズのページが混在) オリジナル原稿をスキャンできます。

解像度

このオプションによりファイルの出力品質を調整します。 画像の解像度を上げると、ファイルサイズが大きくなり、オリジナル原稿のスキャンに必要な時間が長くなります。画像解像度を下げること
で、ファイルサイズを小さくできます。

カラー

このオプションにより、スキャンした画像をカラーにしたり、モノクロにしたりします。

内容

このオプションにより、オリジナル原稿の種類や作成元を指定します。

種類を文字、文字/写真、写真、グラフィックの中から選んでください。

- **文字**—オリジナル原稿の内容の大半が文字や線画であるときに、これを使います。
- **グラフィック**—オリジナル原稿の内容の大半が、円グラフや棒グラフ、アニメーションなどビジネス関連のグラフィックであるときに、これを使います。
- **文字/写真**—オリジナル原稿の内容が、文字とグラフィック、写真が混ざっているときに、これを使います。
- **写真**—オリジナル原稿の内容の大半が写真や画像であるときに、これを使います。

作成元をカラーレーザー、モノクロレーザー、インクジェット、写真/フィルム、雑誌、新聞、プレス、
その他のの中から選びます。

- **カラーレーザー**—オリジナル原稿がカラーレーザープリンタで印刷されたものであるときに、
これを使います。
- **モノクロレーザー**—オリジナル原稿がモノクロレーザープリンタで印刷されたものであるときに、
これを使います。
- **インクジェット**—オリジナル原稿がインクジェットプリンタで印刷されたものであるときに、
これを使います。
- **写真/フィルム**—オリジナル原稿がフィルムからの写真であるときに、これを使います。
- **雑誌**—オリジナル原稿が雑誌からのものであるときに、これを使います。
- **新聞**—オリジナル原稿が新聞からのものであるときに、これを使います。
- **プレス**—オリジナル原稿が印刷機で印刷されたものであるときに、これを使います。
- **その他**—オリジナル原稿がその他のプリンタ、または種類が不明のプリンタで印刷されたもので
あるときに、これを使います。

濃さ

このオプションにより、スキャンした原稿をオリジナル原稿より薄くするか、濃くするかを調整しま
す。

ページ設定

このオプションにより、印刷面（両面印刷）、用紙の向き、綴じの各設定を変更します。

- **印刷面（両面印刷）**— オリジナル原稿がシンプレックス（片面印刷）かデュプレックス（両面印刷）かを指定するために使います。また、これにより電子メールに含めるためにスキャンする必要がある範囲を定めます。
- **用紙の向き**— オリジナル原稿の方向を指定し、その後、その方向に合わせて印刷面と綴じを変更するために使います。
- **綴じ**— オリジナル原稿をページの長辺で綴じるか、短辺で綴じるかを指定します。

スキャンプレビュー

このオプションにより、電子メールにする前に画像の最初のページを表示します。最初のページがスキャンされると、スキャンは一時停止し、プレビュー画像が表示されます。

拡張オプション

詳細オプションボタンをタッチすると、以下の設定が変更できる画面が表示されます。:

- **ADF 傾き補正**— スキャン画像のわずかな歪みを修正するために使います。
- **詳細イメージング**— 原稿をスキャンする前に、背景の削除、カラーバランス、色の脱落、コントラスト、JPEG 品質、左右反転、ネガ、端までスキャン、シャドウ描写、鮮明さ、色温度の各設定を変更、調整するために使います。
- **カスタムジョブ**— 複数のスキャンジョブを一つのスキャンジョブにまとめるために使います。
- **フチ除去**— 原稿の縁周辺の汚れや情報を取り除くために使います。紙の四辺全てで等しい面積を取り除くか、特定の縁のみ対象とするかを選択できます。フチ除去は選択した領域内にあるものは何でも消去し、スキャン画像のその部分には何も残りません。
- **送信ログ**— 送信ログまたは送信エラーログを印刷するために使います。

15—プリンタメニュー—

メニュー一覧

消耗品	用紙メニュー	レポート	ネットワーク/ポート
消耗品を交換 (Replace Supply)	標準設定給紙源 (Default Source)	メニュー設定ページ (Menu Settings Page)	アクティブ NIC (Active NIC)
シアンカートリッジ (Cyan Cartridge)	用紙サイズ/タイプ (Paper Size/Type)	デバイス統計 (Device Statistics)	標準ネットワークまたはネットワーク [x] (Standard Network or Network [x]) ¹
マゼンタカートリッジ (Magenta Cartridge)	多目的フィーダ設定 (Configure MP)	ネットワーク設定ページ (Network Setup Page)	標準 USB (Standard USB)
イエローカートリッジ (Yellow Cartridge)	代替サイズ (Substitute Size)	ネットワーク [x] 設定ページ (Network [x] Setup Page)	パラレル [x] (Parallel [x])
ブラックカートリッジ (Black Cartridge)	用紙の重さ (Paper Weight)	ネットワーク [x] 設定ページ (Network [x] Setup Page)	シリアル [x] (Serial [x])
シアンイメージングユニット (Cyan Imaging Unit)	用紙セット方法 (Paper Loading)	ショートカット一覧 (Shortcut List)	SMTP 設定 (SMTP Setup)
マゼンタイメージングユニット (Magenta Imaging Unit)	カスタムタイプ (Custom Types)	FAX ジョブのログ (FAX Job Log)	
イエローイメージングユニット (Yellow Imaging Unit)	カスタム名 (Custom Names)	FAX の通話記録 (FAX Call Log)	
ブラックイメージングユニット (Black Imaging Unit)	カスタムスキャンサイズ (Custom Scan Sizes)	コピーショートカット (Copy Shortcuts)	
セパレータピックローラアセンブリ (Separator Pick Assembly and Roller)	ユニバーサル設定 (Universal Setup)	E メールショートカット (E-mail Shortcuts)	
廃トナーボトル (Waste Toner Bottle)		FAX ショートカット (FAX Shortcuts)	
フューザー (Fuser)		FTP ショートカット (FTP Shortcuts)	
転写モジュール (Transfer Module)		プロファイル一覧 (Profiles List)	
メンテナンスキット (Maintenance Kit)		フォント一覧を印刷 (Print Fonts)	
		ファイルディレクトリを印刷 (Print Directory)	
		備品レポート (Asset Report)	

消耗品	用紙メニュー	レポート	ネットワーク/ポート
セキュリティ (Security)	設定 (Settings)	ヘルプ (Help)	ショートカット管理 x (ショートカット管理)
セキュリティ設定の編集 (Edit Security Setups)	一般設定 (General Settings)	すべてのガイドを印刷 (Print All Guides)	FAX ショートカット (FAX Shortcuts)
その他のセキュリティ設定 (Miscellaneous Security Settings)	コピー設定 (Copy Settings)	コピーガイド (Copy Guide)	E メールショートカット (E-mail Shortcuts)
コンフィデンシャル印刷 (Confidential Print)	FAX 設定 (FAX Settings)	E メールガイド (E-mail Guide)	FTP ショートカット (FTP Shortcuts)
ディスク消去 (Disk Wiping)	E メール設定 (E-mail Settings)	FAX ガイド (FAX Guide)	コピーショートカット (Copy Shortcuts)
セキュリティ監査ログ (Security Audit Log)	FTP 設定 (FTP Settings)	FTP ガイド (FTP Guide)	プロファイルショートカット (Profile Shortcuts)
日付と時間を設定 (Set Date and Time)	フラッシュドライブ メニュー (Flash Drive Menu)	印刷不良ガイド (Print Defects Guide)	
	印刷設定 (Print Settings)	情報ガイド (Information Guide)	
		消耗品ガイド (Supplies Guide)	

オプションカードメニュー (Option Card Menu)

インストールされているダウンロードエミュレータ (DLE) が表示されます。²

¹ プリンタの設定に応じて、標準ネットワークまたはネットワーク [x] がメニューに表示されます。

² このメニューは、DLE がインストールされているときのみ表示されます。

消耗品（Supplies）メニュー

メニュー項目	説明
消耗品を交換（Replace Supply） セパレータピックローラアセンブリ（Separator Pick Assembly and Roller） 廃トナーボトル（Waste Toner Bottle）	セパレータピックローラアセンブリの消耗品カウンターをリセットします。 - 消耗品カウンターをリセットするには[はい（Yes）]を選択します。 - メニューを終了するには[いいえ（No）]を選択します。
シアナカートリッジ（Cyan Cartridge） 早期警告（Early Warning） 残り僅か（Low） 無効（Invalid） ほぼ寿命切れ（Near End of Life） 交換（Replace） 入っていません（Missing） 不良（Defective） OK 非サポート（Unsupported）	シアントナーカートリッジの状態を表示します。
マゼンタカートリッジ（Magenta Cartridge） 早期警告（Early Warning） 残り僅か（Low） 無効（Invalid） ほぼ寿命切れ（Near End of Life） 交換（Replace） 入っていません（Missing） 不良（Defective） OK 非サポート（Unsupported）	マゼンタトナーカートリッジの状態を表示します。

メニュー項目	説明
イエローカートリッジ (Yellow Cartridge) 早期警告 (Early Warning) 残り僅か (Low) 無効 (Invalid) ほぼ寿命切れ (Near End of Life) 交換 (Replace) 入っていません (Missing) 不良 (Defective) OK 非サポート (Unsupported)	イエロートナーカートリッジの状態を表示します。
ブラックカートリッジ (Black Cartridge) 早期警告 (Early Warning) 残り僅か (Low) 無効 (Invalid) ほぼ寿命切れ (Near End of Life) 交換 (Replace) 入っていません (Missing) 不良 (Defective) OK 非サポート (Unsupported)	ブラックトナーカートリッジの状態を表示します。
シアンイメージングユニット (Cyan Imaging Unit) 早期警告 (Early Warning) 残り僅か (Low) 交換 (Replace) 入っていません (Missing) OK	シアンイメージングユニットの状態を表示します。
マゼンタイメージングユニット (Magenta Imaging Unit) 早期警告 (Early Warning) 残り僅か (Low) 交換 (Replace) 入っていません (Missing) OK	マゼンタイメージングユニットの状態を表示します。

メニュー項目	説明
イエローイメージングユニット (Yellow Imaging Unit) 早期警告 (Early Warning) 残り僅か (Low) 交換 (Replace) 入っていません (Missing) OK	イエローイメージングユニットの状態を表示します。
ブラックイメージングユニット (Black Imaging Unit) 早期警告 (Early Warning) 残り僅か (Low) 交換 (Replace) 入っていません (Missing) OK	ブラックイメージングユニットの状態を表示します。
セパレータピックローラアセンブリ (Separator Pick Assembly and Roller) OK 交換 (Replace)	セパレータピックローラアセンブリの状態を表示します。
廃トナーボトル (Waste Toner Bottle) ほとんど満杯 (Near Full) 交換 (Replace) 入っていません (Missing) OK	廃トナーボトルの状態を表示します。
フューザー (Fuser) 早期警告 (Early Warning) 残り僅か (Low) 交換 (Replace) 入っていません (Missing) OK	フューザーの状態を表示します。
転写モジュール (Transfer Module) 早期警告 (Early Warning) 残り僅か (Low) 交換 (Replace) 入っていません (Missing) OK	転写モジュールの状態を表示します。

メニュー項目	説明
メンテナンスキット (Maintenance Kit) OK 交換 (Replace)	メンテナンスキットの状態を表示します。

用紙 (Paper) メニュー

標準設定給紙源 (Default Source) メニュー

メニュー項目	説明
標準設定給紙源 (Default Source) トレイ [x] (Tray [x]) 多目的フィーダ (MP Feeder) 手差し用紙 (Manual Paper) 手差し封筒 (Manual Envelope)	すべての印刷ジョブに対して標準設定給紙源を設定します。 メモ: - 工場出荷時はトレイ 1 (標準トレイ) に設定されています。 〔多目的フィーダ (MP Feeder) 〕を表示するには、〔用紙 (Paper) 〕メニューの〔多目的フィーダ設定 (Configure MP Feeder) 〕にて〔多目的フィーダカセット (Casette for MP Feeder) 〕を設定する必要があります。 2 つのトレイにサイズとタイプが同じ用紙がセットされており、セットされている用紙のサイズとタイプが〔用紙サイズ (Paper Size) 〕と〔用紙タイプ (Paper Type) 〕の設定と一致している場合、これらのトレイが自動的にリンクされます。このとき、これらのトレイのいずれかが空になっても、リンクされているもう片方のトレイを使って印刷ジョブが続行されます。

用紙サイズ/タイプ（Paper Size/Type）メニュー

メニュー項目	説明
トレイ [x] 用紙サイズ (Tray [x] Size) (長辺フィード) レター ((LEF) Letter) リーガル (Legal) JIS B4 A3 11 x 17 ユニバーサル (Universal) (長辺フィード) A4 ((LEF) A4)	各トレイにセットされている用紙サイズを指定します。 メモ: - 米国向けの工場出荷時設定は「レター (Letter)」になっています。その他の国の工場出荷時設定は「A4」になっています。 - 用紙サイズを自動検知するトレイを使用している場合、ハードウェアにより検知された用紙サイズのみ表示されます。 2 つのトレイにサイズとタイプが同じ用紙がセットされており、セットされている用紙のサイズとタイプが「用紙サイズ (Paper Size)」と「用紙タイプ (Paper Type)」の設定と一致している場合、これらのトレイが自動的にリンクされます。このとき、これらのトレイのいずれかが空になっても、リンクされているもう片方のトレイを使って印刷ジョブが続行されます。
トレイ [x] 用紙タイプ (Tray [x] Type) 普通紙 (Plain Paper) 厚紙 (Card Stock) OHP フィルム (Transparency) 再生紙 (Recycled) 光沢紙 (Glossy) 重い光沢紙 (Heavy Glossy) ラベル紙 (Labels) ビニールラベル (Vinyl Labels) ボンド紙 (Bond) レターヘッド紙 (Letterhead) プレプリント紙 (Preprinted) 色付き紙 (Colored Paper) 軽量紙 (Light Paper) 重量紙 (Heavy Paper) ラフ/コットン紙 (Rough/Cotton Paper) カスタムタイプ [x] (Custom Type [x])	各トレイにセットされている用紙タイプを指定します。 メモ: - トレイ 1 の工場出荷時設定は「普通紙 (Plain Paper)」になっています。その他のトレイの工場出荷時設定は「カスタムタイプ [x] (Custom Type [x])」になっています。 - ユーザー定義の用紙名が設定されている場合、「カスタムタイプ [x] (Custom Type [x])」の代わりにその名前が表示されます。 2 つのトレイにサイズとタイプが同じ用紙がセットされており、セットされている用紙のサイズとタイプが「用紙サイズ (Paper Size)」と「用紙タイプ (Paper Type)」の設定と一致している場合、これらのトレイが自動的にリンクされます。このとき、これらのトレイのいずれかが空になっても、リンクされているもう片方のトレイを使って印刷ジョブが続行されます。

メニュー項目	説明
多目的フィーダサイズ (MP Feeder Size) レター (Letter) リーガル (Legal) エグゼクティブ (Executive) JIS B4 A3 11 x 17 Oficio (メキシコ) (Oficio (México)) フォリオ (Folio) ステートメント (Statement) ユニバーサル (Universal) 7 3/4 封筒 (7 3/4 Envelope) 9 封筒 (9 Envelope) 10 封筒 (10 Envelope) DL 封筒 (DL Envelope) C5 封筒 (C5 Envelope) B5 封筒 (B5 Envelope) その他の 封筒 (Other Envelope) A4 A5 A6 JIS B5	多目的フィーダにセットされている用紙サイズを指定します。 メモ: - 米国向けの工場出荷時設定は [レター (Letter)] になっています。その他の国の工場出荷時設定は [A4] になっています。 [多目的フィーダ (MP Feeder)] を表示するには、[用紙 (Paper)] メニューの [多目的フィーダ設定 (Configure MP Feeder)] にて [多目的フィーダカセット (Casette for MP Feeder)] を設定する必要があります。

メニュー項目	説明
多目的フィーダタイプ (MP Feeder Type) 普通紙 (Plain Paper) 厚紙 (Card Stock) OHP フィルム (Transparency) 再生紙 (Recycled) 光沢紙 (Glossy) 重い光沢紙 (Heavy Glossy) ラベル紙 (Labels) ビニールラベル (Vinyl Labels) ボンド紙 (Bond) 封筒 (Envelope) 表面の粗い封筒 (Rough Envelope) レターヘッド紙 (Letterhead) プレプリント紙 (Preprinted) 色付き紙 (Colored Paper) 軽量紙 (Light Paper) 重量紙 (Heavy Paper) ラフ/コットン紙 (Rough/Cotton Paper) カスタムタイプ [x] (Custom Type [x])	多目的フィーダにセットされている用紙タイプを指定します。 メモ: - 工場出荷時は [普通紙 (Plain Paper)] に設定されています。 [多目的フィーダ (MP Feeder)] を表示するには、[用紙 (Paper)] メニューの [多目的フィーダ設定 (Configure MP Feeder)] にて [多目的フィーダカセット (Casette for MP Feeder)] を設定する必要があります。

メニュー項目	説明
手差し用紙サイズ (Manual Paper Size) レター (Letter) リーガル (Legal) エグゼクティブ (Executive) JIS B4 A3 11 x 17 Oficio (メキシコ) (Oficio (México)) フォリオ (Folio) ステートメント (Statement) ユニバーサル (Universal) A4 A5 A6 JIS B5	手差し用紙サイズを指定します。 メモ: 米国向けの工場出荷時設定は [レター (Letter)] になっています。その他の国の工場出荷時設定は [A4] になっています。
手差し用紙タイプ (Manual Paper Type) 普通紙 (Plain Paper) 厚紙 (Card Stock) OHP フィルム (Transparency) 再生紙 (Recycled) 光沢紙 (Glossy) 重い光沢紙 (Heavy Glossy) ラベル紙 (Labels) ビニールラベル (Vinyl Labels) ボンド紙 (Bond) レターヘッド紙 (Letterhead) プレプリント紙 (Preprinted) 色付き紙 (Colored Paper) 軽量紙 (Light Paper) 重量紙 (Heavy Paper) ラフ/コットン紙 (Rough/Cotton Paper) カスタムタイプ [x] (Custom Type [x])	手差し用紙タイプを指定します。 メモ: 工場出荷時は [普通紙 (Plain Paper)] に設定されています。

メニュー項目	説明
手差し封筒サイズ (Manual Envelope Size) 10 封筒 (10 Envelope) DL 封筒 (DL Envelope) C5 封筒 (C5 Envelope) B5 封筒 (B5 Envelope) 7 3/4 封筒 (7 3/4 Envelope) 9 封筒 (9 Envelope) その他の 封筒 (Other Envelope)	手差し封筒サイズを指定します。 メモ: 米国向けの工場出荷時設定は [10 封筒 (10 Envelope)] になっています。その他の国の工場出荷時設定は [DL 封筒 (DL Envelope)] になっています。
手差し封筒タイプ (Manual Envelope Type) 封筒 (Envelope) 表面の粗い封筒 (Rough Envelope) カスタムタイプ [x] (Custom Type [x])	手差し封筒タイプを指定します。 メモ: 工場出荷時は [封筒 (Envelope)] に設定されています。
メモ: プリンタに取り付けられているトレイのみメニューに表示されます。	

多目的フィーダ設定 (Configure MP) メニュー

メニュー項目	説明
多目的フィーダ設定 (Configure MP) カセット (Cassette) 手差し (Manual) 第一候補 (First)	プリンタが多目的フィーダからどのように用紙を選択するかを設定します。 メモ: - 工場出荷時は [カセット (Cassette)] に設定されています。 [カセット (Cassette)] を選択すると、多目的フィーダが自動給紙源として設定されます。 [手差し (Manual)] を選択すると、多目的フィーダが手差しフィーダによる印刷ジョブ専用設定されます。 [第一候補 (First)] を選択すると、多目的フィーダが第一給紙源として設定されます。

代替サイズ（Substitute Size）メニュー

メニュー項目	説明
代替サイズ（Substitute Size） 一覧のすべて（All Listed） オフ（Off） ステートメント/A5 （Statement/A5） レター/A4（Letter/A4） 11 x 17/A3	要求された用紙がないときに使用する代替用紙サイズを指定します。 メモ: - 工場出荷時は「一覧のすべて（All Listed）」に設定されています。この設定では、すべての代替サイズが利用可能です。 「オフ（Off）」に設定すると、代替サイズは利用できません。 - 代替サイズを設定すると、「用紙を変更（Change Paper）」メッセージを表示することなく、印刷ジョブを続行することができます。

用紙の重さ（Paper Weight menu）メニュー

メニュー項目	説明
普通紙の重さ（Plain Weight） 普通（Normal） 重い（Heavy） 軽い（Light）	プリンタにセットされている普通紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は［普通（Normal）］に設定されています。
厚紙の重さ（Card Stock Weight） 普通（Normal） 重い（Heavy） 軽い（Light）	プリンタにセットされている厚紙の相対的な重さを指定します。 メモ: - 工場出荷時は［普通（Normal）］に設定されています。 - 厚紙がサポートされているときのみこのメニューが表示されます。
OHP フィルムの重さ（Transparency Weight） 普通（Normal） 重い（Heavy） 軽い（Light）	プリンタにセットされている OHP フィルムの相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は［普通（Normal）］に設定されています。
再生紙の重さ（Recycled Weight） 普通（Normal） 重い（Heavy） 軽い（Light）	プリンタにセットされている再生紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は［普通（Normal）］に設定されています。
光沢紙の重さ（Glossy Weight） 普通（Normal） 重い（Heavy） 軽い（Light）	プリンタにセットされている光沢紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は［普通（Normal）］に設定されています。
重い光沢紙の重さ（Heavy Glossy Weight） 重い（Heavy）	プリンタにセットされている光沢紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は［重い（Heavy）］に設定されています。
ラベル紙の重さ（Labels Weight） 普通（Normal） 重い（Heavy） 軽い（Light）	プリンタにセットされているラベル紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は［普通（Normal）］に設定されています。

メニュー項目	説明
ビニールラベルの重さ (Vinyl Labels Weight) 普通 (Normal) 重い (Heavy) 軽い (Light)	プリンタにセットされているビニールラベルの相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は [普通 (Normal)] に設定されています。
ボンド紙の重さ (Bond Weight) 普通 (Normal) 重い (Heavy) 軽い (Light)	プリンタにセットされているボンド紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は [普通 (Normal)] に設定されています。
封筒の重さ (Envelope Weight) 普通 (Normal) 重い (Heavy) 軽い (Light)	プリンタにセットされている封筒の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は [普通 (Normal)] に設定されています。
表面の粗い封筒の重さ (Rough Envelope Weight) 普通 (Normal) 重い (Heavy) 軽い (Light)	プリンタにセットされている封筒の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は [重い (Heavy)] に設定されています。
レターヘッド紙の重さ (Letterhead Weight) 普通 (Normal) 重い (Heavy) 軽い (Light)	プリンタにセットされているレターヘッド紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は [普通 (Normal)] に設定されています。
プレプリント紙の重さ (Preprinted Weight) 普通 (Normal) 重い (Heavy) 軽い (Light)	プリンタにセットされているプレプリント紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は [普通 (Normal)] に設定されています。
色付き紙の重さ (Colored Weight) 普通 (Normal) 重い (Heavy) 軽い (Light)	プリンタにセットされている色付き紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は [普通 (Normal)] に設定されています。
軽量紙の重さ (Light Weight) 軽い (Light)	プリンタにセットされている用紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は [軽い (Light)] に設定されています。

メニュー項目	説明
重量紙の重さ (Heavy Weight) 重い (Heavy)	プリンタにセットされている用紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は [重い (Heavy)] に設定されています。
ラフ/コットン紙の重さ (Rough/Cotton Weight) 普通 (Normal) 重い (Heavy) 軽い (Light)	プリンタにセットされているコットン紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は [普通 (Normal)] に設定されています。
カスタムタイプ [x] の重さ (Custom [x] Weight) 普通 (Normal) 重い (Heavy) 軽い (Light)	プリンタにセットされているカスタム用紙の相対的な重さを指定します。 メモ: - 工場出荷時は [普通 (Normal)] に設定されています。 - カスタムタイプがサポートされているときのみこのメニューが表示されます。

用紙セット方法（Paper Loading）メニュー

メニュー項目	説明
厚紙セット中（Card Stock Loading） オフ（Off） 両面（Duplex）	用紙タイプとして〔厚紙（Card Stock）〕を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。 メモ： 工場出荷時は〔オフ（Off）〕に設定されています。
再生紙セット中（Recycled Loading） オフ（Off） 両面（Duplex）	用紙タイプとして〔再生紙（Recycled）〕を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。 メモ： 工場出荷時は〔オフ（Off）〕に設定されています。
光沢紙セット中（Glossy Loading） オフ（Off） 両面（Duplex）	用紙タイプとして〔光沢紙（Glossy）〕を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。 メモ： 工場出荷時は〔オフ（Off）〕に設定されています。
重い光沢紙セット中（Heavy Glossy Loading） オフ（Off） 両面（Duplex）	用紙タイプとして〔重い光沢紙（Heavy Glossy）〕を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。 メモ： 工場出荷時は〔オフ（Off）〕に設定されています。
ラベル紙セット中（Labels Loading） オフ（Off） 両面（Duplex）	用紙タイプとして〔ラベル紙（Labels）〕を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。 メモ： 工場出荷時は〔オフ（Off）〕に設定されています。
ビニールラベルセット中（Vinyl Labels Loading） オフ（Off） 両面（Duplex）	用紙タイプとして〔ビニールラベル（Vinyl Labels）〕を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。 メモ： 工場出荷時は〔オフ（Off）〕に設定されています。
ボンド紙セット中（Bond Loading） オフ（Off） 両面（Duplex）	用紙タイプとして〔ボンド紙（Bond）〕を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。 メモ： 工場出荷時は〔オフ（Off）〕に設定されています。
レターヘッド紙セット中（Letterhead Loading） オフ（Off） 両面（Duplex）	用紙タイプとして〔レターヘッド紙（Letterhead）〕を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。 メモ： 工場出荷時は〔オフ（Off）〕に設定されています。
プレプリント紙セット中（Preprinted Loading） オフ（Off） 両面（Duplex）	用紙タイプとして〔プレプリント紙（Preprinted）〕を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。 メモ： 工場出荷時は〔オフ（Off）〕に設定されています。

メニュー項目	説明
色付き紙セット中 (Colored Loading) オフ (Off) 両面 (Duplex)	用紙タイプとして「色付き紙 (Colored Paper)」を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。 メモ: 工場出荷時は「オフ (Off)」に設定されています。
軽量紙セット中 (Light Loading) オフ (Off) 両面 (Duplex)	用紙タイプとして「軽量紙 (Light Paper)」を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。 メモ: 工場出荷時は「オフ (Off)」に設定されています。
重量紙セット中 (Heavy Loading) オフ (Off) 両面 (Duplex)	用紙タイプとして「重量紙 (Heavy Paper)」を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。 メモ: 工場出荷時は「オフ (Off)」に設定されています。
ラフ/コットン紙セット中 (Rough/Cotton Loading) オフ (Off) 両面 (Duplex)	用紙タイプとして「ラフ/コットン紙 (Rough/Cotton Paper)」を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。 メモ: 工場出荷時は「オフ (Off)」に設定されています。
カスタム[x]セット中 (Custom [x] Loading) オフ (Off) 両面 (Duplex)	用紙タイプとして「カスタムタイプ [x] (Custom Type [x])」を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。 メモ: - 工場出荷時は「オフ (Off)」に設定されています。 「カスタムタイプ [x] セット中 (Custom [x] Loading)」は、カスタムタイプがサポートされているときのみ表示されます。
メモ: 「両面 (Duplex)」を選択すると、「印刷プロパティ (Print Properties)」で片面印刷を選択した場合でも、すべての印刷ジョブにおいて両面印刷が標準となります。 「両面 (Duplex)」を選択すると、片面印刷を含むすべての印刷ジョブが、両面印刷ユニット経由で送信されます。	

カスタムタイプ（Custom Types）メニュー

メニュー項目	説明
カスタムタイプ [x]（Custom Type [x]） 普通紙（Plain Paper） 厚紙（Card Stock） OHP フィルム（Transparency） 光沢紙（Glossy） ラフ/コットン紙（Rough/Cotton Paper） ラベル紙（Labels） ビニールラベル（Vinyl Labels） 封筒（Envelope）	工場出荷時に標準で用意されている 「カスタムタイプ [x]（Custom Type [x]）」、または、内蔵 WEB サーバ(EWS)や MarkVision™ Professional にてユーザーが定義した 「カスタム名（Custom Name）」 に、普通紙や特殊用紙を割り当てます。 メモ: - 工場出荷時は 「普通紙（Plain Paper）」 に設定されています。 - 指定したカスタム用紙タイプで印刷するには、選択されているトレイまたは多目的フィーダにてその用紙タイプがサポートされている必要があります。
再生紙（Recycled） 普通紙（Plain Paper） 厚紙（Card Stock） OHP フィルム（Transparency） 光沢紙（Glossy） ラフ/コットン紙（Rough/Cotton Paper） ラベル紙（Labels） ビニールラベル（Vinyl Labels） 封筒（Envelope）	他のメニューにて 「再生紙（Recycled）」 が選択されたときに使用する用紙タイプを指定します。 メモ: - 工場出荷時は 「普通紙（Plain Paper）」 に設定されています。 - 指定したカスタム用紙タイプで印刷するには、選択されているトレイまたは多目的フィーダにてその用紙タイプがサポートされている必要があります。

カスタム名（Custom Names）メニュー

メニュー項目	説明
カスタム名 [x]（Custom Name [x]） [なし]	用紙タイプのカスタム名を指定します。プリンタメニューの 「カスタムタイプ [x]（Custom Type [x]）」 に表示される名前、ここで指定した名前に置き換えられます。

カスタムスキャンサイズ（Custom Scan Sizes）メニュー

メニュー項目	説明
カスタムスキャンサイズ [x] （Custom Scan Size [x]） スキャンサイズ名（Scan Size Name） 幅（Width） 1 ～ 11.69 インチ（25 ～ 297 mm） 高さ（Height） 1 ～ 17 インチ（25 ～ 432 mm） 用紙の向き（Orientation） 縦長（Portrait） 横長（Landscape） 2 スキャン/面（2 scans per side） オフ（Off） オン（On）	カスタムスキャンサイズ名、スキャンサイズ、および各種オプションを指定します。プリンタメニューの 「カスタムスキャンサイズ [x]（Custom Scan Size [x]）」 に表示される名前は、ここで指定した名前に置き換えられます。 メモ: • 「幅（Width）」の米国向けの工場出荷時設定は 11.69 インチになっています。また、その他の国の工場出荷時設定は 297 mm になっています。 • 「高さ（Height）」の米国向けの工場出荷時設定は 17 インチになっています。また、その他の国の工場出荷時設定は 432 mm になっています。 • 「用紙の向き（Orientation）」の工場出荷時設定は「縦長（Portrait）」になっています。 • 「2 スキャン/面（2 scans per side）」の工場出荷時設定は「オフ（Off）」になっています。

ユニバーサル設定（Universal Setup menu）メニュー

メニュー項目	説明
単位（Units of Measure） インチ（Inches） ミリメートル（Millimeters）	測定単位を指定します。 メモ: 米国向けの工場出荷時設定は [インチ（Inches）] になっています。その他の国の工場出荷時設定は [Millimeters（mm）] になっています。
縦方向の幅（Portrait Width） 3 ～ 48 インチ 76 ～ 1219 mm	縦長の横の長さを指定します。 メモ: - 米国向けの工場出荷時設定は 11.69 インチ になっています。この設定は 0.01 インチ単位で変更できます。 - その他の国の工場出荷時設定は 296.9 mm になっています。この設定は 1 mm 単位で変更できます。 - 指定した横の長さが最大値を超えている場合、許容される最大の横の長さが使用されます。
縦方向の高さ（Portrait Height） 3 ～ 48 インチ 76 ～ 1219 mm	縦長の縦の長さを指定します。 メモ: - 米国向けの工場出荷時設定は 48 インチ になっています。この設定は 0.01 インチ単位で変更できます。 - その他の国の工場出荷時設定は 1219 mm になっています。この設定は 1 mm 単位で変更できます。 - 指定した縦の長さが最大値を超えている場合、許容される最大の縦の長さが使用されます。
用紙取込み方向（Feed Direction） 短辺（Short Edge） 長辺（Long Edge）	用紙取込み方向を指定します。 メモ: - 工場出荷時は [短辺（Short Edge）] に設定されています。 [長辺（Long Edge）] は、トレイがサポートする最大幅より長辺が短い場合に表示されます。

レポート（Reports）メニュー

レポート（Reports）メニュー

メニュー項目	説明
メニュー設定ページ（Menu Settings Page）	トレイにセットされている用紙や実装メモリ、合計ページ数、警報、タイムアウト、プリンタ操作パネルの言語、TCP/IP アドレス、消耗品の状態、ネットワーク接続状態などに関するレポートを印刷します。
デバイス統計（Device Statistics）	プリンタの統計情報（消耗品の情報や印刷済みページの詳細情報など）に関するレポートを印刷します。
ネットワーク設定ページ（Network Setup Page）	ネットワークプリンタの設定（TCP/IP アドレスなど）に関するレポートを印刷します。 メモ: このメニュー項目は、ネットワークプリンタ（またはプリントサーバに接続されているプリンタ）でのみ表示されます。
ネットワーク [x] 設定ページ（Network [x] Setup Page）	ネットワークプリンタの設定（TCP/IP アドレスなど）に関するレポートを印刷します。 メモ: - このメニュー項目は、ネットワークオプションが実装されているプリンタでのみ表示されます。 - このメニュー項目は、ネットワークプリンタ（またはプリントサーバに接続されているプリンタ）でのみ表示されます。
ショートカット一覧（Shortcut List）	現在設定されているショートカットに関するレポートを印刷します。
FAX ジョブのログ（FAX Job Log）	送信された過去 200 件の FAX に関するレポートを印刷します。 メモ: このメニュー項目は、[FAX 設定（FAX Settings）] メニューにて [ジョブログを有効化（Enable Job Log）] が [On] に設定されている場合のみ表示されます。
FAX の通話記録（FAX Call Log）	ダイヤル、受信、着信拒否された過去 100 件の FAX に関するレポートを印刷します。 メモ: このメニュー項目は、[FAX 設定（FAX Settings）] メニューにて [ジョブログを有効化（Enable Job Log）] が [On] に設定されている場合のみ表示されます。
コピーショートカット（Copy Shortcuts）	コピーショートカットに関するレポートを印刷します。
E メールショートカット（E-mail Shortcuts）	E メールショートカットに関するレポートを印刷します。

メニュー項目	説明
FAX ショートカット (FAX Shortcuts)	FAX ショートカットに関するレポートを印刷します。
FTP ショートカット (FTP Shortcuts)	FTP ショートカットに関するレポートを印刷します。
プロファイル一覧 (Profiles List)	プリンタに保存されているプロファイルの一覧を印刷します。
フォント一覧を印刷 (Print Fonts)	プリンタにて現在設定されている言語で利用可能なすべてのフォントに関するレポートを印刷します。
ファイルディレクトリを印刷 (Print Directory)	オプションのフラッシュメモリカードまたはプリンタのハードディスクに保存されているすべてのリソースの一覧を印刷します。 メモ: • [ジョブバッファサイズ (Job Buffer Size)] は 100% に設定してください。 • オプションのフラッシュメモリカードまたはプリンタのハードディスクが正しく実装され、正常に動作していることを確認してください。
備品レポート (Asset Report)	備品情報 (プリンタのシリアル番号やモデル名など) に関するレポートを印刷します。このレポートには、テキストに加えて UPC バーコードも印刷されるため、バーコードを読み取って備品データベースに備品情報を保存することができます。

ネットワーク/ポート (Network/Ports) メニュー

アクティブ NIC (Active NIC) メニュー

メニュー項目	説明
アクティブ NIC (Active NIC) 自動 (Auto) [利用可能なネットワークカード一覧]	メモ: • 工場出荷時は [自動 (Auto)] に設定されています。 • このメニュー項目は、オプションのネットワークカードが実装されているときのみ表示されます。

標準ネットワークまたはネットワーク [x] (Standard Network or Network [x]) メニュー

メモ: このメニューにはアクティブなポートのみ表示されます。非アクティブなポートは表示されません。

メニュー項目	説明
PCL SmartSwitch オン (On) オフ (Off)	プリンタの標準言語にかかわらず、印刷ジョブにより要求されたときに、自動的に PCL エミュレーションへ切り替えます。 メモ: - 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。 [オフ (Off)] を選択した場合、プリンタは受信データをチェックしません。このとき、[PS SmartSwitch] が [オン (On)] に設定されていれば、PostScript エミュレーションが使用されます。また、[PS SmartSwitch] が [オフ (Off)] に設定されている場合は、[設定 (Setup)] メニューで指定された標準言語が使用されます。
PS SmartSwitch オン (On) オフ (Off)	プリンタの標準言語にかかわらず、印刷ジョブにより要求されたときに、自動的に PS エミュレーションへ切り替えます。 メモ: - 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。 [オフ (Off)] を選択した場合、プリンタは受信データをチェックしません。このとき、[PCL SmartSwitch] が [オン (On)] に設定されていれば、PCL エミュレーションが使用されます。また、[PCL SmartSwitch] が [オフ (Off)] に設定されている場合は、[設定 (Setup)] メニューで指定された標準言語が使用されます。
NPA モード (NPA Mode) 自動 (Auto) オフ (Off)	NPA プロトコルの仕様に基づいて双方向通信するための特殊処理を行うようにプリンタを設定します。 メモ: - 工場出荷時は [自動 (Auto)] に設定されています。 - プリンタ操作パネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。
ネットワークバッファ (Network Buffer) 自動 (Auto) 3KB ~ [許容される最大サイズ]	ネットワーク入力バッファのサイズを設定します。 メモ: - 工場出荷時は [自動 (Auto)] に設定されています。 - 設定値は 1 KB 単位で変更できます。 - 許容される最大サイズは、プリンタのメモリ容量や他の通信バッファのサイズ、および [リソース保存 (Resource Save)] が [オン (On)] か [オフ (Off)] かによって異なります。 - ネットワークバッファの最大サイズを増やすには、パラレル通信やシリアル通信、USB 通信のバッファを無効にするか、それらのバッファサイズを減らします。 - プリンタ操作パネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。

メニュー項目	説明
ジョブバッファリング (Job Buffering) オフ (Off) オン (On) 自動 (Auto)	印刷を実行する前に、プリンタのハードディスクに印刷ジョブを一時保存します。このメニューは、フォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。 メモ: - 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。 [オン (On)] を選択すると、プリンタのハードディスクに印刷ジョブがバッファされます。 - 他の入力ポートからのデータ処理がビジーのときのみ、印刷ジョブが自動的にバッファされます。 - プリンタ操作パネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。
Mac バイナリ PS (Mac Binary PS) 自動 (Auto) オン (On) オフ (Off)	Macintosh のバイナリ PostScript の印刷ジョブを処理するように設定します。 メモ: - 工場出荷時は [自動 (Auto)] に設定されています。 [オフ (Off)] を選択すると、標準プロトコルにて印刷ジョブがフィルタされます。 [オン (On)] を選択すると、Raw バイナリ PostScript の印刷ジョブが処理されます。
標準ネットワーク設定 (Standard Network Setup) レポート (Reports) ネットワークカード (Network Card) TCP/IP IPv6 ワイヤレス (Wireless) AppleTalk	プリンタのネットワーク設定を表示/設定します。 メモ: [ワイヤレス (Wireless)] のメニューは、プリンタがワイヤレスネットワークに接続されているときのみ表示されます。
ネットワーク [x] 設定 (Network [x] Setup) レポート (Reports) ネットワークカード (Network Card) TCP/IP IPv6 ワイヤレス (Wireless) AppleTalk	

ネットワークレポート（Network Reports）メニュー

このメニューは、[ネットワーク/ポート（Network/Ports）] メニューから利用することができます：

[ネットワーク/ポート（Network/Ports）] > [標準ネットワーク（Standard Network）] または [ネットワーク [x]（Network [x]）] > [標準ネットワークの設定（Standard Network Setup）] または [ネットワーク設定（Network Setup）] > [レポート（Reports）] または [ネットワークレポート（Network Reports）]

メニュー項目	説明
印刷設定ページ（Print Setup Page）	ネットワークプリンタの設定（TCP/IP アドレスなど）に関するレポートを印刷します。

ネットワークカード（Network Card）メニュー

このメニューは、[ネットワーク/ポート（Network/Ports）] メニューから利用することができます：

[ネットワーク/ポート（Network/Ports）] > [標準ネットワーク（Standard Network）] または [ネットワーク [x]（Network [x]）] > [標準ネットワークの設定（Standard Network Setup）] または [ネットワーク [x] 設定（Network [x] Setup）] > [ネットワークカード（Network Card）]

メニュー項目	説明
カードの状態を表示 (View Card Status) 接続 (Connected) 切断 (Disconnected)	ネットワークカードの状態を表示します。
カード速度を表示 (View Card Speed)	現在アクティブなネットワークカードの速度を表示します。
ネットワークアドレス (Network Address) UAA LAA	ネットワークアドレスを表示します。
ジョブタイムアウト (Job Timeout) 0 10 ~ 225	ネットワークの印刷ジョブがキャンセルされるまでの秒数を設定します。 メモ: 工場出荷時は 90 秒に設定されています。
バナーページ (Banner Page) オフ (Off) オン (On)	バナーページを印刷できるように設定します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。

TCP/IP メニュー

このメニューは、[ネットワーク/ポート (Network/Ports)] メニューから利用することができます:

[ネットワーク/ポート (Network/Ports)] > [標準ネットワーク (Standard Network)] または [ネットワーク [x] (Network [x])] > [標準ネットワークの設定 (Standard Network Setup)] または [ネットワーク [x] 設定 (Network [x] Setup)] > [TCP/IP]

メモ: このメニュー項目は、ネットワークプリンタ（またはプリントサーバに接続されているプリンタ）でのみ表示されます。

メニュー項目	説明
有効化 (Activate) オン (On) オフ (Off)	TCP/IP を有効にします。 メモ: 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。
ホスト名を設定 (Set Hostname)	現在の TCP/IP ホスト名を設定します。 メモ: この設定は 内蔵 WEB サーバ(EWS) からのみ変更することができます。
IP アドレス (IP Address)	現在の TCP/IP アドレスを表示/変更します。 メモ: IP アドレスを手動で設定すると、[DHCP を有効化 (Enable DHCP)] および [自動 IP を有効化 (Enable Auto IP)] が [オフ (Off)] になります。またこのとき、BOOTP と RARP をサポートするシステムでは、[BOOTP を有効化 (Enable BOOTP)] および [RARP を有効化 (Enable RARP)] も [オフ (Off)] になります。
ネットマスク (Netmask)	現在の TCP/IP ネットマスクを表示/変更します。
ゲートウェイ (Gateway)	現在の TCP/IP ゲートウェイを表示/変更します。
DHCP を有効化 (Enable DHCP) オン (On) オフ (Off)	DHCP アドレスの割り当てとパラメータの設定を有効にします。 メモ: 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。
RARP を有効化 (Enable RARP) オン (On) オフ (Off)	RARP アドレスの割り当てを有効にします。 メモ: 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。
BOOTP を有効化 (Enable BOOTP x) オン (On) オフ (Off)	BOOTP アドレスの割り当てを有効にします。 メモ: 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。
自動 IP を有効化 (Enable AutoIP) はい (Yes) いいえ (No)	ゼロ構成ネットワーク設定を有効にします。 メモ: 工場出荷時は [はい (Yes)] に設定されています。
FTP/TFTP を有効化 (Enable FTP/TFTP) はい (Yes) いいえ (No)	内蔵の FTP サーバを有効にします。これにより、FTP プロトコルを使ってファイルをプリンタに送信することができます。 メモ: 工場出荷時は [はい (Yes)] に設定されています。

メニュー項目	説明
HTTP サーバを有効化 (Enable HTTP Server) はい (Yes) いいえ (No)	内蔵の Web サーバ (EWS) を有効にします。内蔵 WEB サーバ(EWS) を有効にすると、Web ブラウザを使ってプリンタをリモートで監視/管理することができます。 メモ: 工場出荷時は [はい (Yes)] に設定されています。
WINS サーバアドレス (WINS Server Address)	現在の WINS サーバアドレスを表示/変更します。
DDNS を有効化 (Enable DDNS) はい (Yes) いいえ (No)	現在の DDNS の設定を表示/変更します。 メモ: 工場出荷時は [はい (Yes)] に設定されています。
mDNS を有効化 (Enable mDNS) はい (Yes) いいえ (No)	現在の mDNS の設定を表示/変更します。 メモ: 工場出荷時は [はい (Yes)] に設定されています。
DNS サーバアドレス (DNS Server Address)	現在の DNS サーバアドレスを表示/変更します。
HTTPS を有効化 (Enable HTTPS) はい (Yes) いいえ (No)	現在の HTTPS の設定を表示/変更します。 メモ: 工場出荷時は [はい (Yes)] に設定されています。

IPv6 メニュー

このメニューは、[ネットワーク/ポート (Network/Ports)] メニューから利用することができます:

[ネットワーク/ポート (Network/Ports)] > [標準ネットワーク (Standard Network)] または [ネットワーク [x] (Network [x])] > [標準ネットワークの設定 (Standard Network Setup)] または [ネットワーク [x] 設定 (Network [x] Setup)] > [IPv6]

メモ: このメニュー項目は、ネットワークプリンタ（またはプリントサーバに接続されているプリンタ）でのみ表示されます。

メニュー項目	説明
IPv6 を有効化 () オン (On) オフ (Off)	プリンタにて IPv6 を利用できるようにします。 メモ: 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。
自動構成 (Auto Configuration) オン (On) オフ (Off)	ネットワークアダプタが、ルーターにより自動設定された IPv6 アドレスを受け入れるか指定します。 メモ: 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。
ホスト名を設定 (Set Hostname)	ホスト名を設定します。 メモ: これらの設定は 内蔵 WEB サーバ(EWS) からのみ変更することができます。
アドレスを表示 (View Address)	
ルーターアドレスを表示 (View Router Address)	
DHCPv6 を有効化 (Enable DHCPv6) オン (On) オフ (Off)	プリンタにて DHCPv6 を利用できるようにします。 メモ: プリンタにて DHCPv6 を利用できるようにします。

ワイヤレス (Wireless) メニュー

プリンタ内蔵のワイヤレスプリントサーバの設定を表示/変更するには、以下のメニュー項目を使用します。

メモ: このメニューは、ワイヤレスネットワークに接続されているプリンタでのみ表示されます。

[ワイヤレス (Wireless)] メニューは、[ネットワーク/ポート (Network/Ports)] メニューから利用することができます:

[ネットワーク/ポート (Network/Ports)] > [標準ネットワーク (Standard Network)] または [ネットワーク [x] (Network [x])] > [標準ネットワークの設定 (Standard Network Setup)] または [ネットワーク [x] 設定 (Network [x] Setup)] > [ワイヤレス (Wireless)]

メニュー項目	説明
WPSPBC モード (WPS PBC Mode)	プリンタとアクセスポイント（ワイヤレスルーター）のボタンを一定時間同時に押すことで、プリンタをワイヤレスネットワークに接続できるようにします。
WPSPIN モード (WPS PIN Mode)	プリンタの暗証番号（PIN）をアクセスポイントのワイヤレス設定に入力することで、プリンタをワイヤレスネットワークに接続できるようにします。
WPS 自動検出 (WPS Auto Detect) 無効 (Disable) 有効化 (Enable)	WPS に対応しているアクセスポイントが、プッシュボタン設定（PBC）または暗証番号（PIN）のどちらの方式で接続するかを自動検出します。 メモ: 工場出荷時は [無効 (Disable)] に設定されています。
ネットワークモード (Network Mode) アドホック (Ad hoc) インフラストラクチャ (Infrastructure)	ネットワークモードを指定します。 メモ: - 工場出荷時は [アドホック (Ad hoc)] に設定されています。このモードでは、プリンタとコンピュータが直接ワイヤレス接続されます。 [インフラストラクチャ (Infrastructure)] を選択すると、プリンタはアクセスポイントを通じてネットワークに接続されます。
互換性 (Compatibility) 802.11b/g/n 802.11n 802.11b/g	ワイヤレスネットワークの通信規格を指定します。 メモ: 工場出荷時は [802.11b/g/n] に設定されています。
ネットワークを選択 (Choose Network) [利用可能なネットワーク一覧]	プリンタで利用可能なネットワークを選択します。
信号品質を表示 (View Signal Quality)	ワイヤレス接続の信号品質を表示します。
セキュリティモードを表示 (View Security Mode)	ワイヤレスネットワークが使用する暗号方式を表示します。

メモ: *Wi-Fi Protected Setup (WPS)* とは、シンプルかつ安全にネットワーク接続を設定することができる技術のことです。この技術を使えば、Wi-Fi 技術に関する知識がないユーザーでも、ネットワークのセキュリティを確保しながらワイヤレスネットワークの接続を確立することができます。WPS を使うと、ネットワーク名 (SSID) や WEP キー、WPA パスワードをネットワーク機器に設定しなくても、ネットワーク接続を設定することができます。

AppleTalk メニュー

このメニューは、[ネットワーク/ポート (Network/Ports)] メニューから利用することができます:

[ネットワーク/ポート (Network/Ports)] > [標準ネットワーク (Standard Network)] または [ネットワーク [x] (Network [x])] > [標準ネットワークの設定 (Standard Network Setup)] または [ネットワーク [x] 設定 (Network [x] Setup)] > [AppleTalk]

メニュー項目	説明
有効化 (Activate) はい (Yes) いいえ (No)	AppleTalk のサポートを有効にします。 メモ: 工場出荷時は [はい (Yes)] に設定されています。
名前を表示 (View Name)	プリンタに割り当てられた AppleTalk 名を表示します。 メモ: この名前は 内蔵 WEB サーバ(EWS) からのみ変更することができます。
アドレスを表示 (View Address)	プリンタに割り当てられた AppleTalk アドレスを表示します。 メモ: このアドレスは 内蔵 WEB サーバ(EWS) からのみ変更することができます。
ゾーンを設定 (Set Zone) [標準] [ネットワークで利用可能なゾーン一覧]	ネットワークで利用可能な AppleTalk ゾーンの一覧を表示します。 メモ: [標準] を選択した場合、ネットワークのルーターにより標準ゾーンとして認識された AppleTalk ゾーンが使用されます。なお、標準ゾーンが存在しない場合、* 印が付いているゾーンが標準設定となります。

標準 USB（Standard USB）メニュー

メニュー項目	説明
PCL SmartSwitch オン（On） オフ（Off）	プリンタの標準言語にかかわらず、USB 経由で送信された印刷ジョブにより要求されたときに、自動的に PCL エミュレーションへ切り替えます。 メモ: - 工場出荷時は「オン（On）」に設定されています。 「オフ（Off）」を選択した場合、プリンタは受信データをチェックしません。このとき、「PS SmartSwitch」が「オン（On）」に設定されていれば、PostScript エミュレーションが使用されます。また、「PS SmartSwitch」が「オフ（Off）」に設定されている場合は、「設定（Setup）」メニューで指定された標準言語が使用されます。
PS SmartSwitch オン（On） オフ（Off）	プリンタの標準言語にかかわらず、USB 経由で送信された印刷ジョブにより要求されたときに、自動的に PS エミュレーションへ切り替えます。 メモ: - 工場出荷時は「オン（On）」に設定されています。 「オフ（Off）」を選択した場合、プリンタは受信データをチェックしません。このとき、「PCL SmartSwitch」が「オン（On）」に設定されていれば、PCL エミュレーションが使用されます。また、「PCL SmartSwitch」が「オフ（Off）」に設定されている場合は、「設定（Setup）」メニューで指定された標準言語が使用されます。
NPA モード（NPA Mode） 自動（Auto） オン（On） オフ（Off）	NPA プロトコルの仕様に基づいて双方向通信するための特殊処理を行うようにプリンタを設定します。 メモ: - 工場出荷時は「自動（Auto）」に設定されています。「自動（Auto）」が設定されている場合、プリンタにより受信データのフォーマットがチェックされ、各フォーマットに応じた処理が行われます。 - プリンタ操作パネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。

メニュー項目	説明
USB バッファ (USB Buffer) 自動 (Auto) 3KB ~ [許容される最大サイズ] 無効 (Disabled)	USB 入力バッファのサイズを設定します。 メモ: - 工場出荷時は [自動 (Auto)] に設定されています。 [無効 (Disabled)] を選択すると、ジョブバッファリングがオフになります。このとき、プリンタのハードディスクに既にバッファされていた印刷ジョブは、通常の処理が再開される前に印刷されます。 - USB バッファサイズは 1 KB 単位で変更できます。 - 許容される最大サイズは、プリンタのメモリ容量や他の通信バッファのサイズ、および [リソース保存 (Resource Save)] が [オン (On)] か [オフ (Off)] によって異なります。 - USB バッファの最大サイズを増やすには、パラレル通信やシリアル通信、ネットワークのバッファを無効にするか、それらのバッファサイズを減らします。 - プリンタ操作パネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。
ジョブバッファリング (Job Buffering) オフ (Off) オン (On) 自動 (Auto)	印刷を実行する前に、プリンタのハードディスクに印刷ジョブを一時保存します。 メモ: - 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。 [オン (On)] を選択すると、プリンタのハードディスクに印刷ジョブがバッファされます。 - 他の入力ポートからのデータ処理がビジーのときのみ、印刷ジョブが自動的にバッファされます。 - プリンタ操作パネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。
Mac バイナリ PS (Mac Binary PS) 自動 (Auto) オン (On) オフ (Off)	Macintosh のバイナリ PostScript の印刷ジョブを処理するように設定します。 メモ: - 工場出荷時は [自動 (Auto)] に設定されています。 [オン (On)] を選択すると、Raw バイナリ PostScript の印刷ジョブが処理されます。 [オフ (Off)] を選択すると、標準プロトコルにて印刷ジョブがフィルタされます。

メニュー項目	説明
ENA アドレス(ENA Address) yyy.yyy.yyy.yyy	外部プリントサーバのネットワークアドレスを設定します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタが USB ポート経由で外部プリントサーバに接続されているときのみ表示されます。
ENA ネットマスク (ENA Netmask) yyy.yyy.yyy.yyy	外部プリントサーバのネットマスクを設定します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタが USB ポート経由で外部プリントサーバに接続されているときのみ表示されます。
ENA ゲートウェイ (ENA Gateway) yyy.yyy.yyy.yyy	外部プリントサーバのゲートウェイを設定します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタが USB ポート経由で外部プリントサーバに接続されているときのみ表示されます。

パラレル [x] (Parallel [x]) メニュー

メニュー項目	説明
PCL SmartSwitch オン (On) オフ (Off)	プリンタの標準言語にかかわらず、パラレルポート経由で送信された印刷ジョブにより要求されたときに、自動的に PCL エミュレーションへ切り替えます。 メモ: - 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。 [オフ (Off)] を選択した場合、プリンタは受信データをチェックしません。このとき、[PS SmartSwitch] が [オン (On)] に設定されていれば、PostScript エミュレーションが使用されます。また、[PS SmartSwitch] が [オフ (Off)] に設定されている場合は、[設定 (Setup)] メニューで指定された標準言語が使用されます。
PS SmartSwitch オン (On) オフ (Off)	プリンタの標準言語にかかわらず、パラレルポート経由で送信された印刷ジョブにより要求されたときに、自動的に PS エミュレーションへ切り替えます。 メモ: - 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。 [オフ (Off)] を選択した場合、プリンタは受信データをチェックしません。このとき、[PCL SmartSwitch] が [オン (On)] に設定されていれば、PCL エミュレーションが使用されます。また、[PCL SmartSwitch] が [オフ (Off)] に設定されている場合は、[設定 (Setup)] メニューで指定された標準言語が使用されます。
NPA モード (NPA Mode) 自動 (Auto) オン (On) オフ (Off)	NPA プロトコルの仕様に基づいて双方向通信するための特殊処理を行うようにプリンタを設定します。 メモ: - 工場出荷時は [自動 (Auto)] に設定されています。 - プリンタ操作パネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。

メニュー項目	説明
パラレルバッファ (Parallel Buffer) 自動 (Auto) 3KB ~ [許容される最大サイズ] 無効 (Disabled)	パラレル入力バッファのサイズを設定します。 メモ: - 工場出荷時は [自動 (Auto)] に設定されています。 [無効 (Disabled)] を選択すると、ジョブバッファリングがオフになります。このとき、プリンタのハードディスクに既にバッファされていた印刷ジョブは、通常の処理が再開される前に印刷されます。 - パラレルバッファサイズは 1 KB 単位で変更できます。 - 許容される最大サイズは、プリンタのメモリ容量や他の通信バッファのサイズ、および [リソース保存 (Resource Save)] が [オン (On)] か [オフ (Off)] によって異なります。 - パラレルバッファの最大サイズを増やすには、USB 通信やシリアル通信、ネットワークのバッファを無効にするか、それらのバッファサイズを減らします。 - プリンタ操作パネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。
ジョブバッファリング (Job Buffering) オフ (Off) オン (On) 自動 (Auto)	印刷を実行する前に、プリンタのハードディスクに印刷ジョブを一時保存します。 メモ: - 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。 [オン (On)] を選択すると、プリンタのハードディスクに印刷ジョブがバッファされます。 - 他の入力ポートからのデータ処理がビジーのときのみ、印刷ジョブが自動的にバッファされます。 - プリンタ操作パネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。
詳細状態 (Advanced Status) オン (On) オフ (Off)	パラレルポート経由の双方向通信を有効にします。 メモ: - 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。 [オフ (Off)] を選択すると、パラレルポートのネゴシエーションが無効になります。

メニュー項目	説明
プロトコル (Protocol) Fastbytes 標準 (Standard)	パラレルポートのプロトコルを指定します。 メモ: - 工場出荷時は [Fastbytes] に設定されています。Fastbytes プロトコルは、現在普及しているほとんどのパラレルポートと互換性があります（このプロトコルを選択することを推奨します）。 - パラレルポートの通信に問題がある場合は [標準 (Standard)] を選択してください。
初期化要求を許可 (Honor Init) オフ (Off) オン (On)	コンピュータから送信されたプリンタハードウェア初期化要求を許可するかどうかを設定します。 メモ: - 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。 - コンピュータは、パラレルポートの Init 信号をアクティブにすることで、プリンタの初期化を要求します。多くのコンピュータは、起動のたびに Init 信号をアクティブにします。
パラレルモード 2 (Parallel Mode 2) オン (On) オフ (Off)	ストロブ信号の立ち上がりエッジまたは立ち下がりエッジでデータをサンプリングするかどうかを設定します。 メモ: 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。
Mac バイナリ PS (Mac Binary PS) 自動 (Auto) オン (On) オフ (Off)	Macintosh のバイナリ PostScript の印刷ジョブを処理するように設定します。 メモ: - 工場出荷時は [自動 (Auto)] に設定されています。 [オフ (Off)] を選択すると、標準プロトコルにて印刷ジョブがフィルタされます。 [オン (On)] を選択すると、Raw バイナリ PostScript の印刷ジョブが処理されます。
ENA アドレス (ENA Address) yyy.yyy.yyy.yyy	外部プリントサーバのネットワークアドレスを設定します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタが USB ポート経由で外部プリントサーバに接続されているときのみ表示されます。
ENA ネットマスク (ENA Netmask) yyy.yyy.yyy.yyy	外部プリントサーバのネットマスクを設定します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタが USB ポート経由で外部プリントサーバに接続されているときのみ表示されます。
ENA ゲートウェイ (ENA gateway) yyy.yyy.yyy.yyy	外部プリントサーバのゲートウェイを設定します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタが USB ポート経由で外部プリントサーバに接続されているときのみ表示されます。

シリアル [x] (Serial [x]) メニュー

メニュー項目	説明
PCL SmartSwitch オン (On) オフ (Off)	プリンタの標準言語にかかわらず、シリアルポート経由で送信された印刷ジョブにより要求されたときに、自動的に PCL エミュレーションへ切り替えます。 メモ: - 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。 [オフ (Off)] を選択した場合、プリンタは受信データをチェックしません。このとき、[PS SmartSwitch] が [オン (On)] に設定されていれば、PostScript エミュレーションが使用されます。また、[PS SmartSwitch] が [オフ (Off)] に設定されている場合は、[設定 (Setup)] メニューで指定された標準言語が使用されます。
PS SmartSwitch オン (On) オフ (Off)	プリンタの標準言語にかかわらず、シリアルポート経由で送信された印刷ジョブにより要求されたときに、自動的に PS エミュレーションへ切り替えます。 メモ: - 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。 [オフ (Off)] を選択した場合、プリンタは受信データをチェックしません。このとき、[PCL SmartSwitch] が [オン (On)] に設定されていれば、PCL エミュレーションが使用されます。また、[PCL SmartSwitch] が [オフ (Off)] に設定されている場合は、[設定 (Setup)] メニューで指定された標準言語が使用されます。
NPA モード (NPA Mode) 自動 (Auto) オン (On) オフ (Off)	NPA プロトコルの仕様に基づいて双方向通信するための特殊処理を行うようにプリンタを設定します。 メモ: - 工場出荷時は [自動 (Auto)] に設定されています。[自動 (Auto)] が設定されている場合、プリンタにより受信データのフォーマットがチェックされ、各フォーマットに応じた処理が行われます。 [オン (On)] を選択すると、プリンタにより NPA プロトコルが処理されます。このとき、データが NPA フォーマットでない場合、そのデータは不良データとして破棄されます。 [オフ (Off)] を選択した場合、プリンタは NPA プロトコルを処理しません。 - プリンタ操作パネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。

メニュー項目	説明
シリアルバッファ (Serial Buffer) 自動 (Auto) 3KB ~ [許容される最大サイズ] 無効 (Disabled)	シリアル入力バッファのサイズを設定します。 メモ: - 工場出荷時は [自動 (Auto)] に設定されています。 [無効 (Disabled)] を選択すると、ジョブバッファリングがオフになります。このとき、プリンタのハードディスクに既にバッファされていた印刷ジョブは、通常の処理が再開される前に印刷されます。 - シリアルバッファサイズは 1 KB 単位で変更できます。 - 許容される最大サイズは、プリンタのメモリ容量や他の通信バッファのサイズ、および [リソース保存 (Resource Save)] が [オン (On)] か [オフ (Off)] かによって異なります。 - シリアルバッファの最大サイズを増やすには、パラレル通信や USB 通信、ネットワークのバッファを無効にするか、それらのバッファサイズを減らします。 - プリンタ操作パネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。
ジョブバッファリング (Job Buffering) オフ (Off) オン (On) 自動 (Auto)	印刷を実行する前に、プリンタのハードディスクに印刷ジョブを一時保存します。 メモ: - 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。このとき、印刷ジョブはプリンタのハードディスクにバッファされません。 [オン (On)] を選択すると、プリンタのハードディスクに印刷ジョブがバッファされます。 - 他の入力ポートからのデータ処理がビジーのときのみ、印刷ジョブが自動的にバッファされます。 - プリンタ操作パネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。
プロトコル (Protocol) DTR DTR/DSR XON/XOFF XON/XOFF/DTR XONXOFF/DTRDSR	シリアルポートのハードウェアハンドシェイク（またはソフトウェアハンドシェイク）を設定します。 メモ: - 工場出荷時は [DTR] に設定されています。 [DTR/DSR] を選択すると、ハードウェアでハンドシェイクを行います。 [XON/XOFF] を選択すると、ソフトウェアでハンドシェイクを行います。 [XON/XOFF/DTR] および [XON/XOFF/DTR/DSR] を選択すると、ハードウェアとソフトウェアの両方でハンドシェイクを行います。

メニュー項目	説明
連続 XON 送信 (Robust XON) オフ (Off) オン (On)	プリンタが印刷可能なことをコンピュータに通知するかどうかを設定します。 メモ: - 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。 - このメニュー項目は、[シリアルプロトコル (Serial Protocol)] が [XON/XOFF] に設定されているときのみ表示されます。
ボーレート (Baud) 9600 19200 38400 57600 115200 138200 172800 230400 345600 1200 2400 4800	シリアルポートのデータ受信速度を指定します。 メモ: - 工場出荷時は [9600] に設定されています。 138200、172800、230400、345600 のボーレートは、[標準シリアル (Standard Serial)] メニューにのみ表示されます。これらの設定は、[シリアルオプション 1 (Serial Option 1)]、[シリアルオプション 2 (Serial Option 2)]、[シリアルオプション 3 (Serial Option 3)] のメニューには表示されません。
データビット (Data Bits) 8 7	各転送フレームのデータビット数を指定します。 メモ: 工場出荷時は [8] に設定されています。
パリティ (Parity) なし (None) 無視 (Ignore) 無視 (Even) 無視 (Odd)	シリアル入出力データフレームのパリティを設定します。 メモ: 工場出荷時は [なし (None)] に設定されています。
DSR 使用 (Honor DSR) オフ (Off) オン (On)	プリンタが DSR 信号を使用するかどうかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。 - 多くのシリアルケーブルでは、DSR 信号を使ってハンドシェイクを行います。シリアルポートにて DSR を使用すると、コンピュータから送られたデータを、シリアルケーブル内で発生した電氣的ノイズと区別することができます。この電氣的ノイズは、印刷の文字化けを引き起こす恐れがあります。印刷の文字化けを防ぐために、[DSR 使用 (Honor DSR)] を [オン (On)] に設定してください。

SMTP 設定（SMTP Setup）メニュー

メニュー項目	説明
一次 SMTP ゲートウェイ（Primary SMTP Gateway）	SMTP サーバのゲートウェイとポートを指定します。 メモ: SMTP ゲートウェイポートの工場出荷時設定は 25 になっています。
一次 SMTP ゲートウェイ（Primary SMTP Gateway）	
二次 SMTP ゲートウェイ（Secondary SMTP Gateway）	
二次 SMTP ゲートウェイ（Secondary SMTP Gateway）	
SMTP タイムアウト（SMTP Timeout） 5 ～ 30	サーバが E メール送信試行を停止するまでの秒数を指定します。 メモ: 工場出荷時は 30 秒に設定されています。
返信アドレス（Reply Address）	プリンタから送信される Eメールの返信アドレスを指定します（最大 128 文字）。
SSL を使用（Use SSL） 無効（Disabled） 交渉（Negotiate） 必須（Required）	プリンタが SMTP サーバに接続する際、セキュリティ強化のために SSL を使用するかどうかを設定します。 メモ: - 工場出荷時は [無効（Disabled）] に設定されています。 [交渉（Negotiate）] を選択した場合、SSL を使用するかどうかは SMTP サーバが決定します。
SMTP サーバ認証（SMTP Server Authentication） 認証なし（No authentication required） ログイン/プレーンテキスト（Login/Plain） CRAM-MD5 Digest-MD5 NTLM Kerberos 5	Eメールの利用権限を審査するためのユーザー認証タイプを指定します。 メモ: 工場出荷時は [認証なし（No authentication required）] に設定されています。

メニュー項目	説明
デバイスから送信される E メール (Device-Initiated E-mail) なし (None) デバイスの SMTP 証明書を使用 (Use Device SMTP Credentials)	SMTP サーバと通信する際に、どの証明書を使用するかを指定します。SMTP サーバによっては、E メールを送信する際に証明書が必要となります。 メモ: • [デバイスから送信される E メール (Device-Initiated E-mail)] および [ユーザーから送信される E メール (User-Initiated E-mail)] の工場出荷時設定は [なし (None)] になっています。 • [デバイスの SMTP 証明書を使用 (Use Device SMTP Credentials)] を選択した場合、デバイスのユーザー ID とパスワードを使用して SMTP サーバにログインします。
ユーザーから送信される E メール (User-Initiated E-mail) なし (None) デバイスの SMTP 証明書を使用 (Use Device SMTP Credentials) セッションのユーザー ID とパスワードを使用 (Use Session User ID & Password) セッションの E メールアドレス とパスワードを使用 (Use Session E-mail address & Password) ユーザーに確認 (Prompt User)	
デバイスのユーザー ID (Device Userid)	
デバイスのパスワード (Device Password)	
Kerberos 5 レalm (Kerberos 5 Realm)	
NTLM ドメイン (NTLM Domain)	

セキュリティ（Security）メニュー

セキュリティ設定の編集（Editing Security Setups）メニュー

メニュー項目	説明
バックアップパスワードの編集 (Edit Backup Password)	バックアップパスワードを作成します。 メモ: このメニュー項目は、バックアップパスワードが存在するときのみ表示されます。
ビルディングブロックを編集 (Edit Building Blocks)	内部アカウント、NTLM、各種設定、パスワード、暗証番号（PIN）を編集します。
セキュリティテンプレートを編集 (Edit Security Templates)	セキュリティテンプレートを追加/編集します。
アクセス制御を編集 (Edit Access Controls)	プリンタメニュー、ファームウェア更新、保留ジョブなどへのアクセスを制御します。

その他のセキュリティ設定（Miscellaneous Security Settings）メニュー

メニュー項目	説明
ログイン制限（Login Restrictions） ログイン失敗許容回数（Login failures） ログイン失敗許容時間（Failure time frame） ロックアウト時間（Lockout time） パネルログインのタイムアウト（Panel Login Timeout） リモートログインのタイムアウト（Remote Login Timeout）	すべてのユーザーがロックアウトされる前に、プリンタ操作パネルからログイン失敗できる上限回数（または上限時間）を指定します。 メモ: ・［ログイン失敗許容回数（Login failures）］では、ユーザーがロックアウトされる前にログイン失敗できる上限回数を指定します。工場出荷時設定では、1 ～ 10 回の範囲で指定できます。 ・［ログイン失敗許容時間（Failure time frame）］では、ユーザーがロックアウトされる前にログイン失敗できる上限時間を指定します。設定値は 1 ～ 60 分の範囲で指定できます。工場出荷時は 5 分に設定されています。 ・［ロックアウト時間（Lockout time）］では、ログイン失敗可能な許容回数（または許容時間）を超えたときに、ユーザーをロックアウトする時間を指定します。設定値は 1 ～ 60 分の範囲で指定できます。工場出荷時は 5 分に設定されています。なお、1 を指定すると、ユーザーはロックアウトされません。 ・［パネルログインのタイムアウト（Panel Login Timeout）］では、［Home］画面にて操作されない時間がどのくらい続いたときに、ユーザーが自動的にログオフされるかを指定します。設定値は 1 ～ 900 秒の範囲で指定できます。工場出荷時は 30 秒に設定されています。 ・［リモートログインのタイムアウト（Remote Login Timeout）］では、リモートインターフェイスにて操作されない時間がどのくらい続いたときに、ユーザーが自動的にログオフされるかを指定します。設定値は 1 ～ 120 秒の範囲で指定できます。工場出荷時は 10 分に設定されています。
セキュリティリセット設定（Security Reset Jumper） アクセス制御 = "セキュリティなし"（Access controls="No Security"） 効果なし（No Effect） 出荷時の標準セキュリティ設定にリセット（Reset factory security defaults）	セキュリティ設定の値を変更します。 メモ: ・［アクセス制御 = "セキュリティなし"（Access controls="No Security"）］を選択すると、ユーザーが定義したすべてのセキュリティ設定が保留されます。工場出荷時は［セキュリティなし（No Security）］に設定されています。 ・［効果なし（No Effect）］を選択すると、デバイスのセキュリティ設定はリセットされません。 ・［出荷時の標準セキュリティ設定にリセット（Reset factory security defaults）］を選択すると、ユーザーが定義したセキュリティ設定が削除され、［セキュリティ設定（Security Settings）］の各設定に対して工場出荷時の標準設定が適用されます（操作パネルと Web ページの両方に適用）。

メニュー項目	説明
LDAP 証明書の確認 (LDAP Certificate Verification) 要求 (Demand) 試行 (Try) 許可 (Allow) 実行しない (Never)	ユーザーに対し、サーバ証明書の要求を許可します。 メモ: • [要求 (Demand)] を選択すると、サーバ証明書が要求されます。間違った証明書が提供された場合 (または証明書が提供されなかった場合)、セッションが直ちに終了します。工場出荷時は [要求 (Demand)] に設定されています。 • [試行 (Try)] を選択すると、サーバ証明書が要求されます。証明書が提供されない場合でも、セッションは通常どおりに処理されます。ただし、間違った証明書が提供された場合は、セッションが直ちに終了します。 • [許可 (Allow)] を選択すると、サーバ証明書が要求されます。証明書が提供されない場合でも、セッションは通常どおりに処理されます。また、間違った証明書が提供された場合でも、その証明書は無視されて、セッションは通常どおりに処理されます。 • [実行しない (Never)] を選択すると、サーバ証明書は要求されません。
最小暗証番号 (Minimum PIN Length) 1 ~ 16	暗証番号 (PIN) の最小桁数を指定します。 メモ: 工場出荷時は 4 に設定されています。

コンフィデンシャル印刷（Confidential Print）メニュー

メニュー項目	説明
無効暗証番号許容回数（Max Invalid PIN） オフ（Off） 2 ～ 10	無効な暗証番号（PIN）を入力できる最大回数を指定します。 メモ： - このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。 - この上限回数に達すると、該当するユーザー名と暗証番号（PIN）に対する印刷ジョブが削除されます。
コンフィデンシャル印刷ジョブの有効期限（Confidential Job Expiration） オフ（Off） 1 時間（1 hour） 4 時間（4 hours） 24 時間（24hours） 1 週間（1 week）	コンフィデンシャル印刷ジョブがプリンタから削除されるまでの時間を指定します。 メモ： - コンフィデンシャル印刷ジョブがプリンタの RM またはハードディスクにあるときに有効期限の設定が変更された場合、それらの印刷ジョブの有効期限は新しい設定値に変更されません。 - プリンタの電源がオフになると、プリンタの RAM にあったコンフィデンシャル印刷ジョブはすべて削除されます。
ジョブ期限切れの繰り返し（Repeat Job Expiration） オフ（Off） 1 時間（1 hour） 4 時間（4 hours） 24 時間（24hours） 1 週間（1 week）	印刷ジョブがプリンタから削除されるまでの時間を指定します。
ジョブ期限切れの確認（Verify Job Expiration） オフ（Off） 1 時間（1 hour） 4 時間（4 hours） 24 時間（24hours） 1 週間（1 week）	ベリファイ（確認）が必要な印刷ジョブがプリンタから削除されるまでの時間を指定します。

メニュー項目	説明
予約印刷ジョブの有効期限 (Reserve Job Expiration) オフ (Off) 1 時間 (1 hour) 4 時間 (4 hours) 24 時間 (24hours) 1 週間 (1 week)	後で印刷する予約印刷ジョブがプリンタから削除されるまでの時間を指定します。
メモ: 工場出荷時は [Off (オフ)] に設定されています。	

ディスク消去 (Disk Wiping) メニュー

〔ディスク消去 (Disk Wiping)〕メニューでは、ファイルシステムにより現在使用されていない印刷ジョブデータのみが、プリンタのハードディスクから消去されます。ダウンロードしたフォントやマクロ、保留中のジョブといった常駐データは、すべてプリンタのハードディスクに残ります。

メモ: このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。

メニュー項目	説明
消去モード (Wiping Mode) 自動 (Auto) 手動 (Manual) オフ (Off)	ディスク消去モードを指定します。 メモ: 工場出荷時は [自動 (Auto)] に設定されています。この設定では、ディスクの消去をいつ行うかはプリンタにより決定されます。
予約消去 (Scheduled Wiping) 時間 (Time) 曜日 (Day)	ディスク消去スケジュールを設定します。 メモ: • [時間 (Time)] にてディスクを消去する時間を指定します。 • [曜日 (Day)] にてディスクを消去する曜日 (または曜日範囲) を指定します。[曜日 (Day)] では、日曜日～金曜日、毎日、平日、週末を指定できます。 • 予約消去を実行時、警告メッセージや確認メッセージは表示されません。 • 手動消去および予約消去では、最初に消去を行わなくても、マークされたディスクスペースをファイルシステムが再利用することができます。
手動消去 (Manual Wiping) 後で実行 (Do not start now) 今すぐ実行 (Start now)	処理済み (印刷済み) の印刷ジョブのデータが保存されているディスクスペースをすべて消去します。手動消去では、処理されていない印刷ジョブのデータは消去されません。 メモ: • 工場出荷時は [後で実行 (Do not start now)] に設定されています。 • ディスク消去に対するアクセス制限が有効になっている場合、ディスクを消去しようとするユーザーがディスク消去権限を持っており、そのユーザーが正しく認証される必要があります。
自動消去方法 (Automatic Method) シングルパス (Single pass) マルチパス (Multiple pass)	過去の印刷ジョブで使用されたディスクスペースにマークを付けるそのスペースが消去されるまでファイルシステムが再利用できないようにします。 メモ: • 工場出荷時は [シングルパス (Single pass)] に設定されています。 • 自動消去を選択した場合のみ、一定時間プリンタをオフにすることなくディスク消去を有効にすることができます。 • 機密性の高いデータは、必ず [マルチパス (Multiple pass)] を使って消去してください。

メニュー項目	説明
手動消去方法 (Manual Method) シングルパス (Single pass) マルチパス (Multiple pass)	最初に消去を行わなくても、マークされたディスクスペースをファイルシステムが再利用することができます。 メモ: - 工場出荷時は [シングルパス (Single pass)] に設定されています。 - 機密性の高いデータは、必ず [マルチパス (Multiple pass)] を使って消去してください。
予約消去方法 x (予約消去方法) シングルパス (Single pass) マルチパス (Multiple pass)	最初に消去を行わなくても、マークされたディスクスペースをファイルシステムが再利用することができます。 メモ: 工場出荷時は [シングルパス (Single pass)] に設定されています。

セキュリティ監査ログ（Security Audit Log）メニュー

メニュー項目	説明
ログをエクスポート（Export Log）	権限を持ったユーザーがセキュリティログをエクスポートすることができます。 メモ: • プリンタの操作パネルからログをエクスポートするには、プリンタにフラッシュドライブが装着されている必要があります。 • 内蔵 WEB サーバ(EWS) からログをエクスポートする場合、コンピュータにログをダウンロードすることができます。
ログを削除（Delete Log） はい（Yes） いいえ（No）	監査ログを削除するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [v] に設定されています。

メニュー項目	説明
ログを設定 (Configure Log) 監査を有効化 (Enable Audit) リモート Syslog を有効化 (Enable Remote Syslog) リモート Syslog サーバ (Remote Syslog Server) リモート Syslog ポート (Remote Syslog Port) リモート Syslog ポート (Remote Syslog Method) リモート Syslog ファシリティ (Remote Syslog Facility) ログ満杯時の動作 (Log full behavior) 管理者の E メールアドレス (Admin's e-mail address) エクスポートにデジタル署名 (Digitally sign exports) ログ記録するイベントの重要度 (Severity of events to log) リモート Syslog にログ記録しないイベント (Remote Syslog non-logged events) ログ消去 E メールアラート (E-mail log cleared alert) E メール ログ ラップ アラート (E-mail log wrapped alert) E メール % フル アラート (E-mail % full alert) E メール % フル アラート (% full alert level) ログエクスポート E メールアラート (E-mail log exported alert) ログ設定変更 E メールアラート (E-mail log settings changed alert) ログの行末尾 (Log line endings)	監査ログを作成するかどうか、またどのように作成するかを指定します。 メモ: 工場出荷時、セキュリティ監査ログが有効になっています。

日付と時間を設定（Set Date and Time）メニュー

メニュー項目	説明
現在の日時（Current Date and Time）	プリンタの現在の日付と時刻を表示します。
日時を手動設定（Manually Set Date and Time）	メモ：日付と時刻は YYYY-MM-DD HH:MM:SS の形式で設定します。
時間帯（Time Zone）	メモ：工場出荷時は GMT に設定されています。
DST を自動的に適用 （Automatically Observe DST） オン（On） オフ（Off）	メモ：工場出荷時は [オン（On）] に設定されています。この設定では、[時間帯（Time Zone）] で設定したタイムゾーンの夏時間が適用されます。
カスタム時間帯の設定 （Custom Time Zone Setup） DST 開始週（DST Start Week） DST 開始休日（DST Start DayOff） DST 開始月（DST Start Month） DST 開始時刻（DST Start Time） DST 終了週（DST End Week） DST 終了日（DST End Day） DST 終了月（DST End Month） DST 終了時刻（DST End Time） DST オフセット（DST Offset ）	ユーザー定義の時間帯を設定することができます。
NTP の有効化（Enable NTP） オン（On） オフ（Off）	ネットワークタイムプロトコル（NTP）を有効にします。NTP を有効にすると、ネットワーク上にある機器の時計を同期させることができます。 メモ：工場出荷時は [オン（On）] に設定されています。
NTP サーバ（NTP Server ）	NTP サーバのアドレスを表示します。

メニュー項目	説明
認証を有効化（Enable Authentication） オン（On） オフ（Off）	認証設定のオン/オフを切り替えます。 メモ： 工場出荷時は［オフ（Off）］に設定されています。

設定（Settings）メニュー

一般設定（General Settings）メニュー

メニュー項目	説明
表示言語（Display Language） 英語（English） フランス語（Francais） ドイツ語（Deutsch） イタリア語（Italiano） スペイン語（Espanol） デンマーク語（Dansk） ノルウェー語（Norsk） オランダ語（Nederlands） スウェーデン語（Svenska） ポルトガル語（Portuguese） フィンランド語（Suomi） ロシア語（Russian） ポーランド語（Polski） ギリシャ語（Greek） ハンガリー語（Magyar） トルコ語（Turkce） チェコ語（Cesky） 簡体中国語（Simplified Chinese） 繁体中国語（Traditional Chinese） 韓国語（Korean） 日本語（Japanese）	ディスプレイに表示されるテキストの言語を設定します。 メモ: プリンタによっては利用できない言語があります。

メニュー項目	説明
エコモード (Eco-Mode) オフ (Off) 電力 (Energy) 電力/用紙 (Energy/Paper) 用紙 (Paper)	電力や用紙、特殊用紙の使用量を最小にします。 メモ: - 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。 [オフ (Off)] を選択すると、プリンタが工場出荷時の設定にリセットされます。 [電力 (Energy)] を選択すると、プリンタの消費電力が最小になります。パフォーマンスは落ちますが、印刷品質は落ちません。 [電力/用紙 (Energy/Paper)] を選択すると、プリンタの消費電力、および用紙/特殊用紙の使用量が最小になります。 [用紙 (Paper)] を選択すると、印刷ジョブに必要な用紙/特殊用紙の使用量が最小になります。パフォーマンスは落ちますが、印刷品質は落ちません。
ADF セットビープ (ADF Loaded Beep) 有効化 (Enabled) 無効 (Disabled)	用紙がセットされたときに ADF のビープを鳴らすかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [有効化 (Enabled)] に設定されています。
静音モード (Quiet Mode) オン (On) オフ (Off)	プリンタの騒音を低減します。 メモ: - 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。この設定では、プリンタのパフォーマンスが優先されます。 [オン (On)] を選択すると、プリンタの騒音が可能な限り抑えられます。この設定は、文字や線画を印刷するのに最適です。 - 色を多く使うドキュメントを印刷する場合は、最適な印刷結果を得るために [静音モード (Quiet Mode)] を [オフ (Off)] に設定してください。 - プリンタドライバにて [写真 (Photo)] を選択すると、静音モードが無効になります。この設定にすると、最高の印刷速度でより高品質の印刷結果が得られます。

メニュー項目	説明
初期設定を実行 (Run Initial setup) はい (Yes) いいえ (No)	プリンタにてセットアップウィザードを実行します。 メモ: - 工場出荷時は [はい (Yes)] に設定されています。 - 国と地域の選択画面にて [終了 (Done)] を選択してセットアップウィザードを終了すると、標準設定が [いいえ (No)] になります。
キーボード (Keyboard) キーボードタイプ (Keyboard Type) 英語 (English) フランス語 (Francais) カナダフランス語 (Francais Canadien) ドイツ語 (Deutsch) イタリア語 (Italiano) スペイン語 (Espanol) ギリシャ語 (Greek) デンマーク語 (Dansk) ノルウェー語 (Norsk) オランダ語 (Nederlands) スウェーデン語 (Svenska) フィンランド語 (Suomi) ポルトガル語 (Portuguese) ロシア語 (Russian) ポーランド語 (Polski) スイスフランス語 (Swiss German) スイスドイツ語 (Swiss French) 韓国語 (Korean) ハンガリー語 (Magyar) トルコ語 (Turkish) チェコ語 (Czech) 簡体中国語 (Simplified Chinese) 繁体中国語 (Traditional Chinese) 日本語 (Japanese) カスタムキー [x] (Custom Key [x])	プリンタ操作パネルの仮想キーボードの言語を指定します。

メニュー項目	説明
用紙サイズ (Paper Sizes) 米国 (US) メートル法 (Metric)	用紙サイズの測定方法を指定します。 メモ: • 用紙サイズの初期設定は、初期設定ウィザードで選択した国や地域によって決まります。 • この設定を変更すると、各給紙源の [用紙サイズ (Paper Size)] および [用紙タイプ (Paper Type)] メニューの設定が標準設定になります。
PC ポートのスキャン範囲 (Scan to PC Port Range) [ポート範囲]	ポートをブロックしているファイアウォールの後ろにあるプリンタで使用する有効なポート範囲を指定します。有効なポート範囲は、セミコロンで区切られた 2 つの数字の組で指定します。 メモ: 工場出荷時は 9751:12000 に設定されています。

メニュー項目	説明
表示する情報 (Displayed Information) 左側 (Left side) 右側 (Right side) カスタムテキスト [x] (Custom Text [x]) [x] トナー ([x] Toner) [x] イメージングユニット ([x] Imaging Unit) フューザー (Fuser) 転写モジュール (Transfer Module)	ホーム画面の左上と右上に表示する情報を指定します。 左メニューと右メニューに表示する情報は、以下のオプションから選択します。 なし (None) IP アドレス (IP Address) ホスト名 (Hostname) 担当者名 (Contact Name) 設置場所 (Location) 日付/時刻 (Date/Time) mDNS/DDNS サービス名 (mDNS/DDNS Service Name) ゼロ構成名 (Zero Configuration Name) カスタムテキスト [x] (Custom Text [x]) モデル名 (Model Name) [[x] トナー ([x] Toner)]、[[x] イメージングユニット ([x] Imaging Unit)]、[フューザー (Fuser)]、[転写モジュール (Transfer Module)] のメニューに表示する情報は、以下のオプションから選択します。 表示タイミング (When to display) 非表示 (Do not display) 表示 (Display) 表示メッセージ (Message to Display) 標準 (Default) 代替 (Alternate) 標準 (Default) [文字入力] 代替 (Alternate) [文字入力] メモ: • [左側 (Left side)] の工場出荷時設定は [IP アドレス (IP Address)] になっています。 • [日付/時刻 (Date/Time)] の工場出荷時設定は [右側 (Right side)] になっています。 • [表示タイミング (When to display)] の工場出荷時設定は [非表示 (Do not display)] になっています。 • [表示メッセージ (Message to Display)] の工場出荷時設定は [標準 (Default)] になっています。

メニュー項目	説明
表示する情報 (Displayed Information) 廃トナーボトル (Waste Toner Bottle) 紙づまり (Paper Jam) 用紙をセット (Load Paper) サービスエラー (Service Errors)	[廃トナーボトル (Waste Toner Bottle)]、[紙づまり (Paper Jam)]、[用紙をセット (Load Paper)]、[サービスエラー (Service Errors)] のメニューに表示する情報を指定します。表示する情報は以下のオプションから選択できます。 表示 (Display) いいえ (No) はい (Yes) 表示メッセージ (Message to Display) 標準 (Default) 代替 (Alternate) 標準 (Default) [文字入力] 代替 (Alternate) [文字入力] メモ: • [表示 (Display)] の工場出荷時設定は [いいえ (No)] になっています。 • [表示メッセージ (Message to Display)] の工場出荷時設定は [標準 (Default)] になっています。

メニュー項目	説明
ホーム画面のカスタマイズ (Home screen customization) 言語を変更 (Change Language) コピー (Copy) コピーショートカット (Copy shortcuts) FAX FAX ショートカット (FAX Shortcuts) E メール (E-mail) E メールショートカット (E-mail Shortcuts) FTP FTP ショートカット (FTP Shortcuts) 保持されたジョブ検索 (Search Held Jobs) 保持されえたジョブ (Held Jobs) USB ドライブ (USB Drive) プロフィールとソリューション (Profiles and Solutions) ブックマーク (Bookmarks) ユーザー別ジョブ (Jobs by user) 用紙とお気に入り (Forms and Favorites)	ホーム画面に表示するアイコンとボタンを追加/削除します。 各アイコンやボタンに対して以下のオプションを選択できます。 非表示 (Do not display) 表示 (Display)
日付形式 (Date Format) MM-DD-YYYY DD-MM-YYYY YYYY-MM-DD	プリンタの日付形式を指定します。
時刻形式 (Time Format) 12 時間形式: A.M./P.M. (12 hour A.M./P.M.) 24 時間形式 (24 hour clock)	プリンタの時刻形式を指定します。 メモ: 工場出荷時は 12 時間形式に設定されています。
画面明るさ (Screen Brightness) 20 ~ 100	プリンタ操作パネルの明るさを指定します。 メモ: 工場出荷時は 100 に設定されています。
1 ページコピー (One Page Copy) オフ (Off) オン (On)	原稿台から一度に 1 ページずつコピーするよう設定します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。

メニュー項目	説明
タッチスクリーンのタッチ音の設定 (Audio Feedback) ボタンのフィードバック (Button Feedback) オン (On) オフ (Off) ボリューム (Volume) 1 ～ 10	ボタンの音声ボリュームを設定します。 メモ: ・ [ボタンのフィードバック (Button Feedback)] の工場出荷時設定は [オン (On)] になっています。 ・ [ボリューム (Volume)] の工場出荷時設定は 5 になっています。
タッチスクリーンの触感反応 (Tactile Touchscreen Feedback) オン (On) オフ (Off)	タッチスクリーンの触感反応を有効にします。 メモ: 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。
ブックマークを表示 (Show Bookmarks) はい (Yes) いいえ (No)	[保持されたジョブ (Held Jobs)] エリアにブックマークを表示するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [はい (Yes)] に設定されています。
背景削除を許可 (Allow Background Removal) オン (On) オフ (Off)	コピーや FAX、E メール、FTP、USB へのスキャン転送の各ジョブにおいて、背景画像を削除するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。
カスタムスキャンを許可 (Allow Custom Job Scans) オン (On) オフ (Off)	複数のドキュメントをスキャンして1つのファイルに保存します。 メモ: 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。 [カスタムスキャンを許可 (Allow Custom Job Scans)] の設定は、特定のジョブでのみ有効です。
ADF 紙詰まり時の再開位置 (Scanner Jam Recovery) ジョブレベル (Job level) 用紙レベル (Page level)	ADF で紙詰まりが発生したとき、どのレベルでスキャンジョブを再開するかを指定します。 メモ: ・ [ジョブレベル (Job level)] を選択した場合、紙詰まりが発生したジョブ全体が再度スキャンされます。 ・ [用紙レベル (Page level)] を選択した場合、紙詰まりを起こした用紙以降のページのみ再度スキャンされます。
Web ページ更新頻度 (Web Page Refresh Rate) 30 ～ 300	内蔵 WEB サーバ(EWS) が Web ページを更新する間隔を秒数で指定します。 メモ: 工場出荷時は 120 秒に設定されています。

メニュー項目	説明
担当者名 (Contact Name)	プリンタの担当者名を指定します。 メモ: 担当者名は 内蔵 WEB サーバ(EWS) に保存されます。
設置場所 (Location)	プリンタが設置してある場所を指定します。 メモ: 設置場所は 内蔵 WEB サーバ(EWS) に保存されます。
警報 (Alarms) 警報制御 (Alarm Control) カートリッジ警報 (Cartridge Alarm)	ユーザーの操作が必要なときに警報を鳴らすかどうかを設定します。 警報の種類は以下のオプションから選択できます。 シングル (Single) 連続 (Continuous) メモ: - 工場出荷時は [シングル (Single)] に設定されています。この設定では、素早く 3 回警報が鳴ります。 [連続 (Continuous)] を選択すると、10 秒ごとに 3 回警報が鳴ります。 [オフ (Off)] を選択すると、警報は鳴りません。
タイムアウト (Timeouts) スタンバイモード (Standby Mode) 1 ~ 240 無効 (Disabled)	プリンタが操作されない状態が続いたとき、プリンタが低電力状態になるまでの時間を分で指定します。 メモ: 工場出荷時は 15 分に設定されています。
タイムアウト (Timeouts) スリープモード (Sleep Mode) 無効 (Disabled) 1 ~ 240 分	印刷ジョブが完了してからプリンタが低電力状態になるまでの時間を分で指定します。 メモ: - 工場出荷時は 5 分に設定されています。 - タイムアウト時間を短くすると電力をより多く節約できますが、ウォームアップにより多くの時間がかかります。 - プリンタが室内の電灯と同じ電源を使用している場合、一番短い時間に設定してください。 - プリンタを常に使用する場合は、タイムアウト時間を長くしてください。タイムアウト時間を長くすると、ほとんどの状況において最低限のウォームアップ時間で印刷することができます。

メニュー項目	説明
タイムアウト (Timeouts) 画面タイムアウト (Screen Timeout) 15 ～ 300 秒	プリンタに [レディ (Ready)] と表示されるまでの時間を秒で指定します。 メモ: 工場出荷時は 30 秒に設定されています。
タイムアウト (Timeouts) 印刷タイムアウト (Print Timeout) 無効 (Disabled) 1 ～ 255 秒	残りの印刷ジョブをキャンセルする前に、プリンタが印刷ジョブ終了メッセージの受信を待つ時間を秒で指定します。 メモ: - 工場出荷時は 90 秒に設定されています。 - タイムアウト時間が経過すると、プリンタは途中で印刷したページを最後まで印刷し、印刷待ちの新たな印刷ジョブがあるかどうかをチェックします。 [印刷タイムアウト (Print Timeout)] の設定は、PCL エミュレーションを使用しているときのみ有効です。この設定は、PostScript エミュレーションによる印刷ジョブには適用されません。
タイムアウト (Timeouts) データ待ち時間 (Wait Timeout) 無効 (Disabled) 15 ～ 65535 秒	印刷ジョブをキャンセルする前に、プリンタが次のデータを待つ時間を秒で指定します。 メモ: - 工場出荷時は 40 秒に設定されています。 [データ待ち時間 (Wait Timeout)] の設定は、PostScript エミュレーションを使用しているときのみ有効です。この設定は、PCL エミュレーションによる印刷ジョブには適用されません。
タイムアウト (Timeouts) ジョブ保留タイムアウト (Job Hold Timeout) 5 ～ 255 秒	リソースを利用できないために印刷できないジョブがある場合、そのジョブを保留する前に、印刷キューに格納されているジョブの印刷を続行するためのユーザーの操作を待つ時間を指定します。 メモ: - 工場出荷時は 30 秒に設定されています。 - このメニュー項目は、ハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。
印刷リカバリー (Print Recovery) 自動続行 (Auto Continue) 無効 (Disabled) 5 ～ 255	一定時間内に問題が解決されなかった場合に、オフライン状態から自動的に復帰して印刷を再開します。 メモ: 工場出荷時は [無効 (Disabled)] に設定されています。

メニュー項目	説明
印刷リカバリー (Print Recovery) 紙づまり回復 (Jam Recovery) 自動 (Auto) オン (On) オフ (Off)	紙づまりが発生したページを再印刷するかどうかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は [自動 (Auto)] に設定されています。この設定では、印刷ジョブを保留するのに必要なメモリが他の印刷ジョブで必要とならない場合に限り、紙づまりが発生したページが再印刷されます。 [オン (On)] を選択すると、紙づまりが発生したページが常に再印刷されます。 [オフ (Off)] を選択すると、紙づまりが発生したページは再印刷されません。
印刷リカバリー (Print Recovery) ページ保護 (Page Protect) オフ (Off) オン (On)	ページを完全に印刷するかどうかを設定します。 メモ: - 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。この設定では、ページ全体を印刷するのに十分なメモリがない場合、ページが途中で印刷されません。 [オン (On)] を選択した場合、ページ全体が処理されて、そのページが完全に印刷されます。
[スリープ] ボタンを押す (Press Sleep Button) スリープ (Sleep) ハイバネート (Hibernate) 何もしない (Do Nothing)	アイドル状態にて [Sleep] ボタンが押されたとき、プリンタがどのように動作するかを設定します。 メモ: - 工場出荷時は [スリープ (Sleep)] に設定されています。 [スリープ (Sleep)] または [ハイバネート (Hibernate)] を選択すると、プリンタが低電力設定で動作します。 - プリンタがスリープモードになると、タッチスクリーンの表示が消え、[Sleep] ボタンがこはく色に変わります。 - タッチスクリーンのいずれかの場所、またはプリンタ操作パネルのいずれかのボタンを押すと、スリープモードが終了します。 - プリンタがハイバネートモードになると、タッチスクリーンが完全にオフになり、[Sleep] ボタンがこはく色の点滅表示になります。

メニュー項目	説明
〔スリープ〕 ボタンを押し続ける (Press and Hold Sleep Button) 何もしない (Do Nothing) スリープ (Sleep) ハイバネート (Hibernate)	アイドル状態にて〔Sleep〕 ボタンが押されたとき、プリンタがどのように動作するかを設定します。 メモ: - 工場出荷時は〔何もしない (Do Nothing) 〕 に設定されています。 〔スリープ (Sleep) 〕 または〔ハイバネート (Hibernate) 〕 を選択すると、プリンタが低電力設定で動作します。 - プリンタがスリープモードになると、タッチスクリーンの表示が消え、〔Sleep〕 ボタンがこはく色に変わります。 〔Sleep〕 ボタンを 3 秒以上長押しすると、プリンタがハイバネートモードになります。 - タッチスクリーンのいずれかの場所、またはプリンタ操作パネルのいずれかのボタンを押すと、スリープモードが終了します。
出荷時標準設定 (Factory Defaults) 復元しない (Do Not Restore) 復元する (Restore Now)	プリンタの設定を工場出荷時設定に戻します。 メモ: - 工場出荷時は〔復元しない (Do Not Restore) 〕 に設定されています。この設定では、ユーザー定義の設定が保持されます。 〔復元する (Restore Now) 〕 を選択すると、〔ネットワーク/ポート (Network/Ports) 〕 メニューの設定を除き、プリンタのすべての設定が工場出荷時設定に戻ります。また、RAM にダウンロードされたデータはすべて削除されます。なお、プリンタのフラッシュメモリやハードディスクに保存されているデータは影響を受けません。

コピー設定（Copy Settings）メニュー

メニュー項目	説明
内容の種類（Content Type） 文字/写真（Text/Photo） 写真（Photo） 文字（Text） グラフィックス（Graphics）	原稿の種類を指定します。 メモ: 工場出荷時は [文字/写真（Text/Photo）] に設定されています。
内容のソース（Content Source） カラーレーザー（Color Laser） インクジェット（Inkjet） 写真/フィルム（Photo/Film） 雑誌（Magazine） 新聞（Newspaper） 出版物（Press） その他（Other） モノクロレーザー（Black/White Laser）	原稿がどのように作成されたかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [カラーレーザー（Color Laser）] に設定されています。
カラー（Color） オン（On） オフ（Off）	カラーコピーかモノクロコピーかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [オン（On）] に設定されています。
カラーコピーを許可（Allow color copies） オン（On） オフ（Off）	カラーコピーの許可/禁止を設定します。 メモ: - 工場出荷時は [オン（On）] に設定されています。 [オフ（Off）] を選択すると、カラーコピーに関するメニューが非表示になります。 - この設定は [カラー（Color）] の設定に優先します。

メニュー項目	説明
印刷面（両面印刷）（Sides (Duplex)） 片面を片面に（1 sided to 1 sided） 片面を両面に（1 sided to 2 sided） 両面を片面に（2 sided to 1 sided） 両面を両面に（2 sided to 2 sided）	原稿が両面か片面か、また、両面でコピーするか片面でコピーするかを指定します。 メモ: • 片面を片面に（1 sided to 1 sided）—片面印刷の原稿をコピーして片面印刷します。 • 片面を両面に（1 sided to 2 sided）—片面印刷の原稿をコピーして両面印刷します。例えば、6 枚の原稿をコピーする場合、コピーされた内容が 3 枚の用紙に両面印刷されます。 • 両面を片面に（2 sided to 1 sided）—両面印刷の原稿をコピーして片面印刷します。例えば、画像が両面印刷された 3 枚の原稿をコピーする場合、コピーされた内容が 6 枚の用紙に片面印刷されます。 • 両面を両面に（2 sided to 2 sided）—両面印刷の原稿をコピーして両面印刷します。両面印刷の原稿をコピーして両面印刷します。コピー出力は原稿と全く同じ構成になります。
用紙の節約（Paper Saver） オフ（Off） 2 ページ/用紙（縦長）（2 on 1 Portrait） 2 ページ/用紙（横長）（2 on 1 Landscape） 4 ページ/用紙（縦長）（4 on 1 Portrait） 4 ページ/用紙（横長）（4 on 1 Landscape）	2 ページ（または 4 ページ）のドキュメントを 1 ページにコピーします。 メモ: 工場出荷時は [オフ（Off）] に設定されています。
ページ枠を印刷（Print Page Borders） オフ（Off） オン（On）	ページ枠を印刷するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [オフ（Off）] に設定されています。
丁合印刷（Collate） オン（On） [1,2,1,2,1,2] オフ（Off） [1,1,1,2,2,2]	コピーを 2 部以上印刷するときに、印刷順序が原稿のページと同じ順序になるようにします。 メモ: 工場出荷時は [オン（On）] に設定されています。

メニュー項目	説明
原稿サイズ (Original Size) レター (Letter) リーガル (Legal) エグゼクティブ (Executive) タブロイド (Tabloid) フォリオ (Folio) ステートメント (Statement) ユニバーサル (Universal) 4 x 6 インチ (4 x 6 in.) 3 x 5 インチ (3 x 5 in.) 名刺 (Business Card) ID カード (ID Card) カスタムスキャンサイズ [x] (Custom Scan Size [x]) A3 A4 A5 Oficio (メキシコ) (Oficio (México)) A6 JIS B4 JIS B5 ブックオリジナル (Book Original) 自動サイズ検知 (Auto Size Sense) 大きさ混在 (Mixed Sizes)	原稿の用紙サイズを指定します。 メモ: - 米国向けの工場出荷時設定は [レター (Letter)] になっています。 - その他の国の工場出荷時設定は [A4] になっています。
コピーの給紙源 (Copy To Source) トレイ [x] (Tray [x]) 自動サイズ調整 (Auto Size Match) 多目的フィーダ (Manual Feeder)	コピーの給紙源を指定します。 メモ: 工場出荷時は [トレイ 1 (Tray 1)] に設定されています。

メニュー項目	説明
OHP フィルム区切り紙 (Transparency Separators) オン (On) オフ (Off)	OHP フィルムの間に紙を挿入します。 メモ: 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。
区切り紙 (Separator Sheets) オフ (Off) 各部の間 (Between Copies) 各ジョブの間 (Between Jobs) 各ページの間 (Between Pages)	各ページや各部、各ジョブの間に紙を挿入します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
区切り紙給紙源 (Separator Sheet Source) トレイ [x] (Tray [x]) 多目的フィーダ (Manual Feeder)	区切り紙の給紙源を指定します。 メモ: 工場出荷時は [トレイ 1 (Tray 1)] に設定されています。
濃さ (Darkness) 1 ~ 9	コピーの濃さを指定します。 メモ: 工場出荷時は 5 に設定されています。
コピー部数 (Number of Copies) 1 ~ 999	コピーの部数を指定します。 メモ: 工場出荷時は 1 に設定されています。

メニュー項目	説明
ヘッダー/フッター (Header/Footer) [位置] オフ (Off) 日付/時刻 (Date/Time) ページ番号 (Page number) カスタムテキスト (Custom text) 印刷対象 (Print on) 全ページ (All pages) 先頭ページのみ (First page only) 先頭以外の全ページ (All but first page) カスタムテキスト (Custom text)	ヘッダー/フッターの情報、およびヘッダー/フッターを印刷するページ上の位置を指定します。 印刷位置は以下のオプションから選択します。 • 上部左 (Top left) • 上部中央 (Top middle) • 上部右 (Top right) • 下部左 (Bottom left) • 下部中央 (Bottom middle) • 下部右 (Bottom right) メモ: • [位置] の工場出荷時設定は [オフ (Off)] になっています。 • [印刷対象 (Print on)] の工場出荷時設定は [全ページ (All pages)] になっています。
オーバーレイ (Overlay) オフ (Off) コンフィデンシャル (Confidential) コピー (Copy) ドラフト (Draft) 緊急 (Urgent) カスタム (Custom)	コピーの各ページにオーバーレイ印刷する文字を指定します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
作成オーバーレイ (Custom Overlay)	オーバーレイ印刷するカスタム文字を指定します。 メモ: 最大 64 文字まで指定できます。
優先コピーを許可 (Allow priority copies) オン (On) オフ (Off)	ページやドキュメントの割り込みコピーを許可します。 メモ: 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。

メニュー項目	説明
カスタムジョブスキャン (Custom Job scanning) オフ (Off) オン (On)	異なる用紙サイズを含むドキュメントを一度にコピーします。 メモ: - 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。 - このメニュー項目は、正常に動作するハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。
ショートカットとして保存を許可 (Allow Save as Shortcut) オン (On) オフ (Off)	カスタムコピー設定をショートカットとして保存できるようにします。 メモ: 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。
背景削除 (Background Removal) -4 ~ 4	コピーにおける背景の濃さを調節します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。
自動中央揃え (Auto Center) オフ (Off) オン (On)	印刷内容を自動的にページ中央に配置します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
カラーバランス (Color Balance) シアン - 赤 (Cyan - Red) マゼンタ - 緑 (Magenta - Green) イエロー - 青 (Yellow - Blue)	出力のカラーバランスが等しくなるようにします。

メニュー項目	説明
カラードロップアウト (Color Dropout) カラードロップアウト (Color Dropout) なし (None) 赤 (Red) 緑 (Green) 青 (Blue) 赤色 標準しきい値 (Default Red Threshold) 0 ~ 255 緑色 標準しきい値 (Default Green Threshold) 0 ~ 255 青色 標準しきい値 (Default Blue Threshold) 0 ~ 255	コピーにてどの色をドロップアウトさせるか、また、どの程度ドロップアウトさせるかを指定します。 メモ: ・ [カラードロップアウト (Color Dropout)] の工場出荷時設定は [なし (None)] になっています。 ・ 各色のしきい値の工場出荷時設定は 128 になっています。
コントラスト (Contrast) 内容に合わせて最適化 (Best for content) 0 ~ 5	コピーのコントラストを指定します。 メモ: 工場出荷時は [内容に合わせて最適化 (Best for content)] に設定されています。
左右反転 (Mirror Image) オフ (Off) オン (On)	原稿を左右反転した画像を作成します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
ネガイメージ (Negative Image) オフ (Off) オン (On)	原稿のネガイメージを作成します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
シャドウ描写 (Shadow Detail) -4 ~ 4	シャドウ部の濃さを調節します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。
ADF 傾き補正 (ADF Skew Fix) オフ (Off) オン (On)	スキャン画像に僅かに生じたスキューを修正します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。

メニュー項目	説明
端までスキャン (Scan edge to edge) オフ (Off) オン (On)	原稿を用紙の端までスキャンするかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
シャープネス (Sharpness) 1 ~ 5	コピーにおけるシャープネスを調節します。 メモ: 工場出荷時は 3 に設定されています。
色温度 (Temperature) -4 ~ 4	出力の色温度を指定します。色温度を低くすると、標準より青く出力されます。一方、色温度を高くすると、標準より赤く出力されます。
サンプルコピー (Sample Copy) オフ (Off) オン (On)	原稿のサンプルコピーを作成します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。

FAX 設定 (FAX Settings) メニュー

FAX モード (アナログ FAX 設定 (Analog FAX Setup)) メニュー

アナログ FAX (Analog FAX) モードでは、電話回線を使って FAX を送信します。

FAX 一般設定 (General FAX Settings)

メニュー項目	説明
[FAX 名]または[ステーション名] (FAX Name or Station Name)	プリンタ内蔵の FAX 名を指定します。
[FAX 番号]または[ステーション番号] (FAX Number or Station Number)	FAX に割り当てられている番号を指定します。
ステーション ID (Station ID) [FAX 名]または[ステーション名] (FAX Name or Station Name) [FAX 番号]または[ステーション番号] (FAX Number or Station Number)	FAX の識別方法を指定します。
手差し FAX を有効化 (Enable Manual FAX) オフ (Off) オン (On)	プリンタから手差し FAX 送信のみできるように設定します。手差しで FAX 送信するには、電話回線スプリッタと電話の受話器が必要です。 メモ: - FAX 着信への応答、および FAX 番号のダイヤルは、通常の電話で行います。 - 数字キーにて # を押してから 0 を押し、その後すぐに、手差し FAX 機能を実行してください。
メモリ割当て (Memory Use) 均等 (Equal) ほぼ送信完了 (Mostly sent) すべて送信 (All send) すべて受信 (All receive) ほとんど受信 (Mostly receive)	FAX 送信データと FAX 受信データに対して不揮発性メモリをどのように割り当てするかを設定します。 メモ: - 工場出荷時は [均等 (Equal)] に設定されています。この設定では、FAX 送信データと FAX 受信データに対してメモリが均等に割り当てられます。 [ほぼ送信完了 (Mostly sent)] を選択すると、メモリ領域の大部分が FAX 送信データに割り当てられます。 [すべて送信 (All send)] を選択すると、メモリ領域は FAX 送信データにのみ割り当てられます。 [すべて受信 (All receive)] を選択すると、メモリ領域は FAX 受信データにのみ割り当てられます。 [ほとんど受信 (Mostly receive)] を選択すると、メモリ領域の大部分が FAX 受信データに割り当てられます。

メニュー項目	説明
FAX をキャンセル (Cancel FAXes) 許可 (Allow) 許可しない (Don't Allow)	プリンタが FAX ジョブをキャンセルできるかどうかを指定します。
発信者 ID (Caller ID) オン (On) オフ (Off) 代替 (Alternate)	使用されている発信者 ID の種類を指定します。
FAX 番号のマスキング (FAX number masking) オフ (Off) 左から (From left) 右から (From right)	送信 FAX 番号をどちらの桁からマスクするかを指定します。 メモ: マスクする桁数は [マスキングする桁数 (Digits to mask)] にて指定します。
マスキングする桁数 (Digits to mask) 0 ~ 58	送信 FAX 番号をマスクする桁数を指定します。

メニュー項目	説明
FAX 送付状ページ (FAX Cover Page) FAX 送付状ページ (FAX Cover Page) 標準設定でオフ (Off by default) 標準設定でオン (On by default) 使用しない (Never use) 常に使用 (Always use) [～まで含む] フィールド (Include to field) オン (On) オフ (Off) [～から含む] フィールド (Include from field) オフ (Off) オン (On) 送信元 (From) [メッセージを含む] フィールド (Include Message field) オフ (Off) オン (On) 本文 (Message) ロゴを含む (Include Logo) オフ (Off) オン (On) フッター [x] を含める (Include Footer [x]) フッター [x] (Footer [x])	FAX 送付状を設定します。 メモ: FAX 送付状のオプションは、工場出荷時にすべて [オフ (Off)] に設定されています。

FAX 送信設定 (FAX Send Settings)

メニュー項目	説明
解像度 (Resolution) 標準 (Standard) 精細 200 dpi (Fine 200 dpi) スーパーファイン 300 dpi (Super Fine 300 dpi) ウルトラファイン 600 dpi (Ultra Fine 600 dpi)	品質をドット/インチ (dpi) で指定します。解像度を高くするほど印刷品質が良くなりますが、FAX 送信にかかる時間が長くなります。 メモ: 工場出荷時は [標準 (Standard)] に設定されています。

メニュー項目	説明
原稿サイズ (Original Size) 大きさ混在 (Mixed Sizes) レター (Letter) リーガル (Legal) エグゼクティブ (Executive) タブロイド (Tabloid) フォリオ (Folio) ステートメント (Statement) ユニバーサル (Universal) 4 x 6 インチ (4 x 6 in.) 3 x 5 インチ (3 x 5 in.) 名刺 (Business Card) カスタムスキャンサイズ [x] (Custom Scan Size [x]) A3 A4 A5 Oficio (メキシコ) (Oficio (México)) A6 JIS B4 JIS B5 ブックオリジナル (Book Original) 自動サイズ検知 (Auto Size Sense) 大きさ混在 (Mixed Sizes)	原稿の用紙サイズを指定します。 メモ: 米国向けの工場出荷時設定は [大きさ混在 (Mixed Sizes)] になっています。その他の国の工場出荷時設定は [A4] になっています。

メニュー項目	説明
印刷面（両面印刷）（Sides (Duplex)） オフ（Off） 長辺（Long Edge） 短辺（Short Edge）	ページ上で文字や画像をどの向きに配置するかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は［オフ（Off）］に設定されています。 ［長辺（Long Edge）］を選択すると、ページの長辺に沿って綴じるように（縦長の場合は左端、横長の場合は上端を綴じるように）配置されます。 ［短辺（Short Edge）］を選択すると、ページの短辺に沿って綴じるように（縦長の場合は上端、横長の場合は左端を綴じるように）配置されます。
内容の種類（Content Type） 文字（Text） グラフィックス（Graphics） 文字/写真（Text/Photo） 写真（Photo）	原稿の種類を指定します。 メモ: 工場出荷時は［文字（Text）］に設定されています。
内容のソース（Content Source） カラーレーザー（Color Laser） インクジェット（Inkjet） 写真/フィルム（Photo/Film） 雑誌（Magazine） 新聞（Newspaper） 出版物（Press） その他（Other） モノクロレーザー（Black/White Laser）	原稿がどのように作成されたかを指定します。 メモ: 工場出荷時は［カラーレーザー（Color Laser）］に設定されています。
濃さ（Darkness） 1 ～ 9	出力を薄く（または濃く）します。 メモ: 工場出荷時は 5 に設定されています。
ダイヤルプレフィックス（Dial Prefix）	ダイヤルプレフィックス（例: 99）を入力します。数字入力フィールドが表示されます。

メニュー項目	説明
ダイヤルプレフィックスルール (Dialing Prefix Rules) プレフィックスルール [x] (Prefix Rule [x])	ダイヤルプレフィックスルールを設定します。
自動リダイヤル (Automatic Redial) 0 ~ 9	指定の番号に FAX 送信を試行する回数を指定します。 メモ: 工場出荷時は 5 に設定されています。
リダイヤル間隔 (Redial Frequency) 1 ~ 200	リダイヤルの間隔を分で指定します。
PABX 経由 (Behind a PABX) いいえ (No) はい (Yes)	交換器のブラインドダイヤル (ダイヤルトーンが発生しないダイヤル) を有効にします。
ECM を有効化 (Enable ECM) はい (Yes) いいえ (No)	FAX のエラー訂正モード (ECM) を有効にします。
FAX スキャンを有効化 (Enable FAX Scans) オン (On) オフ (Off)	プリンタでスキャンした原稿を FAX します。
FAX 用ドライバ (Driver to FAX) はい (Yes) いいえ (No)	プリンタドライバによる FAX 送信を許可します。
ショートカットとして保存を許可 (Allow Save as Shortcut) オン (On) オフ (Off)	FAX 番号をショートカットとしてプリンタに保存できるようにします。
ダイヤルモード (Dial Mode) トーン (Tone) パルス (Pulse)	ダイヤル音 (トーンまたはパルス) を指定します。

メニュー項目	説明
速度優先 (Max Speed) 33600 2400 4800 9600 14400	FAX 送信の速度優先をボーで指定します。
カスタムジョブスキャン (Custom Job scanning) オフ (Off) オン (On)	異なる用紙サイズを含むドキュメントをスキャンして 1 つのファイルにまとめます。
スキャンプレビュー (Scan Preview) オフ (Off) オン (On)	スキャンのプレビューをディスプレイに表示するかどうかを指定します。
背景削除 (Background Removal) -4 ~ 4	スキャン画像における背景の濃さを調節します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。
カラーバランス (Color Balance) シアン - 赤 (Cyan - Red) マゼンタ - 緑 (Magenta - Green) イエロー - 青 (Yellow - Blue)	スキャン画像のカラーバランスが等しくなるようにします。

メニュー項目	説明
カラードロップアウト (Color Dropout) カラードロップアウト (Color Dropout) なし (None) 赤 (Red) 緑 (Green) 青 (Blue) 赤色 標準しきい値 (Default Red Threshold) 0 ~ 255 緑色 標準しきい値 (Default Green Threshold) 0 ~ 255 青色 標準しきい値 (Default Blue Threshold) 0 ~ 255	スキャン画像にてどの色をドロップアウトさせるか、また、どの程度ドロップアウトさせるかを指定します。 メモ: ・ [カラードロップアウト (Color Dropout)] の工場出荷時設定は [なし (None)] になっています。 ・ 各色のしきい値の工場出荷時設定は 128 になっています。
コントラスト (Contrast) 内容に合わせて最適化 (Best for content) 0 ~ 5	スキャン画像に僅かに生じたスキューを修正します。 メモ: 工場出荷時は [内容に合わせて最適化 (Best for content)] に設定されています。
左右反転 (Mirror Image) オフ (Off) オン (On)	原稿を左右反転した画像を作成します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
ネガイメージ (Negative Image) オフ (Off) オン (On)	原稿のネガイメージを作成します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
シャドウ描写 (Shadow Detail) -4 ~ 4	シャドウ部の濃さを調節します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。
ADF 傾き補正 (ADF Skew Fix) オフ (Off) オン (On)	スキャン画像に僅かに生じたスキューを修正します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。

メニュー項目	説明
端までスキャン (Scan edge to edge) オフ (Off) オン (On)	FAX 送信する際、原稿を用紙の端までスキャンするかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
シャープネス (Sharpness) 0 ~ 5	FAX におけるシャープネスを調節します。 メモ: 工場出荷時は 3 に設定されています。
色温度 (Temperature) -4 ~ 4	出力の色温度を指定します。色温度を低くすると、標準より青く出力されます。一方、色温度を高くすると、標準より赤く出力されます。
カラー FAX スキャン有効化 (Enable Color FAX Scans) 標準設定でオフ (Off by default) 標準設定でオン (On by default) 使用しない (Never use) 常に使用 (Always use)	カラー FAX を有効にします。 メモ: 工場出荷時は [標準設定でオフ (Off by default)] に設定されています。
カラー FAX からモノクロ FAX への自動変換 (Auto Convert Color FAXes to Mono FAXes) オン (On) オフ (Off)	送信 FAX をすべてモノクロに変換します。 メモ: 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。

FAX 受信設定 (FAX Receive Settings)

メニュー項目	説明
FAX 受信を有効化 (Enable FAX Receive) オン (On) オフ (Off)	プリンタによる FAX 受信を許可します。 メモ: 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。
待機中の FAX ジョブ (FAX Job Waiting) なし (None) トナー (Toner) トナーと消耗品 (Toner and Supplies)	指定したリソースが利用できないために待機中の FAX ジョブを、印刷キューから削除します。 メモ: 工場出荷時は [なし (None)] に設定されています。
呼び出し回数 (Rings to Answer) 1 ~ 25	FAX 着信に応答するまでの呼び出し回数を指定します。 メモ: 工場出荷時は 3 に設定されています。
自動縮小 (Auto Reduction) オン (On) オフ (Off)	指定した FAX 給紙源にセットされた用紙のサイズに合わせて、受信 FAX 出力のサイズを調節します。 メモ: 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。
給紙源 (Paper Source) 自動 (Auto) トレイ [x] (Tray [x]) 多目的フィーダ (Multi-Purpose Feeder)	受信 FAX を印刷する用紙の給紙源を指定します。
印刷面 (両面印刷) (Sides (Duplex)) オフ (Off) オン (On)	受信 FAX の両面印刷を有効にします。
区切り紙 (Separator Sheets) オフ (Off) 出力前 (Before Job) 出力後 (After Job)	受信 FAX 出力に区切り紙を挿入します。

メニュー項目	説明
区切り紙給紙源 (Separator Sheet Source) トレイ [x] (Tray [x]) 多目的フィーダ (Manual Feeder)	区切り紙の給紙源を指定します。
FAX のフッター (FAX Footer) オフ (Off) オン (On)	受信 FAX の各ページの下に、送信情報を印刷します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
速度優先 (Max Speed) 33600 2400 4800 9600 14400	FAX 受信の速度優先をボーで指定します。
FAX 転送 (FAX Forwarding) 印刷する (Print) 印刷と転送 (Print and Forward) 転送 (Forward)	受信 FAX を他の受信者に転送します。
転送先 (Forward to) FAX (FAX) E メール (E-mail) FTP LDSS eSF	FAX 転送方法を指定します。 メモ: このメニュー項目はプリンタの 内蔵 WEB サーバ(EWS) からのみ利用することができます。
ショートカットに転送 (Forward to Shortcut)	受信タイプ (FAX、E メール、FTP、LDSS、eSF) に対応したショートカット番号を入力します。
無記名の FAX をブロック (Block No Name FAX) オフ (Off) オン (On)	ステーション ID が設定されていない機器から送信された FAX をブロックします。
禁止された FAX 一覧 (Banned FAX List)	着信を拒否する FAX 番号の一覧をプリンタに保存します。

メニュー項目	説明
FAX 保留 (Holding FAXes) FAX 保留モード (Held FAX Mode) オフ (Off) 常にオン (Always On) 手動 (Manual) 予約 (Scheduled) FAX 保留スケジュール (FAX Holding Schedule)	FAX を常に（またはスケジュールに従って）保留します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
カラー FAX 受信を有効化 (Enable Color FAX Receive) オン (On) オフ (Off)	FAX をカラーで受信します。

FAX ログ設定 (FAX Log Settings)

メニュー項目	説明
送信ログ (Transmission Log) ログを印刷 (Print log) ログを印刷しない (Do not print log) エラーのみ印刷 (Print only for error)	FAX を送信後に送信ログを印刷します。
受信エラーログ (Receive Error Log) 印刷しない (Print Never) エラー時に印刷 (Print on Error)	受信エラー発生時に受信エラーログを印刷します。
自動印刷ログ (Auto Print Logs) オン (On) オフ (Off)	FAX ログを自動印刷します。 メモ: FAX ジョブを 200 件実行するたびにログが印刷されます。
給紙源を記録 (Log Paper Source) トレイ [x] (Tray [x]) 多目的フィーダ (Manual Feeder)	ログを印刷する際の給紙源を指定します。
ログ表示 (Logs Display) [リモート FAX 名]または [リモートステーション名] (Remote FAX Name or Remote Station Name) ダイヤルした番号 (Dialed Number)	ログ印刷出力に、ダイヤルした番号 (または返信されたステーション名) を印刷するかどうかを指定します。
ジョブログを有効化 (Enable Job Log) オン (On) オフ (Off)	FAX ジョブのログへのアクセスを許可します。

メニュー項目	説明
通話ログを有効化 (Enable Call Log) オン (On) オフ (Off)	FAX 通話ログへのアクセスを許可します。

スピーカー設定 (Speaker Settings)

メニュー項目	説明
スピーカーモード (Speaker Mode) 接続されるまでオン (On until Connected) 常にオン (Always On) 常にオフ (Always Off)	スピーカーのモードを指定します。 メモ: - 工場出荷時は [接続されるまでオン (On until Connected)] に設定されています。この設定では、FAX 接続が確立するまでスピーカーから音が出ます。 [常にオン (Always On)] を選択すると、スピーカーが常にオンになります。 [常にオフ (Always Off)] を選択すると、スピーカーが常にオフになります。
スピーカー音量 (Speaker Volume) 高 (High) 低 (Low)	音量を設定します。 メモ: 工場出荷時は [高 (High)] に設定されています。
着信音量 (Ringer Volume) オン (On) オフ (Off)	FAX のスピーカーから出力される着信音量を設定します。 メモ: 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。

受信の設定（Answer On）

メニュー項目	説明
すべて（All Rings）	着信に応答する呼び出し音のパターンを指定します。 メモ: 工場出荷時は［すべての呼び出し音（All Rings）］に設定されています。
1 回のみ受信（Single Ring Only）	
2 回のみ受信（Double Ring Only）	
3 回のみ受信（Triple Ring Only）	
1 回または 2 回のみ受信（Single or Double Rings Only）	
1 回または 3 回のみ受信（Single or Triple Rings Only）	
2 回または 3 回のみ受信（Double or Triple Rings Only）	

FAX モード（FAX サーバ設定（FAX Server Setup））メニュー

FAX サーバ（FAX Server）モードでは、FAX サーバを使って FAX を送信します。

FAX サーバ設定 (FAX Server Setup)

メニュー項目	説明
送信先形式 (To Format)	プリンタのタッチスクリーンに表示される仮想キーボードを使って情報を入力します。
返信アドレス (Reply Address)	
件名 (Subject)	
本文 (Message)	
SMTP 設定 (SMTP Setup)	SMTP の設定情報を指定します。
一次 SMTP ゲートウェイ (Primary SMTP Gateway)	SMTP サーバのポート情報を指定します。
二次 SMTP ゲートウェイ (Secondary SMTP Gateway)	
イメージ形式 (Image Format) PDF (.pdf) XPS (.xps) TIFF (.tif)	FAX 用にスキャンする画像の形式を指定します。
内容の種類 (Content Type) 文字 (Text) 文字/写真 (Text/Photo) グラフィックス (Graphics) 写真 (Photo)	原稿の種類を指定します。 メモ: 工場出荷時は [文字 (Text)] に設定されています。

メニュー項目	説明
内容のソース (Content Source) カラーレーザー (Color Laser) インクジェット (Inkjet) 写真/フィルム (Photo/Film) 雑誌 (Magazine) 新聞 (Newspaper) 出版物 (Press) その他 (Other)	原稿がどのように作成されたかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [カラーレーザー (Color Laser)] に設定されています。
FAX 解像度 (FAX Resolution) 標準 (Standard) 精細 200 dpi (Fine 200 dpi) スーパーファイン 300 dpi (Super Fine 300 dpi) ウルトラファイン 600 dpi (Ultra Fine 600 dpi)	FAX 用にスキャンする画像の解像度を指定します。
濃さ (Darkness) 1 ~ 9	出力を薄く (または濃く) します。 メモ: 工場出荷時は 5 に設定されています。
用紙の向き (Orientation) 縦長 (Portrait) 横長 (Landscape)	スキャン画像の向きを指定します。

メニュー項目	説明
原稿サイズ (Original Size) レター (Letter) リーガル (Legal) エグゼクティブ (Executive) タブロイド (Tabloid) フォリオ (Folio) ステートメント (Statement) ユニバーサル (Universal) 4 x 6 インチ (4 x 6 in.) 3 x 5 インチ (3 x 5 in.) 名刺 (Business Card) カスタムスキャンサイズ [x] (Custom Scan Size [x]) A3 A4 A5 Oficio (メキシコ) (Oficio (México)) JIS B4 JIS B5 ブックオリジナル (Book Original) 自動サイズ検知 (Auto Size Sense) 大きさ混在 (Mixed Sizes)	スキャンするドキュメントの用紙サイズを指定します。 メモ: 米国向けの工場出荷時設定は [レター (Letter)] になっています。 その他の国の工場出荷時設定は [A4] になっています。
複数ページ TIFF を使用 (Use Multi-Page TIFF) オン (On) オフ (Off)	シングルページ TIFF ファイルとマルチページ TIFF ファイルのどちらを使用するかを選択します。FAX ジョブにて複数のページをスキャンする場合、すべてのページを 1 つの TIFF ファイルにまとめることも、ページごとにファイルを作成して複数の TIFF ファイルにすることもできます。 メモ: - 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。 - このメニュー項目の設定は、すべてのスキャン機能に適用されます。
アナログ受信を有効化 (Enable Analog Receive) オフ (Off) オン (On)	FAX のアナログ受信を有効にします。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。

E メール設定 (E-mail Settings) メニュー

メニュー項目	説明
E メールサーバ設定 (E-mail Server Setup) 件名 (Subject) 本文 (Message) 基本ファイル名 (Base file name)	E メールサーバの情報を指定します。 メモ: • [件名 (Subject)] は 255 文字まで入力できます。 • [本文 (Message)] は 512 文字まで入力できます。
E メールサーバ設定 (E-mail Server Setup) 自分にコピーを送信 (Send me a copy) 表示しない (Never appears) 標準設定でオン (On by default) 標準設定でオフ (Off by default) 常にオン (Always On)	送信者自身に E メールのコピーを送信します。 メモ: 工場出荷時は [表示しない (Never appears)] に設定されています。
E メールサーバ設定 (E-mail Server Setup) Eメールの最大サイズ (Max E-mail size) 0 ~ 65535 KB	Eメールの最大サイズを KB で指定します。 メモ: 指定したサイズを超える Eメールは送信されません。
E メールサーバ設定 (E-mail Server Setup) サイズのエラーメッセージ (Size error message)	Eメールのサイズが設定された上限サイズを超えているとき、メッセージを送信します。
E メールサーバ設定 (E-mail Server Setup) 送信先を制限 (Limit destinations)	ドメイン名 (企業のドメイン名など) を指定して、そのドメイン名に対してのみ Eメールの送信を許可します。 メモ: • 指定したドメインに対してのみ Eメールを送信できます。 • 1つのドメインのみ指定できます。

メニュー項目	説明
E メールサーバ設定 (E-mail Server Setup) Web リンク設定 (Web Link Setup) サーバ (Server) ログイン (Login) パスワード (Password) パス (Path) 基本ファイル名 (Base file name) Web リンク (Web Link)	E メールサーバのパス名を設定します (例: /directory/path) メモ: *: ? < > の文字はパス名に使えません。
形式 (Format) PDF (.pdf) Secure PDF TIFF (.tif) JPEG (.jpg) XPS (.xps)	スキャン画像の形式を指定します。 メモ: 工場出荷時は [PDF (.pdf)] に設定されています。
PDF バージョン (PDF Version) 1.2 ~ 1.6 A ~ 1a	E メール用のスキャン時に作成する PDF ファイルのバージョンを設定します。 メモ: 工場出荷時は 1.5 に設定されています。
内容の種類 (Content Type) 文字/写真 (Text/Photo) 写真 (Photo) 文字 (Text) グラフィックス (Graphics)	原稿の種類を指定します。 メモ: 工場出荷時は [文字/写真 (Text/Photo)] に設定されています。

メニュー項目	説明
内容のソース (Content Source) カラーレーザー (Color Laser) インクジェット (Inkjet) 写真/フィルム (Photo/Film) 雑誌 (Magazine) 新聞 (Newspaper) 出版物 (Press) その他 (Other) モノクロレーザー (Black/White Laser)	原稿がどのように作成されたかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [カラーレーザー (Color Laser)] に設定されています。
カラー (Color) オン (On) オフ (Off)	カラーコピーかモノクロコピーかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。
解像度 (Resolution) 150 dpi 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi 75 dpi	スキャンの解像度をドット/インチ (dpi) で指定します。 メモ: 工場出荷時は 150 dpi に設定されています。
濃さ (Darkness) 1 ~ 9	出力を薄く (または濃く) します。 メモ: 工場出荷時は 5 に設定されています。
用紙の向き (Orientation) 縦長 (Portrait) 横長 (Landscape)	スキャン画像の向きを指定します。 メモ: 工場出荷時は [縦長 (Portrait)] に設定されています。

メニュー項目	説明
原稿サイズ (Original Size) レター (Letter) リーガル (Legal) エグゼクティブ (Executive) タブロイド (Tabloid) フォリオ (Folio) ステートメント (Statement) ユニバーサル (Universal) 4 x 6 インチ (4 x 6 in.) 3 x 5 インチ (3 x 5 in.) 名刺 (Business Card) カスタムスキャンサイズ [x] (Custom Scan Size [x]) A3 A4 A5 Oficio (メキシコ) (Oficio (México)) A6 JIS B4 JIS B5 ブックオリジナル (Book Original) 自動サイズ検知 (Auto Size Sense) 大きさ混在 (Mixed Sizes)	原稿の用紙サイズを指定します。 メモ: - 米国以外の国の工場出荷時設定は [A4] になっています。 - 米国向けの工場出荷時設定は [レター (Letter)] になっています。
印刷面 (両面印刷) (Sides (Duplex)) オフ (Off) 長辺 (Long Edge) 短辺 (Short Edge)	ページ上で文字や画像をどの向きに配置するかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。 [長辺 (Long Edge)] を選択すると、ページの長辺に沿って綴じるように (縦長の場合は左端、横長の場合は上端を綴じるように) 配置されます。 [短辺 (Short Edge)] を選択すると、ページの短辺に沿って綴じるように (縦長の場合は上端、横長の場合は左端を綴じるように) 配置されます。

メニュー項目	説明
JPEG 品質 (JPEG Quality) 内容に合わせて最適化 (Best for content) 5 ～ 90	JPEG 写真画像の品質 (ファイルサイズと画像品質) を設定します。 メモ: - 工場出荷時は [内容に合わせて最適化 (Best for content)] に設定されています。 5 に設定すると、画質は落ちますが、ファイルサイズも小さくなります。 90 に設定すると、画質は最高になりますが、ファイルサイズは非常に大きくなります。 - このメニュー項目の設定は、すべてのスキャン機能に適用されます。
テキスト標準設定 (Text Default) 5 ～ 90	文字画像の品質 (ファイルサイズと画像品質) を設定します。 メモ: 工場出荷時は 75 に設定されています。
文字/写真標準設定 (Text/Photo Default) 5 ～ 90	文字/写真画像の品質 (ファイルサイズと画像品質) を設定します。 メモ: 工場出荷時は 75 に設定されています。
写真標準設定 (Photo Default) 5 ～ 90	写真画像の品質 (ファイルサイズと画像品質) を設定します。 メモ: 工場出荷時は 50 に設定されています。
E メールによる画像送信方法 (E-mail images sent as) 添付 (Attachment) Web リンク (Web Link)	画像送信方法を指定します。 メモ: 工場出荷時は [添付 (Attachment)] に設定されています。
複数ページ TIFF を使用 (Use Multi-Page TIFF) オン (On) オフ (Off)	シングルページ TIFF ファイルとマルチページ TIFF ファイルのどちらを使用するかを選択します。スキャン画像の E メール送信ジョブにて複数のページをスキャンする場合、すべてのページを 1 つの TIFF ファイルにまとめることも、ページごとにファイルを作成して複数の TIFF ファイルにすることもできます。 メモ: - 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。 - このメニュー項目の設定は、すべてのスキャン機能に適用されます。
送信ログ (Transmission Log) ログを印刷 (Print log) ログを印刷しない (Do not print log) エラーのみ印刷 (Print only for error)	送信ログを印刷するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [ログを印刷 (Print log)] に設定されています。

メニュー項目	説明
給紙源を記録 (Log Paper Source) トレイ [x] (Tray [x]) 多目的フィーダ (Manual Feeder)	E メールログを印刷する際の給紙源を指定します。 メモ: 工場出荷時は [トレイ 1 (Tray 1)] に設定されています。
E メールビット深度 (E-mail Bit Depth) 8 ビット (8 bit) 1 ビット (1 bit)	[カラー (Color)] が [オフ (Off)] に設定されているとき、1 ビット画像を使用することで文字/写真モードのファイルサイズを小さくすることができます。 メモ: 工場出荷時は [8 ビット (8 bit)] に設定されています。
カスタムジョブスキャン (Custom Job scanning) オフ (Off) オン (On)	異なる用紙サイズを含むドキュメントを一度にコピーします。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
スキャンプレビュー (Scan Preview) オフ (Off) オン (On)	スキャンのプレビューをディスプレイに表示するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
ショートカットとして保存を許可 (Allow Save as Shortcut) オン (On) オフ (Off)	E メールアドレスをショートカットとして保存できるようにします。 メモ: - 工場出荷時は [オン (オン)] に設定されています。 [オフ (Off)] を選択すると、E メールの [送信先 (Destination)] 画面に [ショートカットとして保存 (Save as Shortcut)] ボタンが表示されません。
背景削除 (Background Removal) -4 ~ 4	スキャン画像における背景の濃さを調節します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。
カラーバランス (Color Balance) シアン - 赤 (Cyan - Red) マゼンタ - 緑 (Magenta - Green) イエロー - 青 (Yellow - Blue)	出力のカラーバランスが等しくなるようにします。

メニュー項目	説明
カラードロップアウト (Color Dropout) カラードロップアウト (Color Dropout) なし (None) 赤 (Red) 緑 (Green) 青 (Blue) 赤色 標準しきい値 (Default Red Threshold) 0 ~ 255 緑色 標準しきい値 (Default Green Threshold) 0 ~ 255 青色 標準しきい値 (Default Blue Threshold) 0 ~ 255	スキャンにてどの色をドロップアウトさせるか、また、どの程度ドロップアウトさせるかを指定します。 メモ: ・ [カラードロップアウト (Color Dropout)] の工場出荷時設定は [なし (None)] になっています。 ・ 各色のしきい値の工場出荷時設定は 128 になっています。
コントラスト (Contrast) 内容に合わせて最適化 (Best for content) 0 ~ 5	出力のコントラストを指定します。 メモ: 工場出荷時は [内容に合わせて最適化 (Best for content)] に設定されています。
左右反転 (Mirror Image) オフ (Off) オン (On)	原稿を左右反転した画像を作成します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
ネガイメージ (Negative Image) オフ (Off) オン (On)	原稿のネガイメージを作成します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
シャドウ描写 (Shadow Detail) -4 ~ 4	スキャン画像におけるシャドウ部の濃さを調節します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。
ADF 傾き補正 (ADF Skew Fix) オフ (Off) オン (On)	スキャン画像に僅かに生じたスキューを修正します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。

メニュー項目	説明
端までスキャン (Scan edge to edge) オフ (Off) オン (On)	原稿を用紙の端までスキャンするかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
シャープネス (Sharpness) 1 ~ 5	スキャン画像におけるシャープネスを調節します。 メモ: 工場出荷時は 3 に設定されています。
色温度 (Temperature) -4 ~ 4	出力の色温度を指定します。色温度を低くすると、標準より青く出力されます。一方、色温度を高くすると、標準より赤く出力されます。
cc:/bcc: を使用 (Use cc:/bcc:) オフ (Off) オン (On)	cc:/bcc: フィールドを有効にします。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。

FTP 設定（FTP Settings）メニュー

メニュー項目	説明
形式（Format） PDF (.pdf) Secure PDF (.pdf) TIFF (.tif) JPEG (.jpg) XPS (.xps)	FTP ファイルの形式を指定します。 メモ: 工場出荷時は [PDF (.pdf)] に設定されています。
PDF バージョン（PDF Version） 1.2 ~ 1.6 A ~ 1a	FTP で送信する PDF ファイルのバージョンを設定します。 メモ: 工場出荷時は 1.5 に設定されています。
内容の種類（Content Type） 文字/写真（Text/Photo） 写真（Photo） 文字（Text） グラフィックス （Graphics）	原稿の種類を指定します。 メモ: 工場出荷時は [文字/写真（Text/Photo）] に設定されています。
内容のソース（Content Source） カラーレーザー（Color Laser） インクジェット（Inkjet） 写真/フィルム （Photo/Film） 雑誌（Magazine） 新聞（Newspaper） 出版物（Press） その他（Other） モノクロレーザー （Black/White Laser）	原稿がどのように作成されたかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [カラーレーザー（Color Laser）] に設定されています。
カラー（Color） オン（On） オフ（Off）	カラーコピーかモノクロコピーかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [オン（On）] に設定されています。

メニュー項目	説明
解像度 (Resolution) 150 dpi 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi 75 dpi	スキャン画像の品質をドット/インチ (dpi) で指定します。 メモ: 工場出荷時は 150 dpi に設定されています。
濃さ (Darkness) 1 ~ 9	出力を薄く (または濃く) します。 メモ: 工場出荷時は 5 に設定されています。
用紙の向き (Orientation) 縦長 (Portrait) 横長 (Landscape)	スキャン画像の向きを指定します。 メモ: 工場出荷時は [縦長 (Portrait)] に設定されています。

メニュー項目	説明
原稿サイズ (Original Size) レター (Letter) リーガル (Legal) エグゼクティブ (Executive) タブロイド (Tabloid) フォリオ (Folio) ステートメント (Statement) ユニバーサル (Universal) 4 x 6 インチ (4 x 6 in.) 3 x 5 インチ (3 x 5 in.) 名刺 (Business Card) ID カード (ID Card) カスタムスキャンサイズ [x] (Custom Scan Size [x]) A3 A4 A5 Oficio (メキシコ) (Oficio (México)) A6 JIS B4 JIS B5 ブックオリジナル (Book Original) 自動サイズ検知 (Auto Size Sense) 大きさ混在 (Mixed Sizes)	原稿の用紙サイズを指定します。 メモ: - 米国以外の国の工場出荷時設定は [A4] になっています。 - 米国向けの工場出荷時設定は [レター (Letter)] になっています。
印刷面 (両面印刷) (Sides (Duplex)) オフ (Off) 長辺 (Long Edge) 短辺 (Short Edge)	ページ上で文字や画像をどの向きに配置するかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。 [長辺 (Long Edge)] を選択すると、ページの長辺に沿って綴じるように (縦長の場合は左端、横長の場合は上端を綴じるように) 配置されます。 [短辺 (Short Edge)] を選択すると、ページの短辺に沿って綴じるように (縦長の場合は上端、横長の場合は左端を綴じるように) 配置されます。

メニュー項目	説明
JPEG 品質 (JPEG Quality) 内容に合わせて最適化 (Best for content) 5 ～ 90	JPEG 写真画像の品質 (ファイルサイズと画像品質) を設定します。 メモ: - 工場出荷時は [内容に合わせて最適化 (Best for content)] に設定されています。 5 に設定すると、画質は落ちますがファイルサイズも小さくなります。 90 に設定すると、画質は最高になりますが、ファイルサイズが非常に大きくなります。 - このメニュー項目の設定は、すべてのスキャン機能に適用されます。
テキスト標準設定 (Text Default) 5 ～ 90	文字の品質 (ファイルサイズと画像品質) を設定します。 メモ: 工場出荷時は 75 に設定されています。
文字/写真標準設定 (Text/Photo Default) 5 ～ 90	文字/写真画像の品質 (ファイルサイズと画像品質) を設定します。 メモ: 工場出荷時は 75 に設定されています。
写真標準設定 (Photo Default) 5 ～ 90	写真画像の品質 (ファイルサイズと画像品質) を設定します。 メモ: 工場出荷時は 50 に設定されています。
複数ページ TIFF を使用 (Use Multi-Page TIFF) オン (On) オフ (Off)	シングルページ TIFF ファイルとマルチページ TIFF ファイルのどちらを使用するかを選択します。スキャン画像の FTP 送信ジョブにて複数のページをスキャンする場合、すべてのページを 1 つの TIFF ファイルにまとめることも、ページごとにファイルを作成して複数の TIFF ファイルにすることもできます。 メモ: - 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。 - このメニュー項目の設定は、すべてのスキャン機能に適用されます。
送信ログ (Transmission Log) ログを印刷 (Print log) ログを印刷しない (Do not print log) エラーのみ印刷 (Print only for error)	送信ログを印刷するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [ログを印刷 (Print log)] に設定されています。
給紙源を記録 (Log Paper Source) トレイ [x] (Tray [x]) 多目的フィーダ (Manual Feeder)	FTP ログを印刷する際の給紙源を指定します。 メモ: 工場出荷時は [トレイ 1 (Tray 1)] に設定されています。

メニュー項目	説明
FTP のビット深度 (FTP bit Depth) 8 ビット (8 bit) 1 ビット (1 bit)	[カラー (Color)] が [Off (オフ)] に設定されているとき、1 ビット画像を使用することで文字/写真モードのファイルサイズを小さくすることができます。 メモ: 工場出荷時は [8 ビット (8 bit)] に設定されています。
基本ファイル名 (Base file name)	ベースファイル名を入力します。 メモ: 最大 53 文字まで入力できます。
カスタムジョブスキャン (Custom Job scanning) オフ (Off) オン (On)	異なる用紙サイズを含むドキュメントをスキャンして 1 つのファイルにまとめます。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
スキャンプレビュー (Scan Preview) オフ (Off) オン (On)	スキャンのプレビューをディスプレイに表示するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
ショートカットとして保存を許可 (Allow Save as Shortcut) オン (On) オフ (Off)	FTP アドレスをショートカットとして保存できるようにします。 メモ: 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。
背景削除 (Background Removal) -4 ~ 4	コピーにおける背景の濃さを調節します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。
カラーバランス (Color Balance) シアン - 赤 (Cyan - Red) マゼンタ - 緑 (Magenta - Green) イエロー - 青 (Yellow - Blue)	出力のカラーバランスが等しくなるようにします。

メニュー項目	説明
カラードロップアウト (Color Dropout) カラードロップアウト (Color Dropout) なし (None) 赤 (Red) 緑 (Green) 青 (Blue) 赤色 標準しきい値 (Default Red Threshold) 0 ~ 255 緑色 標準しきい値 (Default Green Threshold) 0 ~ 255 青色 標準しきい値 (Default Blue Threshold) 0 ~ 255	スキャンにてどの色をドロップアウトさせるか、また、どの程度ドロップアウトさせるかを指定します。 メモ: ・ [カラードロップアウト (Color Dropout)] の工場出荷時設定は [なし (None)] になっています。 ・ 各色のしきい値の工場出荷時設定は 128 になっています。
コントラスト (Contrast) 0 ~ 5 内容に合わせて最適化 (Best for content)	出力のコントラストを指定します。 メモ: 工場出荷時は [内容に合わせて最適化 (Best for content)] に設定されています。
左右反転 (Mirror Image) オフ (Off) オン (On)	原稿を左右反転した画像を作成します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
ネガイメージ (Negative Image) オフ (Off) オン (On)	原稿のネガイメージを作成します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
シャドウ描写 (Shadow Detail) -4 ~ 4	スキャン画像におけるシャドウ部の濃さを調節します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。
ADF 傾き補正 (ADF Skew Fix) オフ (Off) オン (On)	スキャン画像に僅かに生じたスキューを修正します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。

メニュー項目	説明
端までスキャン (Scan edge to edge) オフ (Off) オン (On)	原稿を用紙の端までスキャンするかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
シャープネス (Sharpness) 1 ~ 5	スキャン画像におけるシャープネスを調節します。 メモ: 工場出荷時は 3 に設定されています。
色温度 (Temperature) -4 ~ 4	出力の色温度を指定します。色温度を低くすると、標準より青く出力されます。一方、色温度を高くすると、標準より赤く出力されます。

フラッシュドライブ（Flash Drive）メニュー

スキャン設定（Scan Settings）

メニュー項目	説明
形式（Format） PDF (.pdf) Secure PDF TIFF (.tif) JPEG (.jpg) XPS (.xps)	FTP で送信するファイルの形式を指定します。 メモ: 工場出荷時は [PDF (.pdf)] に設定されています。
PDF バージョン（PDF Version） 1.2 ~ 1.6 A ~ 1a	FTP で送信する PDF ファイルのバージョンを設定します。 メモ: 工場出荷時は 1.5 に設定されています。
内容の種類（Content Type） 文字/写真（Text/Photo） 写真（Photo） 文字（Text） グラフィックス（Graphics）	原稿の種類を指定します。 メモ: 工場出荷時は [文字/写真（Text/Photo）] に設定されています。
内容のソース（Content Source） カラーレーザー（Color Laser） インクジェット（Inkjet） 写真/フィルム（Photo/Film） 雑誌（Magazine） 新聞（Newspaper） 出版物（Press） その他（Other） モノクロレーザー（Black/White Laser）	原稿がどのように作成されたかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [カラーレーザー（Color Laser）] に設定されています。
カラー（Color） オン（On） オフ（Off）	カラーコピーかモノクロコピーかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [オン（On）] に設定されています。

メニュー項目	説明
解像度 (Resolution) 150 dpi 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi 75 dpi	スキヤンの解像度をドット/インチ (dpi) で指定します。 メモ: 工場出荷時は 150 dpi に設定されています。
濃さ (Darkness) 1 ~ 9	出力を薄く (または濃く) します。 メモ: 工場出荷時は 5 に設定されています。
用紙の向き (Orientation) 縦長 (Portrait) 横長 (Landscape)	スキヤン画像の向きを指定します。 メモ: 工場出荷時は [縦長 (Portrait)] に設定されています。

メニュー項目	説明
原稿サイズ (Original Size) レター (Letter) リーガル (Legal) エグゼクティブ (Executive) タブロイド (Tabloid) フォリオ (Folio) ステートメント (Statement) ユニバーサル (Universal) 4 x 6 インチ (4 x 6 in.) 3 x 5 インチ (3 x 5 in.) 名刺 (Business Card) ID カード (ID Card) カスタムスキャンサイズ [x] (Custom Scan Size [x]) A3 A4 A5 Oficio (メキシコ) (Oficio (México)) A6 JIS B4 JIS B5 ブックオリジナル (Book Original) 自動サイズ検知 (Auto Size Sense) 大きさ混在 (Mixed Sizes)	原稿の用紙サイズを指定します。 メモ: 米国向けの工場出荷時設定は [レター (Letter)] になっています。その他の国の工場出荷時設定は [A4] になっています。
印刷面 (両面印刷) (Sides (Duplex)) オフ (Off) 長辺 (Long Edge) 短辺 (Short Edge)	ページ上で文字や画像をどの向きに配置するかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。 [長辺 (Long Edge)] を選択すると、ページの長辺に沿って綴じるように (縦長の場合は左端、横長の場合は上端を綴じるように) 配置されます。 [短辺 (Short Edge)] を選択すると、ページの短辺に沿って綴じるように (縦長の場合は上端、横長の場合は左端を綴じるように) 配置されます。

メニュー項目	説明
JPEG 品質 (JPEG Quality) 内容に合わせて最適化 (Best for content) 5 ～ 90	JPEG 写真画像の品質 (ファイルサイズと画像品質) を設定します。 メモ: - 工場出荷時は [内容に合わせて最適化 (Best for content)] に設定されています。 5 に設定すると、画質は落ちますがファイルサイズも小さくなります。 90 に設定すると、画質は最高になりますが、ファイルサイズが非常に大きくなります。 - このメニュー項目の設定は、すべてのスキャン機能に適用されます。
テキスト標準設定 (Text Default) 5 ～ 90	文字の品質 (ファイルサイズと画像品質) を設定します。 メモ: 工場出荷時は 75 に設定されています。
文字/写真標準設定 (Text/Photo Default) 5 ～ 90	文字/写真画像の品質 (ファイルサイズと画像品質) を設定します。 メモ: 工場出荷時は 75 に設定されています。
写真標準設定 (Photo Default) 5 ～ 90	写真画像の品質 (ファイルサイズと画像品質) を設定します。 メモ: 工場出荷時は 50 に設定されています。
複数ページ TIFF を使用 (Use Multi-Page TIFF) オン (On) オフ (Off)	シングルページ TIFF ファイルとマルチページ TIFF ファイルのどちらを使用するかを選択します。FTP ジョブにて複数のページをスキャンする場合、すべてのページを 1 つの TIFF ファイルにまとめることも、ページごとにファイルを作成して複数の TIFF ファイルにすることもできます。 メモ: - 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。 - このメニュー項目の設定は、すべてのスキャン機能に適用されます。
スキャンビット深度 (Scan Bit Depth) 8 ビット (8 bit) 1 ビット (1 bit)	[カラー (Color)] が [オフ (Off)] に設定されているとき、1 ビット画像を使用することで文字/写真モードのファイルサイズを小さくすることができます。 メモ: 工場出荷時は [8 ビット (8 bit)] に設定されています。
ファイル名 (File Name)	ベースファイル名を入力します。 メモ: 最大 53 文字まで指定できます。

メニュー項目	説明
カスタムジョブスキャン (Custom Job scanning) オフ (Off) オン (On)	異なる用紙サイズを含むドキュメントをコピーして 1 つのコピー出力に まとめます。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
スキャンプレビュー (Scan Preview) オフ (Off) オン (On)	スキャンのプレビューをディスプレイに表示するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
背景削除 (Background Removal) -4 ~ 4	コピーにおける背景の濃さを調節します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。
カラーバランス (Color Balance) シアン - 赤 (Cyan - Red) マゼンタ - 緑 (Magenta - Green) イエロー - 青 (Yellow - Blue)	スキャン画像のカラーバランスが等しくなるようにします。
カラードロップアウト (Color Dropout) カラードロップアウト (Color Dropout) なし (None) 赤 (Red) 緑 (Green) 青 (Blue) 赤色 標準しきい値 (Default Red Threshold) 0 ~ 255 緑色 標準しきい値 (Default Green Threshold) 0 ~ 255 青色 標準しきい値 (Default Blue Threshold) 0 ~ 255	スキャンにてどの色をドロップアウトさせるか、また、どの程度ドロップ アウトさせるかを指定します。 メモ: • [カラードロップアウト (Color Dropout)] の工場出荷時設定は [な し (None)] になっています。 • 各色のしきい値の工場出荷時設定は 128 になっています。

メニュー項目	説明
コントラスト (Contrast) 内容に合わせて最適化 (Best for content) 0 ~ 5	スキャン画像のコントラストを指定します。 メモ: 工場出荷時は [内容に合わせて最適化 (Best for content)] に設定されています。
左右反転 (Mirror Image) オフ (Off) オン (On)	原稿を左右反転した画像を作成します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
ネガイメージ (Negative Image) オフ (Off) オン (On)	原稿のネガイメージを作成します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
シャドウ描写 (Shadow Detail) -4 ~ 4	スキャン画像におけるシャドウ部の濃さを調節します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。
ADF 傾き補正 (ADF Skew Fix) オフ (Off) オン (On)	スキャン画像に僅かに生じたスキューを修正します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
端までスキャン (Scan edge to edge) オフ (Off) オン (On)	原稿を用紙の端までスキャンするかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
シャープネス (Sharpness) 1 ~ 5	スキャン画像におけるシャープネスを調節します。 メモ: 工場出荷時は 3 に設定されています。
色温度 (Temperature) -4 ~ 4	出力の色温度を指定します。色温度を低くすると、標準より青く出力されます。一方、色温度を高くすると、標準より赤く出力されます。

印刷設定（Print Settings）

部数（Copies） 1 ～ 999	各印刷ジョブにおける標準の部数を指定します。 メモ: 工場出荷時は 1 に設定されています
給紙源（Paper Source） トレイ [x] (Tray [x]) 多目的フィーダ (MP Feeder) 手差し用紙 (Manual Paper) 手差し封筒 (Manual Envelope)	すべての印刷ジョブに対して標準設定給紙源を設定します。 メモ: 工場出荷時は [トレイ 1 (Tray 1)] に設定されています。
カラー（Color） カラー (Color) モノクロ (Black Only)	出力をカラーで印刷します。 メモ: 工場出荷時は [カラー (Color)] に設定されています。
丁合印刷（Collate） オン (On) (1,2,1,2,1,2) オフ (Off) (1,1,1,2,2,2)	コピーを 2 部以上印刷するときに、印刷順序が原稿のページと同じ順序になるようにします。 メモ: 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。
印刷面（両面印刷）（Sides (Duplex)） 片面 (1 sided) 両面 (2 sided)	片面印刷するか両面印刷するかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [片面 (1 sided)] に設定されています。
両面印刷の綴じ方（Duplex Binding） 長辺 (Long Edge) 短辺 (Short Edge)	両面印刷において、ページをどのように綴じるか、また、表面の印刷の向きに対して裏面をどの向きで印刷するかを指定します。 メモ: • [長辺 (Long Edge)] を選択すると、ページの長辺に沿って綴じるように（縦長の場合は左端、横長の場合は上端を綴じるように）配置されます。 • [短辺 (Short Edge)] を選択すると、ページの短辺に沿って綴じるように（縦長の場合は上端、横長の場合は左端を綴じるように）配置されます。
N アップ方向（Paper Saver Orientation） 自動 (Auto) 横長 (Landscape) 縦長 (Portrait)	マルチページドキュメントの向きを指定します。 メモ: 工場出荷時は [自動 (Auto)] に設定されています。この設定では、縦長で印刷するか横長で印刷するかはプリンタにより決定されます。

用紙の節約 (Paper Saver) オフ (Off) 2 アップ (2-Up) 3 アップ (3-Up) 4 アップ (4-Up) 6 アップ (6-Up) 9 アップ (9-Up) 12 アップ (12-Up) 16 アップ (16-Up)	複数のページイメージを用紙の片面に印刷します。 メモ: - 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。 - ここで選択する値は、用紙の 1 面あたりに印刷されるページイメージの数を表します。
N アップの枠 (Paper Saver Border) なし (None) 実線 (Solid)	各ページイメージの周りに枠を印刷します。 メモ: 工場出荷時は [なし (None)] に設定されています。
N アップ配列 (Paper Saver Ordering) 横方向 (左から) (Horizontal) 横方向 (右から) (Reverse Horizontal) 縦方向 (右から) (Reverse Vertical) 縦方向 (左から) (Vertical)	マルチページイメージの配置を指定します。 メモ: - 工場出荷時は [横方向 (左から) (Horizontal)] に設定されています。 - マルチページイメージの配置は、ページイメージの数およびページイメージの向き (縦長か横長か) によって異なります。
区切り紙 (Separator Sheets) オフ (Off) 各部の間 (Between Copies) 各ジョブの間 (Between Jobs) 各ページの間 (Between Pages)	白紙の区切り紙を挿入するかどうかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。 [各部の間 (Between Copies)] を選択し、[丁合印刷 (Collate)] が [オン (On)] に設定されている場合、各部の間に白紙が挿入されます。[丁合印刷 (Collate)] が [オフ (Off)] に設定されている場合は、各ページ番号の束ごとに白紙が挿入されます (1 ページ目の束の後、2 ページ目の束の後、など) [各ジョブの間 (Between Jobs)] を選択すると、各ジョブの間に白紙が挿入されます。 [各ページの間 (Between Pages)] を選択すると、各ページの間に白紙が挿入されます。この設定は、OHP フィルムを使用する場合や、メモ用のページとして白紙を挿入する場合に便利です。

区切り紙給紙源 (Separator Sheet Source) トレイ [x] (Tray [x]) 多目的フィーダ (Manual Feeder)	区切り紙の給紙源を指定します。 メモ: - 工場出荷時は [トレイ [x] (Tray [x])] に設定されています。 [多目的フィーダ (Manual Feeder)] を表示するには、[用紙 (Paper)] メニューの [多目的フィーダ設定 (Configure MP)] にて [カセット (Casette)] を設定する必要があります。
空白ページ (Blank Pages) 印刷しない (Do Not Print) 印刷する (Print)	印刷ジョブで空白ページを挿入するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [印刷しない (Do Not Print)] に設定されています。

印刷設定（Print Settings）

セットアップ（Setup）メニュー

メニュー項目	説明
プリンタ言語（Printer Language） PS エミュレーション（PS Emulation ） PCL エミュレーション（PCL Emulation ）	標準のプリンタ言語を設定します。 メモ: - プリンタ言語の工場出荷時設定は「PS エミュレーション（PS Emulation ）」になっています。 - プリンタで設定した標準言語にかかわらず、ソフトウェアから他の言語の印刷データを送信することができます。
待機中のジョブ（Job Waiting） オフ（Off） オン（On）	プリンタオプションやカスタム設定で指定したリソースを利用できないために待機中の印刷ジョブを、印刷キューから削除します。これらの印刷ジョブは独立した印刷キューに格納されているため、他の印刷ジョブは通常どおり実行されます。利用できなかったリソースが利用できるようになると、印刷キューに格納されていた待機中のジョブが印刷されます。 メモ: - 工場出荷時は「オフ（Off）」に設定されています。 - このメニュー項目は、書き込み可能なハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。これにより、プリンタの電源がオフになっても、キューに格納されている印刷ジョブが消えることはありません。
印刷領域（Print Area） 普通（Normal） 用紙全体（Whole Page）	論理的/物理的に印刷可能な領域を設定します。 メモ: - 工場出荷時は「普通（Normal）」に設定されています。このとき、「普通（Normal）」の設定で定義された印刷不可能領域に印刷しようとすると、印刷領域の境界で画像がクリップされます。 「用紙全体（Whole Page）」を選択すると、「普通（Normal）」の設定で定義された印刷不可能領域に画像を移動することができます。ただし、「Normal（普通）」の設定で定義された境界にてその画像がクリップされます。「用紙全体（Whole Page）」の設定は、PCL 5e インタープリターを使用して印刷するページにのみ適用されます。PCL XL インタープリターまたは PostScript インタープリターを使用して印刷するページには適用されません。

メニュー項目	説明
プリンタ使用方法 (Printer Usage) 速度優先 (Max Speed) 枚数優先 (Max Yield)	印刷時のカラートナー使用方法を指定します。 メモ: - 工場出荷時は [速度優先 (Max Speed)] に設定されています。 - プリンタドライバの設定がこの設定に優先します。
モノクロモード (Black Only Mode) オフ (Off) オン (On)	文字や画像をブラックカートリッジのみを使って印刷します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
ダウンロード先 (Download Target) RAM フラッシュメモリ (Flash) ハードディスク (Disk)	ダウンロードデータの保存場所を指定します。 メモ: - 工場出荷時は [RAM] に設定されています。この設定では、ダウンロードデータが RAM に一時保存されます。 - フラッシュメモリまたはハードディスクに保存する場合、ダウンロードデータは恒久的に保存されます。この場合、プリンタの電源がオフになっても、ダウンロードデータはフラッシュメモリやハードディスクに残ります。 - このメニュー項目は、フラッシュメモリやハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。
リソース保存 (Resource Save) オフ (Off) オン (On)	実際のメモリ空き容量より多くのメモリを必要とするジョブを受信したときに、RAM に一時保存されているダウンロードデータ (フォントやマクロなど) をどのように処理するかを指定します。 メモ: [オフ (Off)] を選択すると、メモリが不足するまでダウンロードデータが保持されます。ただし、印刷ジョブを処理するのに必要な場合はダウンロードデータが削除されます。 [オン (On)] を選択すると、言語を変更したりプリンタをリセットしたりしても、ダウンロードデータが保持されます。また、プリンタのメモリが不足すると、"38 Memory Full"のメッセージが表示されますが、ダウンロードデータは削除されません。

メニュー項目	説明
[全て印刷] の順序 (Print All Order) アルファベット順 (Alphabetical) 古い順 (Oldest First) 新しい順 (Newest First)	[全て印刷 (Print All)] が選択されたとき、保留または コンフィデンシャル印刷ジョブをどの順序で印刷するかを 指定します。 メモ: 工場出荷時は [アルファベット順 (Alphabetical)] に設定されています。なお、プリンタ操作パネルには常に アルファベット順で印刷ジョブが表示されます。

ジョブ統計情報 (Job Accounting) メニュー

メモ: このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。なお、読み取り専用の（または書き込みプロテクトされた）ハードディスクが実装されている場合、このメニューの機能は使用できません。

メニュー項目	説明
ジョブ統計情報のログ (Job Accounting Log) オフ (Off) オン (On)	プリンタが受信した印刷ジョブのログを作成するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
ジョブ統計情報のユーティリティ (Job Accounting Utilities)	印刷ジョブのログファイルを削除 (またはフラッシュドライブにエクスポート) します。
ジョブ統計情報のログ頻度 (Accounting Log Frequency) 毎月 (Monthly) 毎週 (Weekly)	ログファイルの作成頻度を指定します。 メモ: 工場出荷時は [毎月 (Monthly)] に設定されています。
ログ作成頻度ごとの動作 (Log Action at End of Frequency) なし (None) 現在のログを E メールで送信 (E-mail Current Log) 現在のログを E メールで送信して削除 (E-mail & Delete Current Log) 現在のログを送信 (Post Current Log) 現在のログを送信して削除 (Post & Delete Current Log)	ログ作成周期ごとにプリンタがどのように動作するかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [なし (None)] に設定されています。
ディスク殆ど満杯レベル (Disk Near Full Level) 1 ~ 99 オフ (Off)	ディスク殆ど満杯時の操作 (Disk Near Full Action) を実行する直前のログファイルの最大サイズを指定します。 メモ: 工場出荷時は 5 MB に設定されています。

メニュー項目	説明
ディスク殆ど満杯時の操作 (Disk Near Full Action) なし (None) 現在のログを E メールで送信 (E-mail Current Log) 現在のログを E メールで送信して削除 (E-mail & Delete Current Log) 最も古いログを E メール送信して削除 (E-mail & Delete Oldest Log) 現在のログを送信 (Post Current Log) 現在のログを送信して削除 (Post & Delete Current Log) 最も古いログをポストして削除 (Post & Delete Oldest Log) 現在のログを削除 (Delete Current Log) 最も古いログを削除 (Delete Oldest Log) 現在のログ以外すべて削除 (Delete All But Current) すべてのログを削除 (Delete All Logs)	プリンタのハードディスクがほぼ満杯になったときのプリンタの動作を指定します。 メモ: - 工場出荷時は [なし (None)] に設定されています。 - このメニュー項目の動作をいつ実行させるかは、[ディスク殆ど満杯レベル (Disk Near Full Level)] にて指定します。

メニュー項目	説明
ディスク満杯時の操作 (Disk Full Action) なし (None) 現在のログを E メールで送信して削除 (E-mail & Delete Current Log) 最も古いログを E メール送信して削除 (E-mail & Delete Oldest Log) 現在のログを送信して削除 (Post & Delete Current Log) 最も古いログをポストして削除 (Post & Delete Oldest Log) 現在のログを削除 (Delete Current Log) 最も古いログを削除 (Delete Oldest Log) 現在のログ以外すべて削除 (Delete All But Current) すべてのログを削除 (Delete All Logs)	ディスク使用量が上限 (100 MB) に達したときのプリンタの動作を指定します。 メモ: 工場出荷時は [なし (None)] に設定されています。
ログの送信先 URL (URL to Post Logs)	ジョブ統計情報のログをどこにポストするかを指定します。
ログを送信するための E メールアドレス (E-mail Address to Send Logs)	ジョブ統計情報のログを送信する E メールアドレスを指定します。
ログファイルのプレフィックス (Log File Prefix)	メモ: [TCP/IP] メニューで現在設定されているホスト名が、ログファイルの標準のプレフィックスとして使用されます。

仕上げ（Finishing）メニュー

メニュー項目	説明
印刷面（両面印刷）（Sides (Duplex)） 片面（1 sided） 両面（2 sided）	すべての印刷ジョブにおいて標準で両面印刷するかどうかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は「片面（1 sided）」に設定されています。 - ソフトウェアから両面印刷を指定することができます。Windows の場合、[ファイル (File)] > [印刷 (Print)] をクリックしてから、[プロパティ (Properties)]、[基本設定 (Preferences)]、[オプション (Options)]、[セットアップ (Setup)] のいずれかをクリックします。Macintosh の場合は、[ファイル (File)] > [印刷 (Print)] を選択してから、印刷ダイアログとポップアップメニューにて設定を変更します。
両面印刷の綴じ方（Duplex Binding） 長辺（Long Edge） 短辺（Short Edge）	両面印刷において、ページをどのように綴じるか、また、表面の印刷の向きに対して裏面をどの向きで印刷するかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は「長辺（Long Edge）」に設定されています。 「Long Edge（長辺）」を選択すると、ページの長辺に沿って綴じるように（縦長の場合は左端、横長の場合は上端を綴じるように）配置されます。 「短辺（Short Edge）」を選択すると、ページの短辺に沿って綴じるように（縦長の場合は上端、横長の場合は左端を綴じるように）配置されます。
部数（Copies） 1 ～ 999	各印刷ジョブにおける標準の部数を指定します。 メモ: 工場出荷時は 1 に設定されています。
空白ページ（Blank Pages） 印刷しない（Do Not Print） 印刷する（Print）	印刷ジョブで空白ページを挿入するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は「印刷しない（Do Not Print）」に設定されています。
丁合印刷（Collate） オン（On） (1,2,1,2,1,2) オフ（Off） (1,1,1,2,2,2)	コピーを 2 部以上印刷するときに、印刷順序が原稿のページと同じ順序になるようにします。 メモ: - 工場出荷時は「オン（On）」に設定されています。この設定では、ページの丁合は行われません。 「オン（On）」を選択すると、原稿と同じ順序で印刷されます。 - いずれの場合も、[部数 (Copies)] メニューで設定された部数のページがすべて印刷されます。

メニュー項目	説明
区切り紙 (Separator Sheets) オフ (Off) 各部の間 (Between Copies) 各ジョブの間 (Between Jobs) 各ページの間 (Between Pages)	白紙の区切り紙を挿入するかどうかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。 [各部の間 (Between Copies)] を選択し、[丁合印刷 (Collate)] が [オン (On)] に設定されている場合、各部の間に白紙が挿入されます。[丁合印刷 (Collate)] が [オフ (Off)] に設定されている場合は、各ページ番号の束ごとに白紙が挿入されます (1 ページ目の束の後、2 ページ目の束の後、など) [各ジョブの間 (Between Jobs)] を選択すると、各ジョブの間に白紙が挿入されます。 [各ページの間 (Between Pages)] を選択すると、各ページの間に白紙が挿入されます。この設定は、OHP フィルムを使用する場合や、メモ用のページとして白紙を挿入する場合に便利です。
区切り紙給紙源 (Separator Sheet Source) トレイ [x] (Tray [x]) 多目的フィーダ (Manual Feeder)	区切り紙の給紙源を指定します。 メモ: 工場出荷時はトレイ 1 (標準トレイ) に設定されています。
用紙の節約 (Paper Saver) オフ (Off) 2 アップ (2-Up) 3 アップ (3-Up) 4 アップ (4-Up) 6 アップ (6-Up) 9 アップ (9-Up) 12 アップ (12-Up) 16 アップ (16-Up)	複数のページイメージを用紙の片面に印刷します。 メモ: - 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。 - ここで選択する値は、用紙の 1 面あたりに印刷されるページイメージの数を表します。
N アップ配列 (Paper Saver Ordering) 横方向 (左から) (Horizontal) 横方向 (右から) (Reverse Horizontal) 縦方向 (右から) (Reverse Vertical) 縦方向 (左から) (Vertical)	マルチページイメージの配置を指定します。 メモ: - 工場出荷時は [横方向 (左から) (Horizontal)] に設定されています。 - マルチページイメージの配置は、ページイメージの数およびページイメージの向き (縦長か横長か) によって異なります。

メニュー項目	説明
N アップ方向 (Paper Saver Orientation) 自動 (Auto) 横長 (Landscape) 縦長 (Portrait)	マルチページドキュメントの向きを指定します。 メモ: 工場出荷時は [自動 (Auto)] に設定されています。この設定では、縦長で印刷するか横長で印刷するかはプリンタにより決定されます。
N アップの枠 (Paper Saver Border) なし (None) 実線 (Solid)	各ページイメージの周りに枠を印刷します。 メモ: 工場出荷時は [なし (None)] に設定されています。

印刷品質（Quality）メニュー

メニュー項目	説明
印刷モード（Print Mode） カラー（Color） モノクロ（Black Only）	画像をモノクロのグレースケールで印刷するかカラーで印刷するかを指定します。 メモ： 工場出荷時は［カラー（Color）］に設定されています。
カラー補正（Color Correction） 自動（Auto） オフ（Off） 手動（Manual）	印刷されたページの色を調整します。 メモ： - 工場出荷時は［自動（Auto）］に設定されています。この設定では、印刷されたページ上の各オブジェクトに対して異なる色変換テーブルが適用されます。 ［オフ（Off）］を選択すると、色補正は行われません。 ［手動（Manual）］を選択した場合、［手動カラー（Manual Color）］メニューにて色変換テーブルをカスタマイズすることができます。 - 色の加減算の結果が異なるため、コンピュータのモニター上の色と印刷されたページ上の色は完全には一致しません。
印刷解像度（Print Resolution） 1200 Image Q	印刷出力の解像度を指定します。
トナーの濃さ（Toner Darkness） 1 ～ 5	印刷出力を薄く（または濃く）します。 メモ： - 工場出荷時は 4 に設定されています。 - 値を小さくすると、トナーを節約することができます。 ［印刷モード（Print Mode）］が［モノクロ（Black Only）］に設定されているときに［トナーの濃さ（Toner Darkness）］を 5 に設定すると、トナーの密度が高くなってすべての印刷出力が濃くなります。 ［印刷モード（Print Mode）］が［カラー（Color）］に設定されている場合、［トナーの濃さ（Toner Darkness）］を 5 に設定しても、設定値が 4 の場合と同じ濃さになります。

メニュー項目	説明
細かい線を強調 (Enhance Fine Lines) オフ (Off) オン (On)	建築図面や地図、電気回路図、フローチャートなどに適した印刷モードを設定します。 メモ: - 建築図面や地図、電気回路図、フローチャートなどに適した印刷モードを設定します。 - このオプションは、ソフトウェアから設定することができます。Windows の場合、[ファイル (File)] > [印刷 (Print)] をクリックしてから、[プロパティ (Properties)]、[基本設定 (Preferences)]、[オプション (Options)]、[セットアップ (Setup)] のいずれかをクリックします。Macintosh の場合は、[ファイル (File)] > [印刷 (Print)] を選択してから、印刷ダイアログとポップアップメニューにて設定を変更します。 - 内蔵 WEB サーバ(EWS) から [細かい線を強調 (Enhance Fine Lines)] を設定するには、お使いの Web ブラウザのアドレスフィールドに、ネットワークプリンタの IP アドレスを入力します。
カラートナー節約 (Color Saver) オフ (Off) オン (On)	グラフィックスや画像の印刷に使用するトナーの量を減らします (文字の印刷に使用するトナーの量は減りません)。 メモ: - 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。 [オン (On)] を選択すると、この設定が [トナーの濃さ (Toner Darkness)] の設定に優先します。
RGB 明るさ (RGB Brightness) -6 ~ 6	カラー出力の明るさを調節します。 メモ: - 工場出荷時は 0 に設定されています。 -6 にすると一番暗くなります。6 にすると一番明るくなります。 - この設定は、CMYK 色空間を使用しているファイルには影響しません。
RGB コントラスト (RGB Contrast) 0 ~ 5	カラー出力のコントラストを調節します。 メモ: - 工場出荷時は 0 に設定されています。 - この設定は、CMYK 色空間を使用しているファイルには影響しません。
RGB 彩度 (RGB Saturation) 0 ~ 5	カラー出力の彩度を調節します。 メモ: - 工場出荷時は 0 に設定されています。 - この設定は、CMYK 色空間を使用しているファイルには影響しません。

メニュー項目	説明
カラーバランス (Color Balance) シアン (Cyan) -5 ~ 5 マゼンタ (Magenta) -5 ~ 5 イエロー (Yellow) -5 ~ 5 ブラック (Black) -5 ~ 5 標準設定に戻す (Reset Defaults)	各色のトナー使用量を増減させて、印刷出力の色を調整します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。
カラーサンプル (Color Samples) sRGB 画面 (sRGB Display) sRGB 鮮明 (sRGB Vivid) 画面 — トゥルーブラック (Display True Black) 鮮明 (Vivid) オフ — RGB (Off—RGB) US CMYK (US CMYK) ユーロ CMYK (Euro CMYK) 鮮明 CMYK (Vivid CMYK) オフ — CMYK (Off—CMYK)	プリンタで使用されている RGB/CMYK の各種色変換テーブルのサンプルページを印刷します。 メモ: • ユーザーが選択したサンプルが印刷されます。 • カラーサンプルには、RGB または CMYK の値とともに、色見本のボックスが表示されます。印刷されたページは、目的の印刷出力において RGB と CMYK のどちらが適しているかを判断するのに役立ちます。 • 内蔵 WEB サーバ(EWS) からカラーサンプルのページを表示するには、ブラウザウィンドウにてプリンタの IP アドレスを入力します（このページには、すべてのカラーサンプルが一覧表示されます）。

メニュー項目	説明
手動カラー (Manual Color) RGB イメージ (RGB Image) 鮮明 (Vivid) sRGB 画面 (sRGB Display) 画面 - トゥルーブラック (Display True Black) sRGB 鮮明 (sRGB Vivid) オフ (Off) RGB テキスト (RGB Text) Vivid (鮮明) sRGB 画面 (sRGB Display) 画面 - トゥルーブラック (Display True Black) sRGB 鮮明 (sRGB Vivid) オフ (Off) RGB グラフィックス (RGB Graphics) Vivid (鮮明) sRGB 画面 (sRGB Display) 画面 - トゥルーブラック (Display True Black) sRGB 鮮明 (sRGB Vivid) オフ (Off)	RGB の色変換をカスタマイズします。 メモ: • [RGB イメージ (RGB Image)] の工場出荷時設定は [sRGB 画面 (sRGB Display)] になっています。この設定では、コンピュータのディスプレイに適した色変換テーブルが適用されます。 • [RGB テキスト (RGB Text)] および [RGB グラフィックス (RGB Graphics)] の工場出荷時設定は [sRGB 鮮明 (sRGB Vivid)] になっています。この設定は、グラフィックスや文字の業務印刷に適しています。 • [Vivid (鮮明)] を選択すると、明度と彩度がより高い色変換テーブルが適用されます。 • [画面 - トゥルーブラック (Display True Black)] を選択すると、ブラクトナーのみでグレーの中間色を表現する色変換テーブルが適用されます。 • [オフ (Off)] を選択すると、色変換は行われません。

メニュー項目	説明
手動カラー (Manual Color) CMYK イメージ (CMYK Image) US CMYK (US CMYK) ユーロ CMYK (Euro CMYK) 鮮明 CMYK (Vivid CMYK) オフ (Off) CMYK Text US CMYK (US CMYK) ユーロ CMYK (Euro CMYK) 鮮明 CMYK (Vivid CMYK) オフ (Off) CMYK Graphics US CMYK (US CMYK) ユーロ CMYK (Euro CMYK) 鮮明 CMYK (Vivid CMYK) オフ (Off)	CMYK の色変換をカスタマイズします。 メモ: - 米国向けの工場出荷時設定は [US CMYK (US CMYK)] になっています。この設定では、SWOP カラー出力に近い色を作成する色変換テーブルが適用されます。 - 米国以外の国の工場出荷時設定は [ユーロ CMYK (Euro CMYK)] になっています。この設定では、EuroScale カラー出力に近い色を作成する色変換テーブルが適用されます。 [鮮明 CMYK (Vivid CMYK)] を選択すると、[US CMYK (US CMYK)] より彩度の高い色変換テーブルが適用されます。 [オフ (Off)] を選択すると、色変換は行われません。
スポット色交換 (Spot Color Replacement)	指定した CMYK 値を、名前付きのスポット色に割り当てます。
カラー調整 (Color Adjust)	色変換テーブルを再校正し、出力における色偏差を補正します。 メモ: - このメニューを選択すると、カラー調整が開始されます。カラー調整中は、ディスプレイに "Adjusting" と表示されます。 - プリンタ周囲の変化しやすい環境 (部屋の温度や湿度など) によって、出力の色偏差が引き起こされる場合があります。そのような場合に、プリンタのアルゴリズムによってカラー調整することができます。また、カラー調整を実行すると、カラーアライメントが再校正されます。

ユーティリティ（Utilities）メニュー

メニュー項目	説明
保留ジョブを削除（Remove Held Jobs） コンフィデンシャル（Confidential） 保留（Held） 復元されなかったジョブ（Not Restored） すべて（All）	プリンタのハードディスクから、コンフィデンシャルまたは保留のジョブを削除します。 メモ: - 選択した設定は、プリンタに保存されている印刷ジョブにのみ適用されます。ブックマーク、フラッシュドライブに保存されている印刷ジョブ、およびその他の保留ジョブには適用されません。 〔復元されなかったジョブ（Not Restored）〕を選択すると、プリンタのハードディスクやメモリから復元できなかった印刷ジョブや保留ジョブをすべて削除します。
フラッシュメモリをフォーマット（Format Flash） はい（Yes） いいえ（No）	フラッシュメモリをフォーマットします。 警告—損傷の恐れあり: フラッシュメモリをフォーマット中は、プリンタの電源をオフにしないでください。 メモ: 〔はい（Yes）〕を選択すると、フラッシュメモリに保存されているデータがすべて削除されます。 〔いいえ（No）〕を選択すると、フォーマットは行われません。 - ここでいうフラッシュメモリとは、プリンタに挿入されたフラッシュメモリオプションカードのことを指します。 - このメニュー項目の機能を実行するには、フラッシュメモリオプションカードがプリンタに実装されており、そのカードが正しく動作している必要があります。 - 読み取り専用または書き込みプロテクトされているフラッシュメモリオプションカードが実装されている場合、このメニューの機能は使用できません。
ディスク上のダウンロードしたデータを削除（Delete Downloads on Disk） 今すぐ削除（Delete Now） 削除しない（Do Not Delete）	プリンタのハードディスクに保存されているダウンロードデータ（保留ジョブ、パuffaされたジョブ、一時退避されたジョブなど）を削除します。 メモ: 〔今すぐ削除（Delete Now）〕を選択すると、削除完了後にプリンタ操作パネルが元の画面に戻ります。 〔削除しない（Do Not Delete）〕を選択すると、プリンタ操作パネルが〔ユーティリティ（Utilities）〕のメインメニューに戻ります。

メニュー項目	説明
16 進トレースの有効化 (Activate Hex Trace)	印刷ジョブで発生した問題の原因を特定する手掛かりとなる情報を表示します。 メモ: 16 進トレースを有効にすると、プリンタに送信されたデータはすべて 16 進数とキャラクタ文字で印刷されます。また、制御コードは実行されません。 16 進トレースを終了する（または無効にする）には、プリンタの電源をオフにするか、プリンタをリセットします。
印刷比率の推定 (Coverage Estimator) オフ (Off) オン (On)	ページ当たりのトナー使用率推定値を出力します。この推定値は、各印刷ジョブの最後に追加ページとして別途印刷されます。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。

XPS メニュー

メニュー項目	説明
エラーページを印刷 (Print Error Pages) オフ (Off) オン (On)	エラー情報 (XML マークアップエラーなど) を含むページを印刷します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。

PDF メニュー

メニュー項目	説明
用紙に合わせる (Scale to Fit) はい (Yes) いいえ (No)	選択した用紙サイズに合わせてページの内容を拡大/縮小します。 メモ: 工場出荷時は [いいえ (No)] に設定されています。
注釈 (Annotations) 印刷しない (Do Not Print) 印刷する (Print)	PDF に注釈を印刷します。 メモ: 工場出荷時は [印刷しない (Do Not Print)] に設定されています。

PostScript メニュー

メニュー項目	説明
PS エラーを印刷 (Print PS Error) オフ (Off) オン (On)	PostScript のエラー情報を含むページを印刷します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
PS スタートアップモードをロック (Lock PS Startup Mode) オフ (Off) オン (On)	SysStart ファイルを無効にします。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
フォント優先順位 (Font Priority) 常駐 (Resident) フラッシュメモリ/ハードディスク (Flash/Disk)	フォントの検索順序を指定します。 メモ: - 工場出荷時は [常駐 (Resident)] に設定されています。 - このメニュー項目は、フォーマット済みのフラッシュメモリオプションカード（またはフォーマット済みのハードディスク）がプリンタに実装されており、それらが正常に動作しているときのみ表示されます。 - フラッシュメモリオプションカードまたはハードディスクが、読み取り専用でない（または書き込みプロテクトやパスワードプロテクトされていない）ことを確認してください。 [ジョブバッファサイズ (Job Buffer Size)] は 100% に設定しないでください。
イメージ平滑化 (Image Smoothing) オフ (Off) オン (On)	解像度が低い画像のコントラストやシャープネスを強調し、色の変化を滑らかにします。 メモ: - 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。 300 dpi 以上の解像度を持つ画像には、[イメージ平滑化 (Image Smoothing)] の設定は効果がありません。

PCL エミュレーション (PCL Emul) メニュー

メニュー項目	説明
フォントソース (Font Source) 常駐 (Resident) ハードディスク (Disk) ダウンロード (Download) フラッシュメモリ (Flash) すべて (All)	[Font Name] メニュー項目で使用するフォントファミリを指定します。 メモ: - 工場出荷時は [常駐 (Resident)] に設定されています。この設定では、RAM にダウンロードされている工場出荷時のフォントファミリが表示されます。 [フラッシュメモリ (Flash)] および [ハードディスク (Disk)] を選択した場合、それらに格納されているフォントがすべて表示されます。 [フラッシュメモリ (Flash)] を選択した場合、フラッシュメモリオプションカードが正しくフォーマットされており、そのカードが読み取り専用でない (または書き込みプロテクトやパスワードプロテクトされていない) ことを確認してください。 [ダウンロード (Download)] を選択すると、RAM にダウンロードされたフォントがすべて表示されます。 [すべて (All)] を選択すると、すべての場所にあるすべてのフォントが表示されます。
フォント名 (Font Name) Courier 10	フォントおよびその格納場所を指定します。 メモ: 工場出荷時は [Courier 10] に設定されています。この設定では、フォント名やフォント ID、プリンタ内のフォント格納場所が表示されます。フォントの格納場所は、次のように略号で表示されます: R (常駐)、F (フラッシュメモリ)、K (ハードディスク)、D (ダウンロード)
シンボルセット (Symbol Set) 10U PC-8 12U PC-850	各フォント名のシンボルセットを指定します。 メモ: - 米国向けの工場出荷時設定は [10U PC-8] になっています。その他の国の工場出荷時設定は [12U PC-850] になっています。 - シンボルセットとは、英数字、句読点、および特殊文字の集まりのことです。シンボルセットは、さまざまな言語や特殊なプログラム (科学文書で使う数学記号など) に対応しています。なお、プリンタにてサポートされているシンボルセットのみ表示されます。
PCL エミュレーション設定 (PCL Emulation Settings) ポイントサイズ (Point Size) 1.00 ~ 1008.00	印刷用スケーラブルフォントのポイントサイズを変更します。 メモ: - 工場出荷時は 12 に設定されています。 - ポイントサイズとは、フォントの文字の高さのことです。1 ポイントは約 1/72 インチです。 - ポイントサイズは 0.25 ポイント単位で変更できます。

メニュー項目	説明
PCL エミュレーション設定 (PCL Emulation Settings) ピッチ (Pitch) 0.08 ~ 100	固定幅スケーラブルフォントのピッチを指定します。 メモ: - 工場出荷時は 10 に設定されています。 - ピッチとは、1 インチ当たりの固定幅文字の数 (dpi) のことです。 - ピッチは 0.01 dpi 単位で変更できます。 - 非スケーラブルな固定幅フォントの場合、ピッチは画面に表示されますが、その値を変更することはできません。
PCL エミュレーション設定 (PCL Emulation Settings) 用紙の向き (Orientation) 縦長 (Portrait) 横長 (Landscape)	ページに印刷される文字や画像の向きを指定します。 メモ: - 工場出荷時は [縦長 (Portrait)] に設定されています。この設定では、文字や画像はページの短辺と並行に印刷されます。 [横長 (Landscape)] を選択する、文字や画像はページの長辺と並行に印刷されます。
PCL エミュレーション設定 (PCL Emulation Settings) 1 ページ当たりの行数 (Lines per Page) 1 ~ 255 60 64	1 ページ当たりの印刷行数を指定します。 メモ: - 米国向けの工場出荷時設定は 60 になっています。その他の国の工場出荷時設定は 64 になっています。 - 行間のスペースは、[1 ページ当たりの行数 (Lines per Page)] や [用紙サイズ (Paper Size)]、[用紙の向き (Orientation)] の設定に基づいて、プリンタにより設定されます。なお、[1 ページ当たりの行数 (Lines per Page)] を設定する前に、[用紙サイズ (Paper Size)] や [用紙の向き (Orientation)] を適切に設定してください。
PCL エミュレーション設定 (PCL Emulation Settings) A4 サイズの幅 (A4 Width) 198 mm 203 mm	A4 用紙の印刷設定を行います。 メモ: - 工場出荷時は 198 mm に設定されています。 [203 mm] を選択すると、ピッチが 10 の文字を 1 行当たり 80 文字印刷することができます。
PCL エミュレーション設定 (PCL Emulation Setting) LF 後に CR を自動実行 (Auto CR after LF) オフ (Off) オン (On)	ラインフィード (LF) 制御コマンドの後にキャリッジリターン (CR) 制御コマンドを自動実行するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。

メニュー項目	説明
PCL エミュレーション設定 (PCL Emulation Settings) CR 後に LF を自動実行 (Auto LF after CR) オフ (Off) オン (On)	キャリッジリターン (CR) 制御コマンドの後にラインフィード (LF) 制御コマンドを自動実行するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。
トレイ番号変更 (Tray Renumber) 多目的フィーダ割り当て (Assign MP Feeder) オフ (Off) なし (None) 0 ~ 199 トレイ [x] 割り当て (Assign Tray [x]) オフ (Off) なし (None) 0 ~ 199 手差し用紙割り当て (Assign Manual Paper) オフ (Off) なし (None) 0 ~ 199 手差し封筒割り当て (Assign Manual Env) オフ (Off) なし (None) 0 ~ 199	プリンタのソフトウェアやプログラムが、トレイやカセット、フィーダに標準とは異なる給紙源を割り当てる場合、それらのソフトウェアやプログラムを使って正しく印刷できるように設定します。 メモ: - 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。 [なし (None)] は選択できません。この設定は、PCL 5 インタープリターにて選択されている場合のみ表示されます。またこの設定では、[給紙源選択 (Select Paper Feed)] コマンドは無視されます。 - トレイ番号として 0 ~ 199 の番号を割り当てることができます。
トレイ番号変更 (Tray Renumber) 出荷時標準設定を表示 (View Factory Defaults) なし (None)	トレイやカセット、フィーダの工場出荷時設定を表示します。
トレイ番号変更 (Tray Renumber) 標準設定に戻す (Restore Defaults) はい (Yes) いいえ (No)	トレイやカセット、フィーダの設定を、すべて工場出荷時設定に戻します。

HTML メニュー

メニュー項目		説明
フォント名 (Font Name) Albertus MT Antique Olive Apple Chancery Arial MT Avant Garde Bodoni Bookman Chicago Clarendon Cooper Black Copperplate Coronet Courier Eurostile Garamond Geneva Gill Sans Goudy Helvetica Hoefler Text Intl CG Times Intl Courier Intl Univers	Joanna MT Letter Gothic Lubalin Graph Marigold MonaLisa Recut Monaco New CenturySbk New York Optima Oxford Palatino StempelGaramond Taffy Times TimesNewRoman Univers Zapf Chancery NewSansMTCS NewSansMTCT New SansMTJA NewSansMTKO	HTML 文書の標準フォントを設定します。 メモ: フォントが指定されていない HTML 文書では、Times フォントが使用されます。

メニュー項目	説明
フォントサイズ (Font Size) 1 ～ 255 pt	HTML 文書の標準フォントサイズを設定します。 メモ: - 工場出荷時は 12 pt に設定されています。 - フォントサイズは 1 ポイント単位で変更できます。
拡大縮小 (Scale) 1 ～ 400%	HTML 文書の標準フォントのスケールを設定します。 メモ: - 工場出荷時は 100% に設定されています。 - スケールは 1% 単位で変更できます。
用紙の向き (Orientation) 縦長 (Portrait) 横長 (Landscape)	HTML 文書のページの向きを指定します。 メモ: 工場出荷時は [縦長 (Portrait)] に設定されています。
余白 (Margin Size) 8 ～ 255 mm	HTML 文書のページの余白を指定します。 メモ: - 工場出荷時は 19 mm に設定されています。 - 余白は 1 mm 単位で変更できます。
背景 (Backgrounds) 印刷する (Print) 印刷しない (Do Not Print)	HTML 文書の背景を印刷するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [印刷する (Print)] に設定されています。

イメージ (Image) メニュー

メニュー項目	説明
自動調整 (Auto Fit) オン (On) オフ (Off)	画像に合わせて最適な用紙サイズやスケーリング、向きが選択されます。 メモ: 工場出荷時は [オン (On)] に設定されています。このとき、画像によっては [倍率変更 (Scaling)] や [用紙の向き (Orientation)] の設定より [自動調整 (Auto Fit)] の設定が優先されます。
反転 (Invert) オフ (Off) オン (On)	2 値モノクロ画像を反転します。 メモ: - 工場出荷時は [オフ (Off)] に設定されています。 - この設定は、GIF または JPEG の画像には適用されません。
倍率変更 (Scaling) 最適に調整 (Best Fit) 中央を固定 (Anchor Center) 高さ/幅を合せる (Fit Height/Width) 高さを合せる (Fit Height) 幅を合せる (Fit Width) 左上隅を固定 (Anchor Top Left)	選択した用紙サイズに合わせて画像を拡大/縮小します。 メモ: - 工場出荷時は [最適に調整 (Best Fit)] に設定されています。 [最適に調整 (Best Fit)] を選択した場合、用紙に合わせて最適なサイズになるように画像が自動的に拡大/縮小されます。
用紙の向き (Orientation) 縦長 (Portrait) 横長 (Landscape) 縦長 (反転) (Rev Portrait) 横長 (反転) (Rev Landscape)	画像の向きを指定します。 メモ: 工場出荷時は [縦長 (Portrait)] に設定されています。

ヘルプ (Help) メニュー

[ヘルプ (Help)] メニューには、一連のヘルプページが用意されています。このヘルプページは、多機能プリンタ (MFP) 内に PDF ファイルとして格納されています。ヘルプメニューには、プリンタの使い方やさまざまな作業 (コピー、スキャン、FAX など) に関する情報が用意されています。

プリンタには、英語版、フランス語版、ドイツ語版、スペイン語版が格納されています。

その他の翻訳版については、Lexmark の Web サイト (www.lexmark.com) をご覧ください。

メニュー項目	説明
すべてのガイドを印刷 (Print All Guides)	すべてのガイドを印刷します。
コピーガイド (Copy Guide)	コピーの作成およびコピー機能の設定変更に関する情報を提供します。
E メールガイド (E-mail Guide)	E メールアドレスやショートカット番号、アドレス帳を使って E メールを送信する方法や、E メール機能の設定変更に関する情報を提供します。
FAX ガイド (FAX Guide)	FAX 番号やショートカット番号、アドレス帳を使って FAX を送信する方法や、FAX 機能の設定変更に関する情報を提供します。
FTP ガイド (FTP Guide)	ドキュメントをスキャンして、それを FTP アドレスやショートカット番号、アドレス帳を使って直接 FTP サーバに送信する方法や、FTP 機能の設定変更に関する情報を提供します。
情報ガイド (Information Guide)	さらに詳しい情報の入手先に関する情報を提供します。
印刷不良ガイド (Print Defects Guide)	繰り返し発生するコピー不良や印刷不良を解決する方法を提供します。
消耗品ガイド (Supplies Guide)	消耗品を注文するのに必要な部品番号を提供します。

16—プリンタを移動する前にメモリのセキュリティを確保する

蓄積された情報管理に関する仕様:

本機には、さまざまなタイプのメモリが搭載されています。各メモリには、デバイスやネットワークの設定、内蔵ソリューションから取得した情報、ユーザーのデータを保存できます。各メモリのタイプ、および各メモリに保存されているデータのタイプは以下のとおりです。

- **揮発性メモリ** — 本機では、単純な印刷・コピージョブ時にユーザーのデータを一時的にバッファに格納する標準的なランダムアクセスメモリ（RAM）を使用しています。
- **不揮発性メモリ** — 本機には、EEPROM および NAND（フラッシュメモリ）の 2 つの形態の不揮発性メモリが使用されています。両タイプ共、オペレーティングシステムやデバイスの設定、ネットワーク情報、スキャナやブックマークの設定、内蔵ソリューションの保存に使用されます。
- **ハードディスクメモリ** — 一部のデバイスには、ハードディスクドライブが搭載されています。プリンタのハードディスクは、各デバイス固有の機能に対応するように設計されており、印刷に関係のないデータの長期間の保存には使用できません。このハードディスクは、ユーザーが情報を抽出したり、フォルダを作成したり、ディスク/ネットワークファイル共有を作成したり、クライアントデバイスから情報を直接 FTP するための機能は備えていません。

お使いのプリンタに搭載されている記憶装置の内容を消去した方がよい状況がいくつかあります。その一部を以下に示します。

- プリンタの稼働を中止する
- プリンタのハードドライブを交換する
- プリンタを別の部門または場所に移動する
- 外部の業者によりプリンタが修理される
- プリンタが修理のために社外に搬送される
- プリンタが別の会社売却される

ハードドライブの廃棄

メモ: すべてのプリンタにハードディスクが搭載されているわけではありません。

高セキュリティ環境では、プリンタまたはそのハードディスクが社外に搬出された際にプリンタハードディスクに保存されている機密データに不正にアクセスされないことがないように、さらなる措置を講じることが必要になります。ほとんどのデータは、電子的に消去できますが、プリンタまたはハードディスクを廃棄する前に次の措置のうち 1 つ以上を行ってください。

- **消磁** — 磁場を使用してハードドライブをフラッシュし、保存されているデータを消去する
- **破碎** — ハードディスクを物理的に圧縮して構成部品を破壊し、読み取りを不可能にする
- **裁断** — ハードディスクが小さな金属片になるまで物理的に切断する

メモ: 大部分のデータは電子的に消去できますが、すべてのデータの完全な消去を保証する唯一の方法は、各記憶装置を完全に破壊することです。

揮発性メモリを消去する

本機に搭載されている揮発性メモリ（RAM）で情報を保持するには、電源供給が必要です。デバイスの電源を切るだけで、バッファに格納されているデータを消去できます。

不揮発性メモリを消去する

- **個々の設定、デバイスおよびネットワークの設定、セキュリティ設定、埋め込みソリューション** — [構成設定メニュー（Configuration）] メニューの [すべての設定を消去（Wipe All Settings）] を選択して、情報および設定を消去します。
- **FAX のデータ** — [構成設定メニュー（Configuration）] メニューの [すべての設定を消去（Wipe All Settings）] を選択して FAX の設定およびデータを消去します。

1. プリンタの電源を切ります。
2. プリンタの電源を入れながら、 および  を長押しします。LEXMARK ロゴの画面が表示されたら、ボタンを放します。

プリンタで電源投入シーケンスが実行され、[構成設定メニュー（Configuration）] メニューが表示されます。プリンタが完全に起動すると、通常のホーム画面のアイコンの代わりにタッチスクリーンに機能一覧が表示されます。

3. [すべての設定を消去（Wipe All Settings）] を押します。

この処理の実行中、プリンタは複数回再起動します。

メモ: [すべての設定を消去（Wipe All Settings）] を実行すると、デバイスの設定、ソリューション、ジョブ、FAX メッセージ、パスワードを確実に削除できます。

4. [戻る（Back）] > [設定メニュー終了（Exit Config Menu）] を押します。

プリンタで電源投入時リセットが実行され、通常の動作モードに戻ります。

プリンタのハードディスクメモリを消去する

メモ: お使いのプリンタにハードディスクドライブが搭載されていない場合があります。

プリンタのメニューの [Configuring Disk Wiping] を使用すると、削除対象としてチェックを付けたファイルを実際に上書きすることにより、スキャン、印刷、コピー、FAX の各ジョブによって残された残留機密情報を削除することができます。

プリンタの操作パネルを使用する

1. プリンタの電源を切ります。

2. プリンタの電源を入れながら、**2sec** および **6sec** を長押しします。LEXMARK ロゴの画面が表示されたら、ボタンを放します。

プリンタで電源投入シーケンスが実行され、[構成設定メニュー (Configuration)] メニューが表示されます。プリンタが完全に起動すると、通常のホーム画面のアイコンの代わりにタッチスクリーンに機能一覧が表示されます。

3. [ディスクをワイプ (Wipe Disk)] を押してから、次のいずれかのオプションを押します。
 - [ディスクをワイプ (高速) (Wipe disk (fast))] — シングルパスでディスクをすべてゼロで上書きする
 - [ディスクをワイプ (セキュア) (Wipe disk (secure))] — ディスクをランダムナビットパターンで複数回上書きしてから、検証パスを実行する。セキュアな上書きは、米国国防省の DoD 5220.22-M 規格に準拠しており、ハードディスクからデータを確実に消去することができます。機密性の高い情報は、この方法で消去する必要があります。
4. ディスクの消去を開始するには、[はい (Yes)] を押します。ステータスバーにディスクの消去処理の進行状況が表示されます。

メモ: ディスクの消去は、数分から 1 時間以上かかることがあります。この間は、プリンタを他の処理に使用できません。

5. [戻る (Back)] > [設定メニュー終了 (Exit Config Menu)] を押します。

プリンタで電源投入時リセットが実行され、通常の動作モードに戻ります。

プリンタハードディスクの暗号化を設定する

メモ: お使いのプリンタにハードディスクドライブが搭載されていない場合があります。

ハードディスクの暗号化を有効にすると、プリンタまたはハードディスクの盗難の際に機密データの喪失を防ぐことができます。

内蔵 WEB サーバ(EWS)を使用する

1. 内蔵 WEB サーバ(EWS)で、[設定 (Settings)] > [セキュリティ (Security)] > [ディスク暗号化 (Disk Encryption)] を選択します。

メモ: フォーマット済みの正常なプリンタハードディスクが搭載されている場合にのみ、[セキュリティ (Security)] メニューに[ディスク暗号化 (Disk Encryption)]が表示されます。

2. [ディスク暗号化 (Disk Encryption)] メニューから、[有効化 (Enable)] を選択します。

メモ:

- ディスク暗号化を有効にすると、プリンタのハードディスクの内容が消去されます。
- ディスク暗号化には、数分から 1 時間以上かかります。この間は、プリンタを他の処理に使用できません。

3. [送信 (Submit)] をクリックします。

プリンタの操作パネルを使用する

1. プリンタの電源を切ります。

2. プリンタの電源を入れながら、 および  を長押しします。LEXMARK ロゴの画面が表示されたら、ボタンを放します。

プリンタで電源投入シーケンスが実行され、[構成設定メニュー (Configuration)] メニューが表示されます。プリンタが完全に起動すると、コピーや FAX などの通常のホーム画面のアイコンの代わりにタッチスクリーンに機能一覧が表示されます。

3. [ディスク暗号化 (Disk Encryption)] メニューから、[有効化 (Enable)] を押します。

メモ: ディスク暗号化の有効化を実行すると、プリンタのハードディスクの内容が消去されます。

4. ディスクの消去を開始するには、[はい (Yes)] を押します。

ステータスバーにディスクの消去処理の進行状況が示されます。ディスクが暗号化されると、プリンタは、[有効化/無効化 (Enable/Disable)] 画面に戻ります。

メモ:

- 暗号化処理中はプリンタの電源を切らないでください。データの損失につながる可能性があります。
- ディスク暗号化には、数分から 1 時間以上かかります。この間は、プリンタを他の処理に使用できません。

5. [戻る (Back)] > [設定メニュー終了 (Exit Config Menu)] を押します。

プリンタで電源投入時リセットが実行され、通常の動作モードに戻ります。

17—プリンタのメンテナンス

プリンタの外側を清掃する

1. 必ずプリンタの電源を切り、壁コンセントから電源コードを抜いてください。



注意—感電の恐れあり：プリンタの外部を清掃する際には、感電のリスクを避けるため、コンセントから電源コードを抜き、プリンタに接続されているすべてのケーブルを外してから作業を行ってください。

2. 標準排紙トレイから用紙を取り除きます。
3. 清潔で糸くずの出ない布を水で湿らせます。

警告—損傷の恐れあり：家庭用クリーナーや洗剤を使用しないでください。プリンタ表面の仕上げを傷つけることがあります。

4. プリンタの外側だけを清掃してください。必ず、標準排紙トレイも清掃してください。

警告—損傷の恐れあり：湿らせた布を使用してプリンタの内部を清掃すると、プリンタを傷める原因となります。

5. 用紙サポートおよび標準排紙トレイが乾いていることを確認してから、新しい印刷ジョブを開始してください。

原稿台ガラスを清掃する

コピーまたはスキャンした画像の縞など、印刷品質に問題が生じた場合には、原稿台ガラスを清掃します。

1. 柔らかい、糸くずの出ない布を水で少し湿らせます。
2. スキャナカバーを開きます。



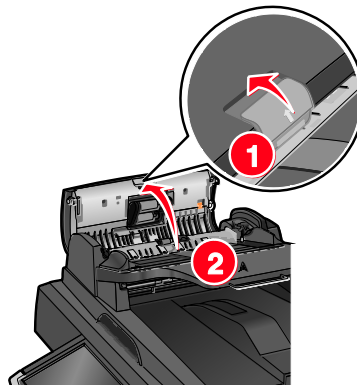
1	ADF カバーの裏側の白い部分
2	スキャナカバーの裏側の白い部分
3	原稿台ガラス
4	ADF ガラス

3. 上に示した部分を清拭し、乾かします。
4. スキャナカバーを閉じます。

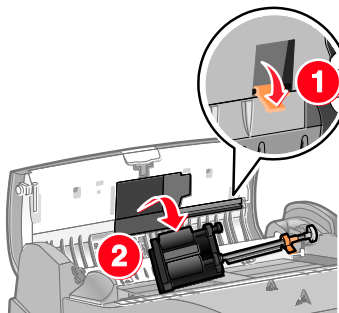
ADF 部品を清掃する

最適なプリンタの性能を維持するために、ADF の部品を定期的に清掃してください。ADF 部品に異物が残っていると、印刷品質上の問題の発生や 28x 紙詰りメッセージの誤表示の原因となります。

1. プリンタの電源を切ります。
2. 柔らかい糸くずの出ない布を水で少し湿らせます。
3. ADF カバーを開きます。

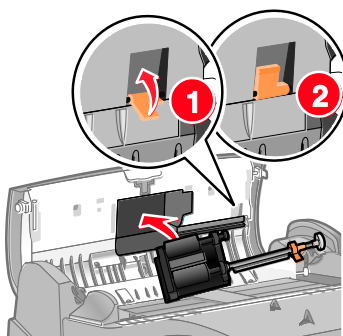


4. ピックローラアセンブリを取り外します。



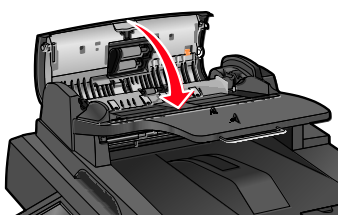
5. 両方のピックローラを清拭します。

6. ピックローラアセンブリを元通りに取り付けます。



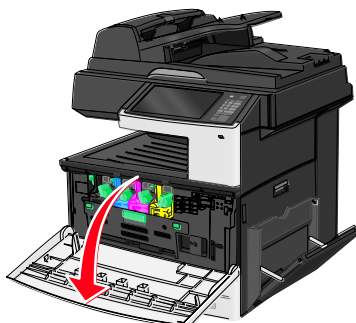
7. ADF カバーの下にある 2 つの小さな白いローラを含め、表面全体を清拭します。

8. ADF カバーを閉めます。

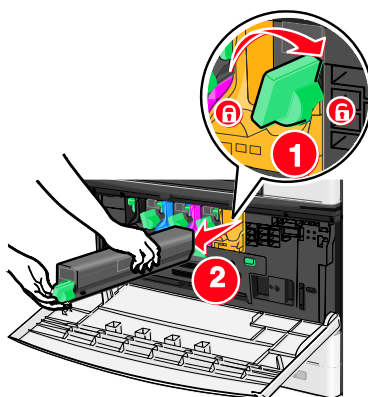


プリントヘッドレンズを清掃する

1. 前面ドアを開きます。

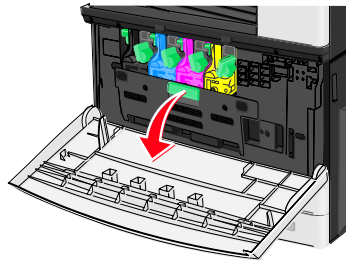


2. トナーロックレバーを右に回し、トナーカートリッジを引き出します。

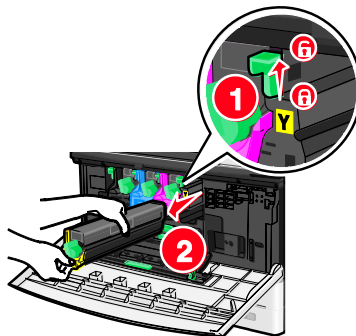


3. イメージングユニットを取り外します。

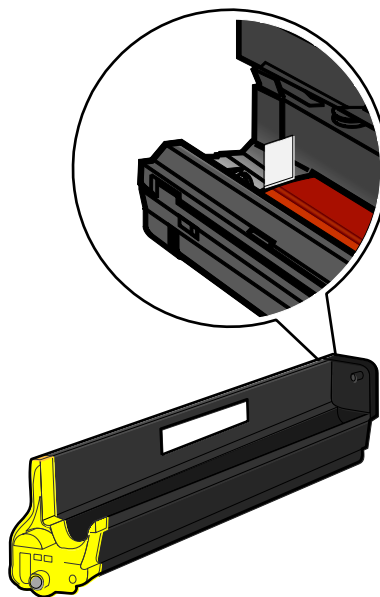
a. 内部カバーを開きます。



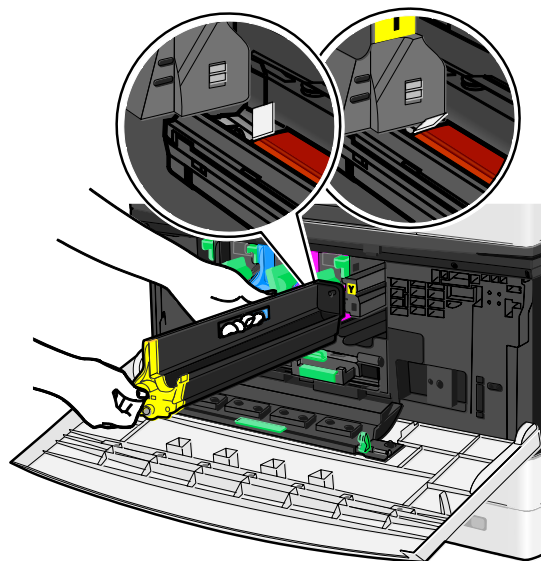
b. イメージングユニットのロックレバーを押し上げ、イメージングユニットを引き出します。



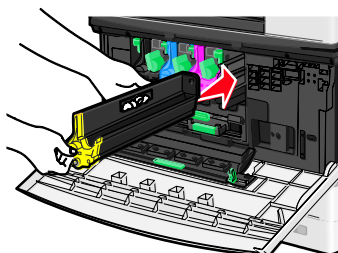
4. イメージングユニットの端に LED ワイプを置きます。必ず正しい位置に置いてください。



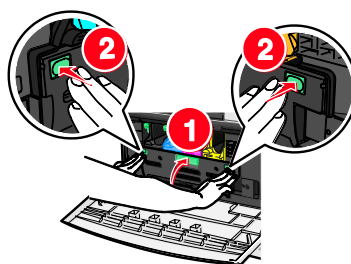
5. イメージングユニットを元通りに取り付けます。プリンタに挿入すると、LED ワイプが LED の列をこすります。これによりプリントヘッドレンズが清拭されます。



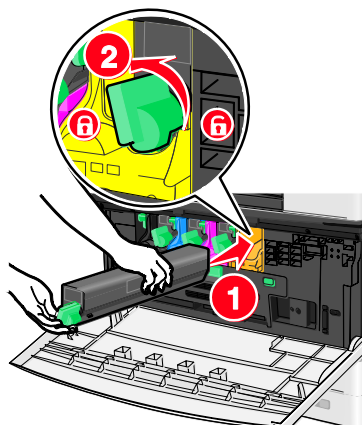
- a. イメージングユニットをプリンタにカチッと音がして所定の位置に納まるまで挿入します。



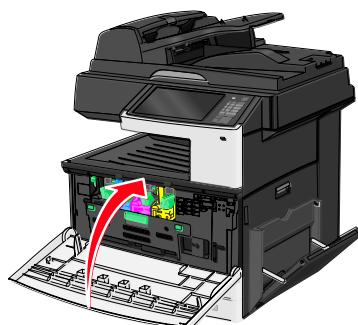
- b. 両手を使って、内部カバーの両側をカチッと音がして所定の位置に納まるまで押します。



6. トナーカートリッジをプリンタに挿入し、トナーロックレバーを左に回します。



7. すべての感光体に対して、手順 2～6 を繰り返します。
8. 前面ドアを閉じます



消耗品の保管

プリンタの消耗品は、清潔で涼しい場所に保管する必要があります。消耗品は、使用するまで箱から出さずに、正しい面を上にして保管してください。

以下の環境は避けて保管してください。

- 直射日光の当たる場所
- 気温が 35°C (95°F) 以上の場所
- 湿度が 80% 以上の場所
- 潮風の当たる場所
- 腐食性のガスが当たる場所
- ほこりの多い場所

消耗品の状況の確認

消耗品の交換やメンテナンスが必要な場合、ディスプレイにメッセージが表示されます。

プリンタの操作パネルから消耗品の状況を確認する

[ホーム (Home)] 画面から、[状況/消耗品 (Status/Supplies)] > [消耗品を表示 (View Supplies)] を押します。

ネットワークコンピュータから消耗品の状況を確認する

メモ: コンピュータは、プリンタと同じネットワークに接続する必要があります。

1. Web ブラウザのアドレスフィールドに、プリンタの IP アドレスを入力します。

プリンタの IP アドレスが分からない場合は、以下の方法で確認できます。

- プリンタの操作パネルの [ネットワーク/ポート (Networks/Ports)] メニューの [TCP/IP] セクションで IP アドレスを確認する

- ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷して、TCP/IP セクションで IP アドレスを確認する

2. [デバイス状況 (Device Status)] をクリックします。

[デバイス状況 (Device Status)] ページが開き、消耗品残量サマリが表示されます。

消耗品の注文

米国で消耗品をご注文いただく場合は、最寄りの Lexmark 正規販売店に関する情報を Lexmark ま
で電話 (1-800-539-6275) にてお問い合わせください。その他の国または地域では、Lexmark Web
サイト (www.lexmark.com) でご覧いただくか、お使いのプリンタの購入元にお問い合わせください。

メモ: プリンタ消耗品の寿命はすべてレターサイズまたは A4 サイズの普通紙に印刷する場合を基
準に推定されています。

トナーカートリッジを注文する

88.xx [色] カートリッジ残り僅か (**88.xx [color] cartridge low**)、または **88.xx 88.xx [色]** カート
リッジほぼ残り僅か (**[color] cartridge nearly low**) と表示されたら、新しいカートリッジを注文
します。

88.2x [色] カートリッジ交換 (**88.2x Replace [color] cartridge**) と表示されたら、指定されたカー
トリッジを交換します。

カートリッジの推定印刷ページ数は、ISO/IEC 19798 規格 (1 色当たり約 5% の印刷比率) に基づ
いています。極端に低い印刷比率 (1 色当たり 1.25% 未満) で長時間印刷すると、その色の実際の
印刷数に悪影響を与え、トナーがなくなる前にカートリッジ部品が損傷する原因になります。

トナーカートリッジの推奨品および部品番号

部品名	部品番号
Black high-yield toner cartridge	X925H2KG-J
Cyan high-yield toner cartridge	X925H2CG
Magenta high-yield toner cartridge	X925H2MG
Yellow high-yield toner cartridge	X925H2YG

イメージングユニットを注文する

84.xx [色] イメージングユニット残り僅か (**84.xx [Color] imaging unit low**)、または **84.xx [色]**
イメージングユニットほぼ残り僅か (**84.xx [Color] imaging unit nearly low**) と表示されたら、交
換用のイメージングユニットを注文します。

84.xx [色] イメージングユニットおよび[色] カートリッジを交換する (**84.xx Replace [color]
imaging unit and [color] cartridge**) と表示されたら、指定されたイメージングユニットとトナー
カートリッジを交換します。

感光体の推奨品および部品番号

部品名	部品番号
ブラックイメージングユニット	C925X72G
イエローイメージングユニット	C925X75G
マゼンタイメージングユニット	C925X74G
シアンイメージングユニット	C925X73G

フューザーおよび転写モジュールを注文する

80.xx フューザー寿命警告 (**80.xx Fuser life warning**)、**80.xx** フューザー寿命警告 (**80.xx Fuser near life warning**)、または **83.xx** 転写ユニット寿命警告 (**83.xx Transfer module life warning**) と表示されたら、交換用のフューザーまたは転写モジュールを注文します。

80.xx フューザーを交換 (**80.xx Replace fuser**) または **83.xx** 転写モジュールを交換 (**83.xx Replace transfer module**) と表示されたら、新しいフューザーまたは新しい転写モジュールを取り付けます。取り付けについては、部品に同梱の説明書を参照してください。

部品名	部品番号
フューザー	X925-FUS(100 volts)
転写モジュール	40X6011

廃トナーボトルを注文する

82.xx 廃トナーボトルほぼ満杯 (**82.xx Waste toner bottle nearly full**) と表示されたら、交換用の廃トナーボトルを注文します。

82.xx 廃トナーボトルを交換 (**82.xx Replace waste toner bottle**) と表示されたら、廃トナーボトルを交換します。

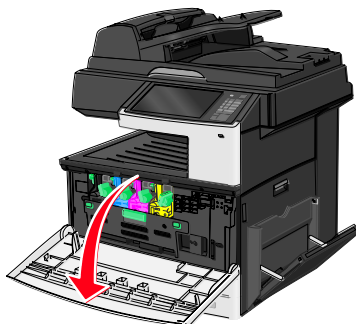
メモ: 廃トナーボトルの再利用はお勧めできません。

部品名	部品番号
廃トナーボトル	C925X76G

消耗品の交換

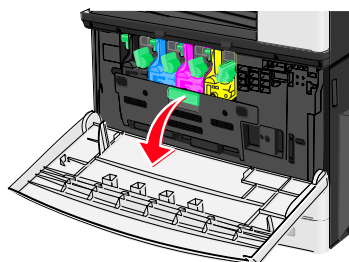
イメージングユニットを交換する

1. 前面ドアを開きます。

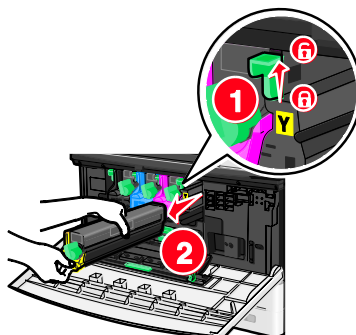


警告—損傷の恐れあり: イメージングユニットが露光しすぎないようにするため、ドアを 10 分以上開いたままにしないでください。

2. 内部ドアを開きます。

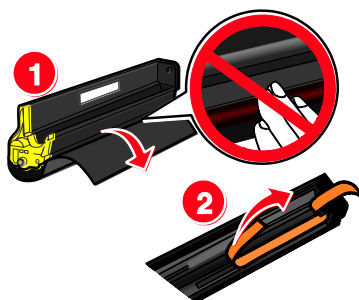


3. イメージングユニットのロックレバーを引き上げて、取り付けられているトナーカートリッジと一緒にイメージングユニットを引き出します。

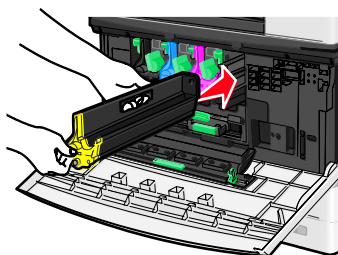


4. 交換用のイメージングユニットを梱包から取り出します。

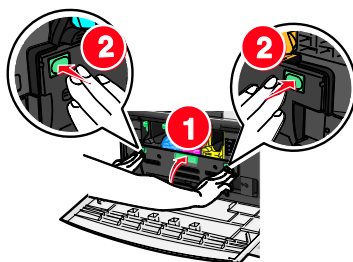
5. 黒い保護シートとトナーのシールテープを剥がします。



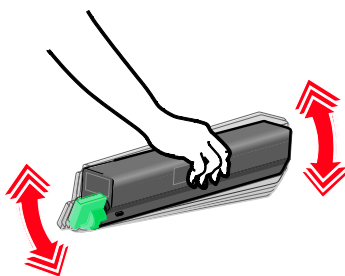
6. イメージングユニットをプリンタにカチッと音がして所定の位置に納まるまで挿入します。



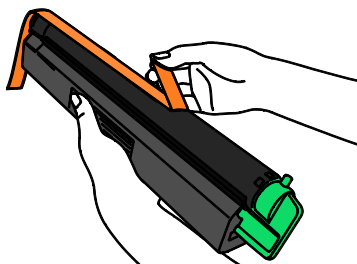
7. 両手を使って、内部カバーの両側をカチッと音がして所定の位置に納まるまで押します。



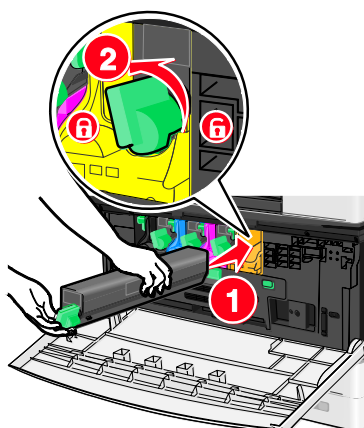
8. トナーカートリッジを梱包から取り出して振り、トナーの偏りをなくします。



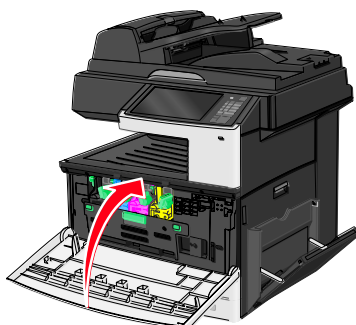
9. トナーのシールテープを剥がします。



10. トナーカートリッジを挿入し、ロックレバーを左に回します。



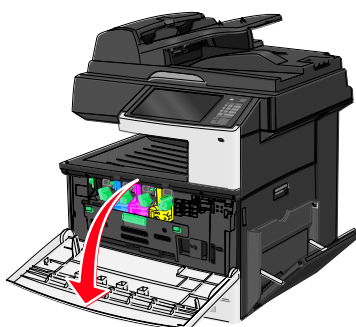
11. 内部ドアを閉じます。



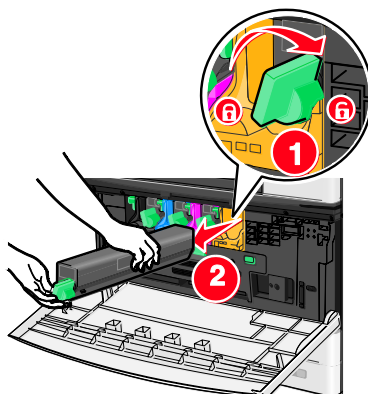
トナーカートリッジを交換する

1. 前面ドアを開きます。

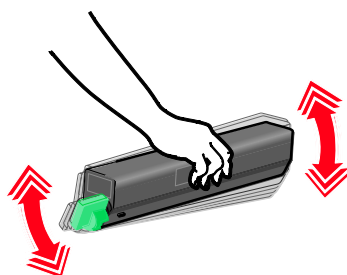
警告—損傷の恐れあり: イメージングユニットが露光しすぎないようにするため、ドアを 10 分以上開いたままにしないでください。



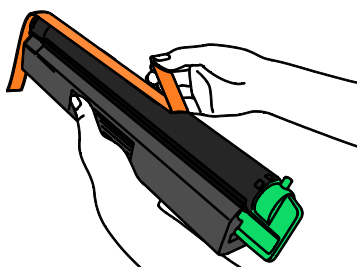
2. トナーのロックレバーを右に回し、トナーカートリッジを引き出します。



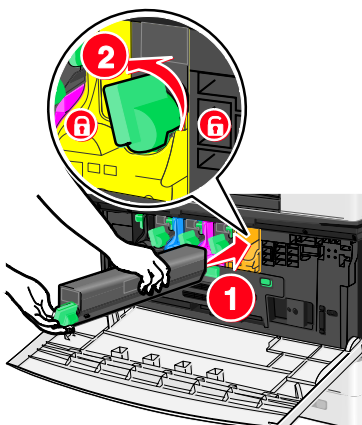
3. トナーカートリッジを梱包から取り出して振り、トナーの偏りをなくします。



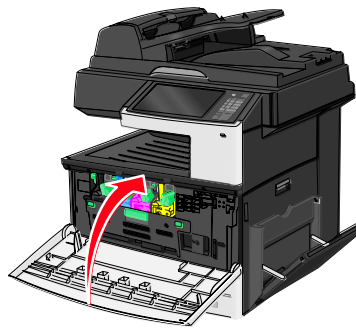
4. トナーのシールテープを剥がします。



5. 新しいカートリッジをプリンタに挿入し、トナーロックレバーを左に回します。

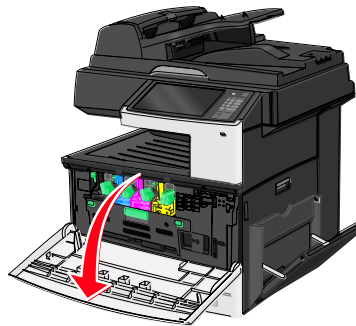


6. 前面ドアを閉じます。

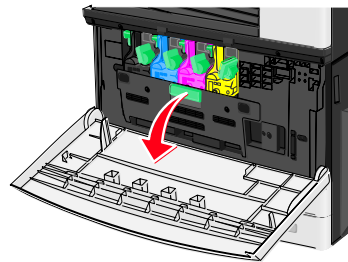


廃トナーボトルを交換する

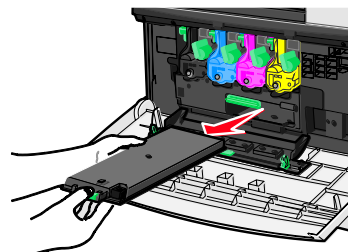
1. プリンタの電源を切ります。
2. 前面ドアを開きます。



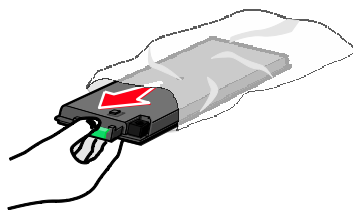
3. 内部ドアを開きます。



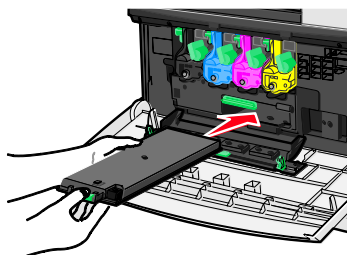
4. 使用済の廃トナーボトルを引き出します。



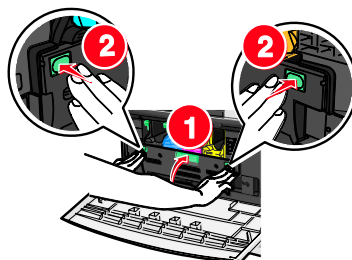
5. 新しい廃トナーボトルの梱包を取り外します。



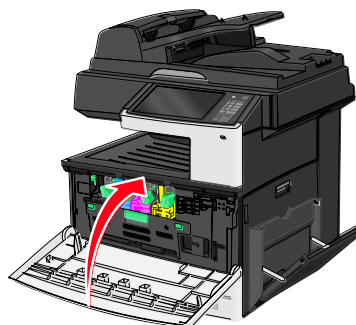
6. 新しい廃トナーボトルをプリンタに挿入します。



7. 両手を使って、内部カバーの両側をカチッと音がして所定の位置に納まるまで押します。



8. 前面ドアを閉じます。



9. プリンタの操作パネルで、[消耗品 (Supplies)] メニューの [廃トナーボトル (Waste Toner Bottle)] カウンターをリセットします。

プリンタの移動

プリンタを移動する前に

 注意—ケガの恐れあり: プリンタの重量は 18 kg (40 ポンド) 以上あるため、安全に持ち上げるには訓練を受けた人が 2 名以上必要です。



注意—ケガの恐れあり：プリンタを移動する前に、ケガやプリンタの破損を避けるため、以下のガイドラインに従ってください

- 電源スイッチを使用してプリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。
- 移動する前に、プリンタからコードやケーブル類をすべて取り外します。
- プリンタを持ち上げて、オプションのトレイからプリンタを取り外し、横に置きます。カセットとプリンタを同時に持ち上げないでください。

メモ：プリンタの両側にある握りを使用してプリンタを持ち上げます。

警告—**損傷の恐れあり**：不適切な移動により生じたプリンタの損傷は、保証の対象にはなりません。

プリンタを別の場所に移動する

プリンタおよびオプションを別の場所に安全に移動するために、次の点に注意してください。

- プリンタの移動に台車を使用する場合は、プリンタの底面全体を載せられる台車を使用してください。オプションの移動に台車を使用する場合は、オプション全体を載せられる台車を使用してください。
- プリンタは直立状態に保ってください。
- 急激な動きは避けてください。

プリンタの輸送

プリンタを輸送する場合は、元の梱包を使用するか、購入元に連絡して移動用キットをお求めください。

18—管理サポート

ネットワーク構築および管理に関する詳細情報の入手

この章では、内蔵 WEB サーバ(EWS)を使用した基本的な管理サポートタスクについて説明します。より詳細なシステムサポートタスクについては、*Software Documentation CD*（ソフトウェアおよび説明書類 CD）に収録されている『*Networking Guide*（ネットワークガイド）』および Lexmark の ホームページ（<http://support.lexmark.com>）に掲載されている『*Embedded Web Server Administrator's Guide*（内蔵 WEB サーバ(EWS)管理者ガイド）』を参照してください。

内蔵 WEB サーバ(EWS)を使用する

プリンタがネットワークに接続されている場合、内蔵 WEB サーバ(EWS)で次のような機能を使用できます。

- プリンタの操作パネルの仮想画面の表示
- プリンタ消耗品の状況の確認
- プリンタの構成設定
- ネットワークの構成設定
- レポートの表示

お使いのプリンタの内蔵 WEB サーバ(EWS)にアクセスするには、以下の操作を実行します。

1. Web ブラウザのアドレスフィールドにそのプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタの IP アドレスが分からない場合は、ネットワーク設定ページを印刷して[TCP/IP]セクションの IP アドレスを確認します。
- プロキシサーバをお使いの場合は、内蔵 WEB サーバ(EWS)を正常に読み込むために一時的に無効にします。

2. [Enter]キーを押します。

仮想ディスプレイを確認する

1. お使いのプリンタに関連付けられている内蔵 WEB サーバ(EWS)を開きます。

Web ブラウザのアドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

プリンタの IP アドレスが分からない場合は、以下の方法で確認できます。

- プリンタの操作パネルの[ネットワーク/ポート（Networks/Ports）]メニューの[TCP/IP]セクションで IP アドレスを確認する
- ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷して、TCP/IP セクションで IP アドレスを確認する

2. 画面の左上隅に表示される仮想ディスプレイを確認します。

仮想ディスプレイは、プリンタの操作パネルで動作する実際のディスプレイと同様に動作し、プリンタのメッセージを表示します。

プリンタの状況を確認する

1. Web ブラウザのアドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

プリンタの IP アドレスが分からない場合は、以下の方法で確認できます。

- プリンタの操作パネルの[ネットワーク/ポート (Networks/Ports)]メニューの[TCP/IP]セクションで IP アドレスを確認する
- ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷して、TCP/IP セクションで IP アドレスを確認する

2. [デバイス状況 (**Device Status**)]をクリックします。

デバイスの状況には、以下のような情報が表示されます。

- 用紙トレイの設定
- 印刷カートリッジのトナーの残量
- メンテナンスキットの残存寿命の割合 (%)
- 特定のプリンタ部品の容量

E メール警告を設定する

消耗品の残量が少なくなった場合、用紙の変更もしくは追加が必要な場合、または用紙がつまった場合にプリンタから E メールを受信するように設定できます。

1. Web ブラウザのアドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

プリンタの IP アドレスが分からない場合は、以下の方法で確認できます。

- プリンタの操作パネルの[ネットワーク/ポート (Networks/Ports)]メニューの[TCP/IP]セクションで IP アドレスを確認する
- ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷して、TCP/IP セクションで IP アドレスを確認する

2. [設定 (**Settings**)]をクリックします。

3. [その他の設定 (Other Settings)]で、[E メールアラートセットアップ (**E-mail Alert Setup**)]をクリックします。

4. アラートを受信するには、通知する項目を選択し、E メールアドレスを入力します。

5. [送信 (**Submit**)]をクリックします。

メモ: 電子メールサーバを設定するには、システムサポート担当者にお問い合わせください。

レポートの表示

内蔵 WEB サーバ(EWS)から一部のレポートを表示できます。これらのレポートは、プリンタ、ネットワーク、消耗品の状態を確認するのに役立ちます。

ネットワークプリンタからのレポートを表示するには、以下の操作を実行します。

1. Web ブラウザのアドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

プリンタの IP アドレスが分からない場合は、以下の方法で確認できます。

- プリンタの操作パネルの[ネットワーク/ポート (Networks/Ports)]メニューの[TCP/IP]セクションで IP アドレスを確認する
- ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷して、TCP/IP セクションで IP アドレスを確認する

2. [レポート (Reports)] をクリックしてから、表示するレポートの種類をクリックします。

出荷時標準設定を復元する

参照のために現在のメニュー設定の一覧を保持したい場合は、出荷時標準設定を復元する前にメニュー設定ページを印刷します。

警告—損傷の恐れあり: 出荷時標準設定を復元すると、ほとんどのプリンタ設定が元の出荷時の標準設定に戻ります。例外は、表示言語、カスタムサイズ、メッセージおよび[ネットワーク/ポート (Networks/Ports)]メニュー設定です。RAM に保存されているダウンロード物はすべて削除されます。フラッシュメモリまたはプリンタのハードディスクに保存されているダウンロード物には影響しません。

[ホーム (Home)] 画面で、以下のように選択します。

 > [設定 (Settings)] > [一般設定 (General Settings)] > [出荷時標準設定 (Factory Defaults)] > [今復元 (Restore Now)] > [送信 (Submit)]

19—紙づまりの除去

適切な用紙を選択して正しくセットすれば、ほとんどの紙づまりを防ぐことができます。紙づまりが発生した場合は、このセクションに記載されている手順に従ってください。

紙づまりのメッセージをクリアして印刷を再開するには、用紙経路全体から紙づまりを除去してから、[継続 (Continue)]、[紙づまりがクリアされました (Jam cleared)] を押します。[紙詰り回復 (Jam Recovery)] が [オン (On)] に設定されている場合には、プリンタは紙づまりが発生したページを新しく一部印刷します。[紙詰り回復 (Jam Recovery)] が [自動 (Auto)] に設定されている場合は、プリンタに十分なメモリがある場合に紙づまりが発生したページを再度印刷します。

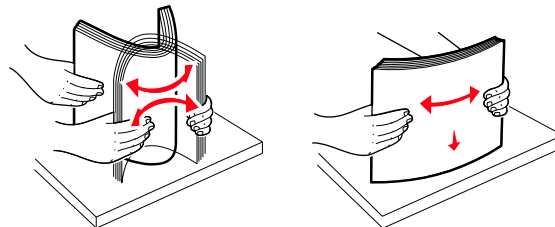
紙づまりの防止

用紙トレイに関する推奨事項

- 用紙がトレイに平らにセットされていることを確認する
- 印刷中はトレイを取り外さない。
- 印刷中はトレイに用紙をセットしない。用紙のセットは印刷前に行うか、用紙のセットを促すプロンプトが表示されるまで待つ。
- 過度に多い量の用紙をセットしない。重ねた用紙の高さが、指定されている高さの上限を超えないようにする。
- トレイまたは多目的フィーダのガイドが正しい位置にあり、用紙や封筒をきつく挟みすぎでないことを確認する
- 用紙をセットしたらトレイをしっかりと押し込む

用紙に関する推奨事項

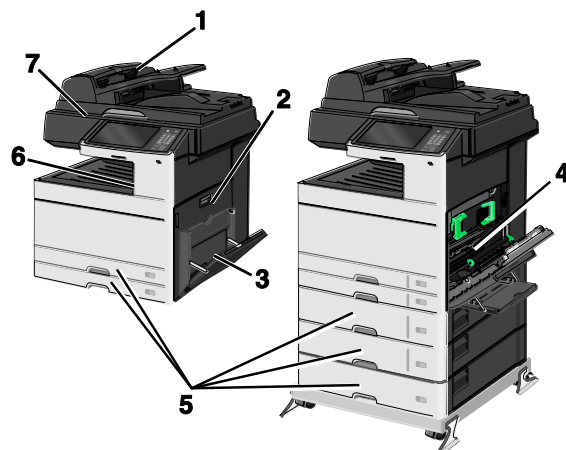
- 推奨用紙または専門紙のみを使用する
- しわ、折り目のある用紙、湿っている用紙、曲がっている用紙をセットしない
- 用紙をほぐしてそろえてからセットする



- 手で切った、またはちぎった用紙は使用しない
- 用紙のサイズ、重さ、タイプが異なる用紙を混在させてセットしない
- プリンタの操作パネルのメニューで、すべての用紙のサイズおよびタイプが適切に設定されていることを確認する
- 用紙はメーカーの推奨事項に従い保管する

紙づまりの番号と位置を理解する

紙づまりが発生すると、紙詰り箇所を示すメッセージがディスプレイに表示されます。紙詰り箇所にアクセスするには、ドアとカバーを開いてトレイを取り外します。紙づまりのメッセージを解消するには、用紙経路から用紙を除去する必要があります。



場所	紙詰り番号	対処
1	280-289	3. ADF から用紙をすべて取り除く 4. 用紙をほぐしてから重ねる 5. ADF を取り付け直す 6. 用紙ガイドを調整する 7. [継続 (Continue)]、[紙づまりがクリアされました (jam cleared)] を押す
2	200-201	側面カバーを開き、紙づまりを除去する
3	250	8. 多目的フィーダからすべてのメディアを除去する 9. メディアをほぐしてから重ねる 10. 多目的フィーダを取り付け直す 11. 用紙ガイドを調整する 12. [継続 (Continue)]、[紙づまりがクリアされました (jam cleared)] を押す
4	230-239	側面カバーを開き、両面印刷ユニットを下げてから、紙づまりを除去する
5	24x	各トレイを開き、紙づまりがあれば除去する
6	203	標準排紙トレイから見えるつまっている用紙はつかんで抜き取る

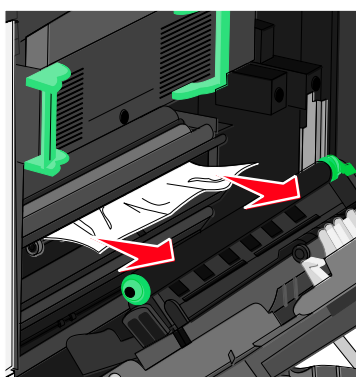
場所	紙詰り番号	対処
7	451	スキャナカバーを開き、紙づまりがあれば除去する

200 紙づまり

1. 側面ドアを開きます。

 **注意—表面は高温です：** プリンタの内部は高温になっている場合があります。高温になったコンポーネントで火傷などを負わないよう表面が冷えてから触れてください。

2. つまっている用紙を引き抜き、用紙経路から取り除きます。



メモ：

- すべての紙片が除去されたことを確認します。
 - 用紙がフューザーにつまっている場合、フューザーのニップ圧開放レバーを押し下げて、封筒モードに切り替える必要があります。
 - つまった用紙を除去したら、レバーを所定の位置に戻します。
3. 側面ドアを閉めます。
 4. [続行 (Continue)]、[紙づまりがクリアされました (Jam cleared)] を押します。

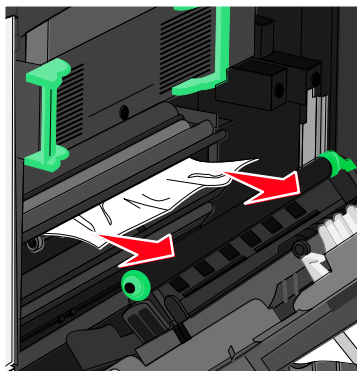
201 紙づまり

1. 側面ドアを開きます。

 **注意—HOT SURFACE:** プリンタの内部は高温になっている場合があります。高温になったコンポーネントで火傷などを負わないよう表面が冷えてから触れてください。

2. 紙づまりが発生している場所を特定し、除去します。

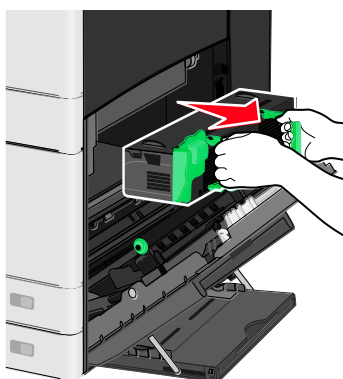
- a. フューザーの下につまっている用紙が見える場合は、用紙の両端をしっかりとつかんで抜き取ります。



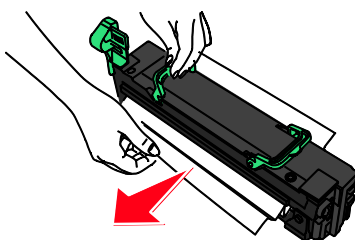
- b. 用紙が見えない場合、フューザーユニットを取り外す必要があります。

警告—損傷の恐れあり: フューザーユニットの中央部に触れないでください。フューザーを損傷する恐れがあります。

1. フューザーの両側にあるハンドルを持ち、フューザーユニットを引き出して取り外します。



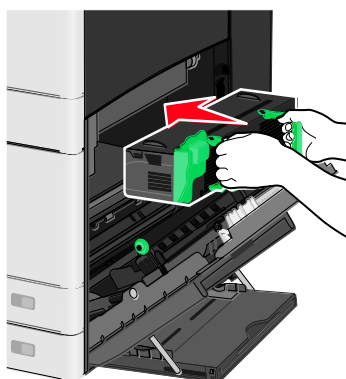
2. つまっている用紙を取り除きます。



メモ:

- すべての紙片が除去されたことを確認します。
- つまっている用紙は、下方に引いてください。
- 用紙がフューザーにつまっている場合、フューザーのニップ圧開放レバーを押し下げて、封筒モードに切り替える必要があります。

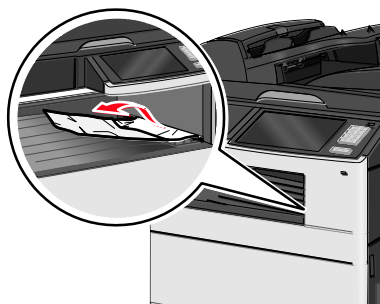
- つまった用紙を除去したら、レバーを所定の位置に戻します。
3. 両側のハンドルを持ってフューザーユニットをプリンタの開口部に合わせて押し入れ、元に戻します。



3. 側面ドアを閉めます。
4. [続行 (Continue)]、[紙づまりがクリアされました (Jam cleared)] を押します。

203 紙づまり

1. 標準排紙トレイから見える用紙をつかみ、ゆっくりと抜き取ります。



メモ:

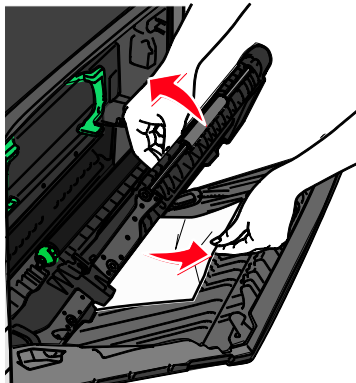
- すべての紙片が除去されたことを確認します。
 - 用紙がフューザーにつまっている場合、フューザーのニップ圧開放レバーを押し下げて、封筒モードに切り替える必要があります。
 - つまった用紙を除去したら、レバーを所定の位置に戻します。
2. [続行 (Continue)]、[紙づまりがクリアされました (Jam cleared)] を押します。

230 紙づまり

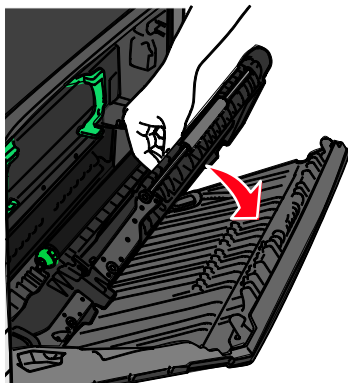
1. 側面ドアを開きます。

2. 両面印刷ユニットのハンドルをしっかりとつかみ、カバーを開いてつまっている用紙を取り除きます。

 **表面は高温です:** プリンタの内部は高温になっている場合があります。高温になったコンポーネントで火傷などを負わないよう表面が冷えてから触れてください。



3. 両面印刷ユニットのカバーを閉じます。

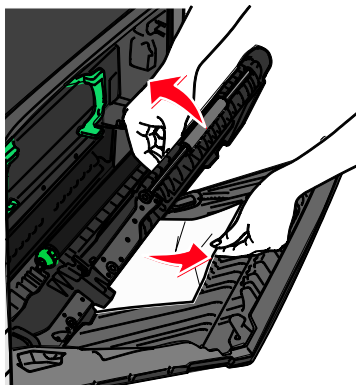


4. 側面ドアを閉めます。
5. [続行 (Continue)]、[紙づまりがクリアされました (Jam cleared)] を押します。

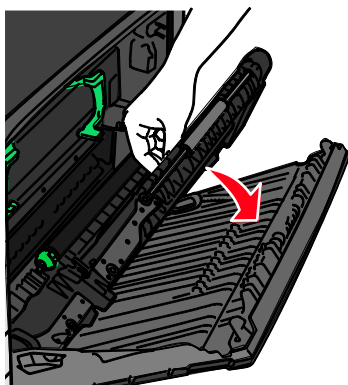
231-239 紙づまり

1. 側面ドアを開きます。
2. 両面印刷ユニットのハンドルをしっかりとつかみ、カバーを開いてつまっている用紙を取り除きます。

 **注意—表面は高温です:** プリンタの内部は高温になっている場合があります。高温になったコンポーネントで火傷などを負わないよう表面が冷えてから触れてください。



3. 両面印刷ユニットのカバーを閉じます。

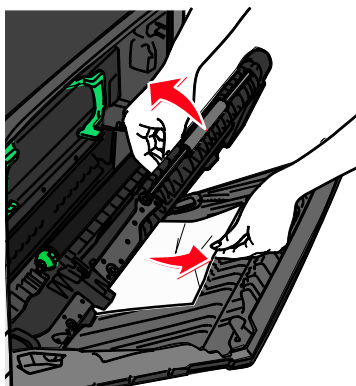


4. 側面ドアを閉めます。
5. [続行 (Continue)]、[紙づまりがクリアされました (Jam cleared)] を押します。

24x 紙づまり

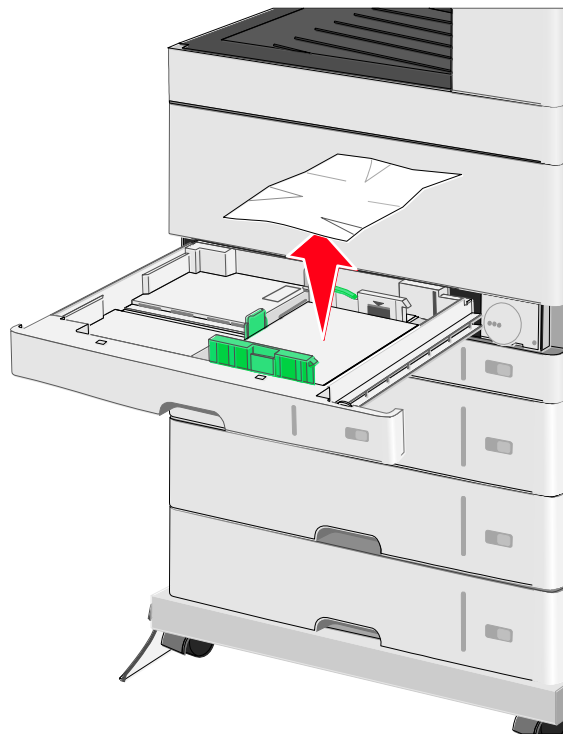
トレイ 1 の紙づまり

1. 側面にあるトレイへのアクセスドアを確認し、つまっているページを引き抜きます。



メモ: すべての紙片が除去されたことを確認します。

2. トレイ 1 を開き、つまっているページを真っすぐに引き出します。

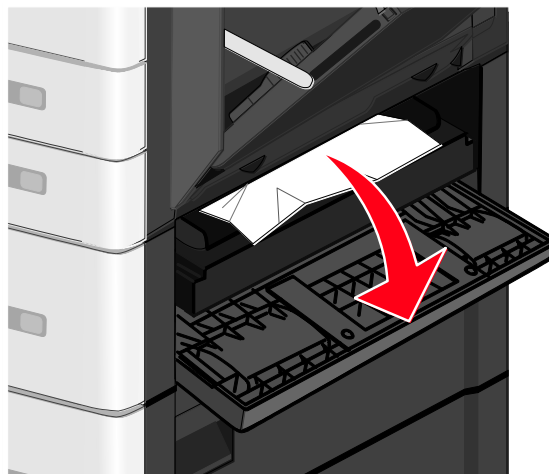


メモ: すべての紙片が除去されたことを確認します。

3. トレイ 1 を閉じます。
4. [続行 (Continue)]、[紙づまりがクリアされました (Jam cleared)] を押します。

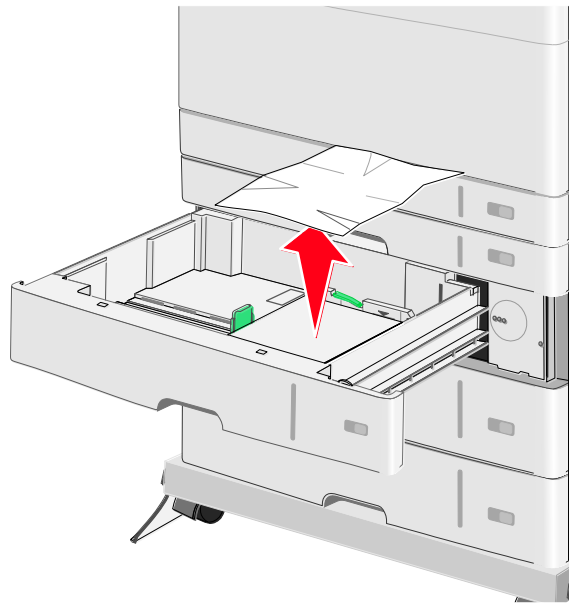
オプショントレイの紙づまり

1. 側面にあるトレイへのアクセスドアを確認し、つまっているページを引き抜きます。



メモ: すべての紙片が除去されたことを確認します。

2. 指定されたトレイを開き、つまっているページを引き出します。



メモ: すべての紙片が除去されたことを確認します。

3. トレイを閉じます。
4. [続行 (Continue)]、[紙づまりがクリアされました (Jam cleared)] を押します。

250 紙づまり

1. 多目的フィーダからつまっているページを取り除きます。

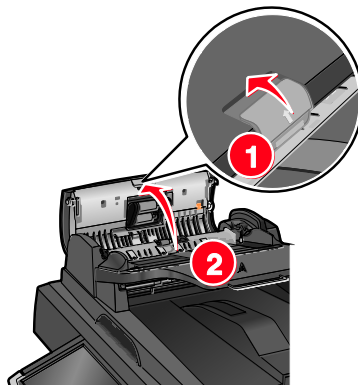


2. 多目的フィーダに用紙をセットします。

3. [続行 (Continue)]、[紙づまりがクリアされました (Jam cleared)] を押します。

280-289 紙づまり

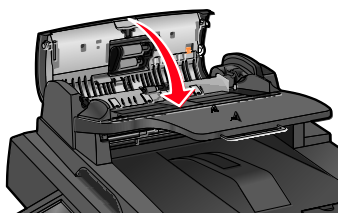
1. ADF からすべての原稿を取り除きます。
2. ADF カバーを開きます。



3. 用紙の両端をしっかりとつかんで、ゆっくりと引き出します。

メモ: すべての紙片が除去されたことを確認します。

4. ADF カバーを閉じます。



5. 原稿を元通りに ADF に戻し、重ねた原稿をそろえ、用紙ガイドを調節します。
6. プリンタの操作パネルで、[続行 (Continue)]、[紙づまりがクリアされました (Jam cleared)] を押します。

290-292 紙づまり

290 紙づまり

ADF カバーを閉じます。

291 紙づまり

スキャナカバーを閉じます。

292 紙づまり

以下のうち、いずれか 1 つ以上を行います。

- ADF カバーを閉じる
- スキャナカバーを閉じる
- システムサポート担当者に連絡する

451 紙づまり

1. スキャナカバーを開き、つまった用紙を取り除きます。
2. スキャナカバーを閉めます。
3. [続行 (Continue)]、[紙づまりがクリアされました (Jam cleared)] を押します。

20—困ったときには

プリンタの基本的な問題に対処する

プリンタに基本的な問題が発生している場合、またはプリンタが反応しない場合は、以下を確認してください。

- プリンタが適切に接地された電気コンセントに電源コードで接続されている。
- 電気コンセントがスイッチやブレーカで遮断されていない。
- プリンタがサージ保護装置、無停電電源装置、または延長コードに接続されていない。
- コンセントに接続した他の電気機器が作動している。
- プリンタの電源が入っている。プリンタの電源スイッチを確認する。
- プリンタのケーブルがしっかりプリンタとホストコンピュータ、プリントサーバ、オプション、その他のネットワーク機器に取り付けられている。
- オプションがすべて適切に取り付けられている。
- プリンタドライバの設定が正しい。

これらの項目をそれぞれ確認したらプリンタの電源を切り、約 10 秒後に再度プリンタの電源を入れてください。これで解決することがよくあります。

プリンタのメッセージを理解する

カラー調整

処理が完了するまでお待ちください。

USB ドライブでエラーが発生しました。ドライブを取り外して挿し込み直してください。

以下の方法をお試しください。

- USB ドライブを外して再度差し込む。
- エラーメッセージが消えない場合は、フラッシュメモリに異常がある可能性があり、交換が必要となります。

[給紙源 (paper source)]を[カスタムタイプ名 (custom type name)]に変更

以下の方法をお試しください。

- [現在の「給紙源」を使用してください (Use current [paper source])] にタッチしてメッセージを無視し、選択したトレイから印刷する。

- トレイに適切なサイズおよびタイプの用紙をセットし、用紙のサイズおよびタイプがプリンタの操作パネルの [用紙 (Paper)] メニューに設定されていることを確認し、[用紙が変更されました、続行 (Paper changed, continue)] にタッチする。
- [ジョブをキャンセル (Cancel job)] にタッチして印刷ジョブをキャンセルする。

[給紙源 (paper source)] に [カスタムタイプ名 (custom type name)][用紙の向き(orientation)]をセット

以下の方法をお試しください。

- [現在の [給紙源] を使用してください (Use current [paper source])] にタッチしてメッセージを無視し、選択したトレイから印刷する。
- トレイに適切なサイズおよびタイプの用紙をセットし、用紙のサイズおよびタイプがプリンタの操作パネルの [用紙 (Paper)] メニューに設定されていることを確認し、[用紙が変更されました、続行 (Paper changed, continue)] にタッチする。
- [ジョブをキャンセル (Cancel job)] にタッチして印刷ジョブをキャンセルする。

[給紙源 (paper source)] を [カスタムの文字列 (custom string)]に変更

以下の方法をお試しください。

- [現在の [給紙源] を使用してください (Use current [paper source])] にタッチしてメッセージを無視し、選択したトレイから印刷する。
- トレイに適切なサイズおよびタイプの用紙をセットし、用紙のサイズおよびタイプがプリンタの操作パネルの [用紙 (Paper)] メニューに設定されていることを確認し、[用紙が変更されました、続行 (Paper changed, continue)] にタッチする。
- [ジョブをキャンセル (Cancel job)] にタッチして印刷ジョブをキャンセルする。

[給紙源 (paper source)] に [カスタムの文字列 (custom string)][用紙の向き(orientation)]をセット

以下の方法をお試しください。

- [現在の [給紙源] を使用してください (Use current [paper source])] にタッチしてメッセージを無視し、選択したトレイから印刷する。
- トレイに適切なサイズおよびタイプの用紙をセットし、用紙のサイズおよびタイプがプリンタの操作パネルの [用紙 (Paper)] メニューに設定されていることを確認し、[用紙が変更されました、続行 (Paper changed, continue)] にタッチする。
- [ジョブをキャンセル (Cancel job)] にタッチして印刷ジョブをキャンセルする。

[給紙源 (paper source)]を[用紙サイズ (paper size)][用紙タイプ (paper type)]に変更

以下の方法をお試しください。

- [現在の[給紙源]を使用してください (Use current [paper source])] にタッチしてメッセージを無視し、選択したトレイから印刷する。
- トレイに適切なサイズおよびタイプの用紙をセットし、用紙のサイズおよびタイプがプリンタの操作パネルの[用紙 (Paper)] メニューに設定されていることを確認し、[用紙が変更されました、続行 (Paper changed, continue)] にタッチする。
- [ジョブをキャンセル (Cancel job)] にタッチして印刷ジョブをキャンセルする。

[給紙源 (paper source)] に [用紙サイズ (paper size)][用紙タイプ (paper type)][用紙の向き(orientation)]をセット

以下の方法をお試しください。

- [現在の[給紙源]を使用してください (Use current [paper source])] にタッチしてメッセージを無視し、選択したトレイから印刷する。
- トレイに適切なサイズおよびタイプの用紙をセットし、用紙のサイズおよびタイプがプリンタの操作パネルの[用紙 (Paper)] メニューに設定されていることを確認し、[用紙が変更されました、続行 (Paper changed, continue)] にタッチする。
- [ジョブをキャンセル (Cancel job)] にタッチして印刷ジョブをキャンセルする。

[トレイ(tray)] ドアを閉じる

指定されたトレイのドアを閉じてください。

前面または側面ドアを閉じる

プリンタの前面または側面ドアを閉じてください。

ディスクが破損しています

プリンタが破損したハードディスクのリカバリを試みましたが修復できません。ハードディスクを再フォーマットする必要があります。

[ディスクを初期化 (Format disk)] にタッチしてプリンタのハードディスクを再フォーマットし、メッセージを消してください。

注意： フォーマットを行うとプリンタのハードディスクに保存されたファイルはすべて削除されます。

ディスクがほとんど満杯。安全にディスク領域をクリア中

以下の方法をお試しください。

- [継続 (Continue)] にタッチしてメッセージを消し、印刷を続ける。

- プリンタのハードディスクに保存されたフォント、マクロ、およびその他のデータを削除する。
- より容量の大きいハードディスクをインストールする。

ディスクの問題

プリンタのハードディスクを再フォーマットする必要があります。

〔ディスクを初期化 (Format disk) 〕にタッチしてプリンタのハードディスクを再フォーマットし、メッセージを消してください。

注意： フォーマットを行うとプリンタのハードディスクに保存されたファイルはすべて削除されます。

USB ドライブの読み取りエラーです。USB を取り外してください。

未対応の USB デバイスが挿入されています。USB デバイスを取り外し、対応しているものをインストールしてください。

トレイ[x]を挿入

指定されたトレイをプリンタに挿入してください。

トレイ[x]を取り付け

以下の方法をお試しください。

- 指定されたトレイを取り付ける。
 - a. プリンタの電源を切ります。
 - b. コンセントから電源コードを抜きます。
 - c. 指定されたトレイを取り付けます。
 - d. 電源コードを適切に接地された電気コンセントに接続します。
 - e. 再度プリンタの電源を入れます。
- 印刷ジョブをキャンセルする。

[給紙源(src)]に[カスタムタイプ名 (custom type name)]をセット

以下の方法をお試しください。

- 指定された用紙をトレイまたはフィーダにセットする。
- 〔用紙がセットされました、続行 (Paper loaded, continue) 〕にタッチしてメッセージを消し、印刷を続ける。

プリンタが適切なタイプおよびサイズ of 用紙がセットされたトレイを探し出すと、そのトレイから給紙します。プリンタが適切なタイプおよびサイズ of 用紙がセットされたトレイを探し出せない場合は、標準の給紙源から印刷します。

- 印刷ジョブをキャンセルする。

[給紙源(src)]に[カスタムの文字列 (custom string)]をセット

以下の方法をお試しください。

- 指定された用紙をトレイまたはフィーダにセットする。
- **【用紙がセットされました、続行 (Paper loaded, continue)】** にタッチしてメッセージを消し、印刷を続ける。

プリンタが適切なタイプおよびサイズの用紙がセットされたトレイを探し出すと、そのトレイから給紙します。プリンタが適切なタイプおよびサイズの用紙がセットされたトレイを探し出せない場合は、標準の給紙源から印刷します。

- 印刷ジョブをキャンセルする。

[給紙源(src)]に[サイズ (size)]をセット

以下の方法をお試しください。

- 指定された用紙をトレイまたはフィーダにセットする。
- **【用紙がセットされました、続行 (Paper loaded, continue)】** にタッチしてメッセージを消し、印刷を続ける。

プリンタが適切なタイプおよびサイズの用紙がセットされたトレイを探し出すと、そのトレイから給紙します。プリンタが適切なタイプおよびサイズの用紙がセットされたトレイを探し出せない場合は、標準の給紙源から給紙します。

- 印刷ジョブをキャンセルする。

[給紙源(src)]に[タイプ (type)][サイズ (size)]をセット

以下の方法をお試しください。

- 指定された用紙をトレイまたはフィーダにセットする。
- **【用紙がセットされました、続行 (Paper loaded, continue)】** にタッチしてメッセージを消し、印刷を続ける。

プリンタが適切なタイプおよびサイズの用紙がセットされたトレイを探し出すと、そのトレイから給紙します。プリンタが適切なタイプおよびサイズの用紙がセットされたトレイを探し出せない場合は、標準の給紙源から給紙します。

- 印刷ジョブをキャンセルする。

手差しフィーダに[カスタムタイプ名 (custom type name)]をセット

以下の方法をお試しください。

- 指定された用紙を手差しフィーダにセットする。

- [各ページ、用紙のセットを要請 (Prompt each page, paper loaded)] または [用紙のセットを要請しない (Do not prompt, paper loaded)] にタッチしてメッセージを消し、印刷を続ける。
- [用紙を自動選択 (Automatically select paper)] にタッチしてトレイにセットされた用紙を使用する。
- 印刷ジョブをキャンセルする。

手差しフィーダに下記をセット[カスタムの文字列 (custom string)]

以下の方法をお試してください。

- 指定された用紙を手差しフィーダにセットする。
- [各ページ、用紙のセットを要請 (Prompt each page, paper loaded)] または [用紙のセットを要請しない (Do not prompt, paper loaded)] にタッチしてメッセージを消し、印刷を続ける。
- [用紙を自動選択 (Automatically select paper)] にタッチしてトレイにセットされた用紙を使用する。
- 印刷ジョブをキャンセルする。

手差しフィーダに下記をセット[用紙サイズ (paper size)]

以下の方法をお試してください。

- 指定された用紙を手差しフィーダにセットする。
- [各ページ、用紙のセットを要請 (Prompt each page, paper loaded)] または [用紙のセットを要請しない (Do not prompt, paper loaded)] にタッチしてメッセージを消し、印刷を続ける。
- [用紙を自動選択 (Automatically select paper)] にタッチしてトレイにセットされた用紙を使用する。
- 印刷ジョブをキャンセルする。

手差しフィーダに下記をセット[用紙タイプ(paper type)][用紙サイズ (paper size)]

以下の方法をお試してください。

- 指定された用紙を手差しフィーダにセットする。
- [各ページ、用紙のセットを要請 (Prompt each page, paper loaded)] または [用紙のセットを要請しない (Do not prompt, paper loaded)] にタッチしてメッセージを消し、印刷を続ける。
- [用紙を自動選択 (Automatically select paper)] にタッチしてトレイにセットされた用紙を使用する。
- 印刷ジョブをキャンセルする。

用紙変更が必要

以下の方法をお試しください。

- **【現在の消耗品を使用 (Use current supplies)】** にタッチしてメッセージを消し、印刷を続ける。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルする。

標準排紙トレイから用紙を取り除いてください

標準排紙トレイから用紙を取り除いてください。

セパレータ パッドを交換

新しいセパレータ パッドを取り付けてください。

保存されたジョブを復元しますか？

以下の方法をお試しください。

- **【復元 (Restore)】** にタッチし、プリンタのハードディスクに保存されたすべての保持ジョブを復元する。
- 印刷ジョブを復元しない場合は **【復元しない (Do not restore)】** にタッチする。

いくつかの保留ジョブは復元することができませんでした

【継続 (Continue)】 にタッチして指定されたジョブを削除してください。

注意： 復元しない保持ジョブはハードディスクに残りますがアクセスできません。

ジョブを終了するには消耗品が必要

ジョブの完了に必要な消耗品がありません。**【キャンセル (Cancel)】** にタッチしてメッセージを消してください。

トレイ[x]の用紙サイズはサポートしていません

指定されたトレイの用紙サイズは未対応です。対応している用紙サイズに交換してください。

サポートされていないディスク

未対応のディスクが挿入されています。未対応のディスクを取り出し、対応しているものをインストールしてください。

1565 エミュレーションエラー、オプションを読み込む

30 秒後に自動的にメッセージが消え、ファームウェアカードへのエミュレータのダウンロードが無効になります。

30.xx [color]カートリッジ／[color]イメージングユニットなし。

以下の方法をお試しください。

- 指定されたトナーカートリッジまたはイメージングユニットを取り外して再度取り付ける。トナーカートリッジまたはイメージングユニットの取り外し方については【詳細情報（More information）】にタッチしてください。
- 交換用の新しいトナーカートリッジまたはイメージングユニットを、付属の説明書に従って取り付ける。

31.xx [color]カートリッジ無し もしくは不良

以下の方法をお試しください。

4. 指定された印刷カートリッジを取り外して再度取り付ける。
印刷カートリッジの取り外し方については【詳細情報（More information）】にタッチしてください。
5. 【継続（Continue）】にタッチしてメッセージを消す。

注意：メッセージが消えない場合は異常のある印刷カートリッジを交換してください。

32.xx デバイスによってサポートされない[color]カートリッジ部品番号

未対応のトナーカートリッジを取り外し、対応しているものを取り付けてください。

34 誤った用紙サイズ、開く：[給紙源(src)]

以下の方法をお試しください。

- 適切なトレイに適切な用紙または特殊用紙をセットする。
- トレイ 1 のホイールがトレイにセットした用紙サイズで固定されているか確認する。このサイズが印刷したいサイズであることを確認する。
- 【継続（Continue）】にタッチしてメッセージを消し、別のトレイで印刷する。
- トレイの長さガイドおよび幅ガイドをチェックし、用紙が適切にトレイにセットされているか確認する。
- 【印刷プロパティ（Print Properties）】または【印刷する（Print）】ダイアログに用紙サイズおよび用紙タイプが正しく設定されているか確認する。
- 用紙サイズが正しく設定されているかチェックする。例えば、【多目的フィーダサイズ（MP Feeder Size）】が【ユニバーサル（Universal）】に設定されている場合は、印刷するデータに対して用紙の大きさが十分であるか確認する。
- 印刷ジョブをキャンセルする。

35 リソース保存機能を使うにはメモリ不足です

以下の方法をお試してください。

- **【継続 (Continue)】** にタッチして **【リソース保存 (Resource Save)】** を無効にし、印刷を続ける。
- このメッセージが表示されてから **【リソース保存 (Resource Save)】** を有効にする場合は、リンクバッファが **【自動 (Auto)】** に設定されているか確認し、メニューを終了してリンクバッファの変更を有効にする。**【レディ (Ready)】** が表示されたら **【リソース保存 (Resource Save)】** を有効にする。
- 増設メモリをインストールする。

36 プリンタ修理が必要

【継続 (Continue)】 にタッチしてメッセージを消す、またはカスタマーサポートに問い合わせる。

37：丁合印刷にはメモリ不足です

以下の方法をお試してください。

- **【継続 (Continue)】** にタッチして既に保存されているジョブの一部を印刷し、印刷ジョブの残りの照合を始める。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルする。

37 フラッシュメモリのデフラグにはメモリ不足です

以下の方法をお試してください。

- **【継続 (Continue)】** にタッチしてデフラグを中止し、印刷を続ける。
- プリンタのメモリのフォント、マクロ、およびその他のデータを削除する。
- プリンタの増設メモリをインストールする。

37 メモリ不足。保留ジョブがいくつか削除されました

現在のジョブを処理するため、プリンタが一部の保持ジョブを削除しました。

【継続 (Continue)】 にタッチしてメッセージを消してください。

37 メモリ不足、いくつかの保存ジョブの復元不可

プリンタがプリンタのハードディスク上の一部またはすべてのコンフィデンシャルまたは保持ジョブを復元できませんでした。

【継続 (Continue)】 にタッチしてメッセージを消してください。

38 メモリフル

以下の方法をお試してください。

- [ジョブをキャンセル (Cancel job)] にタッチしてメッセージを消す。
- プリンタの増設メモリをインストールする。

39 ページが複雑。一部のデータが印刷されない可能性があります。

以下の方法をお試してください。

- [継続 (Continue)] にタッチしてメッセージを消し、印刷を続ける。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルする。
- プリンタの増設メモリをインストールする。

51 フラッシュメモリ不良

以下の方法をお試してください。

- [継続 (Continue)] にタッチしてメッセージを消し、印刷を続ける。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルする。

52 リソース用のフラッシュメモリの空き容量が足りません

以下の方法をお試してください。

- [継続 (Continue)] にタッチしてメッセージを消し、印刷を続ける。

フラッシュメモリに保存されたことのない、ダウンロードされたフォントおよびマクロが削除されます。

- フラッシュメモリに保存されたフォント、マクロ、およびその他のデータを削除する。
- フラッシュメモリカードを容量の大きなものにアップグレードする。

53 未フォーマットフラッシュメモリ検出

以下の方法をお試してください。

- [継続 (Continue)] にタッチしてデフラグを中止し、印刷を続ける。
- フラッシュメモリをフォーマットする。エラーメッセージが消えない場合は、フラッシュメモリに異常がある可能性があり、交換が必要となります。

54 シリアルオプション[x]エラー

以下の方法をお試してください。

- シリアルケーブルが適切に接続されており、シリアルポートに合っているか確認する。

- シリアルインターフェイスのパラメータ（プロトコル、ボーレート、パリティ、およびデータビット）がプリンタおよびホストコンピュータに正しく設定されているか確認する。
- **【継続（Continue）】** にタッチして印刷を続ける。
- プリンタの電源を切ってから再度入れ、プリンタをリセットする。

54 標準ネットワーク ソフトウェアエラー

以下の方法をお試しください。

- **【継続（Continue）】** にタッチして印刷を続ける。
- プリンタの電源を切ってから再度入れ、プリンタをリセットする。
- プリンタまたはプリントサーバのネットワークファームウェアをアップグレード（フラッシュ）する。

54 ネットワーク[x]ソフトウェアエラー

以下の方法をお試しください。

- **【継続（Continue）】** にタッチして印刷を続ける。
- プリンタの電源を切り、約 10 秒後に再度プリンタの電源を入れる。
- プリンタのネットワークファームウェアをアップグレード（フラッシュ）する。

55 スロット[x]にサポートされていないオプション

1. プリンタの電源を切ります。
2. コンセントから電源コードを抜きます。
3. 未対応のオプションカードをプリンタのシステムボードから取り外し、対応しているものと交換します。
4. 電源コードを適切に接地された電気コンセントに接続します。
5. 再度プリンタの電源を入れます。

56 パラレルポート[x]が無効です

以下の方法をお試しください。

- **【継続（Continue）】** にタッチしてメッセージを消す。
プリンタがパラレルポートから受けたデータを破棄します。
- **【Parallel Buffer（パラレルバッファ）】** メニューが **【Disabled（無効）】** に設定されていないか確認する。

56 シリアルポート[x]が無効です

以下の方法をお試しください。

- **【継続 (Continue)】** にタッチしてメッセージを消す。
プリンタがシリアルポートから受けたデータを破棄します。
- **【シリアルバッファ (Serial Buffer)】** メニューが**【無効 (Disabled)】** に設定されていないか確認する。

56 標準パラレルポートが無効

以下の方法をお試しください。

- **【継続 (Continue)】** にタッチしてメッセージを消す。
プリンタがパラレルポートから受けたデータを破棄します。
- **【パラレルバッファ (Parallel Buffer)】** メニューが**【無効 (Disabled)】** に設定されていないか確認する。

56 標準 USB ポートが無効です

以下の方法をお試しください。

- **【継続 (Continue)】** にタッチしてメッセージを消す。
プリンタが USB ポートから受けたデータを破棄します。
- **【USB バッファ (USB Buffer)】** メニューが**【無効 (Disabled)】** に設定されていないか確認する。

56 USB ポート[x]が無効です

以下の方法をお試しください。

- **【継続 (Continue)】** にタッチしてメッセージを消す。
プリンタが USB ポートから受けたデータを破棄します。
- **【USB バッファ (USB Buffer)】** メニューが**【無効 (Disabled)】** に設定されていないか確認する。

57 構成設定変更。保留ジョブがいくつか復元されません

プリンタの一部が変更され、保持ジョブが無効になっています。以下の変更が考えられます。

- プリンタのファームウェアが更新された。
- 印刷ジョブに必要な給紙オプションが削除された。
- USB ポートのデバイスのデータで印刷ジョブが作成されたが、デバイスが既に USB ポートから外されている。

プリンタのハードディスクには印刷ジョブが保存されたが別のプリンタモデルにインストールされた。

[**継続 (Continue)**] にタッチしてメッセージを消してください。

58 給紙構成設定エラー

1. プリンタの電源を切ります。
2. コンセントから電源コードを抜きます。
3. すべてのトレイの構成設定が適切か確認します。必要に応じて不要なトレイを取り外します。
4. 電源コードを適切に接地された電気コンセントに接続します。
5. 再度プリンタの電源を入れます。

58 取付けられたディスクが多過ぎます

1. プリンタの電源を切ります。
2. コンセントから電源コードを抜きます。
3. 余分なディスクを取り外します。
4. 電源コードを適切に接地された電気コンセントに接続します。
5. 再度プリンタの電源を入れます。

58 フラッシュオプションが多過ぎます

1. プリンタの電源を切ります。
2. コンセントから電源コードを抜きます。
3. 余分なフラッシュメモリを取り外します。
4. 電源コードを適切に接地されたコンセントに接続します。
5. 再度プリンタの電源を入れます。

58 取付けられたトレイが多過ぎます

1. プリンタの電源を切ります。
2. コンセントから電源コードを抜きます。
3. 余分なトレイを取り外します。
4. 電源コードを適切に接地されたコンセントに接続します。
5. 再度プリンタの電源を入れます。

61 故障したハードディスクを取り外してください

以下の方法をお試してください。

- 異常があるプリンタハードディスクを取り外す。
- 別のプリンタハードディスクをインストールしてから、プリンタハードディスクに必要な操作を行う。

62 ディスクがいっぱいです

以下の方法をお試してください。

- **【継続 (Continue)】** にタッチしてメッセージを消し、処理を続ける。
- プリンタのハードディスクに保存されたフォント、マクロ、およびその他のデータを削除する。
- より容量の大きいプリンタハードディスクをインストールする。

80.xx フューザー寿命警告

1. 交換用のフューザーを直ちに注文してください。
2. 印刷品質が悪くなった場合は、交換用の新しいフューザーを付属の説明書に従って取り付けてください。
3. **【継続 (Continue)】** にタッチしてメッセージを消し、印刷を続けてください。

80.xx フューザー寿命警告

- 交換用のフューザーを直ちに注文してください。印刷品質が悪くなった場合は、交換用の新しいフューザーを付属の説明書に従って取り付けてください。
- **【継続 (Continue)】** にタッチしてメッセージを消し、印刷を続けてください。

80.xx フューザーを交換

付属の説明書に従って交換用のフューザーに交換してください。

80.xx フューザーがありません

1. 付属の説明書に従って交換用のフューザーに交換してください。
2. **【継続 (Continue)】** にタッチしてメッセージを消し、印刷を続けてください。

82.xx 廃トナーボトルを交換

廃トナーボトルを交換してください。

1. 廃トナーボトルの交換方法については、プリンタの操作パネルの**【詳細情報 (More Information)】** にタッチしてください。
2. **【継続 (Continue)】** にタッチしてメッセージを消し、印刷を続けてください。

82.xx 廃トナーボトルほぼ満杯

交換用の廃トナーボトルを直ちに注文してください。

1. 廃トナーボトルを交換してください。

廃トナーボトルの取り付け方法については、プリンタの操作パネルの【詳細情報（More Information）】にタッチしてください。

2. 【継続（Continue）】にタッチしてメッセージを消し、印刷を続けてください。

83.xx 転写ユニット寿命警告

付属の説明書に従って交換用の転写モジュールに交換してください。

【継続（Continue）】にタッチしてメッセージを消し、印刷を続けてください。

83.xx 転写モジュール未装着

転写モジュールをプリンタに挿入してください。

83.xx 転写モジュールを交換

付属の説明書に従って交換用の転写モジュールに交換してください。

84 [color]イメージングユニット不良

1. 指定されたイメージングユニットが見つかりません、または適切に機能していません。以下の方法をお試しください。
2. 指定されたイメージングユニットを取り外して再度取り付ける。
3. 指定されたイメージングユニットを取り外して新品を取り付ける。

84.xx [color]イメージングユニットほぼ残り僅か

1. 交換用のイメージングユニットを注文してください。
2. 印刷品質が悪くなった場合は、交換用の新しいイメージングユニットを付属の説明書に従って取り付けてください。
3. 【継続（Continue）】にタッチしてメッセージを消し、印刷を続けてください。

84.xx [color]イメージングユニット残り僅か

1. 交換用のイメージングユニットを直ちに注文してください。
2. 印刷品質が悪くなった場合は、交換用の新しいイメージングユニットを付属の説明書に従って取り付けてください。

3. **【継続 (Continue)】** にタッチしてメッセージを消し、印刷を続けてください。

84.xx [color]感光体および[color]カートリッジを交換する

1. 付属の説明書に従って交換用のイメージングユニットおよびカラーカートリッジに交換してください。
2. **【継続 (Continue)】** にタッチしてメッセージを消し、印刷を続けてください。

84 サポートされていない[color]イメージングユニット

指定されたイメージングユニットを交換して印刷を続けてください。

88.xx [color]カートリッジほぼ残り僅か

1. 交換用のトナーカートリッジを注文してください。
2. 指定されたカートリッジを取り外してください。
3. カートリッジを前後左右に数回しっかり振ってトナーを再分配してください。
4. カートリッジを入れ直し、**【継続 (Continue)】** にタッチしてメッセージを消し、印刷を続けてください。

注意：印刷がかすれたままになるまでこの手順を何度も繰り返し、その後カートリッジを交換してください。

88.xx [color]カートリッジ残り僅か

1. 交換用のトナーカートリッジを直ちに注文してください。
2. 指定されたカートリッジを取り外してください。
3. カートリッジを前後左右に数回しっかり振ってトナーを再分配してください。
4. カートリッジを入れ直し、**【継続 (Continue)】** にタッチしてメッセージを消し、印刷を続けてください。

注意：印刷がかすれたままになるまでこの手順を何度も繰り返し、その後カートリッジを交換してください。

88.2x [color]カートリッジ交換

指定されたトナーカートリッジが空です。

1. 指定されたトナーカートリッジを交換してください。
2. **【継続 (Continue)】** にタッチしてメッセージを消し、印刷を続けてください。

印刷時の問題に対処する

複数言語の PDF ファイルを印刷できない

PDF ファイルに利用できないフォントが含まれている可能性があります。

1. 印刷したい文書を Adobe Acrobat で開いてください。
2. プリンタのアイコン > [詳細設定 (Advanced)] > [イメージとして印刷 (Print as image)] > [OK(OK)] > [OK(OK)] の順にクリックしてください。

プリンタの操作パネルのディスプレイに何も表示されない、または Lexmark のロゴのみが表示される

プリンタのセルフテストに失敗しました。プリンタの電源を切り、約 10 秒後に再度入れてください。

[レディ (Ready)] が表示されない場合は、プリンタの電源を切ってカスタマーサポートにお問い合わせください。

USB ドライブの読み込みに関するエラーメッセージが表示される

対応されているフラッシュドライブであるか確認してください。

印刷ジョブが印刷されない

以下の方法をお試しください。

プリンタに問題がないことを確認する

プリンタの操作パネルで状態をチェックしてください。必要であれば復旧手順を行ってください。

プリンタの印刷準備が完了していることを確認する

印刷ジョブを送信する前に、[レディ (Ready)] がディスプレイに表示されているか確認してください。

消耗品がなくなったか、あるいは交換が必要かチェックする

消耗品を取り外して再度取り付けてください。または交換してください。

標準排紙トレイが満杯かどうかチェックする

標準排紙トレイから用紙を取り除いてください。

用紙トレイが空かどうかチェックする

トレイに用紙をセットしてください。

正しいプリンタソフトウェアがインストールされているか確認する

- 使用しているプリンタソフトウェアが正しいか確認してください。
- プリンタを USB ポート経由でコンピュータに接続している場合は、対応しているオペレーティングシステムを起動しているか、また互換性のあるプリンタソフトウェアを使用しているか確認してください。

内部プリントサーバが適切に作動しているか確認する

- 内部プリントサーバが適切にインストールされており、プリンタがネットワークに接続されているかを確認してください。
- ネットワーク設定ページを印刷し、[接続済み (Connected)] の状態であるか確認してください。状態が[未接続 (Not Connected)] の場合は、ネットワークケーブルを確認し、再度ネットワーク設定ページを印刷してください。システムサポート担当者に連絡し、ネットワークが正しく機能しているか確認してください。

プリンタソフトウェアは Lexmark 社のウェブサイト <http://support.lexmark.com> で入手できます。

推奨の USB、シリアル、またはイーサネットケーブルを使用しているか確認する

詳しくは Lexmark 社のウェブサイト <http://support.lexmark.com> でご確認ください。

プリンタケーブルがしっかり接続されているか確認する

プリンタおよびプリントサーバへのケーブルの接続をチェックし、しっかり固定されているか確認してください。

詳しくはプリンタに付属のセットアップマニュアルをご参照ください。

コンフィデンシャルまたはその他の保持ジョブが印刷されない

以下の方法で解決する場合があります。お試しください。

ジョブが一部または全く印刷されない、もしくは白紙のページがある

印刷ジョブにフォーマットエラーまたは無効なデータが含まれている可能性があります。

- 印刷ジョブを削除し、再度印刷してください。
- PDF 文書の場合は、PDF を作り直し再度印刷してください。

インターネットから印刷している場合は、プリンタが複数のジョブ名を重複とみなし、最初のジョブ以外をすべて削除している可能性があります。

- Windows を使用している場合は [印刷プロパティ (Print Properties)] を開いてください。
[印刷後保持 (Print and Hold)] ダイアログで [ユーザー名 (User name)] テキストボックスの [重複文書を保持 (Keep duplicate documents)] チェックボックスを選択し、PIN ナンバーを入力してください。
- Macintosh を使用している場合は、印刷ジョブをそれぞれ別名で保存し、これらをプリンタに送信してください。

プリンタのメモリが十分あるか確認する

保持ジョブのリストをスクロールして一部を削除し、余ったプリンタメモリを使えるようにしてください。

印刷ジョブにかかる時間が予定より長い

以下の方法をお試しください。

印刷ジョブの複雑さを軽減する

印刷ジョブ中のフォントの数とサイズ、イメージの数と複雑さ、およびページ数を減らしてください。

ページ保護設定をオフにする

ホーム画面から以下の順に進んでください。

 > [設定 (Settings)] > [一般設定 (General Settings)] > [印刷リカバリー (Print Recovery)] > [ページ保護 (Page Protect)] > [オフ (Off)] > 

環境設定を変更する

エコモードまたは静音モードの設定を使用している場合は、動作が遅いと感じることがあります。

ジョブが誤ったトレイまたは用紙で印刷される

用紙タイプまたは用紙サイズの設定をチェックする

用紙タイプの設定がトレイにセットした用紙と合っているか確認してください。

1. プリンタの操作パネルの [用紙 (Paper)] メニューで用紙タイプおよび用紙サイズの設定をチェックしてください。
2. ジョブを送信して印刷する前に、正しいタイプ設定を指定してください。
 - Windows を使用している場合は [印刷プロパティ (Print Properties)] で用紙タイプを指定してください。
 - Macintosh を使用している場合は [印刷 (Print)] ダイアログで用紙タイプを指定してください。

誤った文字が印刷される

- プリンタが 16 進トレースモードでないことを確認してください。[16 進レディ (Ready Hex)] がディスプレイに表示される場合は、ジョブを印刷する前に 16 進トレースモードを終了してください。プリンタの電源を切ってから再度入ると 16 進トレースモードが終了します。
- [ネットワーク (Network)] および [USB(USB)] メニューで [スマートスイッチ (SmartSwitch)] が [On(On)] に設定されているか確認してください。

トレイのリンクが機能していない

以下の方法で解決する場合があります。お試しください。

同じサイズおよびタイプの用紙をセットする

- リンクされるトレイにそれぞれ同じサイズおよびタイプの用紙をセットしてください。
- トレイごとに、セットされた用紙のサイズに適した位置まで用紙ガイドを動かしてください。

同じ用紙サイズおよび用紙タイプの設定を使用する

- メニュー設定ページを印刷し、各トレイの設定を比較してください。
- 必要に応じて「用紙サイズ/タイプ (Paper Size/Type)」メニューで設定を調整してください。

注意：標準 550 枚用トレイおよび多目的フィーダは用紙サイズを自動で検知しません。用紙サイズは「用紙サイズ/タイプ (Paper Size/Type)」メニューで設定してください。

大きなジョブが丁合印刷されない

以下の方法で解決する場合があります。お試しください。

「丁合印刷 (Collate)」がオンになっているか確認する

「仕上げ (Finishing)」メニューまたは「印刷プロパティ (Print Properties)」で「丁合印刷 (Collate)」を「オン (On)」に設定してください。

注意：ソフトウェアで「丁合印刷 (Collate)」を「オフ (Off)」に設定すると「仕上げ (Finishing)」メニューの設定が無効になります。

印刷ジョブの複雑さを軽減する

印刷ジョブ中のフォントの数とサイズ、イメージの数と複雑さ、およびページ数を減らして印刷ジョブの複雑さを軽減してください。

プリンタのメモリが十分あるか確認する

プリンタにメモリまたは別売りのハードディスクを追加してください。

突然ページの破損が発生する

「印刷タイムアウト (Print Timeout)」の値を大きくする

1. ホーム画面から以下の順に進んでください。

 > 「設定 (Settings)」 > 「一般設定 (General Settings)」 > 「タイムアウト (Timeouts)」

2. 設定したい値が表示されるまで、「印刷タイムアウト (Print Timeout)」の横の右または左矢印にタッチしてください。

3. 【送信（Submit）】にタッチしてください。

コピーの問題に対処する

コピー機が反応しない

以下の方法で解決する場合があります。お試しください。

ディスプレイにエラーメッセージが表示されていないかチェックする

エラーメッセージを消してください。

電源をチェックする

プリンタのコンセントが接続され、電源が入っており、【レディ（Ready）】が表示されているか確認してください。

スキャナユニットが閉まらない

障害物がないか確認してください。

1. スキャナユニットを持ち上げます。
2. スキャナユニットに挟まっている障害物を取り除きます。
3. スキャナユニットを下ろします。

コピー品質が悪い

コピー品質が悪いと以下のような状態になります。

- 白紙
- 格子模様
- 図形または写真のゆがみ
- 文字の抜け
- 印刷のかすれ
- 印刷が濃い
- 線の曲がり
- 不鮮明
- 筋
- 予期しない文字

- 印刷中の白線

解消するには以下の方法をお試しください。

エラーメッセージを消去する

ディスプレイをチェックし、エラーメッセージを消してください。

トナーまたは印刷カートリッジを交換する

印刷がかすれたままである場合は、トナーまたは印刷カートリッジを交換してください。

原稿台ガラスを清掃する

原稿台ガラスが汚れている可能性があります。糸くずの出ないきれいな布を水で湿らせて原稿台ガラスを清掃してください。

詳細については、[原稿台ガラスの清掃 \(Cleaning the scanner glass\)](#) をご参照ください。

コピーのトナーの濃さを調整する

〔コピー (Copy)〕メニューでトナーの濃さを調整してください。

原稿の質に問題がないか確認する

原稿の質をチェックしてください。

原稿を正しく置く

文書または写真が原稿台ガラスの左上の角に表を下にしてセットされているか確認してください。

〔コピー (Copy)〕の設定が適切か確認する

排紙にパターン（縞模様）が出る場合:

- 〔コピー (Copy)〕画面で、〔内容の種類 (Content Type)〕および〔給紙源 (Source)〕の設定がスキャンされている文書に適しているか確認してください。
- 〔コピー (Copy)〕画面から以下の順に進んでください。
 〔詳細オプション (Advanced Options)〕 > 〔イメージ詳細設定 (Advanced Imaging)〕 > 〔シャープネス (Sharpness)〕 > 〔シャープネス (Sharpness)〕 の設定値を下げる
- 〔コピー (Copy)〕画面で、倍率変更が選択されていないことを確認してください。

文字が薄い、または消えそうな場合:

- 〔コピー (Copy)〕画面から以下の順に進んでください。
 〔内容 (Content)〕 > 〔文字 (Text)〕 >  > コピーされている原稿に合った給紙源を選択
 

- [コピー (Copy)] 画面から以下の順で進んでください。
[詳細オプション (Advanced Options)] > [イメージ詳細設定 (Advanced Imaging)] > [シャープネス (Sharpness)] > 現在の設定値を上げる
- [コピー (Copy)] 画面から以下の順で進んでください。
[詳細オプション (Advanced Options)] > [イメージ詳細設定 (Advanced Imaging)] > [背景削除 (Background removal)] > 現在の設定値を下げる
- [コピー (Copy)] 画面から以下の順で進んでください。
[詳細オプション (Advanced Options)] > [イメージ詳細設定 (Advanced Imaging)] > [コントラスト (Contrast)] > 現在の設定値を上げる
- [コピー (Copy)] 画面から以下の順で進んでください。
[詳細オプション (Advanced Options)] > [イメージ詳細設定 (Advanced Imaging)] > [シャドウ描写 (Shadow detail)] > 現在の設定値を下げる

印刷物の色が褪せている、または明る過ぎる場合:

- [コピー (Copy)] 画面で、[内容の種類 (Content Type)] および [給紙源 (Source)] の設定がスキャンされている文書に適しているか確認してください。
- [コピー (Copy)] 画面で [濃さ (Darkness)] を調整してください。
- [コピー (Copy)] 画面から以下の順で進んでください。
[詳細オプション (Advanced Options)] > [イメージ詳細設定 (Advanced Imaging)] > [シャドウ描写 (Shadow detail)] > 現在の設定値を下げる
- [コピー (Copy)] 画面から以下の順で進んでください。
[詳細オプション (Advanced Options)] > [イメージ詳細設定 (Advanced Imaging)] > [背景削除 (Background removal)] > 現在の設定値を下げる

文書または写真の一部しかコピーされない

以下の方法で解決する場合があります。お試しください。

文書の位置をチェックする

文書または写真が原稿台ガラスの左上の角に表を下にしてセットされているか確認してください。

用紙サイズの設定をチェックする

用紙サイズの設定がトレイにセットした用紙と合っているか確認してください。

1. プリンタの操作パネルの [用紙 (Paper)] メニューで [用紙サイズ (Paper Size)] の設定をチェックしてください。
2. ジョブを送信して印刷する前に、正しいサイズ設定を指定してください。
 - Windows を使用している場合は [印刷プロパティ (Print Properties)] でサイズを指定してください。

- Macintosh を使用している場合は [ページ設定 (Page Setup)] ダイアログでサイズを指定してください。

スキャナの問題に対処する

反応しないスキャナをチェックする

ご使用のスキャナが反応しない場合、以下を確認してください。

- プリンタの電源が入っている。
- プリンタのケーブルがしっかりプリンタとホストコンピュータ、プリントサーバ、オプション、その他のネットワーク機器に取り付けられている。
- プリンタが適切に接地された電気コンセントに電源コードで接続されている。
- 電気コンセントがスイッチやブレーカで遮断されていない。
- プリンタがサージ保護装置、無停電電源装置、または延長コードに接続されていない。
- コンセントに接続した他の電気機器が作動している。

これらの項目をそれぞれ確認したら、プリンタの電源を切り再度入れてください。スキャナの問題の多くはこれで解決します。

うまくスキャンできない

以下の方法で解決する場合があります。お試しください。

ケーブルの接続をチェックする

ネットワークまたは USB ケーブルがコンピュータおよびプリンタにしっかりと接続されているか確認してください。

プログラムにエラーが発生した可能性

プリンタの電源を切り、再起動してください。

スキャンに時間がかかり過ぎる、またはコンピュータがフリーズする

以下の方法で解決する場合があります。お試しください。

サードパーティのソフトウェアがスキャンを妨害している可能性

使用していないプログラムをすべて終了させてください。

スキャンの解像度が高過ぎる可能性

スキャンの解像度を下げてください。

スキャンされたイメージの質が悪い

以下の方法で解決する場合があります。お試しください。

ディスプレイにエラーメッセージが表示されていないかチェックする

エラーメッセージを消してください。

原稿台ガラスが汚れている可能性

糸くずの出ないきれいな布を水で湿らせて原稿台ガラスを清掃してください。詳細については、[原稿台ガラスの清掃 \(Cleaning the scanner glass\)](#) をご参照ください。

スキャンの解像度を調整する

印刷物の品質を高めるためスキャンの解像度を上げてください。

原稿の質をチェックする

原稿の質に問題がないか確認してください。

文書の位置をチェックする

文書または写真が原稿台ガラスの左上の角に表を下にしてセットされているか確認してください。

文書または写真の一部しかスキャンされない

以下の方法で解決する場合があります。お試しください。

文書の位置をチェックする

文書または写真が原稿台ガラスの左上の角に表を下にしてセットされているか確認してください。

用紙サイズの設定をチェックする

用紙サイズの設定がトレイにセットした用紙と合っているか確認してください。

1. プリンタの操作パネルの [用紙 (Paper)] メニューで [用紙サイズ (Paper Size)] の設定をチェックしてください。
2. ジョブを送信して印刷する前に、正しいサイズ設定を指定してください。
 - Windows を使用している場合は [印刷プロパティ (Print Properties)] でサイズを指定してください。
 - Macintosh を使用している場合は [ページ設定 (Page Setup)] ダイアログでサイズを指定してください。

コンピュータからスキャンできない

以下の方法で解決する場合があります。お試しください。

ディスプレイにエラーメッセージが表示されていないかチェックする

エラーメッセージを消してください。

電源をチェックする

プリンタのコンセントが接続され、電源が入っており、【レディ (Ready)】が表示されているか確認してください。

ケーブルの接続をチェックする

ネットワークまたは USB ケーブルがコンピュータおよびプリンタにしっかりと接続されているか確認してください。

FAX の問題に対処する

FAX および E メール機能がセットアップされていない

FAX および E メールを設定するまで赤のインジケータライトが点滅します。FAX および Eメールの設定は、以下の手順に従ってください。

注意： ネットワーク上のプリンタについて以下の手順を行う前に FAX のケーブルが接続されているか確認してください。

1. ホーム画面から以下の順で進んでください。

 > 【一般設定 (General Settings)】 > 【初期設定を実行 (Run initial setup)】 > 【はい (Yes)】 > 【送信 (Submit)】

2. プリンタの電源を切ってから再度入れます。
3. プリンタの操作パネルでご使用の言語にタッチします。
4. お住まいの国または地域にタッチし、次に【続行 (Continue)】にタッチします。
5. 時間帯を選択し、次に【続行 (Continue)】にタッチします。
6. 【FAX (FAX)】および【E メール (E-mail)】にタッチしてアイコンを消し、次に【続行 (Continue)】にタッチします。

注意： この手順は、FAX および E メールをオフにする場合にも使用します。

発信者 ID が表示されない

お客様の通信会社に連絡し、ご使用の電話回線が発信者 ID サービスに加入しているか確認してください。

お住まいの地域が複数の発信者 ID パターンに対応している場合は、標準設定を変更する必要がある場合があります。FSK（パターン 1）および DTMF（パターン 2）の 2 種類を設定できます。FAX メニューでこれらの設定を利用できるかどうかは、お住まいの国または地域が複数の発信者 ID パターンに対応しているかどうかにより異なります。お客様の通信会社に連絡し、どちらのパターンまたは切り替え設定を使用するか決定してください。

FAX を送受信できない

以下の方法で解決する場合があります。お試しください。

ディスプレイにエラーメッセージが表示されていないかチェックする

エラーメッセージを消してください。

電源をチェックする

プリンタのコンセントが接続され、電源が入っており、[レディ (Ready)] が表示されているか確認してください。

プリンタの接続をチェックする

以下のハードウェアにケーブルが確実に接続されているか確認してください（該当する場合）。

- 電話
- ハンドセット
- 留守番電話

電話の差し込み口をチェックする

1. 電話線を差し込み口に差し込んでください。
2. 発信音を聞いてください。
3. 発信音が聞こえない場合は、別の電話線を差し込み口に差し込んでください。
4. やはり発信音が聞こえない場合は、電話線を別の差し込み口に差し込んでください。
5. 発信音が聞こえたら、その差し込み口にプリンタを接続してください。

デジタル電話サービスのチェックリストを確認する

FAX のモデムはアナログ装置です。一部の装置はプリンタに接続することができ、デジタル電話サービスを使用できます。

- ISDN 電話サービスをご使用の場合は、プリンタを ISDN ターミナルアダプタのアナログ電話ポート（R インターフェイスポート）に接続してください。詳細について、また R インターフェイスポートの依頼については、ISDN プロバイダにお問い合わせください。
- DSL をご使用の場合は、DSL フィルタまたはアナログ対応のルーターに接続してください。詳細については、DSL プロバイダにお問い合わせください。

- PBX 電話サービスをご使用の場合は、PBX のアナログ接続部に接続しているか確認してください。アナログ接続部がない場合は、FAX 機用アナログ電話回線の設置をご検討ください。

発信音をチェックする

- FAX を送信したい電話番号にテスト電話を掛けて、正しく機能するか確認してください。
- 別の装置が電話回線を使用している場合は、使用が終わるのを待ってから FAX を送信してください。
- オンフックダイヤル機能をご使用の場合は、ボリュームを上げて発信音を確認してください。

他の装置を一時的に外す

プリンタが正しく機能しているか確認するため、プリンタを電話回線に直接接続してください。留守番電話、モデム付きコンピュータ、または電話回線スプリッタは取り外してください。

紙づまりがないかチェックする

紙づまりを取り除き、【レディ (Ready)】が表示されていることを確認してください。

一時的に割込通話をオフにする

割込通話で FAX 送信が中断することがあります。割込通話機能をオフにしてから FAX を送受信してください。電話会社に、割込通話を一時的にオフにするキーパッドシーケンスをお問い合わせください。

ボイスメールサービスが FAX 送信を妨害している可能性がある

お住まいの地域の電話会社によるボイスメールで FAX 通信が中断することがあります。ボイスメールとプリンタの両方が受信できるようにするには、プリンタ用にもう 1 本電話回線を追加するとよいでしょう。

プリンタのメモリがいっぱいの可能性がある

1. FAX 番号にダイヤルしてください。
2. 原稿を一度に 1 ページスキャンしてください。

FAX を送信できるが受信できない

以下の方法をお試しください。

用紙をセットする

トレイが空の場合、トレイまたはフィーダに用紙をセットしてください。

着信音待機回数を設定をチェックする

着信音待機回数にプリンタが応答するまでの呼び出し音の回数を設定します。プリンタと同じ電話回線で親子電話を使用している場合、または電話会社の特殊呼び出し音サービスに加入している場合は、[Ring Delay（着信音待機）] を 4 に設定してください。

1. プリンタの IP アドレスをウェブブラウザのアドレス欄に入力してください。

プリンタの IP アドレスが分からない場合:

- プリンタの操作パネルの [ネットワーク/ポート (Networks/Ports)] メニューの [TCP/IP(TCP/IP)] 欄で IP アドレスを確認してください。
- ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、[TCP/IP(TCP/IP)] 欄の IP アドレスを確認してください。

2. [設定 (Settings)] > [FAX 設定 (FAX Settings)] > [アナログ FAX 設定 (Analog FAX Setup)] の順にクリックしてください。

3. [呼び出し回数 (Rings to Answer)] 欄にプリンタが応答するまでの呼び出し音の回数を入力してください。

4. [送信 (Submit)] をクリックしてください。

トナーまたは印刷カートリッジを交換する

トナーまたは印刷カートリッジを交換してください。

FAX を受信できるが送信できない

以下の方法で解決する場合があります。お試しください。

プリンタが FAX モードになっていない

ホーム画面で [FAX (FAX)] にタッチし、プリンタを FAX モードにしてください。

文書が正しくセットされていない

原稿を、表を上にして短辺から先に ADF にセットしてください。もしくは原稿台ガラスの左上の角に表を下にしてセットしてください。

注意： はがき、写真、小物、OHP フィルム、写真用紙、または薄いメディア（雑誌の切り抜きなど）は ADF にセットせずに原稿台ガラスに置いてください。

ショートカット番号が正しく設定されているか確認する

- ショートカット番号がダイヤルしたい番号に割り当てられているか確認してください。
- 代わりに自分で電話番号をダイヤルすることもできます。

受信した FAX の印刷品質が悪い

以下の方法をお試してください。

文書を再送する

FAX を送信してきた人に以下をご依頼ください。

- 原稿の質に問題がないかチェックする。
- FAX の再送信。電話回線の接続に問題がある可能性があります。
- 可能であれば、FAX のスキャン解像度を高くすること。

カートリッジを交換する

【88 トナーカートリッジ残り僅か（88 Cartridge low）】が表示された場合、または印刷がかすれている場合はカートリッジを交換してください。

FAX 送信速度の設定が早すぎないか確認する

FAX の受信速度を下げてください。

1. プリンタの IP アドレスをウェブブラウザのアドレス欄に入力してください。

注意： プリンタの IP アドレスが分からない場合は、ネットワーク設定ページを印刷し、[TCP/IP(TCP/IP)] 欄の IP アドレスを確認してください。

2. 【設定 (Settings)】 > 【FAX 設定 (FAX Settings)】 > 【アナログ FAX 設定 (Analog FAX Setup)】の順にクリックしてください。

3. 【速度優先 (Max Speed)】ボックスで、以下のいずれかをクリックしてください。

2400

4800

9600

14400

33600

4. 【Submit (送信)】をクリックしてください。

ホーム画面のアプリケーションの問題に対処する

アプリケーションエラーが発生した場合

システムログの関連する詳細情報をチェックする

プリンタの IP アドレスまたはホスト名をウェブブラウザのアドレス欄に入力してください。

1. プリンタの IP アドレスまたはホスト名が分からない場合：
 - プリンタの操作パネルのホーム画面または [ネットワーク/ポート (Networks/Ports)] メニューの [TCP/IP(TCP/IP)] 欄で詳細を確認してください。
 - ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、[TCP/IP(TCP/IP)] 欄で詳細を確認してください。
2. [設定 (Settings)] または [構成設定メニュー (Configuration)] をクリックしてください。
3. [デバイスのソリューション (Device Solutions)] > [ソリューション (eSF) (Solutions (eSF))] > [システム (System)] タブ > [ログ (Log)] の順にクリックしてください。
4. [フィルタ (Filter)] メニューでアプリケーションの状態を選択してください。
5. [アプリケーション (Application)] メニューでアプリケーションを選択し、[送信 (Submit)] をクリックしてください。

スキャンしたいファイルの名前が既に使用されていないか確認する

スキャンしたいファイルを別のアプリケーションまたはユーザーが開いていないことを確認してください。

エラーを防ぐため、送信先構成で [タイムスタンプを追加 (Append time stamp)] または [既存のファイルを上書き (Overwrite existing file)] が選択されていることを確認してください。

スキャンの設定を調整する

送信先構成でスキャンの設定値を下げてください。例えば、スキャンの解像度を下げる、[カラー (Color)] をオフにする、または [内容の種類 (Content type)] を [文字 (Text)] に変更するなどです。

カスタマーサポートに問い合わせる

問題を特定できない場合は、カスタマーサポートにお問い合わせください。

オプションの問題に対処する

オプションが正しく動作しない、またはインストール後に中断する

以下の方法をお試しください。

プリンタをリセットする

プリンタの電源を切り、約 10 秒後に再度入れてください。

オプションがプリンタに接続されているかチェックする

1. 電源スイッチでプリンタの電源を切ってください。
2. 電源コードをコンセントから抜き、次にプリンタから抜いてください。
3. オプションとプリンタの間の接続をチェックしてください。

オプションが正しくインストールされているか確認する

メニュー設定ページを印刷し、このオプションがインストール済みオプション一覧に含まれているかチェックしてください。一覧に含まれていない場合は、このオプションを再インストールしてください。詳しくはオプションに付属のハードウェアセットアップマニュアルをご参照ください。もしくは www.lexmark.com でオプション説明書を確認してください。

オプションが選択されているか確認する

印刷しているコンピュータでオプションを選択してください。

詳細については、[プリンタドライバで利用可能なオプションを更新 \(Updating available options in the printer driver\)](#) をご参照ください。

用紙トレイの問題

以下の方法をお試しください。

用紙が正しくセットされているか確認する

1. 用紙トレイを開いてください。
2. 紙づまりまたは給紙ミスがないかチェックしてください。
3. 用紙ガイドが用紙の端に沿っているか確認してください。
4. 用紙トレイがきちんと閉まっているか確認してください。

プリンタをリセットする

プリンタの電源を切り、約 10 秒後に再度入れてください。

用紙トレイが正しく設置されているか確認する

メニュー設定ページに記載されている用紙トレイで、用紙がトレイを出入りする際に紙づまりが起きる場合は、トレイが適切に入っていない可能性があります。用紙トレイを入れ直してください。詳しくは、用紙トレイに付属のハードウェアセットアップマニュアルをご参照ください。もしくは <http://support.lexmark.com> で用紙トレイ説明書を確認してください。

フラッシュメモリカードを検知できない

フラッシュメモリカードがプリンタのシステムボードにしっかりと接続されているか確認してください。

プリンタのハードディスクを検知できない

プリンタのハードディスクがプリンタのシステムボードにしっかりと接続されているか確認してください。

内蔵ソリューションポートが正しく動作しない

以下の方法をお試しください。

内蔵ソリューションポート(ISP)の接続をチェックする

ISP がプリンタのシステムボードにしっかりと接続されているか確認してください。

ケーブルをチェックする

正しいケーブルを使用しているか、またこのケーブルがインターネットソリューション(ISP)ポートにしっかりと接続されているか確認してください。

ネットワークソフトウェアが正しく設定されているか確認する

ネットワーク印刷ソフトウェアのインストールについては、ソフトウェアおよびマニュアル CD のネットワークガイドをご参照ください。

内部プリントサーバが正しく動作しない

以下の方法をお試しください。

プリントサーバの接続をチェックする

- 内部プリントサーバがプリンタのシステムボードにしっかりと取り付けられているか確認してください。
- 正しいケーブルを使用しているか、またこのケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。

ネットワークソフトウェアが正しく設定されているか確認する

ネットワーク印刷ソフトウェアのインストールについては以下に従ってください。

1. ソフトウェアおよびマニュアル CD を開きます。
2. [その他 (Additional)] をクリックします。
3. CD の [パブリケーション (Publications)] から [ネットワークガイド (Networking Guide)] を選択します。

メモ리카ード

メモ리카ードがプリンタのシステムボードにしっかりと接続されているか確認してください。

USB/パラレルインターフェイスカードが正しく動作しない

USB/パラレルインターフェイスカードの接続をチェックする

USB/パラレルインターフェイスカードがプリンタのシステムボードにしっかりと接続されているか確認してください。

ケーブルをチェックする

正しいケーブルを使用しているか、またこのケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。

給紙の問題に対処する

用紙が頻繁につまる

以下の方法で解決する場合があります。お試しください。

用紙をチェックする

推奨する用紙および特殊用紙を使用してください。詳細については、用紙および特殊用紙のガイドラインに関する章をご参照ください。

用紙トレイに用紙を入れ過ぎていないか確認する

セットした用紙がトレイまたは多目的フィーダに表示される最大用紙量を超えていないことを確認してください。

用紙ガイドをチェックする

セットされた用紙のサイズに適した位置までトレイの中のガイドを動かしてください。

湿度が高いと用紙が湿気を吸っている可能性がある

- 新しいパッケージの用紙をセットしてください。

- 用紙は使用するまで元の包み紙のまま保管してください。

紙づまりを取り除いても紙づまりのメッセージが消えない

用紙経路を確認する

用紙経路がつまっています。用紙経路全体からつまった用紙を取り除き、**〔継続 (Continue) 〕** にタッチしてください。

紙づまりしたページが再印刷されない

〔紙づまり後の処理 (Jam Recovery) 〕 をオンにする

1. ホーム画面から以下の順で進んでください。

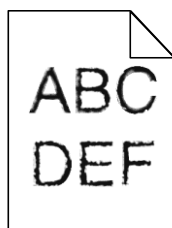
 > **〔設定 (Settings) 〕** > **〔一般設定 (General Settings) 〕** > **〔印刷リカバリー (Print Recovery) 〕**

2. **〔オン (On) 〕** または **〔自動 (Auto) 〕** が表示されるまで **〔紙づまり後の処理 (Jam Recovery) 〕** の横の矢印にタッチしてください。
3. **〔送信 (Submit) 〕** にタッチしてください。

印刷品質の問題に対処する

これらの方法で問題を解消できない場合は、カスタマーサポートにお問い合わせください。プリンタの部品を調整または交換する必要があるかもしれません。

文字がぎざぎざになっている、または縁が不ぞろいである



ダウンロードされたフォントを使用している場合は、プリンタ、ホストコンピュータ、およびソフトウェアプログラムがそのフォントに対応していることを確認してください。

イメージが途切れている

以下の方法をお試しください。

ガイドをチェックする

セットされた用紙サイズに適した位置までトレイの幅ガイドおよび長さガイドを動かしてください。

用紙サイズの設定をチェックする

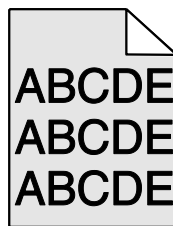
用紙サイズの設定がトレイにセットした用紙と合っているか確認してください。

1. プリンタの操作パネルの〔用紙（Paper）〕メニューで〔用紙サイズ（Paper Size）〕の設定をチェックしてください。
2. ジョブを送信して印刷する前に、正しいサイズ設定を指定してください。
 - Windows を使用している場合は〔印刷プロパティ（Print Properties）〕でサイズを指定してください。
 - Macintosh を使用している場合は〔ページ設定（Page Setup）〕ダイアログでサイズを指定してください。

カラーページに細い横線が出る

色の濃い写真またはページに細い横線が出ることがあります。この線はプリンタが静音モードの時に発生する場合があります。解消するには、静音モードを〔オフ（イメージ/写真）〕に設定してください。

背景が灰色になる



〔トナーの濃さ（Toner Darkness）〕の設定をチェックする

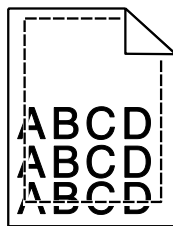
〔トナーの濃さ（Toner Darkness）〕を薄く設定してください。

- プリンタの操作パネルの〔品質（Quality）〕メニューで設定を変更してください。
- Windows を使用している場合は〔印刷プロパティ（Print Properties）〕で設定を変更してください。
- Macintosh を使用している場合は〔印刷（Print）〕ダイアログで設定を変更してください。

トナーカートリッジに磨耗または異常がある

トナーカートリッジを交換してください。

マージンが正しくない



以下の方法で解決する場合があります。お試しください。

用紙ガイドをチェックする

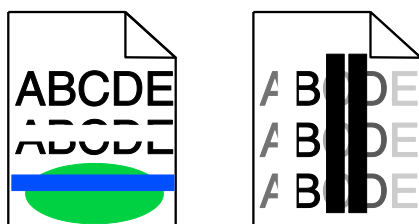
セットされた用紙のサイズに適した位置までトレイの中のガイドを動かしてください。

用紙サイズの設定をチェックする

用紙サイズの設定がトレイにセットした用紙と合っているか確認してください。

1. プリンタの操作パネルの [用紙 (Paper)] メニューで [用紙サイズ (Paper Size)] の設定をチェックしてください。
2. ジョブを送信して印刷する前に、正しいサイズ設定を指定してください。
 - Windows を使用している場合は [印刷プロパティ (Print Properties)] でサイズを指定してください。
 - Macintosh を使用している場合は [ページ設定 (Page Setup)] ダイアログでサイズを指定してください。

印刷に明るい色、白、または不適切な色の線が出る



以下の方法をお試しください。

トナーカートリッジに異常がないか確認する

異常のあるトナーカートリッジを交換してください。

イメージングユニットに異常がないか確認する

異常のあるイメージングユニットを交換してください。

転写モジュールに異常がないか確認する

転写モジュールを交換してください。

プリントヘッドレンズを清掃する

イメージングユニットを取り外して再度取り付けてください。イメージングユニットの端の LED ワイプが LED の列をこすってプリントヘッドレンズをきれいにします。

用紙が丸まる

以下の方法をお試しください。

用紙タイプまたは重さの設定をチェックする

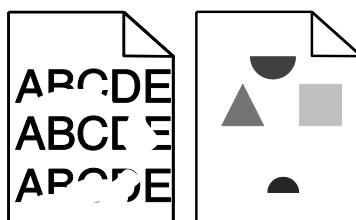
用紙タイプおよび重さの設定がトレイまたはフィーダにセットした用紙と合っているか確認してください。

1. プリンタの操作パネルの [用紙 (Paper)] メニューで [用紙タイプ (Paper Type)] および [Paper Weigh (用紙の重さ)] の設定をチェックしてください。
2. 印刷ジョブを送信する前に、正しい用紙タイプ設定を指定してください。
 - Windows を使用している場合は [印刷プロパティ (Print Properties)] で用紙タイプを指定してください。
 - Macintosh を使用している場合は [印刷 (Print)] ダイアログで用紙タイプを指定してください。

新しいパッケージの用紙をセットする

湿度が高いと用紙が湿気を吸います。用紙は使用するまで元の包み紙のまま保管してください。

印刷のむら



以下の方法をお試しください。

新しいパッケージの用紙をセットする

湿度が高いと用紙が湿気を吸っている可能性があります。用紙は使用するまで元の包み紙のまま保管してください。

用紙タイプおよび重さの設定をチェックする

用紙タイプおよび重さの設定がトレイまたはフィーダにセットした用紙と合っているか確認してください。

1. プリンタの操作パネルの「用紙（Paper）」メニューで「用紙タイプ（Paper Type）」および「Paper Weigh（用紙の重さ）」の設定をチェックしてください。
2. 印刷ジョブを送信する前に、正しい用紙タイプ設定を指定してください。
 - Windows を使用している場合は「印刷プロパティ（Print Properties）」で用紙タイプを指定してください。
 - Macintosh を使用している場合は「印刷（Print）」ダイアログで用紙タイプを指定してください。

表面の粗い紙を避ける

トナーカートリッジに異常がないか確認する

磨耗または異常のあるトナーカートリッジを交換してください。

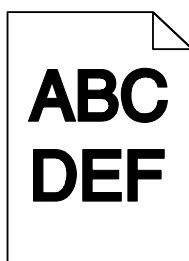
転写モジュールに異常がないか確認する

異常のある転写モジュールを交換してください。詳細については交換部品に付属の説明書をご参照ください。

フューザーに異常がないか確認する

異常のあるフューザーを交換してください。詳細については交換部品に付属の説明書をご参照ください。

印刷が濃過ぎる



以下の方法をお試しください。

濃度、明度、およびコントラストの設定をチェックする

「トナーの濃さ（Toner Darkness）」の設定が濃過ぎる、「明度（Brightness）」の設定が暗過ぎる、または「コントラスト（Contrast）」が高過ぎる可能性があります。

- プリンタの操作パネルの「品質（Quality）」メニューでこれらの設定を変更してください。
- Windows を使用している場合は「印刷プロパティ（Print Properties）」で設定を変更してください。

- Macintosh を使用している場合は、
 1. **【ファイル (File)】 > 【印刷 (Print)】** を選択してください。
 2. **【写真の向き (Orientation pictures)】** ドロップダウンメニューから **【プリンタの機能 (Printer Features)】** を選択してください。
 3. **【トナーの濃さ (Toner Darkness)】**、**【明度 (Brightness)】**、および **【コントラスト (Contrast)】** に小さい値を設定してください。

新しいパッケージの用紙をセットする

湿度が高いと用紙が湿気を吸っている可能性があります。用紙は使用するまで元の包み紙のまま保管してください。

表面の粗い紙を避ける

【用紙タイプ (Paper Type)】 の設定をチェックする

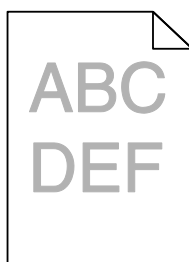
【用紙タイプ (Paper Type)】 の設定がトレイまたはフィーダにセットした用紙と合っているか確認してください。

- プリンタの操作パネルの **【用紙 (Paper)】** メニューで **【用紙タイプ (Paper Type)】** の設定をチェックしてください。
- Windows を使用している場合は **【印刷プロパティ (Print Properties)】** でこの設定をチェックしてください。
- Macintosh を使用している場合は **【印刷 (Print)】** ダイアログでこの設定をチェックしてください。

トナーカートリッジに異常がないか確認する

異常のあるトナーカートリッジを交換してください。

印刷が薄過ぎる



以下の方法をお試しください。

濃度、明度、およびコントラストの設定をチェックする

【トナーの濃さ (Toner Darkness)】 の設定が薄過ぎる、【明度 (Brightness)】 の設定が明る過ぎる、または **【コントラスト (Contrast)】** の設定が低過ぎる可能性があります。

- プリンタの操作パネルの **【品質 (Quality)】** メニューでこれらの設定を変更してください。

- Windows を使用している場合は [印刷プロパティ (Print Properties)] でこの設定を変更してください。
- Macintosh を使用している場合は、
 1. [ファイル (File)] > [印刷 (Print)] を選択してください。
 2. [写真の向き (Orientation pictures)] ドロップダウンメニューから [プリンタの機能 (Printer Features)] を選択してください。
 3. [トナーの濃さ (Toner Darkness)]、[明度 (Brightness)]、および [コントラスト (Contrast)] に大きい値を設定してください。

新しいパッケージの用紙をセットする

湿度が高いと用紙が湿気を吸っている可能性があります。用紙は使用するまで元の包み紙のまま保管してください。

表面の粗い紙を避ける

[用紙タイプ (Paper Type)] の設定をチェックする

[用紙タイプ (Paper Type)] の設定がトレイまたはフィーダにセットした用紙と合っているか確認してください。

- プリンタの操作パネルの [用紙 (Paper)] メニューで [用紙タイプ (Paper Type)] の設定をチェックしてください。
- Windows を使用している場合は [印刷プロパティ (Print Properties)] でこの設定をチェックしてください。
- Macintosh を使用している場合は [印刷 (Print)] ダイアログでこの設定をチェックしてください。

トナーカートリッジのトナーが少なくないか確認する

[88.xx [color]カートリッジ残り僅か (88.xx [color] cartridge low)] が表示された場合、印刷カートリッジの中でトナーが均一に分配されているか確認してください。

1. トナーカートリッジを取り外してください。
2. カートリッジを前後左右に数回しっかり振ってトナーを再分配してください。
3. トナーカートリッジを入れ直してください。

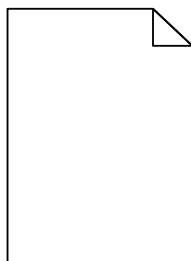
注意：印刷品質が改善されない場合は、印刷カートリッジを交換してください。

問題が続く場合は、プリンタを点検する必要があります。詳細については、カスタマーサポートにお問い合わせください。

トナーカートリッジに異常がないか確認する

異常のあるトナーカートリッジを交換してください。

何も印刷されないページがある



以下の方法をお試してください。

トナーまたは印刷カートリッジに包装材が残っていないか確認する

カートリッジを取り外し、包装材がきちんと取り除かれていることを確認してください。カートリッジを入れ直してください。

トナーまたは印刷カートリッジのトナーが少なくないか確認する

[88.xx [color]カートリッジ残り僅か (88.xx [color] cartridge low)] が表示された場合、4つのカートリッジすべてについてトナーが均一に分配されているか確認してください。

1. カートリッジを取り外してください。

警告—破損の可能性：感光体ドラムに触れないよう注意してください。今後の印刷ジョブの印刷品質が悪くなる恐れがあります。

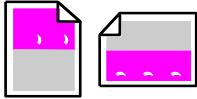
2. カートリッジを前後左右に数回しっかり振ってトナーを再分配してください。

3. カートリッジを入れ直してください。

注意：印刷品質が改善されない場合は、印刷していない色のカートリッジを交換してください。

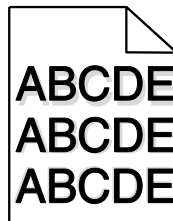
問題が続く場合は、プリンタを点検する必要があります。詳細については、カスタマーサポートにお問い合わせください。

ページで異常を繰り返す

原因	対処方法
	
1 ページ中、ある色でマークが繰り返して現れる場合	
転写モジュールに異常がある。	38mm (1.50 インチ) 間隔で異常が発生する場合は、転写モジュールを交換してください。
イメージングユニットに異常がある。	41.0mm (1.61 インチ)、75.0mm (2.95 インチ) 間隔で異常が発生する場合は、イメージングユニットを交換してください。

原因	対処方法
1 ページ中、すべての色でマークが繰り返して現れる場合	
フューザーに異常がある。	141mm（5.55 インチ）間隔で異常が発生する場合は、フューザーを交換してください。

印刷に影が入る



用紙タイプまたは重さの設定をチェックする

用紙タイプおよび重さの設定がトレイにセットした用紙と合っているか確認してください。

1. プリンタの操作パネルの [用紙 (Paper)] メニューで [用紙タイプ (Paper Type)] および [用紙の重さ (Paper Weight)] の設定をチェックしてください。
2. ジョブを送信して印刷する前に、正しいタイプ設定を指定してください。
 - Windows を使用している場合は [印刷プロパティ (Print Properties)] でタイプを指定してください。
 - Macintosh を使用している場合は [印刷 (Print)] ダイアログでタイプを指定してください。

イメージングユニットに異常がないか確認する

イメージングユニットを交換してください。

トナーカートリッジのトナーが少なくないか確認する

[88.xx [color]カートリッジ残り僅か (88.xx [color] cartridge low)] が表示された場合、トナーカートリッジの中でトナーが均一に分配されているか確認してください。

1. トナーカートリッジを取り外してください。

警告—破損の可能性：感光体ドラムに触れないよう注意してください。今後の印刷ジョブの印刷品質が悪くなる恐れがあります。

2. カートリッジを前後左右に数回しっかり振ってトナーを再分配してください。
3. トナーカートリッジを入れ直してください。

注意：印刷品質が改善されない場合は、トナーカートリッジを交換してください。

問題が続く場合は、プリンタを点検する必要があります。詳細については、カスタマーサポートにお問い合わせください。

印刷が曲がっている

以下の方法で解決する場合があります。お試しください。

用紙ガイドをチェックする

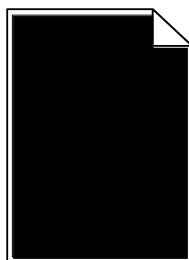
セットされた用紙サイズに適した位置までトレイの長さガイドおよび幅ガイドを動かしてください。

- ガイドが用紙から離れ過ぎていないか確認してください。
- ガイドが用紙を押す力が弱過ぎないか確認してください。

用紙をチェックする

プリンタの仕様に合った用紙を使用しているか確認してください。

ページがべた一色になる



以下の方法をお試しください。

イメージングユニットが正しく取り付けられており異常がないことを確認する

イメージングユニットを取り外して再度取り付けてください。問題が続く場合は、イメージングユニットを交換する必要があります。

トナーカートリッジが正しく取り付けられており異常がなく、トナーが少なくないことを確認する

- トナーカートリッジを取り外して再度取り付けてください。
- トナーカートリッジのトナーが均一に分配されているか確認してください。

1. トナーカートリッジを取り外してください。

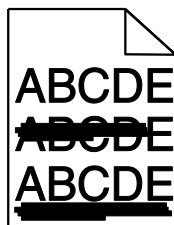
警告—破損の可能性：感光体ドラムに触れないよう注意してください。今後の印刷ジョブの印刷品質が悪くなる恐れがあります。

2. カートリッジを前後左右に数回しっかり振ってトナーを再分配してください。
3. トナーカートリッジを入れ直してください。

注意：印刷品質が改善されない場合は、トナーカートリッジを交換してください。

問題が続く場合は、プリンタを点検する必要があります。詳細については、カスタマーサポートにお問い合わせください。

印刷に縞状の横線が出る



以下の方法をお試しください。

別のトレイまたはフィーダを選択する

- プリンタの操作パネルの [用紙 (Paper)] メニューで [標準設定給紙源 (Default Source)] を選択してください。
- Windows を使用している場合は [印刷プロパティ (Print Properties)] で給紙源を選択してください。
- Macintosh を使用している場合は [印刷 (Print)] ダイアログおよびポップアップメニューで給紙源を選択してください。

トナーカートリッジに磨耗、異常がないか、カートリッジが空ではないか確認する

磨耗、異常のある、または空のトナーカートリッジを交換してください。

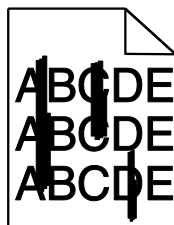
トナーカートリッジ周辺の用紙経路をきれいにする



注意—表面が高温：プリンタの内側は高温の場合があります。高温部品でけがをしないよう、表面が冷えてから触れるようにしてください。

用紙経路の目に見える用紙は取り除き、トナーは清掃してください。問題が続く場合はカスタマーサポートにお問い合わせください。

印刷に縞状の縦線が出る



以下の方法をお試してください。

別のトレイまたはフィーダを選択する

- プリンタの操作パネルの [用紙 (Paper)] メニューで [標準設定給紙源 (Default Source)] を選択してください。
- Windows を使用している場合は [印刷プロパティ (Print Properties)] で給紙源を選択してください。
- Macintosh を使用している場合は [印刷 (Print)] ダイアログおよびポップアップメニューで給紙源を選択してください。

トナーカートリッジに磨耗、異常がないか、カートリッジが空ではないか確認する

磨耗、異常のある、または空のトナーカートリッジを交換してください。

トナーカートリッジ周辺用の紙経路をきれいにする

トナーカートリッジ周辺の用紙経路をチェックしてください。

 **注意—表面が高温：**プリンタの内側は高温の場合があります。高温部品でけがをしないよう、表面が冷えてから触れるようにしてください。

見える用紙は取り除いてください。

用紙経路にトナーがないか確認する

ページにトナーかぶりまたは背景のむらが出る

原因	対処方法
トナーカートリッジに異常がある、または正しく設置されていない。	トナーカートリッジを入れ直す、または交換する。
転写モジュールに磨耗または異常がある。	転写モジュールを交換する。
イメージングユニットに磨耗または異常がある。	イメージングユニットを交換する。
フューザーに磨耗または異常がある。	フューザーを交換する。
トナーが用紙経路に入っている可能性がある。	点検を依頼する。
プリンタを最近再調整していない。	[品質 (Quality)] メニューで色を調整する。
アプリケーションで背景をオフホワイトに指定している可能性がある。	アプリケーションをチェックする。

トナーが薄い

原因	対処方法
特殊用紙を使用している。	正しい〔用紙タイプ (Paper Type) 〕を選択しているか確認する。
使用している用紙のタイプに対し、〔用紙 (Paper) 〕メニューの〔用紙の重さ (Paper Weigh) 〕の設定が間違っている。	〔用紙の重さ (Paper Weigh) 〕を〔普通 (Normal) 〕から〔重い (Heavy) 〕に変更する。必要に応じて、〔用紙の粗さ (Paper Texture) 〕を〔普通 (Normal) 〕から〔粗い (Rough) 〕に変更する。
フューザーに磨耗または異常がある。	フューザーを交換する。
フューザーが封筒モードになっている。	側面ドアを開ける。フューザーの左側の緑レバーが封筒モードになっていないか確認する。

トナーのしみ

原因	対処方法
トナーカートリッジに磨耗または異常がある。	磨耗または異常のあるトナーカートリッジを交換する。
トナーが用紙経路に入っている。	点検を依頼する。
イメージングユニットに異常がある可能性がある。	異常のあるイメージングユニットを交換する。

OHP フィルムの印刷品質が悪い

以下の方法をお試しください。

OHP フィルムをチェックする

プリンタの仕様に合った OHP フィルムのみを使用してください。

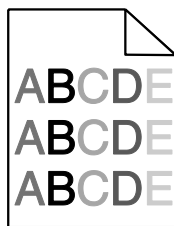
用紙タイプの設定をチェックする

用紙タイプ設定が〔OHP フィルム (Transparency) 〕になっているか確認してください。

- プリンタの操作パネルの〔用紙 (Paper) 〕メニューで〔用紙タイプ (Paper Type) 〕の設定をチェックしてください。
- ジョブを送信して印刷する前に、正しいタイプ設定を指定してください。
 - Windows を使用している場合は〔印刷プロパティ (Print Properties) 〕でタイプを指定してください。

- Macintosh を使用している場合は [印刷 (Print)] ダイアログでタイプを指定してください。

印刷にむらがある



以下の方法をお試しください。

トナーカートリッジに磨耗または異常がないか確認する

磨耗または異常のあるトナーカートリッジを交換してください。

イメージングユニットに異常がないか確認する

異常のあるイメージングユニットを交換してください。

カラー品質の問題に対処する

カラー印刷についてのよくある質問

RGB カラーとは？

赤、緑、および青の光は、さまざまな割合で重ねると自然界で見られる幅広い色を作ることができます。例えば、赤と緑を組み合わせると黄色を作ることができます。テレビやコンピュータのモニターの色はこのように作ります。RGB カラーは、ある色を作るのに必要な赤、緑、または青色の割合を示すことによって色を表現する方法です。

CMYK カラーとは？

シアン、マゼンタ、黄色、および黒（CMYK カラーとして知られる）のインクまたはトナーは、さまざまな割合で印刷すると自然界で見られる幅広い色を作ることができます。例えば、シアンと黄色を組み合わせると緑色を作ることができます。印刷機、インクジェットプリンタ、およびカラーレーザー／LED プリンタの色はこのように作ります。CMYK カラーは、特定の色を再現するのに必要なシアン、マゼンタ、黄色、および黒の割合を示すことによって色を表現する方法です。

印刷される文書の色はどのように指定されるのですか？

一般的に、ソフトウェアアプリケーションが RGB または CMYK カラーの組み合わせを使用して文書の色を指定します。さらに、通常は文書中のオブジェクトの色をそれぞれ自分で修正することもできます。詳細については、ソフトウェアアプリケーションのヘルプの項をご参照ください。

プリンタは印刷する色をどのように認識するのですか？

印刷時に、それぞれのオブジェクトのタイプおよび色を説明する情報がプリンタに送信されます。この色情報はカラー変換表にかけられ、この希望の色を作るのに必要なシアン、マゼンタ、黄色、および黒のトナーの量が算出されます。オブジェクトタイプの情報に従い、オブジェクトのタイプ

ごとに異なるカラー変換表を使用します。例えば、文字には 1 種類のカラー変換表を適用し、写真イメージには別のカラー変換表を適用することができます。

PostScript または PCL エミュレーションプリンタソフトウェアを使用した方がよいですか？色を最適にするにはどのように設定すればよいですか？

最高のカラー品質を出すには、PostScript ドライバを強くお勧めします。PostScript ドライバを標準設定にすると、ほとんどの印刷物のカラー品質が良好になります。

印刷した色とコンピュータの画面で見る色が違うのはなぜですか？

自動カラー補正モードで使用するカラー変換表は、一般的に標準的なコンピュータモニターの色を模しています。しかし、プリンタとモニターの技術が異なるため、モニターの違いや照明条件からも影響を受ける可能性がある色がたくさんあります。特定の色を合わせる際にプリンタのカラーサンプルページを有効活用する方法については、「特殊な色（企業のロゴの色など）はどのように合わせますか？」の質問をご参照ください。

印刷したページが着色されているように見えます。色を微調整できますか？

印刷したページが着色されているように感じるかもしれません（例えば、印刷したものがすべて赤過ぎるなど）。これは、環境条件、用紙タイプ、照明条件、またはユーザーの好みにより起こることがあります。このような場合は「カラーバランス（Color Balance）」の設定を調整すると色が改善されることがあります。「カラーバランス（Color Balance）」で、各色平面で使用するトナーの量を微調整することができます。「カラーバランス（Color Balance）」メニューでシアン、マゼンタ、黄色、および黒に対してプラス（またはマイナス）の値を選択すると、選択した色で使用するトナーの量が微増（微減）します。例えば、印刷したページが全体的に赤過ぎると感じる場合は、マゼンタと黄色を両方減らすと色がよくなる可能性があります。

カラーOHP フィルムを投影すると暗く見えます。色を改善することはできますか？

これは、反射型オーバーヘッドプロジェクターで OHP フィルムを投影する際に最もよく発生する問題です。投影されるカラー品質を最高にするため、透過型オーバーヘッドプロジェクターの使用をお勧めします。反射型プロジェクターを使用しなければならない場合は、「トナーの濃さ（Toner Darkness）」の設定を 1,2,3 のいずれかに調整すると OHP フィルムが明るくなります。

必ず推奨するタイプのカラーOHP フィルムに印刷してください。用紙またはメディアの仕様の詳細については、ソフトウェアおよびマニュアル CD のユーザーズガイドをご参照ください。

手動カラー修正とは？

標準自動カラー補正設定を使用する際に各オブジェクトに対してカラー変換表を適用すると、大部分の文書に適した色を作ります。しかし、場合によっては別のカラー表のマッピングを適用したい場合もあるでしょう。その場合は「手動カラー（Manual Color）」メニューおよび「手動カラー補正（Manual Color Correction）」設定を使用します。

「手動カラー補正（Manual Color Correction）」は「手動カラー（Manual Color）」メニューで定義したように RGB および CMYK カラー補正表マッピングに適用されます。

RGB または CMYK には別のカラー変換表を選択することができます。

カラー変換表	設定
RGB	[sRGB 表示 (sRGB Display)] [画面-トゥルーブラック (Display-True Black)] [RGB 鮮明 (sRGB Vivids)] [鮮明 (Vivid)] [オフ (Off)]
CMYK	[US CMYK(US CMYK)] [ユーロ CMYK (Euro CMYK)] [鮮明 CMYK (Vivid CMYK)] [オフ (Off)]

注意： [手動カラー補正 (Manual Color Correction)] 設定は、ソフトウェアアプリケーションが RGB または CMYK の組み合わせで色を指定しない場合は有用ではありません。ソフトウェアアプリケーションまたはコンピュータのオペレーティングシステムで色の調整を行う場合も効果はありません。

特殊な色（企業のロゴなど）はどのように合わせますか？

特殊なオブジェクトの印刷色を特定の色に厳密に合わせなければならない場合があります。例えば、企業のロゴの色に合わせる場合などです。プリンタが希望の色を厳密に再現できない場合であっても、ほとんどの場合、適切な色にたどりつくことができます。

[カラーサンプル (Color Samples)] メニュー項目から、このような特殊な色合わせ問題に対処できる有用な情報が得られます。9 つの [カラーサンプル (Color Samples)] 値があり、プリンタのカラー変換表に対応しています。[カラーサンプル (Color Samples)] 値のいずれかを選択すると、数百のカラーボックスが複数ページに印刷されます。選択した表に応じて、CMYK または RGB の組み合わせが各ボックスに配置されています。ボックスに表示された CMYK または RGB の組み合わせを選択したカラー変換表に通すと各ボックスの実際の色が得られます。

カラーサンプルページを確認して、希望の色に最も近い色のボックスを特定できます。次に、ボックスに表示される色の組み合わせを使用して、ソフトウェアアプリケーションでオブジェクトの色を修正できます。手順についてはソフトウェアアプリケーションのヘルプをご参照ください。[手動カラー補正 (Manual Color Correction)] は特殊なオブジェクトに対してカラー変換表を選択し利用する際に必要です。

特殊な色の色合わせにどの [カラーサンプル (Color Samples)] ページを使用するかは、使用している [Color Correction (カラー補正)] の設定 ([自動 (Auto)]、[オフ (Off)]、または [手動 (Manual)])、印刷するオブジェクトの種類 (文字、画像、またはイメージ)、およびソフトウェアアプリケーションでのオブジェクトの色の指定方法 (RGB または CMYK の組み合わせ) によって異なります。プリンタの [カラー補正 (Color Correction)] が [オフ (Off)] に設定されていると、その色は印刷ジョブのデータをベースにし、カラー変換は実行されません。

注意： [カラーサンプル (Color Samples)] ページは、ソフトウェアアプリケーションが RGB または CMYK の組み合わせで色を指定しない場合は有用ではありません。また、ソフトウェアアプリ

ケーションまたはコンピュータのオペレーティングシステムが、カラー管理を通してアプリケーションに指定された RGB または CMYK の組み合わせを調整する場合があります。その結果印刷された色が [カラーサンプル (Color Samples)] ページと厳密には合わない場合があります。

以下の表で、色合わせにはどの [カラーサンプル (Color Samples)] ページを使用すればよいかが分かります。

色の指定および印刷されるオブジェクト	[カラー補正 (Color Correction)] の設定	使用するサンプルページ
[RGB テキスト (RGB—Text)]	[自動 (Auto)]	[RGB 鮮明 (sRGB Vivids)]
	[手動 (Manual)]	[手動カラーRGB テキスト設定 (Manual Color RGB Text Setting)]
[RGB グラフィック (RGB—Graphic)]	[自動 (Auto)]	[RGB 鮮明 (sRGB Vivids)]
	[手動 (Manual)]	[手動カラーRGB グラフィック設定 (Manual Color RGB Graphic Setting)]
[RGB イメージ (RGB—Image)]	[自動 (Auto)]	[sRGB Display (sRGB 表示)]
	[手動 (Manual)]	[手動カラーRGB イメージ設定 (Manual Color RGB Image Setting)]
[CMYK テキスト (CMYK—Text)]	[自動 (Auto)]	[US CMYK(US CMYK)] または [ユーロ CMYK (Euro CMYK)]
	[手動 (Manual)]	[手動カラーCMYK テキスト設定 (Manual Color CMYK Text Setting)]
[CMYK グラフィック (CMYK—Graphic)]	[自動 (Auto)]	[US CMYK(US CMYK)]
	[手動 (Manual)]	[手動カラーCMYK グラフィック設定 (Manual Color CMYK Graphic Setting)]
[CMYK イメージ (CMYK—Image)]	[自動 (Auto)]	[US CMYK(US CMYK)]
	[手動 (Manual)]	[手動カラーCMYK イメージ設定 (Manual Color CMYK Image Setting)]

[詳細カラーサンプル (Detailed Color Samples)] とは何ですか？どのようにアクセスしますか？

これらのページを利用するには内蔵 WEB サーバ(EWS)を使用する必要があります。内蔵 WEB サーバ(EWS)はネットワークプリンタファームウェアに保存されている一連のメモリ常駐ページです。これらのページにアクセスするには、ネットワークプリンタの IP アドレスを閲覧してください。

[構成設定メニュー (Configuration Menu)] をクリックし、次に **[詳細カラーサンプル (Detailed Color Samples)]** をクリックしてください。

内蔵 WEB サーバ(EWS)の使用方法的詳細については、ソフトウェアおよびマニュアル CD のユーザーズガイドをご参照ください。

「詳細カラーサンプル (Detailed Color Samples)」のページはカラーサンプルの標準ページに似ており、プリンタの操作パネルで「品質 (Quality)」メニューからアクセスできます。この方法で利用できる標準のカラーサンプルでは、赤、緑、および青の増分は 10% です。このページで近い値を見つけたものの、隣接する箇所の色をもう少し調べたい場合は、「詳細カラーサンプル (Detailed Color Samples)」を使用して希望する色の値およびより詳細な増分を選択することができます。これで、調べたい特定の色の周囲にあるカラーボックスを複数ページ印刷することができます。

以下の 3 つのオプションで 9 種類の変換表を利用できます。

- 「印刷する (Print)」 - 標準ページを印刷します。
- 「詳細 (Detailed)」 - 赤、緑、および青の値を個別に入力、また色の増分を詳細に入力できます。
- 「リセット (Reset)」 - 既存のデータを消去し、新しい値を入力できます。

この処理はシアン(C)、マゼンタ(M)、黄色(Y)、および黒(B)のカラー変換表にも使用できます。これらの値は CMYK カラーと総称されています。黒の標準的な増分は 10% で、シアン、マゼンタ、および黄色はそれぞれ 20% です。

内蔵 WEB サーバ(EWS)が開かない場合

以下の方法をお試しく下さい。

ネットワーク接続をチェックする

プリンタおよびコンピュータの電源が入っており、同じネットワークに接続されていることを確認してください。

ウェブブラウザに入力されたアドレスをチェックしてください。

- 内蔵 WEB サーバ(EWS)にアクセスするには、ネットワークの設定に応じて、プリンタの IP アドレスの前に「http://」ではなく「https://」を入力する必要がある場合があります。詳細については、システムサポート担当者にお問い合わせください。
- プリンタ IP アドレスが正しいか確認してください。

一時的にウェブプロキシサーバをオフにする

プロキシサーバが内蔵 WEB サーバ(EWS)など特定のウェブサイトへのアクセスをブロックまたは制限する場合があります。詳細については、システムサポート担当者にお問い合わせください。

カスタマーサポートへの問い合わせ

カスタマーサポートに連絡する際は、発生している問題、ディスプレイに表示されているメッセージ、および問題解決のために既に行った対策についてご説明ください。

プリンタのモデルタイプおよびシリアルナンバーをご確認ください。詳しくはプリンタの内部上面フロントカバーのラベルをご参照ください。シリアルナンバーはメニュー設定ページにも表示されます。

お問い合わせ先は販売代理店までご連絡ください。販売代理店が分からない場合は
JP_sales@lexmark.com までお問い合わせください。

21—通知事項

製品情報

製品名:

Lexmark X925

型番:

7541

機種:

032、036、096

改訂通知

2012 年 12 月

以下の条項は、このような条項が地域の法律に反する国では適用されません。

Lexmark International Inc.は、本書を「現状勇姿」で提供し、明示的または暗示的であるかを問わず、商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、これに限定されないその他すべての保証責任を負わないものとします。一部の地域では、特定の商取引での明示的または暗示的な保証に対する免責が認められていない場合があります、これらの地域ではお客様に対して本条項が適用されない場合があります。

本書には、技術的に不適切な記述や誤植が含まれている場合があります。本書の内容は定期的に変更され、その変更は次版に組み込まれます。本書に記載されている製品またはプログラムは、随時改良または変更されることがあります。

本書で特定の製品、プログラム、またはサービスについて言及している場合でも、すべての国々でそれらが使用可能であることを黙示的に意味しているものではありません。特定の製品、プログラム、またはサービスについてのすべての記述は、それらの製品、プログラム、またはサービスのみを使用することを明示的または黙示的に示しているものではありません。既存の知的財産権を侵害しない、同等の機能を持つすべての製品、プログラム、またはサービスを代替して使用することができます。製造元が明示的に指定した以外の製品、プログラム、またはサービスと組み合わせた場合の動作の評価および検証はユーザーの責任において行ってください。

Lexmark のテクニカルサポートについては、以下の URL をご覧ください。

<http://support.lexmark.com>.

消耗品およびダウンロードに関する情報は、以下の URL で入手できます。 www.lexmark.com.

© 2012 Lexmark International, Inc.

All rights reserved.

米国政府のエンドユーザー

本ソフトウェアプログラムおよび関連文書は、48 C.F.R. 2.101 で定義されている「商品」であり、48 C.F.R. 12.212 または 48 C.F.R. 227.7202 に述べられている「商業用コンピュータソフトウェア」

および「商用コンピュータソフトウェア文書」に該当します。48 C.F.R. 12.212 または 48 C.F.R. 227.7202-1 から 227.7207-4 の規定に従い、米国政府のエンドユーザーは、本商用コンピュータソフトウェアおよび商用コンピュータソフトウェア文書を (a) 商品としてののみ、(b) 本書の条項によりすべての他のエンドユーザーに付与される権利と同一の権利のみとともに取得します。

商標

Lexmark、ダイヤモンドのデザインを組み合わせた Lexmark のロゴ、MarkNet、および MarkVision は、Lexmark International, Inc. の商標で、アメリカ合衆国およびその他の国々で登録されています。

PrintCryption および ScanBack は、Lexmark International, Inc. の商標です。

Mac および Mac のロゴは、Apple Inc. の商標で、アメリカ合衆国およびその他の国々で登録されています。

PCL® は、Hewlett-Packard Company の登録商標です。PCL は、Hewlett-Packard Company のソフトウェア製品に含まれる、プリンタコマンド（言語）および機能一式の呼び名です。このプリンタは、PCL 言語に対応するように設計されています。これは、このプリンタがさまざまなアプリケーション プログラムで使用されている PCL コマンドを認識し、そのコマンドに対応する機能のエミュレーションを実行できることを意味します。

その他すべての商標は、それぞれの所有者の財産です。

AirPrint および AirPrint のロゴは、Apple, Inc. の商標です。

アメリカ連邦通信委員会（FCC）規則に関する準拠情報宣言

本製品は、FCC 規則の第 15 章に準じてテストされ、デジタル装置のクラス A の制限に適合することが認定されています。以下の 2 つの条件を前提として運用してください。(1) 本機器は有害な干渉を発生しない、(2) 本機器は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、あらゆる受信干渉を許容できる。

FCC クラス A の制限は、商業環境で装置を使用したときに、有害な干渉に対して適切な防御を提供することを目的に設定されています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があるため、使用説明書に従わない取り付け方や使い方をすると、無線通信の障害になる可能性があります。住宅地でこの装置を使用すると、干渉を起こす可能性があります。その場合には、ユーザー側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

弊社は、推奨ケーブル以外の使用、装置の無許可の改変または改造により生じる、ラジオまたはテレビのいかなる電波障害にも責任を負いません。無許可の改変または改造の結果、本機器の使用を禁止される場合があります。

メモ: クラス A コンピュータ機器の電磁的干渉に関する FCC 規則に確実に準拠するために、並列接続については Lexmark 部品番号 1021231、USB 接続については Lexmark 部品番号 1021294 など、正しく遮蔽され、接地されたケーブルを使用してください。正しく遮蔽され、接地されていないケーブルで代用した場合、FCC 規則に違反する可能性があります。

モジュラーコンポーネントに関する通知

この製品には、以下のモジュラーコンポーネントが含まれている場合があります。

Lexmark 認定タイプ/機種 LEX-M01-003、FCC ID: IYLM01003、カナダ産業省（IC）規則: 2376A-M01003

Lexmark 認定タイプ/機種 LEX-M05-001、FCC ID: IYLLEXM05001、カナダ産業省（IC）規則: 2376A-M05001

Lexmark 認定タイプ/機種 LEX-M05-002、FCC ID: IYLLEXM05002、カナダ産業省（IC）規則: 2376A-M05002

ライセンスに関する通知

この製品に関連するすべてのライセンスに関する通知は、インストールソフトウェア CD の root ディレクトリで参照できます。

騒音発生レベル

ISO 7779 に基づく以下の測定が実施され、ISO 9296 に準拠することが報告されました。

メモ: お使いの製品に一部のモードが適用されない場合もあります。

距離 1 m での平均音圧（単位 dBA）	
印刷時	53 dBA
準備完了時	39 dBA

これらの数値は変更される場合があります。最新の値については、www.lexmark.com を参照してください。

廃棄電気・電気機器（WEEE）指令



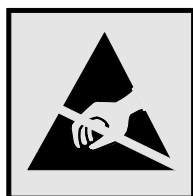
WEEE のロゴは、EU 諸国での電気製品のリサイクルプログラムおよびその手順に関する特定の情報を示したものです。弊社では、製品のリサイクルを推進しています。

リサイクルに関するお問い合わせの場合は、Lexmark の Web サイト（www.lexmark.com）でお近くの販売店の電話番号をご確認ください。

製品の廃棄

プリンタまたは消耗品は、通常のごみと同じ方法で廃棄しないでください。廃棄およびリサイクルの方法については地域の管轄当局にお問い合わせください。

静電気の発生について



このマークは、静電気に敏感な部品であることを示します。このマークの周辺に触れる前に、プリンタの金属フレームに触れてください。

ENERGY STAR（国際エネルギースター）

製品上または起動画面に「ENERGY STAR」マークが表示される Lexmark 製品は、出荷時に EPA（Environmental Protection Agency: アメリカ合衆国環境保護庁）ENERGY STAR 要件に準拠するように構成されていることが、Lexmark によって認定されています。



温度に関する情報

動作環境温度	15.6 ~ 32.2°C (60 ~ 90°F) および 8% ~ 80% RH
輸送時および保管時の温度	-40°C ~ 43.3°C (110°F)

レーザーについて

本機は、米国においてクラス I (1) レーザー製品に対する DHHS 21 CFR, Chapter I, Subchapter J の要件に準拠し、その他の国では、IEC 60825-1 の要件に準拠するクラス I レーザー製品として認可されています。

Class I レーザー製品は、危険性がないとみなされています。本機には、クラス IIIb (3b) レーザーが内蔵されています。これは、655 ~ 675 ナノメートルの波長で動作する定格 7 ミリワットのガリウムヒ素レーザーです。レーザーシステムとプリンタは、通常の操作、ユーザーによるメンテナンス、または所定のサービス条件の下で、ユーザーがクラス I レベルを超えるレーザー放射に絶対に晒されないように設計されています。

電力消費

製品の消費電力

次の表は、本製品の消費電力を示したものです。

メモ：お使いの製品に一部のモードが適用されない場合があります。

モード	説明	消費電力 (W)
印刷	製品が電子入力からハードコピーの出力を生成している状態	650 W
コピー	製品がハードコピーの原稿からハードコピーの出力を生成している状態	725 W
スキャン	製品がハードコピーの文書をスキャンしている状態	190 W
準備完了	製品が印刷ジョブを待機している状態	130 W
スリープ	製品が高レベルの省エネモードにある状態	27 W
ハイバーネート	製品が低レベルの省エネモードにある状態	6.1 W
オフ時	製品の電源コードがコンセントに差し込まれていて、電源スイッチがオフになっている状態	.0 W

上記の消費電力は、時間平均で測定したものです。瞬間的な消費電力は、時間平均の値を大幅に上回る場合があります。

これらの数値は、変更される場合があります。最新の値については、www.lexmark.com を参照してください。

スリープモード

本製品では、「スリープモード」と呼ばれる省エネモードが使用できるように設計されています。スリープモードでは、一定時間未使用の場合に消費電力が低く抑えられます。本製品が使用されない状態でスリープモードタイムアウトと呼ばれる一定の時間が経過すると、自動的にスリープモードに切り替わります。

本製品の工場出荷時のスリープモードタイムアウト（分）：	5
-----------------------------	---

設定メニューを使用して、スリープモードタイムアウトの値を 1 ～ 240 分の間で変更できます。スリープモードを低い値に設定すると、消費電力が抑えられますが、製品の応答時間が長くなる可能性があります。スリープモードタイムアウトを高い値に設定すると、高速な応答時間を維持できますが、消費電力は増加します。

オフモード

オフモードでも、僅かながら電力を消費します。製品の電力消費を完全になくすには、電源コードをコンセントから抜いてください。

総消費電力量

総消費電力量を計算することが役に立つ場合があります。消費電力の単位はワットで表されているため、実際の消費電力量を計算するには、それぞれの運転モードにおける動作時間をかける必要があります。総消費電力量は、それぞれの運転モードにおける消費電力量を合計したことになります。

カナダ産業省の規格に関する準拠宣言

このクラス A のデジタル装置は、カナダ産業省の定める電波障害を引き起こす機器に関する規格（Interference-Causing Equipment Standard ICES-003）のすべての要件に準拠しています。

Avis de conformité aux normes de l'industrie du Canada

Cet appareil numérique de classe A est conforme aux exigences de la norme canadienne relative aux équipements pouvant causer des interférences NMB-003.

欧州共同体（EC）指令に関する準拠宣言

本製品は、規定された電圧内での使用を目的とした電気機器の電磁両立性（EMC: Electromagnetic compatibility）および安全性に関する EC 加盟各国の国内法に合致する共通規格である、欧州共同体委員会の EMC 指令（2004/108/EC）および低電圧指令（2006/95/EC）の保護要件を満たしています。

本製品の製造者: Lexmark International, Inc., 740 West New Circle Road, Lexington, KY, 40550 USA.
正規販売代理店: Lexmark International Technology Hungária Kft., 8 Lechner Ödön fasor, Millennium Tower III, 1095 Budapest HUNGARY

指令要件の準拠宣言は、正規販売代理店の要請に応じて提供します。

本製品はクラス A に関する EN 55022 の制限および EN 60950 の安全要件に適合することが認定されています。

電源に関する警告

アース線は必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に取り付けてください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから取り外してください。

電源コードは付属のもの以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。発熱や火災の原因になることがあります。

プリンターは電源コンセントにできるだけ近い場所に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるよ

うにしてください。

AC100V、50/60Hz、15A 以上の専用コンセント以外には接続しないでください。火災・感電の恐れがあります。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

米国で電話回線をお使いのお客様へ: FCC 要件

本装置は、FCC 規則の第 68 部および ACTA (Administrative Council for Terminal Attachments: 端末接続管理協議会) によって採用されている要件に準拠しています。本装置の背面のラベルには、製品識別番号が他の情報とともに US:AAAEQ##TXXXX の形式で記載されています。この番号は、要請に応じて電話会社に提供する必要があります。

本装置では、RJ-11C Universal Service Order Code (USOC) ジャックを使用しています。

本装置は、FCC 第 68 部規則および ACTA によって採用されている要件に準拠するプラグおよびジャックを使用して構内配線または電話網に接続するように設計されています。本装置には、これらの要件に準拠する電話コードおよびモジュラープラグが付属しています。このモジュラープラグは、同様に要件に準拠するジャックに接続する必要があります。詳細については、設定説明書類をご覧ください。

リング等価番号 (REN) は、電話回線に接続可能な最大の端末装置数を決定するためのものです。回線に接続した REN の数が多すぎると、呼び出し着信時に呼び出し音が鳴らなくなることがあります。ほとんどの地域では、回線に接続する REN の総数が 5 を越えないようにする必要があります。回線に接続可能なデバイス数は REN の総数によって決まります。接続可能なデバイス数については、地域の電話会社にお問い合わせください。2001 年 7 月 23 日以降に認可された製品の場合、製品の REN は製品識別番号に含まれています。製品識別番号は、US:AAAEQ##TXXXX の形をとります。##に指定されている数字は REN から小数点を除いたものです (例えば、03 は REN 0.3 を表しています)。それ以前の製品については、REN は製品識別番号とは別個にラベルに表示されています。

本装置が電話網に害を及ぼす場合、電話会社はサービスを一時的に停止する必要がある旨を事前に通知します。事前の通知が不可能な場合は、電話会社はできる限り早急に通知を行います。また、ユーザーは、FCC に対し苦情を申し立てる権利を有することについても通知されます。

電話会社による通信施設、設備、または業務手続の変更が、装置の動作に影響を及ぼす場合があります。このような場合、電話会社は、ユーザーが電話サービスを維持するための措置を講じることができるよう、事前にその旨を通知します。

本装置に不具合が生じ、修理や保証に関する情報が必要な場合は、Lexmark International, Inc. (www.lexmark.com) または Lexmark の販売店にご連絡ください。本装置が電話網に害を及ぼす場合は、問題が解決するまで本装置を切り離すよう電話会社から要請されることがあります。

本装置には、ユーザー自身が修理可能な部品は含まれていません。修理および保証の詳細については、Lexmark International, Inc. にお問い合わせください。連絡先については、前項の記載をご覧ください。

共同加入電話サービスへの接続には、州が定める税率が課せられます。詳細については州の公益事業委員会または法人委員会にお問い合わせください。

家庭で特別に配線された警報装置を電話回線に接続している場合には、本装置を設置することで警報装置が使用不能にならないかどうかを確認してください。警報装置が使用できなくなる原因については、電話会社または専門の設置業者にお問い合わせください。

通信事業者は、特に雷のときの電流・電圧の急増が、交流電源に接続された機器にとっては有害であることを報告しています。これは、全国的に重要な問題として認識されています。装置を接続する電源コンセントに適切な交流避雷器を取り付けることをお勧めします。適切な交流避雷器とは、安定した評価を得ており、UL（Underwriter's Laboratories）や NRTL（Nationally Recognized Testing Laboratory）などの国や地域における安全基準の認証機関によって認証されている避雷器を指します。これにより落雷やその他の電流・電圧の急激な変化によって装置が損傷することを防ぐことができます。

1991 年制定の Telephone Consumer Protection Act（電話利用者保護法）により、コンピュータ、または FAX 機を含むその他の電気機器を使用してメッセージを送信する場合、各送信ページの縁の上部または下部余白もしくは最初のページに、送信日時、送信側の企業名、団体名、または個人名、および送信機の電話番号を明白に示さないと違法とみなされます。また、900 で始まる番号や、市内あるいは長距離の通話料を超過する料金が課される番号を、送信機の電話番号として提示することはできません。

この情報をお使いの FAX 機に設定するには、FAX に付属の説明書類を参照してください。

カナダで電話回線をお使いのお客様へ

本製品は、カナダ産業省が定める、該当する技術仕様に準拠しています。リング等価番号（REN）は、電話回線に接続可能な最大の端末装置数を示します。終端では組み合わせる装置によらず、全体の REN の合計値が 5 を超えないように組み合わせる必要があります。モデムの REN は、装置背面の製品ラベルに記載されています。

通信事業者は、特に雷のときの電流・電圧の急増が、交流電源に接続された機器にとっては有害であることを報告しています。これは、全国的に重要な問題として認識されています。装置を接続する電源コンセントに適切な交流避雷器を取り付けることをお勧めします。適切な交流避雷器とは、安定した評価を得ており、UL（Underwriter's Laboratories）や NRTL（Nationally Recognized Testing Laboratory）などの国や地域における安全基準の認証機関によって認証されている避雷器を指します。これにより落雷やその他の電流・電圧の急激な変化によって装置が損傷することを防ぐことができます。

本装置は、CA11A 電話ジャックを使用します。

Avis réservé aux utilisateurs du réseau téléphonique du Canada

Ce produit est conforme aux spécifications techniques d'Industrie Canada. Le numéro REN (ringer equivalence number : numéro d'équivalence de sonnerie) fournit une indication du nombre maximum de terminaux pouvant être connectés à l'interface téléphonique. En bout de ligne, le nombre d'appareils qui peuvent être connectés n'est pas directement limité, mais la somme des REN de ces appareils ne doit pas dépasser cinq. Le numéro REN du modem est indiqué sur l'étiquette produit située à l'arrière de l'équipement.

Les compagnies de téléphone constatent que les surtensions électriques, en particulier celles dues à la foudre, entraînent d'importants dégâts sur les terminaux privés connectés à des sources d'alimentation CA. Il s'agit-là d'un problème majeur d'échelle nationale. En conséquence, il vous est recommandé de brancher un parasurtenseur dans la prise de courant à laquelle l'équipement est connecté. Utilisez un parasurtenseur répondant à des caractéristiques nominales satisfaisantes et certifié par le laboratoire d'assureurs UL (Underwriter's Laboratories), un autre laboratoire agréé de type NRTL (Nationally Recognized Testing Laboratory) ou un organisme de certification agréé dans votre région ou pays. Ceci prévient tout endommagement de l'équipement causé par les orages et autres surtensions électriques.

Cet équipement utilise des prises de téléphone CA11A.

ニュージーランドで電話回線をお使いのお客様へ

以下は、「ファクシミリ利用者通達（Facsimile User Instructions）」の特殊条件です。いかなる端末装置についても、当該装置がネットワーク接続に関する最低限の条件を満たしているとテレコム（Telecom）が認めた場合についてのみ、通信許可が下ります。ただしテレコムは、当該装置を推薦または保証するものではありません。さらに当該装置が、異なるロットまたはモデルの他の通信許可が下りている装置とともに使用されといった、いかなる状況でも正しく動作すると保証するものではありません。また、いかなる製品も、テレコムのすべてのネットワークサービスに対応していると保証するものではありません。

装置には、テレコムの緊急サービス番号（Telecom's 111 Emergency Service）への自動呼出しが設定されていません。

装置は、同じ回線に接続された他の装置に、呼び出しを有効に引き継がない場合があります。

装置は、他のテレコム顧客を妨害する可能性のある状況においては使用してはなりません。

テレコムの通信許可の要件を満たすために必要ないくつかのパラメータは、本装置に関連付けられる装置に依存します。関連付けられる装置は、テレコムの要件を満たすために、以下の制限下で使用する必要があります。

手動での呼び出しで、同じ番号に 30 分以内に 10 回を超える呼び出しを試みない。

ある呼び出しから次の呼び出しまでに 30 秒以上オンフックになる

異なる番号を自動的に呼び出す場合、ある呼び出しから次の呼び出しまでの間隔が 5 秒以上設定される

スイス国内での本製品の使用について

スイス国内で課金用のパルス信号を受信する回線に本製品を取り付ける場合は、スイス製の課金トーンフィルタ（Lexmark 部品番号 14B5109 または 80D1877）が必要です。スイス国内では、すべてのアナログ回線に課金用のパルス信号があるため、Lexmark フィルタを必ずお使いください。

Utilisation de ce produit en Suisse

Cet appareil nécessite l'utilisation d'un filtre de tonalité de facturation suisse (n° de référence Lexmark : 14B5109 ou 80D1877) devant être installé sur toute ligne recevant des impulsions de comptage en Suisse. Ce filtre doit être utilisé pour toute installation car ces impulsions existent sur toutes les lignes téléphoniques suisses.

Verwendung dieses Produkts in der Schweiz

Für dieses Produkt muss ein schweizerischer Billing Tone Filter zur Zählzeichenübertragung (Lexmark Teilenummer 14B5109 oder 80D1877) für jede Leitung installiert werden, über die in der Schweiz Zeitsteuertakte übertragen werden. Die Verwendung des Lexmark Filters ist obligatorisch, da in allen analogen Telefonleitungen in der Schweiz Zeitsteuertakte vorhanden sind.

Uso del prodotto in Svizzera

Questo prodotto richiede un filtro toni Billing svizzero, (codice Lexmark 14B5109 o 80D1877) da installare su tutte le linee che ricevono impulsi remoti in Svizzera. È necessario utilizzare il filtro Lexmark poiché gli impulsi remoti sono presenti su tutte le linee analogiche in Svizzera.

欧州連合（EU）のユーザーへの通知

CE マークが表示されている製品は、規定された電圧内、ならびに無線装置および電話端末装置での使用を目的とした電気機器の電磁両立性（EMC: Electromagnetic compatibility）および安全性に関する EC 加盟各国の国内法に合致する共通規格である、欧州共同体委員会の EMC 指令（2004/108/EC）、低電圧指令（2006/95/EC）および R&TTE 指令（1999/5/EC）の保護要件を満たしています。

適合性は、CE マークによって示されます。



本製品の製造者: Lexmark International, Inc., 740 West New Circle Road, Lexington, KY, 40550 USA.
正規販売代理店: Lexmark International Technology Hungária Kft., 8 Lechner Ödön fasor, Millennium Tower III, 1095 Budapest HUNGARY,

指令要件の準拠宣言は、正規販売代理店の要請に応じて提供します。

準拠情報の詳細については、「通知事項」セクションの最後にある表を参照してください。

ワイヤレス製品の規制に関する通知

このセクションでは、（例えばワイヤレスネットワークカードまたは非接触カードリーダーなどの）トランスミッターを含むワイヤレス製品の規制に関する情報を提供しています。

高周波エネルギーの放射に対する被爆

本装置の高周波放射出力は、FCC およびその他の監督機関の高周波エネルギーに対する被爆制限値よりはるかに低いものです。アンテナおよび人体から本装置までの距離を最低 20 cm（8 インチ）確保することにより、FCC およびその他の監督機関の高周波エネルギーに対する被爆制限を満たすことができます。

カナダ産業省（カナダ）

本装置は、カナダ産業省の RSS-210 に適合しています。以下の 2 つの条件を前提として運用してください。(1) 本機器は有害な干渉を発生しない、(2) 本機器は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、あらゆる受信干渉を許容できる。

本装置は、付属のアンテナのみを使用して動作するように設計されています。カナダ産業省の規則により、その他のアンテナを使用することは固く禁じられています。

使用許諾されたサービスへの無線周波数干渉を防止するために、この装置は屋内の窓から離れた場所で操作し、最大限に遮蔽を提供するように設計されています。屋外に設置する機器（送信アンテナ）にはライセンスが必要です。

本装置の設置者は、カナダ保険省が一般住民のために設定した上限を超えて RF 領域に放射を行わない位置と方向にアンテナを取り付けてください。カナダ保険省の Web サイト（www.hc-sc.gc.ca/rpb）から入手できる安全規定 6 を参照してください。

認定/登録番号の前にある「IC」という語は、カナダ産業省の技術仕様に適合していることを示します。

カナダ産業省（カナダ）

Cet appareil est conforme à la norme RSS-210 d'Industry Canada. Son fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes :

(1) cet appareil ne doit pas provoquer d'interférences et (2) il doit accepter toute interférence reçue, y compris celles risquant d'altérer son fonctionnement.

Cet appareil a été conçu pour fonctionner uniquement avec l'antenne fournie. L'utilisation de toute autre antenne est strictement interdite par la réglementation d'Industry Canada.

En application des réglementations d'Industry Canada, l'utilisation d'une antenne de gain supérieur est strictement interdite.

Pour empêcher toute interférence radio au service faisant l'objet d'une licence, cet appareil doit être utilisé à l'intérieur et loin des fenêtres afin de garantir une protection optimale.

Si le matériel (ou son antenne d'émission) est installé à l'extérieur, il doit faire l'objet d'une licence.

L'installateur de cet équipement radio doit veiller à ce que l'antenne soit implantée et dirigée de manière à n'émettre aucun champ HF dépassant les limites fixées pour l'ensemble de la population par Santé Canada. Reportez-vous au Code de sécurité 6 que vous pouvez consulter sur le site Web de Santé Canada www.hc-sc.gc.ca/rpb.

Le terme « IC » précédant le numéro de d'accréditation/inscription signifie simplement que le produit est conforme aux spécifications techniques d'Industry Canada.

欧州連合(EU)のユーザーに対する通知

CE マークが表示されている製品は、規定された電圧内、ならびに無線装置および電話端末装置での使用を目的とした電気機器の電磁両立性（EMC: Electromagnetic compatibility）および安全性に関する EC 加盟各国の国内法に合致する共通規格である、欧州共同体委員会の EMC 指令（2004/108/EC）、低電圧指令（2006/95/EC）および R&TTE 指令（1999/5/EC）の保護要件を満たしています。

適合性は、CE マークによって示されます。



本製品の製造者: Lexmark International, Inc., 740 West New Circle Road, Lexington, KY, 40550 USA.
 本製品の正規販売代理店: Lexmark International Technology Hungária Kft., 8 Lechner Ödön fasor, Millennium Tower III, 1095 Budapest HUNGARY,

指令要件の準拠宣言は、正規販売代理店の要請に応じて提供します。

本製品はクラス A に関する EN 55022 の制限および EN 60950 の安全要件に適合しています。

2.4GHz の無線 LAN オプションを搭載している製品は、規定された電圧内、ならびに無線装置および電話端末装置での使用を目的とした電気機器の電磁両立性（EMC: Electromagnetic compatibility）および安全性に関する EC 加盟各国の国内法に合致する共通規格である、欧州共同体委員会の EMC 指令（2004/108/EC）、低電圧指令（2006/95/EC）および R&TTE 指令（1999/5/EC）の保護要件を満たしています。

適合性は、CE マークによって示されます。



本製品は、すべての EU および EFTA 諸国で運用できますが、屋内のみの使用に限定されます。

本製品の製造者: Lexmark International, Inc., 740 West New Circle Road, Lexington, KY, 40550 USA.
 正規販売代理店: Lexmark International Technology Hungária Kft., 8 Lechner Ödön fasor, Millennium Tower III, 1095 Budapest HUNGARY

指令要件の準拠宣言は、正規販売代理店の要請に応じて提供します。

本製品は、以下の表に記載されている国で使用できます。

AT	BE	BG	CH	CY	CZ	DE	DK	EE
EL	ES	FI	FR	HR	HU	IE	IS	IT
LI	LT	LU	LV	MT	NL	NO	PL	PT
RO	SE	SI	SK	TR	UK			

Česky	Společnost Lexmark International, Inc. tímto prohlašuje, že výrobek tento výrobek je ve shodě se základními požadavky a dalšími příslušnými ustanoveními směrnice 1999/5/ES.
Dansk	Lexmark International, Inc. erklærer herved, at dette produkt overholder de væsentlige krav og øvrige relevante krav i direktiv 1999/5/EF.
Deutsch	Hiermit erklärt Lexmark International, Inc., dass sich das Gerät dieses Gerät in Übereinstimmung mit den grundlegenden Anforderungen und den übrigen einschlägigen Bestimmungen der Richtlinie 1999/5/EG befindet.
Ελληνική	ΜΕ ΤΗΝ ΠΑΡΟΥΣΑ Η LEXMARK INTERNATIONAL, INC. ΔΗΛΩΝΕΙ ΟΤΙ ΑΥΤΟ ΤΟ ΠΡΟΪΟΝ ΣΥΜΜΟΡΦΩΝΕΤΑΙ ΠΡΟΣ ΤΙΣ ΟΥΣΙΩΔΕΙΣ ΑΠΑΙΤΗΣΕΙΣ ΚΑΙ ΤΙΣ ΛΟΙΠΕΣ ΣΧΕΤΙΚΕΣ ΔΙΑΤΑΞΕΙΣ ΤΗΣ ΟΔΗΓΙΑΣ 1999/5/ΕΚ.

English	Lexmark International, Inc., は、本装置が指令 1999/5/EC の必須要件およびその他の該当する規定に準拠していることをここに宣言します。
Español	Por medio de la presente, Lexmark International, Inc. declara que este producto cumple con los requisitos esenciales y cualesquiera otras disposiciones aplicables o exigibles de la Directiva 1999/5/CE.
Eesti	Käesolevaga kinnitab Lexmark International, Inc., et seade see toode vastab direktiivi 1999/5/EÜ põhinõuetele ja nimetatud direktiivist tulenevatele muudele asjakohastele sätetele.
Suomi	Lexmark International, Inc. vakuuttaa täten, että tämä tuote on direktiivin 1999/5/EY oleellisten vaatimusten ja muiden sitä koskevien direktiivin ehtojen mukainen.
Français	Par la présente, Lexmark International, Inc. déclare que l'appareil ce produit est conforme aux exigences fondamentales et autres dispositions pertinentes de la directive 1999/5/CE.
Magyar	Alulírott, Lexmark International, Inc. nyilatkozom, hogy a termék megfelel a vonatkozó alapvető követelményeknek és az 1999/5/EC irányelv egyéb előírásainak.
Íslenska	Hér með lýsir Lexmark International, Inc. yfir því að þessi vara er í samræmi við grunnkröfur og aðrar kröfur, sem gerðar eru í tilskipun 1999/5/EC.
Italiano	Con la presente Lexmark International, Inc. dichiara che questo prodotto è conforme ai requisiti essenziali ed alle altre disposizioni pertinenti stabilite dalla direttiva 1999/5/CE.
Latviski	Ar šo Lexmark International, Inc. deklarē, ka šis izstrādājums atbilst Direktīvas 1999/5/EK būtiskajām prasībām un citiem ar to saistītajiem noteikumiem.
Lietuvių	Šiuo Lexmark International, Inc. deklaruoja, kad šis produktas atitinka esminius reikalavimus ir kitas 1999/5/EB direktyvos nuostatas.
Malti	Bil-preżenti, Lexmark International, Inc., jiddikjara li dan il-prodott huwa konformi mal-htigijiet essenzjali u ma dispożizzjonijiet oħrajn rilevanti li jinsabu fid-Direttiva 1999/5/KE.
Nederlands	Hierbij verklaart Lexmark International, Inc. dat het toestel dit product in overeenstemming is met de essentiële eisen en de andere relevante bepalingen van richtlijn 1999/5/EG.
Norsk	Lexmark International, Inc. erklærer herved at dette produktet er i samsvar med de grunnleggende krav og øvrige relevante krav i direktiv 1999/5/EF.
Polski	Niniejszym Lexmark International, Inc. oświadcza, że niniejszy produkt jest zgodny z zasadniczymi wymogami oraz pozostałymi stosownymi postanowieniami Dyrektywy 1999/5/EC.
Português	A Lexmark International Inc. declara que este produto está conforme com os requisitos essenciais e outras disposições da Diretiva 1999/5/CE.
Slovensky	Lexmark International, Inc. týmto vyhlasuje, že tento produkt spĺňa základné požiadavky a všetky príslušné ustanovenia smernice 1999/5/ES.
Slovensko	Lexmark International, Inc. izjavlja, da je ta izdelek v skladu z bistvenimi zahtevami in ostalimi relevantnimi določili direktive 1999/5/ES.
Svenska	Härmed intygar Lexmark International, Inc. att denna produkt står i överensstämmelse med de väsentliga egenskapskrav och övriga relevanta bestämmelser som framgår av direktiv 1999/5/EG.

限定保証の説明

Lexmark X925

Lexmark International, Inc.、ケンタッキー州レキシントン

本限定保証はアメリカ合衆国およびカナダに適用されます。アメリカ合衆国以外のお客様は、ご購入の製品に付属する国固有の保証情報を参照してください。

本限定保証は、再販目的ではなく、お客様が個人的に使用する目的で、Lexmark または Lexmark のリマーカーター（本説明で「リマーカーター」といわれる）から最初に購入した本製品のみ適用されます。

限定保証

Lexmark は、本製品が以下に該当することを保証します。:

- 新部品、または新部品と同等の機能を有する新しい使用可能な中古部品で製造されていること
- 通常の使用環境において、材質上および加工上の欠陥がないこと

保証期間中に本製品が保証どおりに機能しない場合は、リマーカーターまたは Lexmark に連絡して、修理または交換（Lexmark の選択により）を依頼してください。

本製品が機能またはオプションの場合、本説明は、当該の機能またはオプションが対象とする製品と併用される場合に限り、適用されます。保証サービスを受けるためには、当該の機能またはオプションを製品と一緒に引き渡すことを求められる場合があります。

本製品を他のユーザーに譲渡する場合、当該のユーザーは、残余の保証期間において、本説明の条件に基づく保証サービスを受けることができます。この場合、当初の購入証明書および本説明書を当該のユーザーにお渡しください。

限定保証サービス

保証期間は購入領収書に記載された当初購入日から起算され、12 か月後に終了します。ただし、プリンタに付属するサプライ品およびメンテナンス品に対する保証期間は、これらの品目またはそれらの当初の内容物が実質的に使用、消耗、または消費された場合、上記の期間よりも早期に終了します。

保証サービスを受けるためには、当初の購入証明書の提示を求められる場合があります。また、製品をリマーカーターまたは Lexmark に引き渡すか、製品を適切に梱包した上で、前払い運賃にて、Lexmark が指定する場所へ送付することを求められる場合があります。リマーカーターまたは Lexmark が指定する場所への輸送中に発生した製品の紛失または損害については、お客様が責任を負うものとします。

保証サービスにおいて製品または部品の交換が必要な場合、交換された品目はリマーカーターまたは Lexmark の所有物となります。交換品には新品または修理品が使用されます。

交換品には当初製品の残余の保証期間が適用されます。

交換のために引き渡した製品について、外観上の損傷がある、改造されている、保証サービス範囲を超える修理を必要とする、修理の範囲を超える損傷がある、または何らかの法的義務、制限、先取特権、もしくは負債を伴う場合、交換を承ることができません。

保証サービスを受けるために本製品を引き渡す前に、プリントカートリッジ、プログラム、データ、およびリムーバブル記憶媒体をすべて削除するか、取り外してください（Lexmark からの別段の指示がない限り）。

代替保証およびお客様の地域における最寄りの Lexmark の認定サービス業者に関する詳細については販売代理店、または Lexmark の Web サイト、<http://support.lexmark.com> ならびに JP_sales@lexmark.com までお問い合わせください。

本製品の保証期間中にはリモートテクニカルサポートがご利用になれます。Lexmark の保証期間が過ぎた製品については、テクニカルサポートはご利用できず、有償でのみ承ります。

限定保証の範囲

Lexmark は、製品の稼働に中断または誤作動がないこと、または製品が出力する印刷の耐久性もしくは持続性について保証いたしません。

保証サービスには、以下に起因する故障の修理は含まれません。

—改造または無許可の取り付け

—事故、誤用、不正使用、または Lexmark のユーザーガイド、マニュアル、説明書、またはガイドンスに従っていない使用

—不適切な物理的環境または動作環境

—Lexmark または Lexmark の認定サービス業者以外の人物による保守

—負荷サイクルの限度を超えた製品の稼働

—Lexmark の仕様範囲外の印刷媒体の使用

—第三者による製品、サプライ品、部品の改造、修理、補充、または再製品化

—Lexmark が供給していない製品、サプライ品、部品、材料（トナー、インク等）、ソフトウェア、またはインターフェイス

適用法令で許容される範囲で、LEXMARK、そのサードパーティサプライヤまたはリマーカーは、本製品について、明示または黙示を問わず、いかなる種類の保証または条件付与も行いません。また、商品性、特定目的への適合性、および満足のいく品質に関する黙示的な保証または条件を明確に否認します。適用法令に基づき否認できない保証については、保証期間に限り適用されます。この期間を過ぎた時点で、明示または黙示を問わず、いかなる保証も適用されません。すべての情報、仕様、価格、およびサービスは、予告なしに随時変更されることがあります。

責任制限

本限定保証に基づくお客様の唯一の救済手段は本書に記載されています。本限定保証に基づく本製品に関する Lexmark またはリマーカーによる履行または不履行に対して請求を行う場合、お客様は次の条項に定められた金額を上限として、実質的損害を回収することができます。

理由の如何を問わず、実質的損害に対する Lexmark の賠償責任額は、損害の原因となった製品に対してお客様が支払った金額に制限されます。本責任制限は、Lexmark が法的責任を負うべき身体傷害または不動産もしくは有形動産に対する損害賠償請求には適用されません。LEXMARK はいかなる場合においても、利益の損失、貯蓄の損失、付随的損害、その他の経済的もしくは間接的損害については責任を負いません。これは、Lexmark またはリマーカーがお客様からかかる損害の可能性を

通知されていたとしても、適用されます。 Lexmark は、第三者の請求に基づくお客様からの請求について責任を負いません。

この救済手段の制限は、Lexmark のサプライヤおよびリマーカーに対する請求にも適用されます。 Lexmark、そのサプライヤおよびリマーカーの救済手段の制限は累積的なものではありません。これらのサプライヤおよびリマーカーは、本制限の意図された受益者です。

追加的な権利

一部の州では黙示的保証の継続期間に対する制限、または付随的損害もしくは間接的損害の除外もしくは制限を認めていないため、上記の制限または除外がお客様に適用されない場合があります。

本限定保証は、お客様に特定の法的権利を付与するものです。また州によって、それ以外のさまざまな権利が付与される場合があります。

LEXMARK ソフトウェア限定保証およびライセンス契約

本製品を使用する前に、以下の文書を必ずお読みください。本製品を使用した場合、お客様は本ソフトウェア限定保証およびライセンス契約のすべての条項に拘束されることに同意したものとみなされます。本ソフトウェア限定保証およびライセンス契約の条項に同意されない場合は、速やかに未使用の製品を返送し、購入代金の返金を請求してください。第三者に使用させる目的で本製品をインストールした場合、お客様は、当該のユーザーに対し、製品の使用によりこれらの条項に同意したものとみなされる旨を通知することに同意するものとします。

LEXMARK ソフトウェアライセンス契約

本ライセンス契約（「ソフトウェアライセンス契約」）は、お客様（個人または単一の団体）と Lexmark International, Inc.（「Lexmark」）との間の法的契約であり、Lexmark 製品またはソフトウェアプログラムに関するその他の書面によるソフトウェアライセンス契約がお客様と Lexmark またはそのサプライヤとの間で締結されている場合を除き、お客様の Lexmark 製品に関連して使用するためにインストールされる、または Lexmark が提供するソフトウェアプログラムのお客様による使用に適用されます。「ソフトウェアプログラム」という用語には、Lexmark 製品に組み込まれているか、または Lexmark 製品と一緒に配布もしくは使用されるかを問わず、機械可読インストラクション、オーディオ／ビジュアルコンテンツ（画像、録音等）、および関連するメディア、印刷物、電子ドキュメントが含まれます。

- ソフトウェア限定保証の説明。** Lexmark は、ソフトウェアプログラムが付属する場合、それが格納されているメディア（ディスク、コンパクトディスク等）に、保証期間内の通常の使用環境において、材質上および加工上の欠陥がないことを保証します。保証期間は 90 日間とし、ソフトウェアプログラムが元のエンドユーザーに配布された日から起算されます。本限定保証は、Lexmark または Lexmark の認定リセラーまたは代理店から新規に購入されたソフトウェアプログラム用メディアのみに適用されます。メディアが本限定保証の条件を満たしていないことが判明した場合、Lexmark はソフトウェアプログラムを交換いたします。
- 免責条項および保証の制限。** 本ソフトウェアライセンス契約に別段の定めがない限り、かつ適用法令で認められている最大限の範囲において、LEXMARK およびそのサプライヤはソフトウェアプログラムを「現状有姿」で提供し、明示または黙示を問わず、権原、非侵害、商品性、特定目的への適合性、ウィルスがないことに関する保証を含め（ただし、これらに限定されません）、ソフトウェアプログラムに関するその他のすべての保証および条件を否認します。LEXMARK は、法律により商品性または特定目的への適合性に関する黙示的保証のいずれかの構成要素が認めら

れない範囲において、LEXMARK はかかる保証期間を、明示的なソフトウェア限定保証の 90 日間に制限します。

本契約は、随時発効され、保証もしくは条件を黙示する、または除外または変更できない義務を Lexmark に課する特定の法的規定と併せて読む必要があります。いずれかの規定が適用される場合、Lexmark は可能な範囲において、それらの規定の違反に対する責任を、ソフトウェアプログラムの代替コピーの提供、またはソフトウェアプログラムの購入代金の返金のいずれか一方に限定します。

ソフトウェアプログラムには、他のソフトウェアアプリケーションおよび／または Lexmark と関係のない第三者がホストおよび運営するインターネット Web サイトへのインターネットリンクが含まれていることがあります。お客様は、これらのソフトウェアアプリケーションおよび／またはインターネット Web サイトのホスティング、性能、操作、保守、または内容について、Lexmark が一切責任を負わないことを了解し、同意するものとします。

3. **救済手段の制限。**適用法令で許容される最大限の範囲において、本ソフトウェアライセンス契約に基づく LEXMARK のすべての賠償責任は、ソフトウェアプログラムに対して支払われた対価、または 5 米ドル（もしくは現地通貨換算額）のいずれか高い方の金額に明示的に制限されます。本ソフトウェアライセンス契約に基づく紛争における LEXMARK に対するお客様の唯一の救済手段は、これらの金額のいずれかの回復を求めることであり、これらの金額の支払いをもって LEXMARK はお客様に対するそれ以外の一切の義務および責任から解除および免除されるものとします。

いかなる場合においても、LEXMARK、そのサプライヤ、子会社、またはリセラーは、特別、付随的、間接的、懲戒的、懲罰的、または結果的な損害（ソフトウェアプログラムの使用もしくは使用不能に起因もしくは関連する、またはその他本ソフトウェアライセンス契約のいずれかの条項に関連する利益または収益の損失、貯蓄の損失、データまたは記録の使用の中断または損失、誤謬、もしくは破損、第三者による請求、不動産または動産の損害、プライバシーの侵害を含みますが、これらに限定されません）について、保証または契約の不履行、不法行為（過失または厳格責任を含む）を含めた（ただし、これらに限定されません）請求原因を問わず、また LEXMARK、そのサプライヤ、関連会社、またはリマーカーが事前にかかる損害の可能性を通知されていたとしても、一切責任を負わず、また、第三者の請求に基づくお客様からの請求についても一切責任を負いません（ただし、この損害の除外が法的に無効であると判断された場合を除きます）。上記の救済手段がその本質的な目的を達成できない場合でも、上記の制限が適用されるものとします。

4. **アメリカ合衆国州法。**本ソフトウェア限定保証は、お客様に特定の法的権利を付与するものです。また州によって、それ以外のさまざまな権利が付与される場合があります。一部の州では黙示的保証の継続期間に対する制限、または付随的損害もしくは間接的損害の制限の除外を認めていないため、上記の制限がお客様に適用されない場合があります。
5. **ライセンスの使用許諾。**Lexmark は、お客様が本ライセンス契約のすべての条件を遵守することを条件として、お客様に以下の権利を付許諾します。
 - a. **使用。**お客様はソフトウェアプログラムのコピーを 1 部使用することができます。「使用する」という用語には、ソフトウェアプログラムを保存、ロード、インストール、実行、または表示することが含まれます。Lexmark がソフトウェアプログラムの同時使用を許諾した場合、認証されるユーザー数を、Lexmark との契約で定められた人数に限定する必要があります。ソフトウェアプログラムのコンポーネントを複数のコンピュータに分割して使用することはできません。お客様は、ソフトウェアプログラムにより通常生成される、またはその結果によりコンピュータの画面に表示される商標、商号、トレードドレス、または知的財産権表示の視覚的表示を上書き、変更、削除、不明瞭化、改変、または強調を解除する結果をもたらす方法で、ソフトウェアプログラムの全部または一部を使用しないことに同意するものとします。

- b. **コピー。**お客様は、バックアップ、アーカイブ、またはインストールのみを目的として、ソフトウェアプログラムのコピーを1部作成することができます。ただし、そのコピーには元のソフトウェアプログラムの所有権表示をすべて含めるものとします。ソフトウェアプログラムをパブリックネットワークまたは分散型ネットワークにコピーすることはできません。
 - c. **権利の留保。**すべてのフォントを含むソフトウェアプログラムの著作権および所有権は Lexmark International, Inc. および／またはそのサプライヤに帰属します。Lexmark は、本ライセンス契約でお客様に明示的に付与されていないすべての権利を留保します。
 - d. **フリーウェア。**本ライセンス契約の条件にかかわらず、サードパーティのパブリックライセンスに基づき提供されるソフトウェア（「フリーウェア」）を含むソフトウェアプログラムの全部または一部は、個別契約、シュリンクラップライセンス、またはダウンロード時の電子ライセンスの条件の形態であるかを問わず、これらのフリーウェアに付属するソフトウェアライセンス契約の条件に従ってお客様に許諾されます。お客様によるフリーウェアの使用には、そのライセンス条件のみが適用されるものとします。
- 6. **譲渡。**ソフトウェアプログラムは別のエンドユーザーに譲渡することができます。譲渡する場合、すべてのソフトウェアコンポーネント、メディア、印刷物、および本ライセンス契約を含める必要があります。ソフトウェアプログラムまたはそのコンポーネントのコピーを保持することはできません。委託など、間接的な方法で譲渡することはできません。譲渡に先立ち、ソフトウェアプログラムの譲渡を受けるエンドユーザーは、本ライセンス契約のすべての条件に同意する必要があります。ソフトウェアプログラムの譲渡時点で、お客様のライセンスは自動的に終了します。本ライセンス契約に規定されている場合を除き、ソフトウェアプログラムを貸与、サブライセンス、または委譲することはできません。また、その試みはすべて無効となります。
 - 7. **アップグレード。**ソフトウェアプログラムのアップグレード版を使用するためには、Lexmark がアップグレード対象として特定する元のソフトウェアプログラムのライセンスを最初に取得する必要があります。アップグレード後は、アップグレード対象であった元のソフトウェアプログラムを使用することはできません。
 - 8. **リバースエンジニアリングの制限。**相互運用性、エラー修正、およびセキュリティ試験の目的で、適用法令により明示的に許可されている場合を除き、ソフトウェアプログラムを改変、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆アセンブリ、逆コンパイル、またはその他の方法で解釈することはできません。お客様にこれを行う法的権利がある場合、リバースエンジニアリング、逆アセンブリ、または逆コンパイルを行う意図について Lexmark に書面にて通知するものとします。ソフトウェアプログラムの合法的な使用のために必要な場合を除き、ソフトウェアプログラムの暗号を解読することはできません。
 - 9. **追加ソフトウェア。**本ライセンス契約は、Lexmark がアップデートまたは追加ソフトウェアと共に別の条件を定めない限り、Lexmark が提供する元のソフトウェアプログラムに対するアップデートまたは追加ソフトウェアにも適用されます。
 - 10. **契約期間。**本ライセンス契約は、終了または解除されるまで有効に存続します。お客様は、ソフトウェアプログラムのすべてのコピー、ならびにすべての修正プログラム、ドキュメンテーション、およびあらゆる形式の付随物、または本ライセンス契約に記載されているその他の物品を破棄することにより、いつでも本ライセンス契約を解除または終了することができます。お客様が本ライセンス契約のいずれかの条項に違反した場合、Lexmark は通知によりお客様のライセンスを終了することができるものとします。ライセンスが終了した場合、お客様は、ソフトウェアプログラムのすべてのコピー、ならびにすべての修正プログラム、ドキュメンテーション、およびあらゆる形式の付随物を破棄することに同意するものとします。
 - 11. **税金。**お客様は、本契約またはソフトウェアプログラムの使用に起因するすべての物品税、サービス税、動産税を含め（ただし、これらに限定されません）、すべての税金を支払う責任があることに同意するものとします。

12. **訴訟の制限。**適用法令で別段の定めがある場合を除き、いずれの当事者も、本契約に起因する訴訟を、形式を問わず、その訴因が発生した時点から 2 年を超えた後には行わないものとします。
13. **適用法令。**本契約はアメリカ合衆国ケンタッキー州法に準拠するものとします。いかなる管轄区域における法選択の規定も適用されないものとします。国際物品売買契約に関する国際連合条約は適用されません。
14. **アメリカ合衆国政府の権利制限。**本ソフトウェアプログラムは私費のみで開発されたものです。アメリカ合衆国政府がソフトウェアプログラムを使用する権利は本契約に記載されたとおりとし、DFARS 252.227-7014 および FAR の同種の条項（または同等の関係当局の規制または契約条項）によって制限されています。
15. **データ使用に関する承認。**お客様は、Lexmark、その関連会社および代理人が、ソフトウェアプログラムに関してお客様の要求により実施するサポートサービスに関連して、お客様が提供する情報を収集および使用することに同意するものとします。Lexmark は、これらのサービスを提供するために必要な場合を除き、お客様の身元を特定できる方法でこれらの情報を使用しないことに同意するものとします。
16. **輸出規制。**お客様は以下を行わないものとします。(a)ソフトウェアプログラムまたはそれから直接生成されるすべての製品を、適用される輸出法令に違反して、直接的または間接的に取得、出荷、譲渡、または再輸出すること。(b)核兵器、化学兵器、生物兵器の拡散を含め（ただし、これらに限定されません）、適用される輸出法令で禁じられている目的によるソフトウェアプログラムの使用を許可すること。
17. **電子契約に対する同意。**お客様と Lexmark は、本ライセンス契約を電子的に締結することに合意するものとします。すなわち、お客様がこのページの「同意する」または「はい」のボタンをクリックするか、本製品を使用することにより、お客様は、本ライセンス契約の条件に同意し、この行為により、Lexmark との契約書に「署名」したものとみなされます。
18. **契約を締結する能力および権限。**お客様は、本ライセンス契約に署名する地域における法定年齢に達しており、該当する場合は、お客様の雇用者または本人から本契約を締結する権限を正式に付与されていることを表明するものとします。
19. **完全合意。**本ライセンス契約（ソフトウェアプログラムに含まれる本ライセンス契約のすべての補遺または修正条項を含む）は、ソフトウェアプログラムに関するお客様と Lexmark との間の完全な合意を定めたものです。本契約に別段の規定がない限り、これらの条件はソフトウェアプログラムまたは本ライセンス契約に記載されているその他の主題に関する口頭または書面による従前または現在の一切の通信、提案、および表明に優先するものとします（これらの外的条件が本ライセンス契約、またはお客様と Lexmark が署名したソフトウェアプログラムの使用に関するその他の契約書の条件と矛盾しない場合を除きます）。サポートサービスに関する Lexmark のポリシーまたはプログラムが本ライセンス契約の条件と矛盾する場合、本ライセンス契約の条件が優先するものとします。

MICROSOFT CORPORATION の通知

1. この製品には Microsoft Corporation が所有する知的財産権が含まれている場合があります。Microsoft がこれらの知的財産の使用許諾を行う際の条件については、以下のサイトを参照してください。<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=52369>.
2. この製品は Microsoft プリント・スキーマ・テクノロジーをベースとしています。Microsoft がこの知的財産の使用許諾を行う際の条件については、以下のサイトを参照してください。<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=83288>.

ADOBE SYSTEMS INCORPORATED の通知

この製品には Adobe Systems Incorporated の Flash®、Flash® Lite™ および／または Reader® テクノロジーが含まれています。

この製品には Adobe Systems Incorporated からのライセンスに基づく Adobe® Flash® プレイヤーソフトウェアが含まれています（Copyright © 1995-2007 Adobe Macromedia Software LLC. All rights reserved）。Adobe、Reader、および Flash は Adobe Systems Incorporated の商標です。

特許の承認

この製品またはサービスの使用には、製品またはサービスに実装されているトランスポート・レイヤー・セキュリティ（TLS）用の楕円曲線暗号（ECC）スイートに関する IETF（インターネット・エンジニアリング・タスク・フォース）による Certicom Corp. の知的財産権（IPR）の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

この製品またはサービスの使用には、製品またはサービスに実装されている SHA-256/382 および AES ガロア・カウンター・モード（GCM）による TLS 用の楕円曲線暗号スイートに関する IETF による Certicom Corp. の知的財産権（IPR）の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

この製品またはサービスの使用には、製品またはサービスに実装されているトランスポート・レイヤー・セキュリティ（TLS）用のスイート B プロファイルに関する IETF による Certicom Corp. の知的財産権（IPR）の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

この製品またはサービスの使用には、製品またはサービスに実装されているトランスポート・レイヤー・セキュリティ（TLS）用のカメラ暗号スイートの追加に関する IETF による Certicom Corp. の知的財産権（IPR）の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

この製品またはサービスにおける一定の特許の使用には、製品またはサービスに実装されている TLS 用の AES-CCM ECC 暗号スイートに関する IETF による Certicom Corp. の知的財産権（IPR）の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

この製品またはサービスの使用には、製品またはサービスに実装されている楕円曲線デジタル署名アルゴリズム（ECDSA）を使用した IKE および IKEv2 認証に関する IETF による Certicom Corp. の知的財産権（IPR）の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

この製品またはサービスの使用には、製品またはサービスに実装されている IPSec 用のスイート B 暗号スイートに関する IETF による Certicom Corp. の知的財産権（IPR）の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

この製品またはサービスの使用には、製品またはサービスに実装されているインターネットキー交換バージョン 1（IKEv1）用のアルゴリズムに関する IETF による Certicom Corp. の知的財産権（IPR）の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

複写・印刷内容に関するご注意

以下の物を複製印刷または加工印刷すると、法律に罰せられることがありますのでご注意ください。

- 通貨、有価証券など

次のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により禁じられています。

- ・ 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- ・ 国債証券、地方証券、郵便為替証書、郵便切手、印紙、株券、社債券、手形、小切手
- ・ 定期券、回数券、乗車券、その他の有価証券

- 公文書など

次のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により禁じられています。

- ・ 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- ・ 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- ・ 役所または公務員の印影、署名または記号
- ・ 私人の印影または署名

- 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製、加工することは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。

また、人物の写真などを複製すると、肖像権が問題となることがあります。

- 関係法律について

- ・ 刑法
- ・ 郵便法
- ・ 著作権法
- ・ 郵便切手類模造等取締法
- ・ 通貨及証券模造取締法
- ・ 印紙犯罪処罰法
- ・ 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- ・ 印紙等模造取締法